

唐津市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

こどもの生活アンケート

子どもの生活（ヤングケアラー）についてのアンケート

結果報告書

令和6年6月

唐 津 市

目 次

I 調査の概要.....	1
II 就学前児童保護者 結果.....	5
お住まいの地区について	7
お子さんご家族の状況などについて	8
こどもの育ちを取り巻く環境について	11
お子さんの保護者の就労状況について	14
お子さんの平日の定期的な保育の利用状況について	18
お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	22
お子さんの病気等の際の対応について（平日の保育を利用する方のみ）	23
お子さんの小学校就学後の放課後等の過ごし方について	27
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	31
子育て全般について	44
III 小学生児童保護者 結果.....	53
お住まいの地区について	55
お子さんご家族の状況などについて	56
こどもの育ちを取り巻く環境について	59
お子さんの保護者の就労状況について	62
放課後児童クラブの利用について.....	66
お子さんの放課後等の過ごし方全般について	69
お子さんの病気等の際の対応について	76
お子さんの一時預かり等の利用について.....	78
子育て全般や子育ての環境について	79
IV 小学5年生保護者・中学2年生保護者 結果	87
こどもの生活アンケートにおける経済的な状況の分類.....	89
V 小学5年生児童・ 中学2年生生徒 結果.....	145
VI 小5・中2担任・副担任教諭及び養護教諭 結果.....	181

I 調査の概要

1 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

●調査対象

就学前児童(0歳～5歳)が属する世帯／小学生児童(1年～6年)が属する世帯

●調査時期

令和6年2月28日～3月22日

●調査方法

郵送配付・回収

●配付・回収状況

	配付数	回収数	回収率
就学前児童(0歳～5歳)が属する世帯	2,000 票	1,018 票	50.9%
小学生児童(1年～6年)が属する世帯	2,000 票	981 票	49.1%

2 こどもの生活アンケート

●調査対象

市内小学5年生の保護者と児童／市内中学2年生の保護者と生徒

●調査時期

令和6年2月15日～2月29日

●調査方法

学校経由で配付・回収、子どもは学校でWEBアンケート回答

●配付・回収状況

	配付数	有効回収数	有効回収率
小5保護者	1,089 票	912 票	83.7%
中2保護者	1,107 票	801 票	72.4%
小5児童	1,089 票	958 票	88.0%
中2生徒	1,107 票	802 票	72.4%

※児童・生徒の有効回収数はWEBアンケートでのID重複入力を除外した数。

3 こどもの生活（ヤングケアラー）についてのアンケート

●調査対象

市内小・中学校の小5・中2担任・副担任教諭及び養護教諭

●調査方法

学校経由でメール依頼WEBアンケート回答

●回答状況

	回答数
市内小・中学校の小5・中2担任・副担任教諭及び養護教諭	125 票

4 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、その設問への回答者数（構成比算出の母数）を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答（2 つ以上選ぶ問い）の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または、回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- 図表の記載にあたり調査票の質問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」や 1 %未満の数値表示を省略しているものがあります。
- 必要に応じて、平成 30 年度に実施したアンケート調査（以下「前回調査」とします。）との比較を行っています。

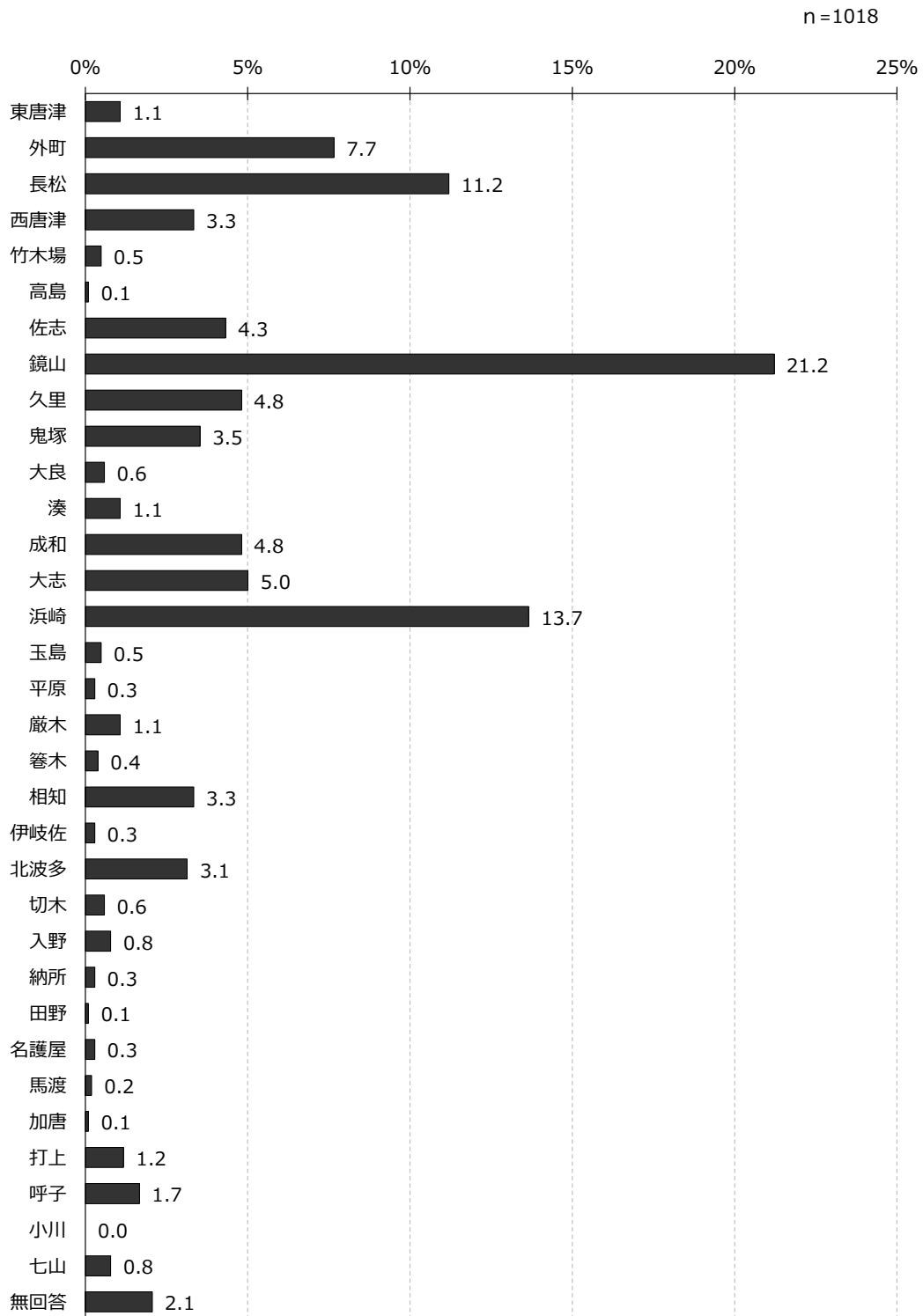
子ども・子育て支援に関するアンケート調査

II 就学前児童保護者 結果

お住まいの地区について

問1 唐津市のどちらにお住まいですか。小学校区でお答えください。【単数回答】

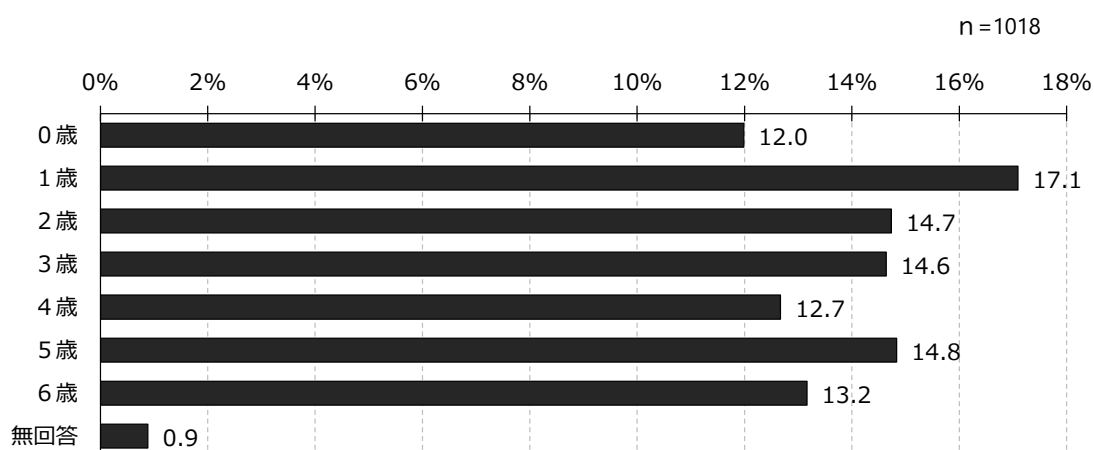
「鏡山」が21.2%と最も多く、「浜崎」が13.7%、「長松」が11.2%、「外町」が7.7%、「大志」が5.0%となっています。



お子さんご家族の状況などについて

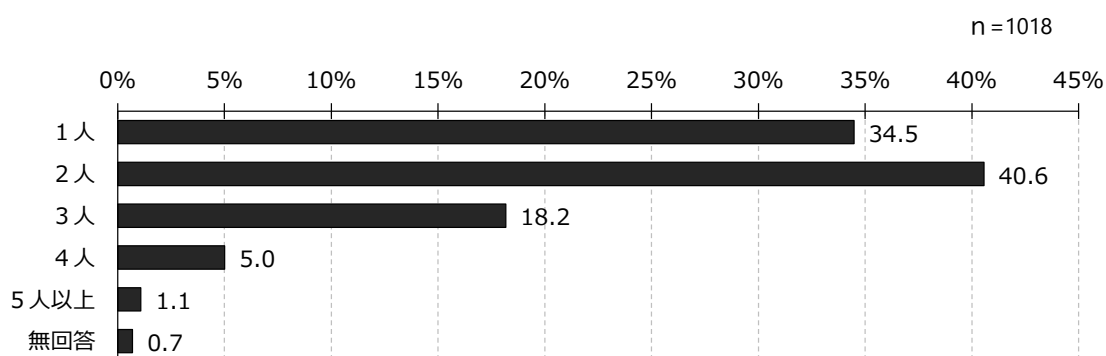
問2 お子さんの年齢(令和6年3月1日現在)をお答えください。【単数回答】

「1歳」が17.1%と最も多く、「5歳」が14.8%、「2歳」が14.7%、「3歳」が14.6%、「6歳」が13.2%となっています。



問3 お子さんの兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。【単数回答】

「2人」が40.6%と最も多く、「1人」が34.5%、「3人」が18.2%、「4人」が5.0%、「5人以上」が1.1%となっています。

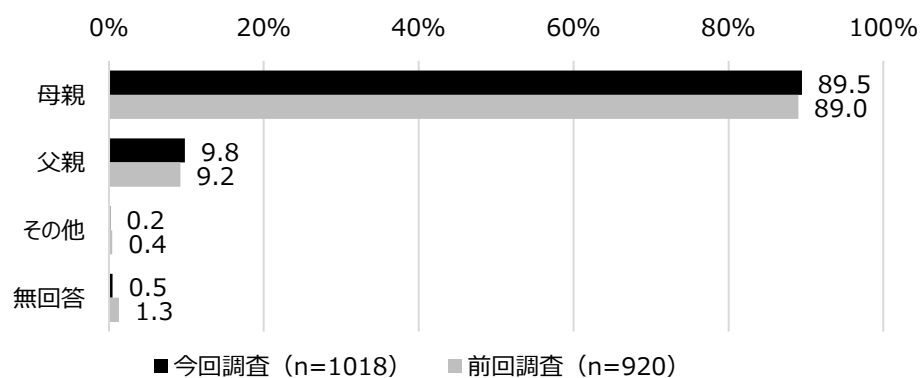


問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

【単数回答】

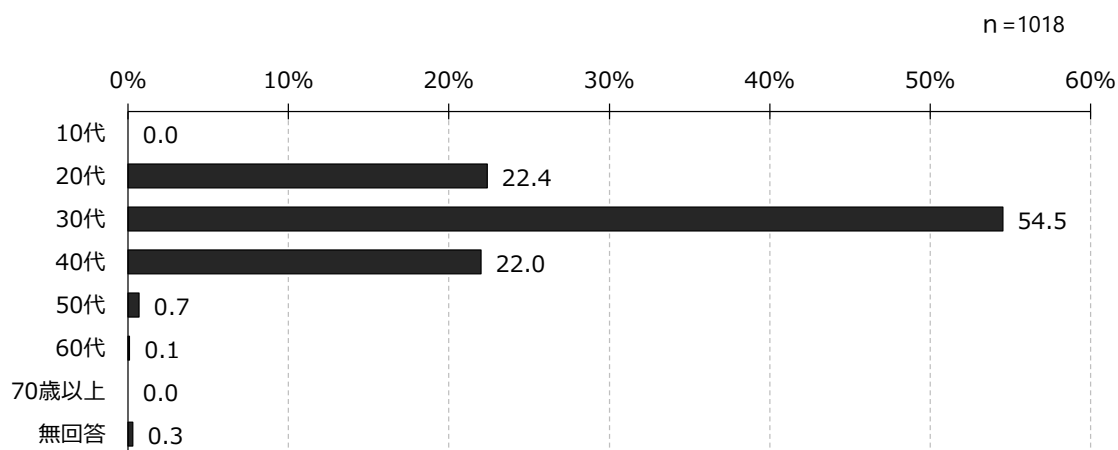
「母親」が89.5%と最も多く、「父親」が9.8%となっています。

前回調査と比較してもそれぞれの割合に大きな差がみられません。



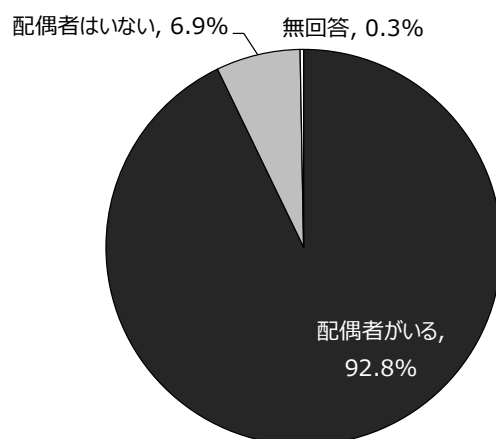
問5 この調査にご回答くださっている方の年齢を教えてください。【単数回答】

「30代」が54.5%と最も多く、「20代」が22.4%、「40代」が22.0%となっています。



問6 この調査にご回答くださっている方には、配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。【単数回答】

「配偶者がいる」が 92.8%、「配偶者はいない」が 6.9%となっています。

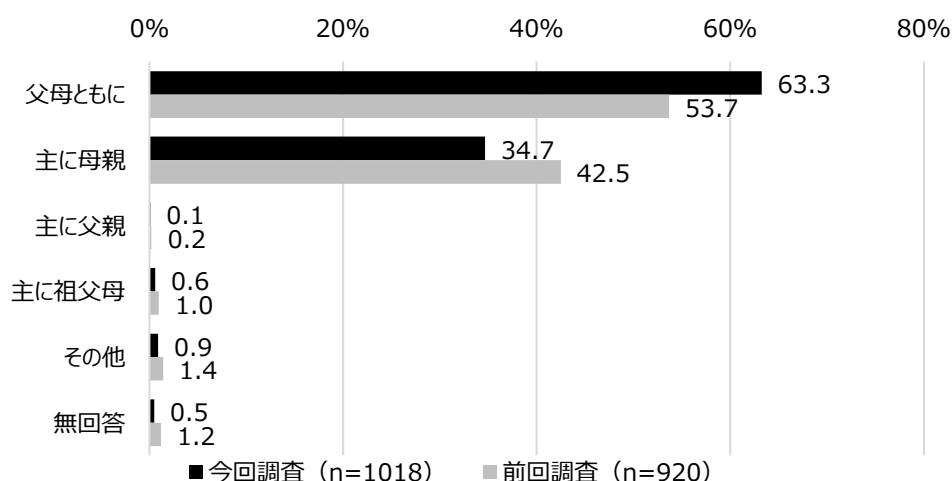


n=1018

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【単数回答】

「父母ともに」が 63.3%と最も多く、「主に母親」が 34.7%、「その他」が 0.9%、「主に祖父母」が 0.6%、「主に父親」が 0.1%となっています。

前回調査と比較すると、「父母ともに」は 9.6 ポイント増加し、「主に母親」は 7.8 ポイント減少しています。「主に父親」はほとんど変化はみられませんが、母親のみではなく父母が協力しての子育てが増えています。

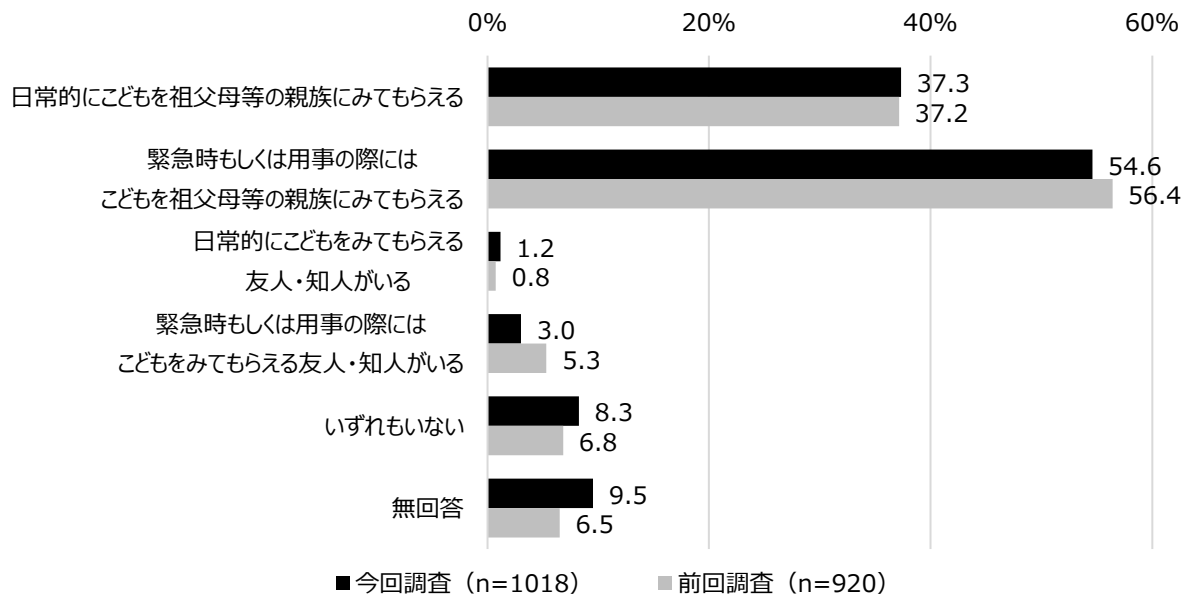


こどもの育ちを取り巻く環境について

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいですか。【複数回答】

「緊急時もしくは用事の際にはこどもを祖父母等の親族にみてもらえる」が54.6%と最も多く、「日常的にこどもを祖父母等の親族にみてもらえる」が37.3%、「いずれもない」が8.3%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が3.0%、「日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が1.2%となっています。

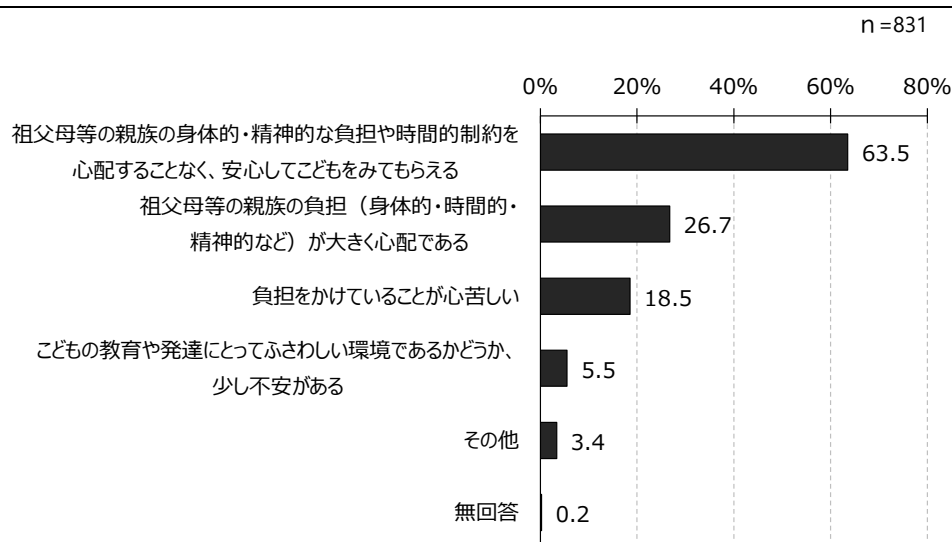
前回調査と比較すると、「いずれもない」が1.5ポイント増加しています。



問8で「1」または「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた人

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

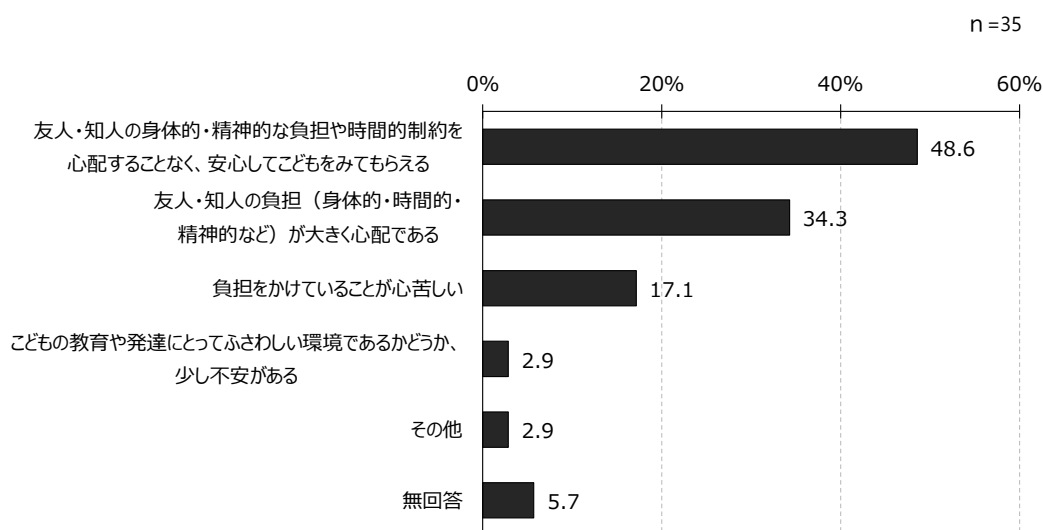
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が63.5%と最も多く、「祖父母等の親族の負担（身体的・時間的・精神的など）が大きく心配である」が26.7%、「負担をかけていることが心苦しい」が18.5%、「こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」が5.5%、「その他」が3.4%となっています。



問8で「3」または「4」(友人・知人にみてもらえる)に○をつけた人

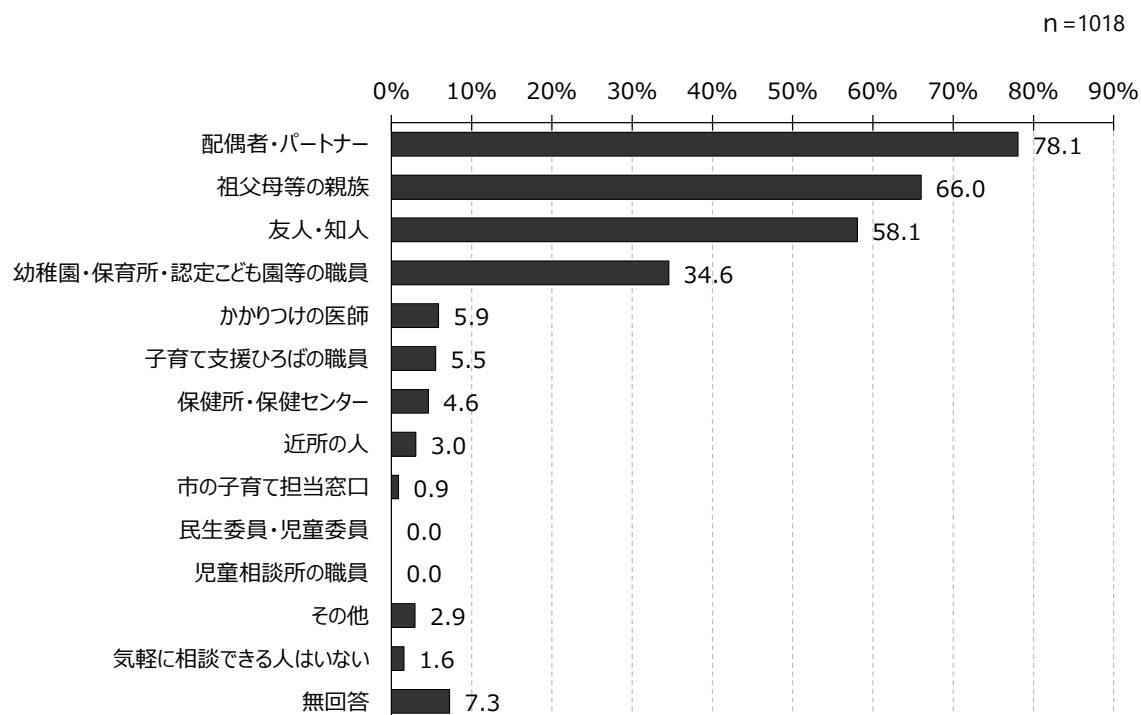
問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.6%と最も多く、「友人・知人の負担（身体的・時間的・精神的など）が大きく心配である」が34.3%、「負担をかけていることが心苦しい」が17.1%、「こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」「その他」が2.9%となっています。



問9 お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。【複数回答】

「配偶者・パートナー」が78.1%と最も多く、「祖父母等の親族」が66.0%、「友人・知人」が58.1%、「幼稚園・保育所・認定こども園等の職員」が34.6%、「かかりつけの医師」が5.9%となっています。



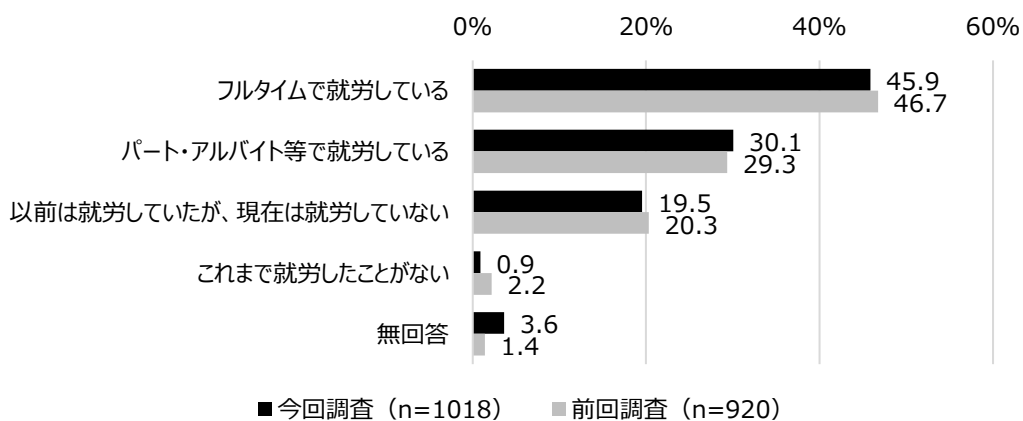
お子さんの保護者の就労状況について

問 10 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)は次のどれですか。

問 10 (1)「お母さん」について／就労状況【単数回答】

「フルタイムで就労している」が 45.9%と最も多く、「パート・アルバイト等で就労している」が 30.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 19.5%、「これまで就労したことがない」が 0.9%となっています。

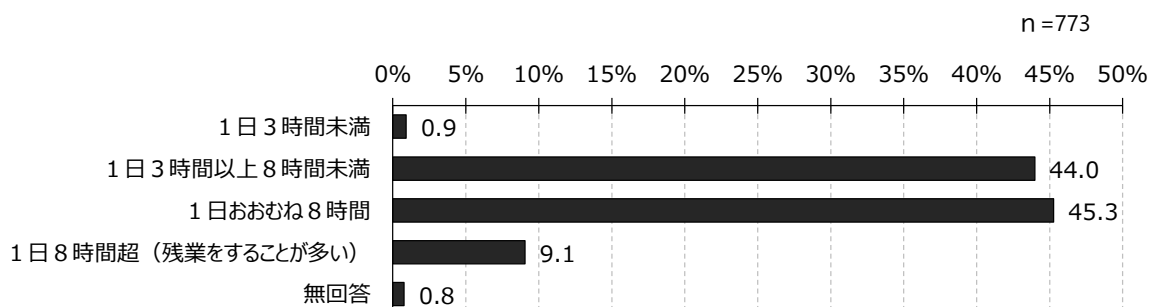
前回調査と比較すると、フルタイムでの就労が 0.8 ポイントとわずかに減少し、パート・アルバイト等での就労が 0.8 ポイントとわずかに増加しています。「これまで就労したことがない」は 1.3 ポイント減少しています。



問10(1)「お母さん」についてで「1～2」(就労している)に○をつけた人

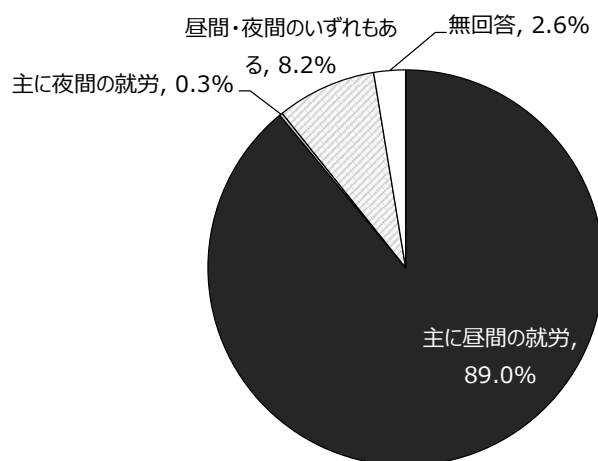
問 10 (1)-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「1日おおむね8時間」が 45.3%と最も多く、「1日3時間以上8時間未満」が 44.0%、「1日8時間超（残業をすることが多い）」が 9.1%となっています。



問 10 (1)-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「主に昼間の就労」が 89.0%と最も多く、「昼間・夜間のいずれもある」が 8.2%となっています。

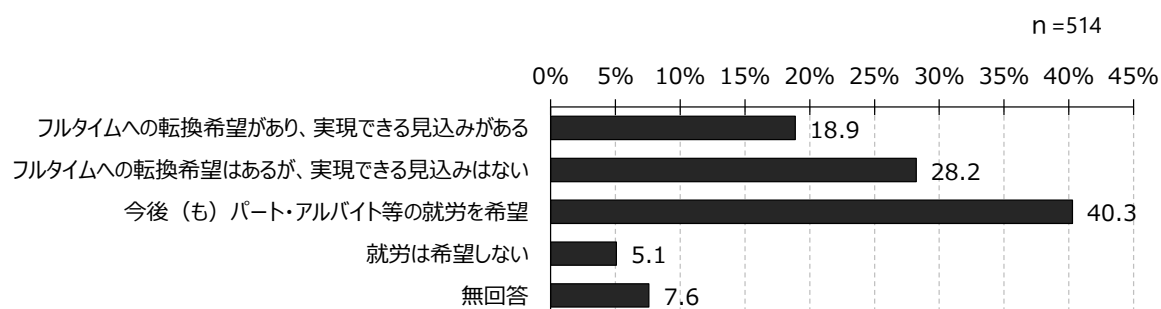


n=773

問10(1)「お母さん」についてで「2～4」(フルタイム就労以外)に○をつけた人

問 10 (1)-3 今後、フルタイム就労への転換を希望しますか。【単数回答】

「今後（も）パート・アルバイト等の就労を希望」が 40.3%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 28.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 18.9%、「就労は希望しない」が 5.1%となっています。

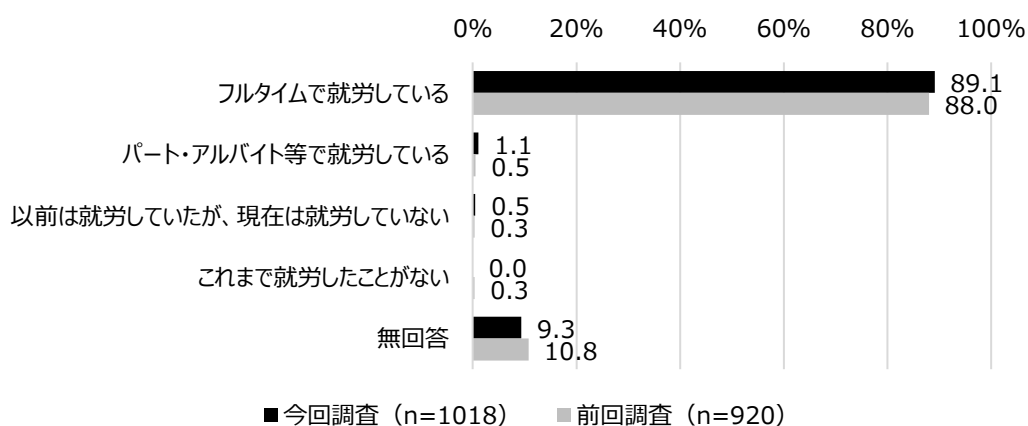


n=514

問 10 (2)「お父さん」について／就労状況【単数回答】

「フルタイムで就労している」が 89.1%と最も多く、「パート・アルバイト等で就労している」が 1.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.5%となっています。

前回調査と比較すると、フルタイムでの就労が 1.1 ポイントとわずかに増加していますが、総じて大きな変化はみられません。



問10(2)「お父さん」についてで「1～2」(就労している)に○をつけた人

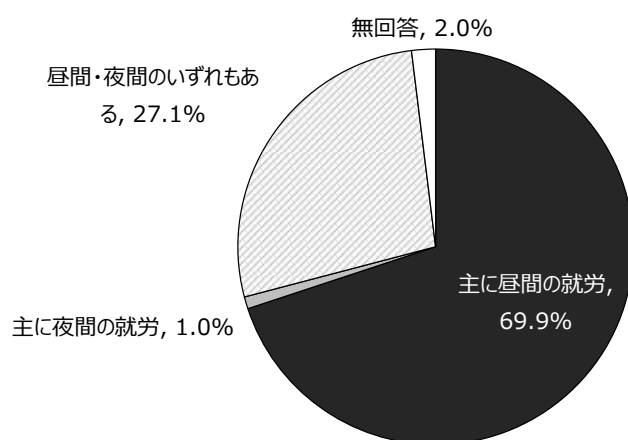
問 10 (2)-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「1日8時間超（残業をすることが多い）」が 51.6%と最も多く、「1日おおむね8時間」が 44.2%、「1日3時間以上8時間未満」が 3.1%となっています。



問 10 (2)-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「主に昼間の就労」が 69.9%と最も多く、「昼間・夜間のいずれもある」が 27.1%、「主に夜間の就労」が 1.0%となっています。

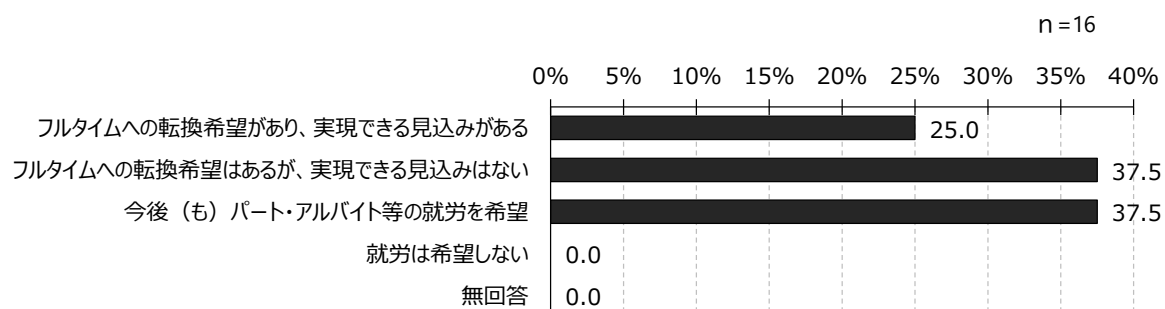


n=918

問10(2)「お父さん」についてで「2～4」(フルタイム就労以外)に○をつけた人

問 10 (2)-3 今後、フルタイム就労への転換を希望しますか。【単数回答】

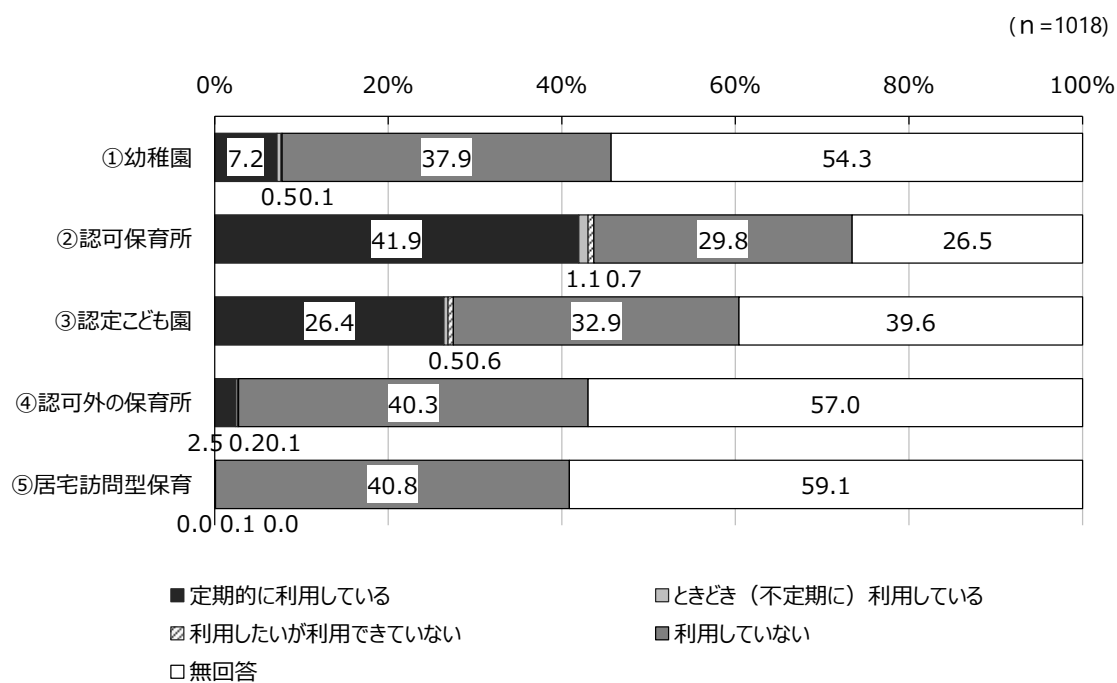
「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「今後（も）パート・アルバイト等の就労を希望」が 37.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 25.0%となっています。



お子さんの平日の定期的な保育の利用状況について

問 11 お子さんは現在、定期的に次の事業を利用していますか。【単数回答】

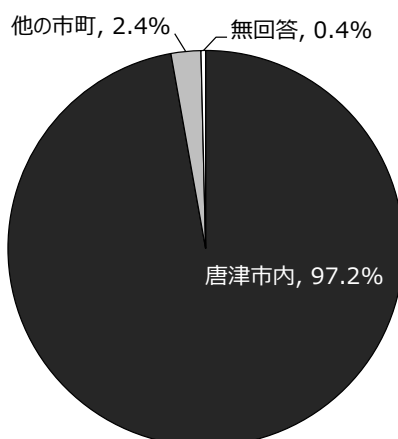
「定期的に利用している」は「②認可保育園」で 41.9%、「③認定こども園」で 26.4%、「①幼稚園」で 7.2%となっています。



問11のいずれかの事業で「1. 定期的にご利用している」に○をつけた人

問 11-1 最も多く利用している保育事業の実施場所はどこですか。【単数回答】

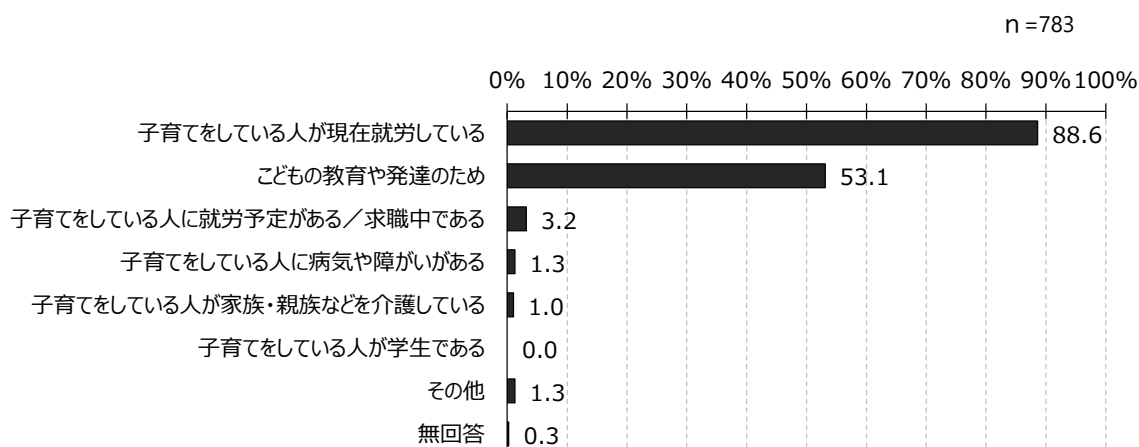
「唐津市内」が 97.2%、「他の市町」が 2.4%となっています。



n=783

問 11-2 平日に定期的に保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由は、次のどれですか。【複数回答】

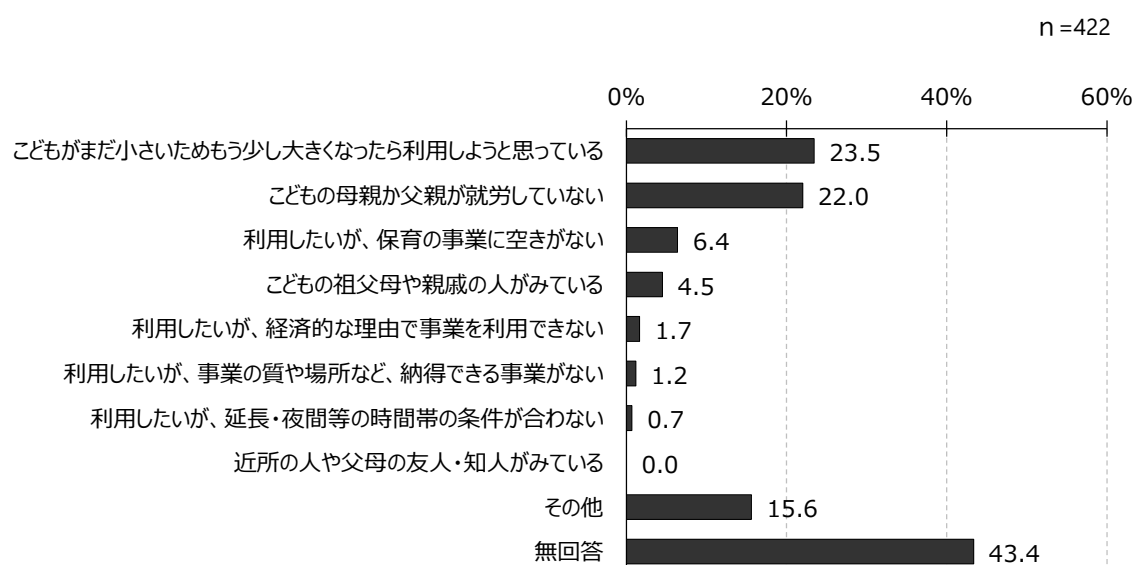
「子育てをしている人が現在就労している」が 88.6%と最も多く、「こどもの教育や発達のため」が 53.1%、「子育てをしている人に就労予定がある／求職中である」が 3.2%、「子育てをしている人に病気や障がいがある」「その他」が 1.3%となっています。



問11のいずれかの事業で「3. 利用したいが利用できていない」「4. 利用していない」に○をつけた人

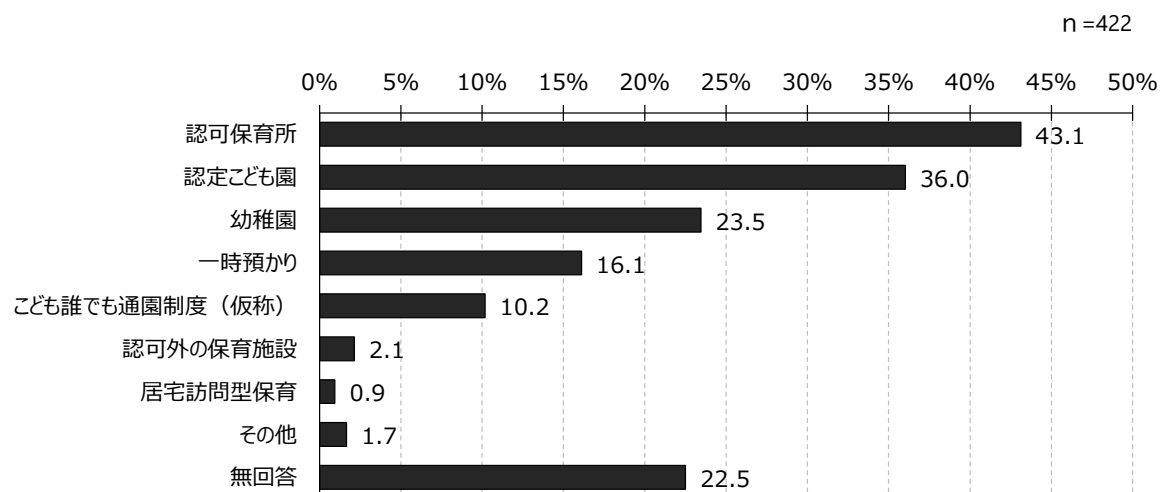
問 11-3 利用できていない・利用していない理由は何ですか。【複数回答】

「こどもがまだ小さいためもう少し大きくなったら利用しようと思っている。」が 23.5%と最も多く、「こどもの母親か父親が就労していない」が 22.0%、「その他」が 15.6%、「利用したいが、保育の事業に空きがない」が 6.4%、「こどもの祖父母や親戚の人がみている」が 4.5%となっています。



問 11-4 あて名のお子さんの平日の保育の事業として利用したいと考える事業をお答えください。
【複数回答】

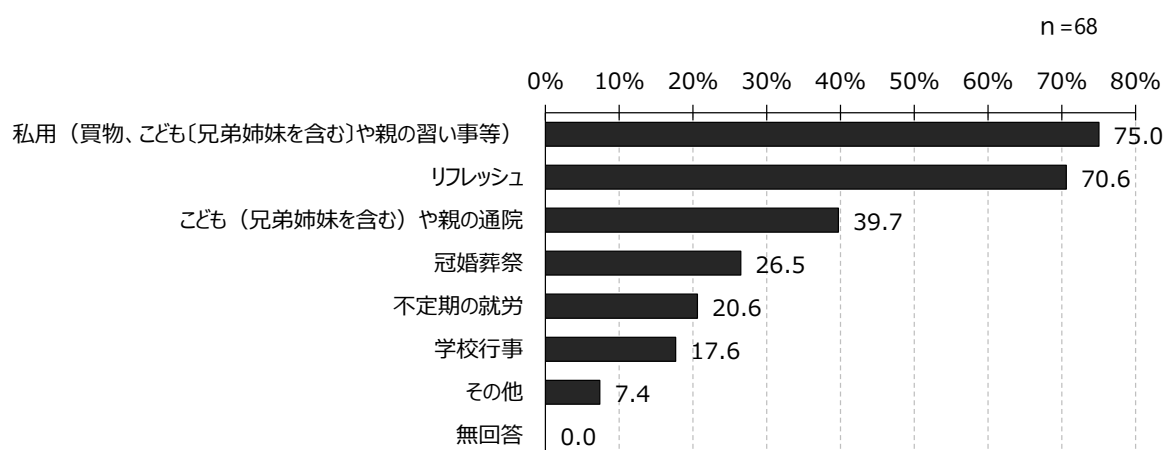
「認可保育所」が 43.1%と最も多く、「認定こども園」が 36.0%、「幼稚園」が 23.5%、「一時預かり」が 16.1%、「こども誰でも通園制度（仮称）」が 10.2%となっています。



問11-4で「一時預かり」に○をつけた人

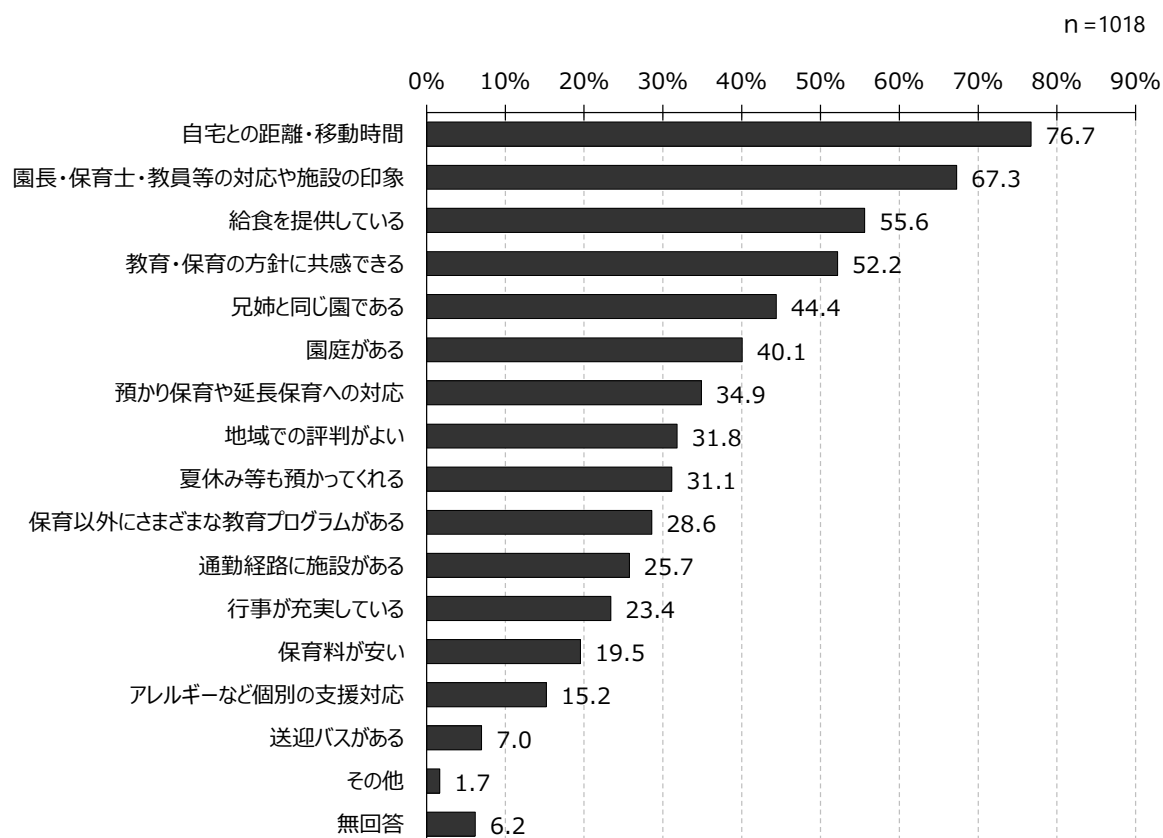
問 11-5 どのような目的で一時預かりを利用したいと思いますか。【複数回答】

「私用（買物、こども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）」が 75.0%と最も多く、「リフレッシュ」が 70.6%、「こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院」が 39.7%、「冠婚葬祭」が 26.5%、「不定期の就労」が 20.6%となっています。



問 12 保育事業(施設)を選ぶ際に、重視することは何ですか。【複数回答】

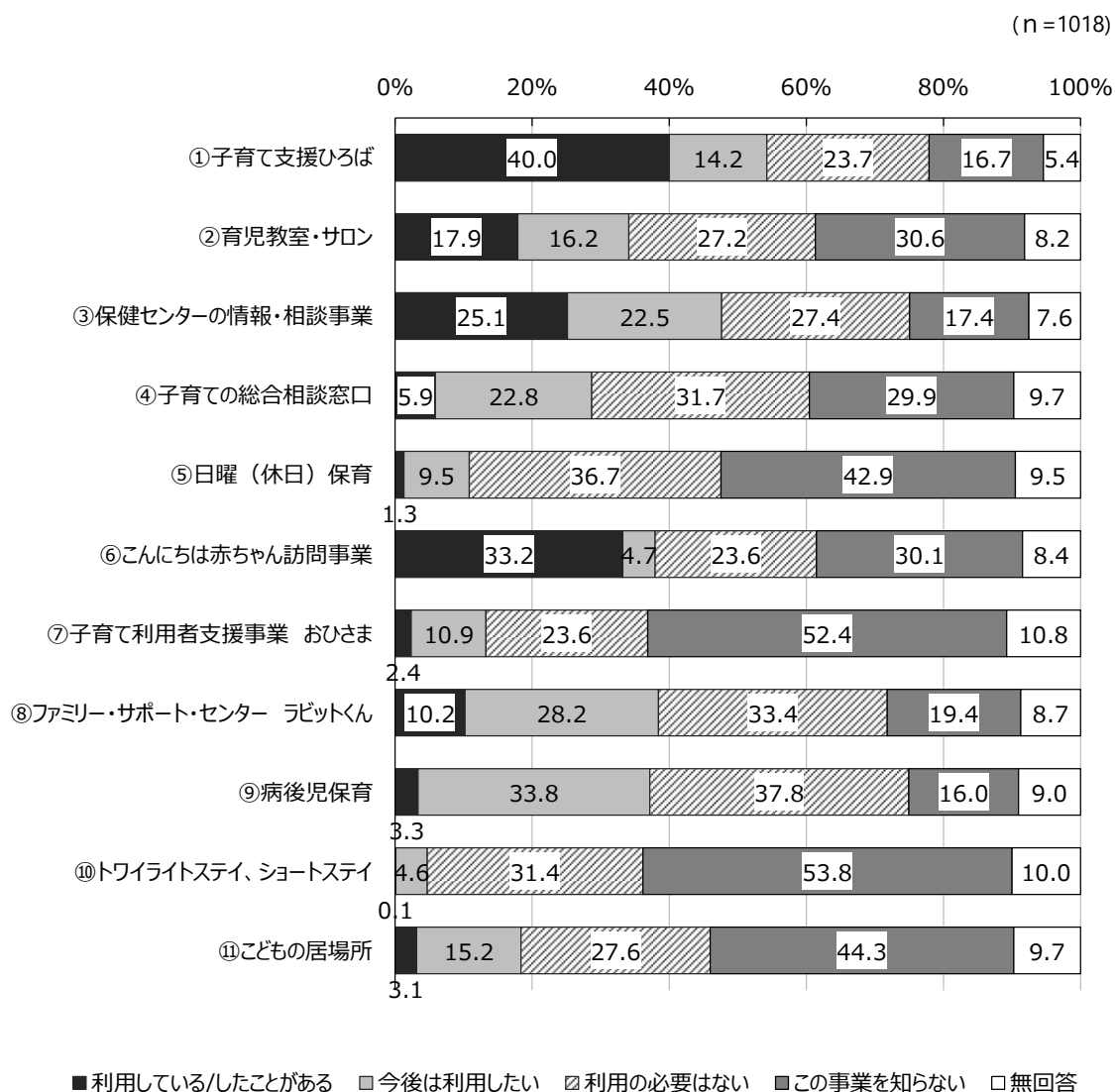
「自宅との距離・移動時間」が76.7%と最も多く、「園長・保育士・教員等の対応や施設の印象」が67.3%、「給食を提供している」が55.6%、「教育・保育の方針に共感できる」が52.2%、「兄弟と同じ園である」が44.4%となっています。



お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 13 次の事業で知っているものや、利用の状況・希望をお答えください。【単数回答】

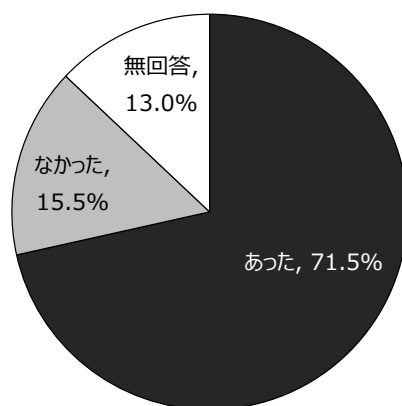
「利用している／したことがある」は、「①子育て支援ひろば」が 40.0%、「⑥こんにちは赤ちゃん訪問事業」が 33.2%、「③保健センターの情報・相談事業」が 25.1%となっています。



お子さんの病気等の際の対応について（平日の保育を利用する方のみ）

問 14 過去 1 年の間でお子さんが病気やケガで平日の保育所等を利用できなかったことはありましたか。【単数回答】

「あった」が 71.5%、「なかった」が 15.5%となっています。

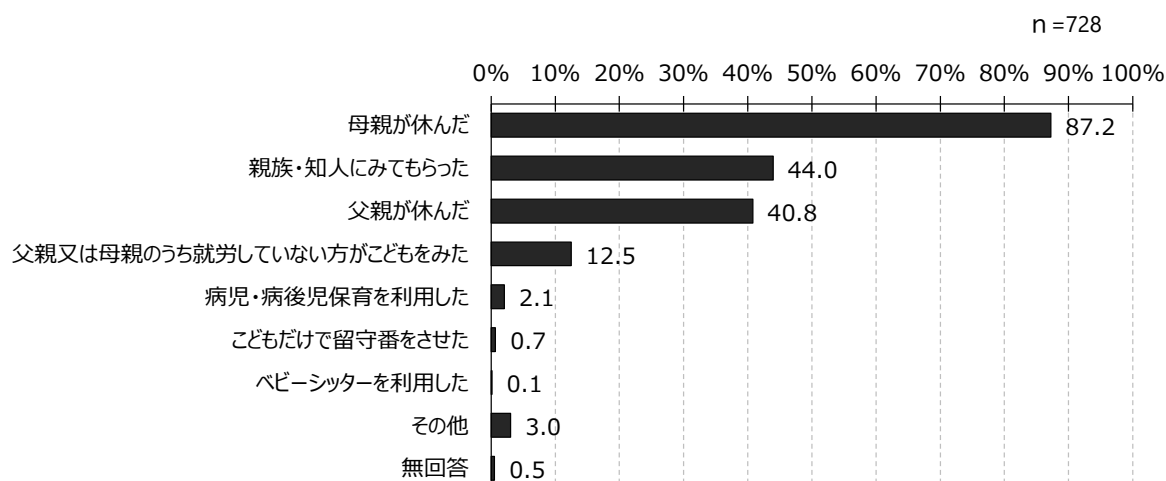


n=1018

問14で「あった」に○をつけた人

問 14-1 お子さんが病気やケガの際、どのように対応しましたか。【複数回答】

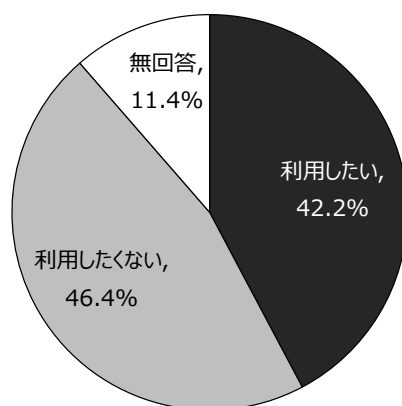
「母親が休んだ」が 87.2%と最も多く、「親族・知人にみてもらった」が 44.0%、「父親が休んだ」が 40.8%、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」が 12.5%、「その他」が 3.0%となっています。



n = 728

問 15 お子さんが病気やケガで平日の保育所等を利用できない場合に病児保育を利用したいと思いますか。【単数回答】

「利用したい」が42.2%、「利用したくない」が46.4%となっています。

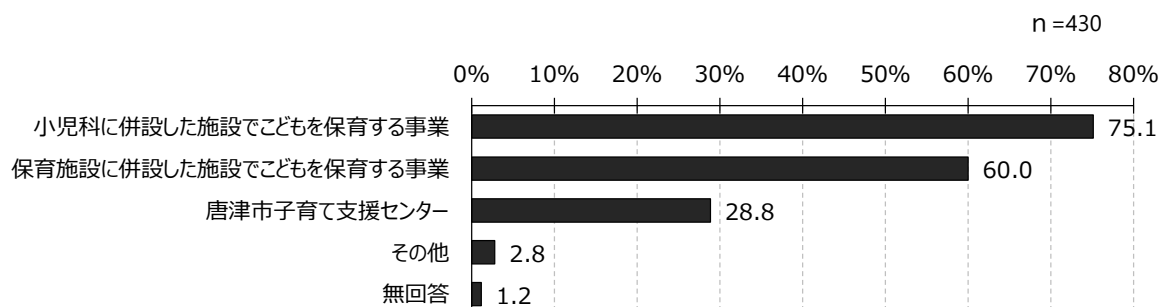


n=1018

問15で「利用したい」に○をつけた人

問 15-1 病児保育を利用する場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

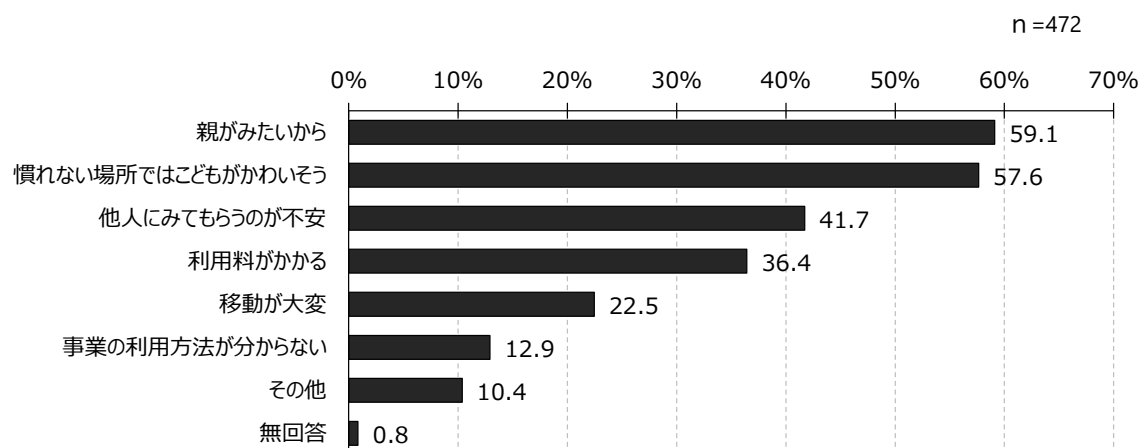
「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」が75.1%と最も多く、「保育施設に併設した施設でこどもを保育する事業」が60.0%、「唐津市子育て支援センター」が28.8%、「その他」が2.8%となっています。



問15で「利用したくない」に○をつけた人

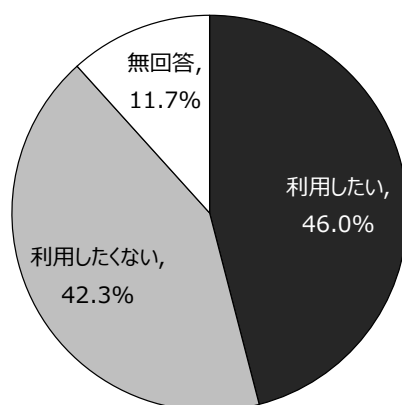
問 15-2 病児保育を利用したくない理由は何ですか。【複数回答】

「親がみたいから」が59.1%と最も多く、「慣れない場所ではこどもがかわいそう」が57.6%、「他人にみてもらうのが不安」が41.7%、「利用料がかかる」が36.4%、「移動が大変」が22.5%となっています。



問 16 お子さんが病気やケガで平日の保育所等を利用できない場合に病後児保育を利用したいですか。【単数回答】

「利用したい」が46.0%、「利用したくない」が42.3%となっています。



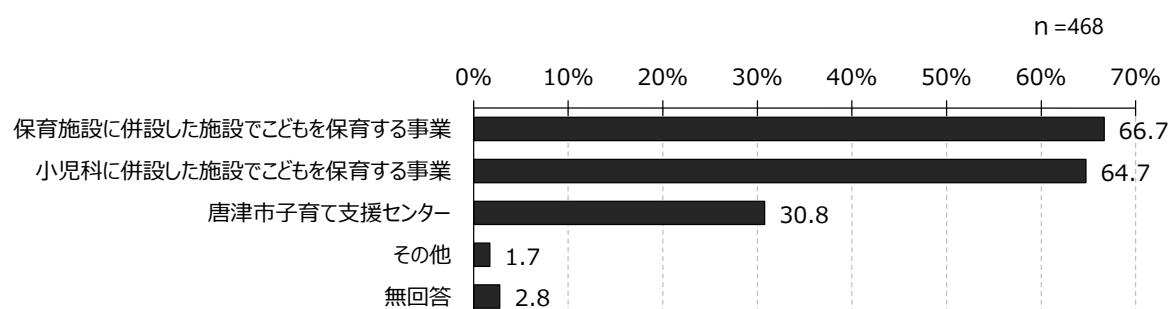
n=1018

問16で「利用したい」に○をつけた人

問 16-1 病後児保育を利用する場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

【複数回答】

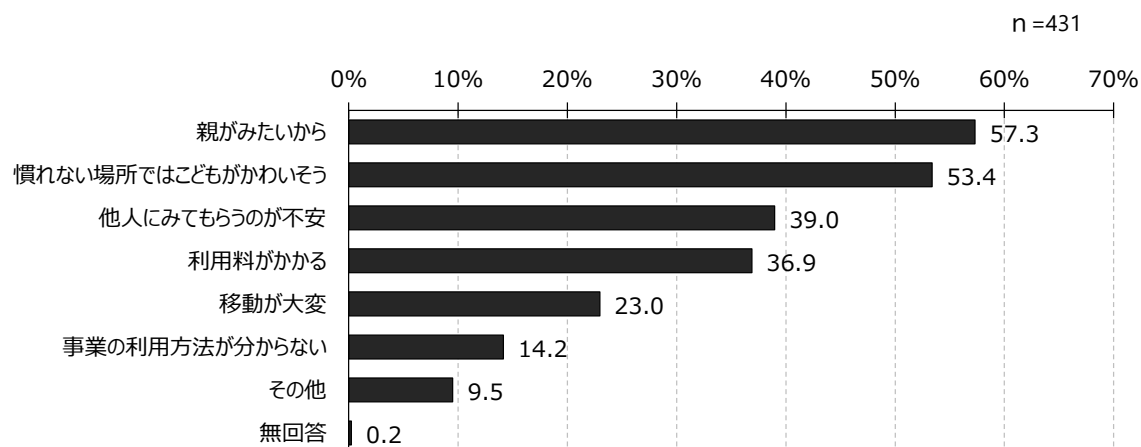
「保育施設に併設した施設でこどもを保育する事業」が 66.7%と最も多く、「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」が 64.7%、「唐津市子育て支援センター」が 30.8%、「その他」が 1.7%となっています。



問16で「利用したくない」に○をつけた人

問 16-2 病後児保育を利用したくない理由は何ですか。【複数回答】

「親がみたいから」が 57.3%と最も多く、「慣れない場所ではこどもがかわいそう」が 53.4%、「他人にみてもらうのが不安」が 39.0%、「利用料がかかる」が 36.9%、「移動が大変」が 23.0%となっています。

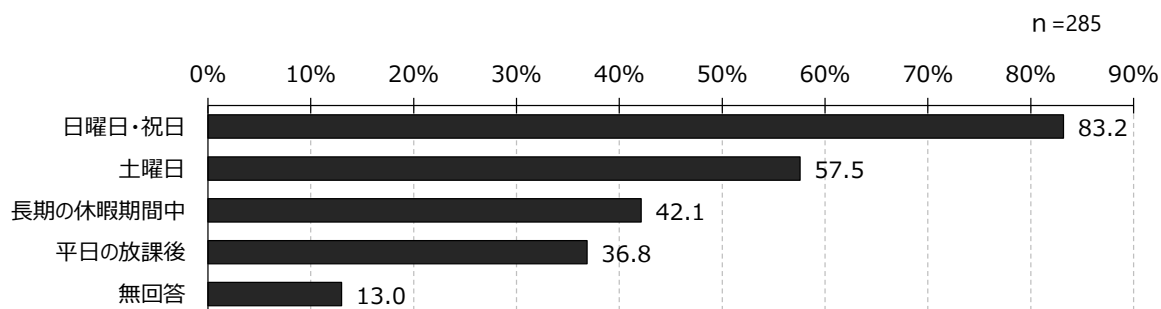


お子さんの小学校就学後の放課後等の過ごし方について

問 17 お子さんが小学校に入ってから、低学年(1～3年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

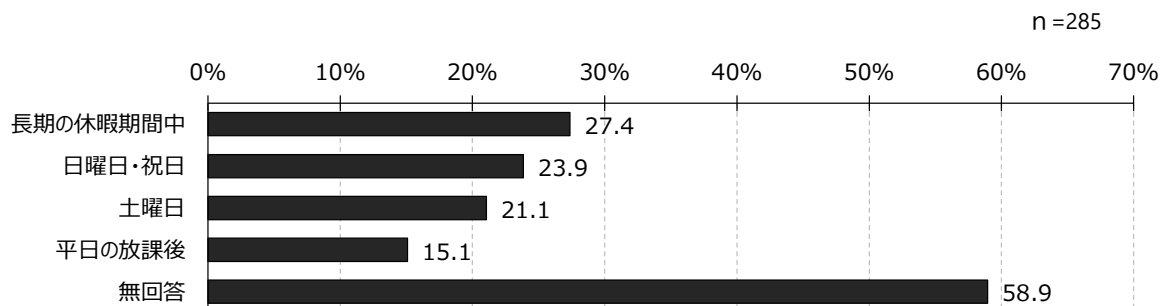
問 17 ①自宅【複数回答】

「日曜日・祝日」が 83.2%と最も多く、「土曜日」が 57.5%、「長期の休暇期間中」が 42.1%、「平日の放課後」が 36.8%となっています。



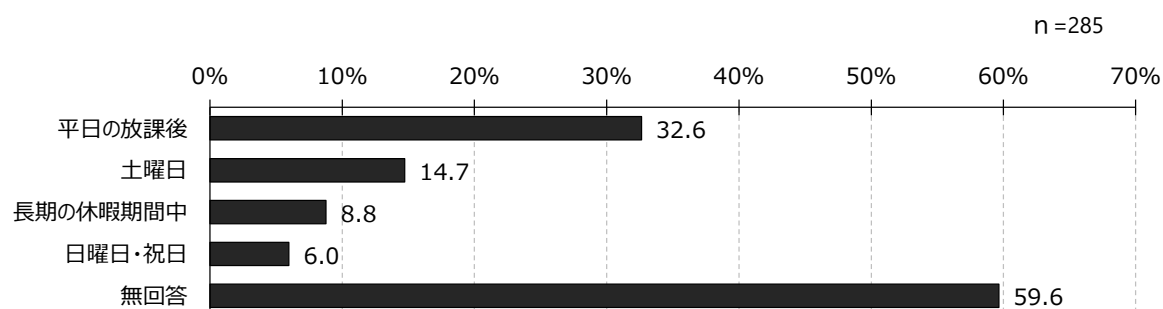
問 17 ②祖父母宅や友人・知人宅【複数回答】

「長期の休暇期間中」が 27.4%と最も多く、「日曜日・祝日」が 23.9%、「土曜日」が 21.1%、「平日の放課後」が 15.1%となっています。



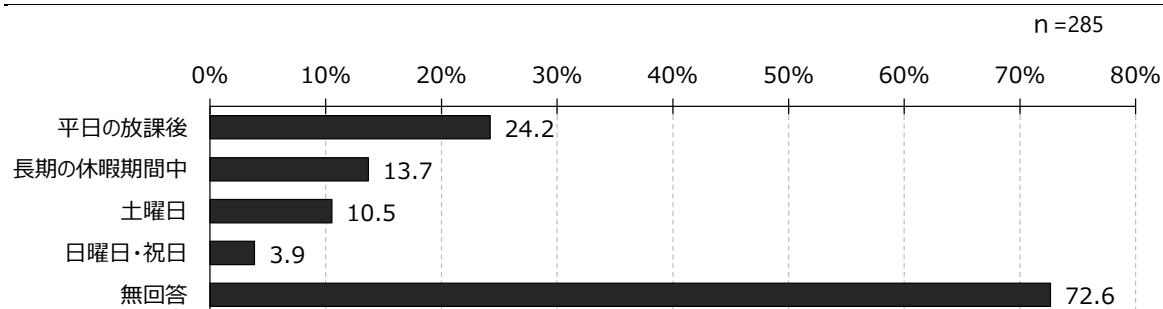
問 17 ③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)【複数回答】

「平日の放課後」が 32.6%と最も多く、「土曜日」が 14.7%、「長期の休暇期間中」が 8.8%、「日曜日・祝日」が 6.0%となっています。



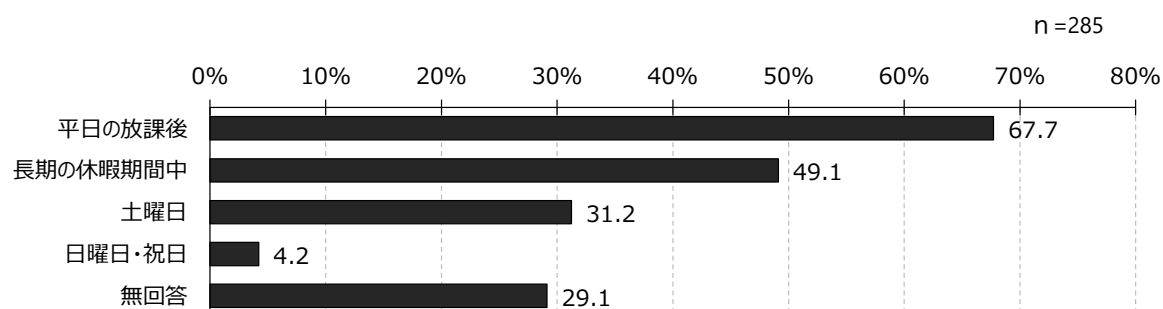
問 17 ④放課後子ども教室【複数回答】

「平日の放課後」が 24.2%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 13.7%、「土曜日」が 10.5%、「日曜日・祝日」が 3.9%となっています。



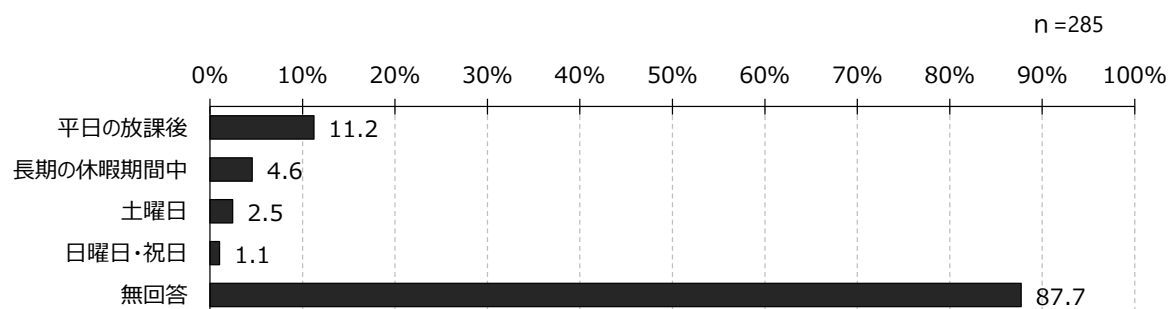
問 17 ⑤放課後児童クラブ【複数回答】

「平日の放課後」が 67.7%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 49.1%、「土曜日」が 31.2%、「日曜日・祝日」が 4.2%となっています。



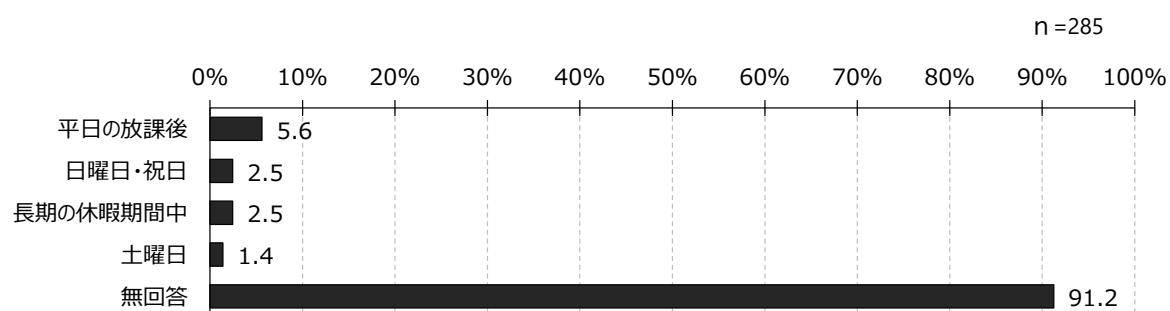
問 17 ⑥放課後等デイサービス【複数回答】

「平日の放課後」が11.2%と最も多く、「長期の休暇期間中」が4.6%、「土曜日」が2.5%、「日曜日・祝日」が1.1%となっています。



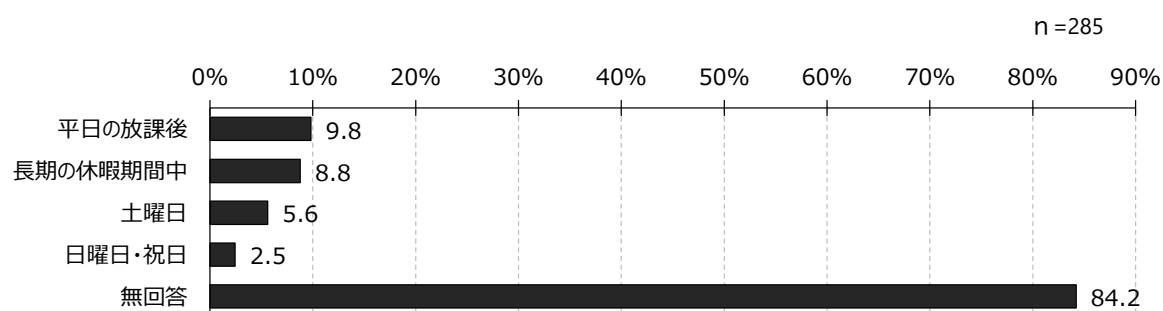
問 17 ⑦ファミリー・サポート・センター（ラビットくん）【複数回答】

「平日の放課後」が5.6%と最も多く、「日曜日・祝日」「長期の休暇期間中」が2.5%、「土曜日」が1.4%となっています。



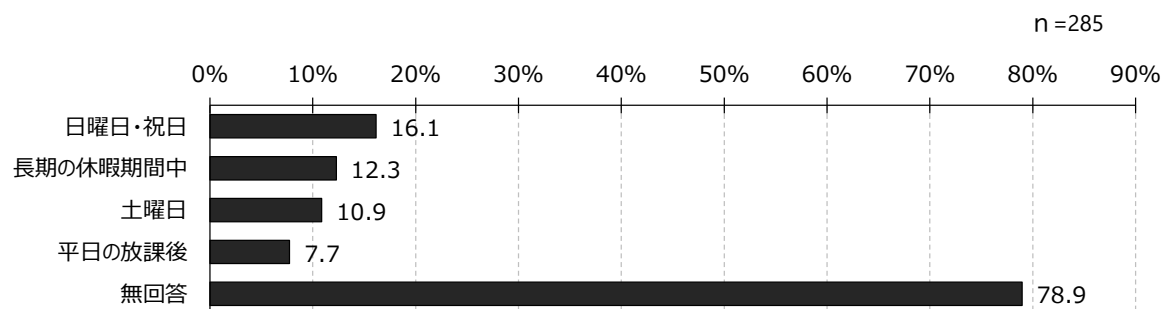
問 17 ⑧こどもの居場所【複数回答】

「平日の放課後」が9.8%と最も多く、「長期の休暇期間中」が8.8%、「土曜日」が5.6%、「日曜日・祝日」が2.5%となっています。



問 17 ⑨その他（公民館、公園など）【複数回答】

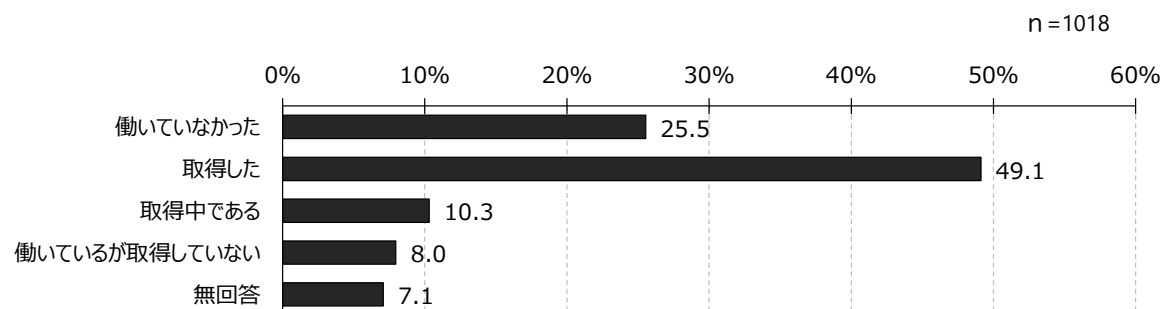
「日曜日・祝日」が 16.1%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 12.3%、「土曜日」が 10.9%、「平日の放課後」が 7.7%となっています。



育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 18 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。／お母さん【単数回答】

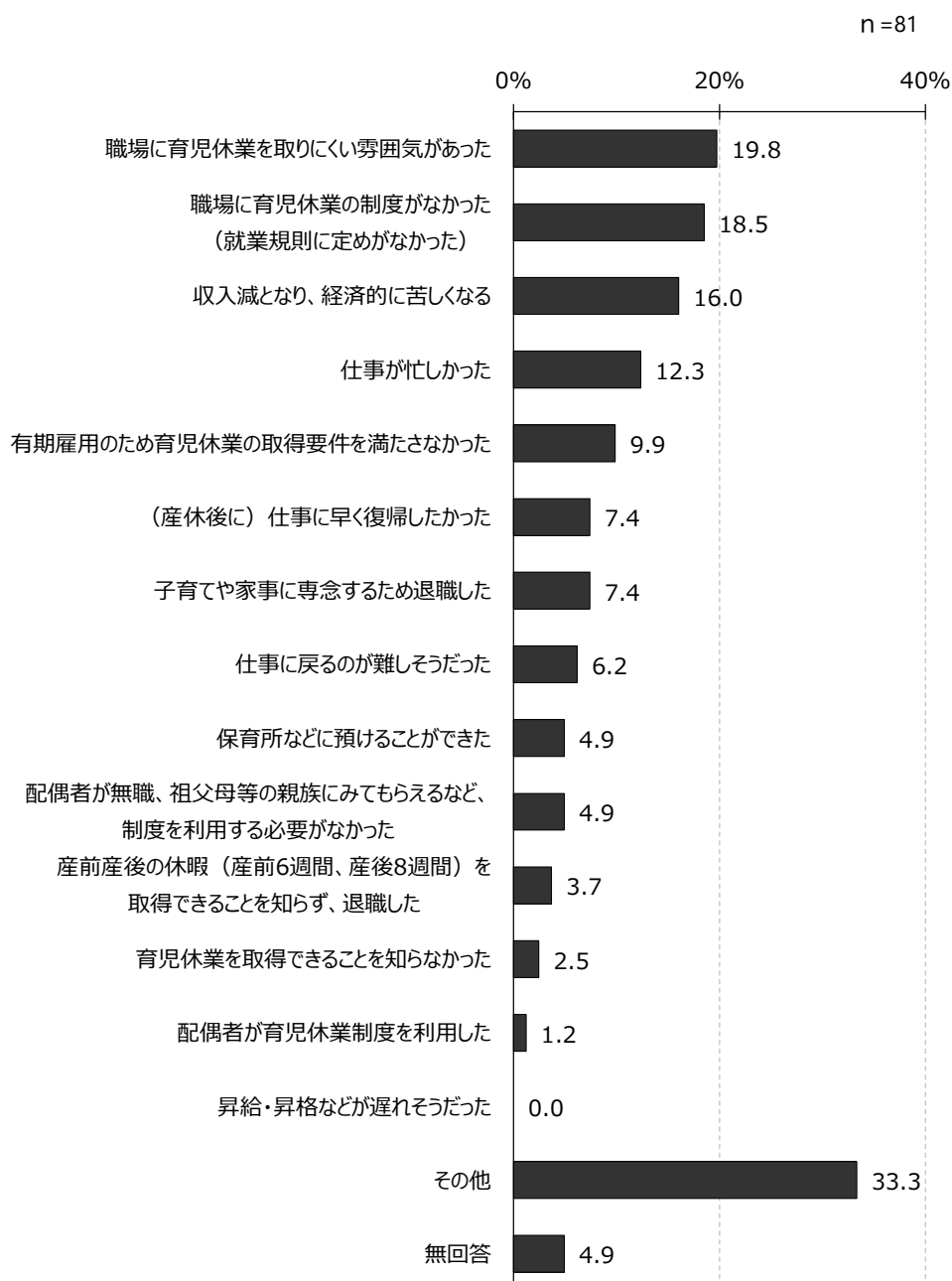
「取得した」が 49.1%と最も多く、「働いていなかった」が 25.5%、「取得中である」が 10.3%、「働いているが取得していない」が 8.0%となっています。



取得していない人

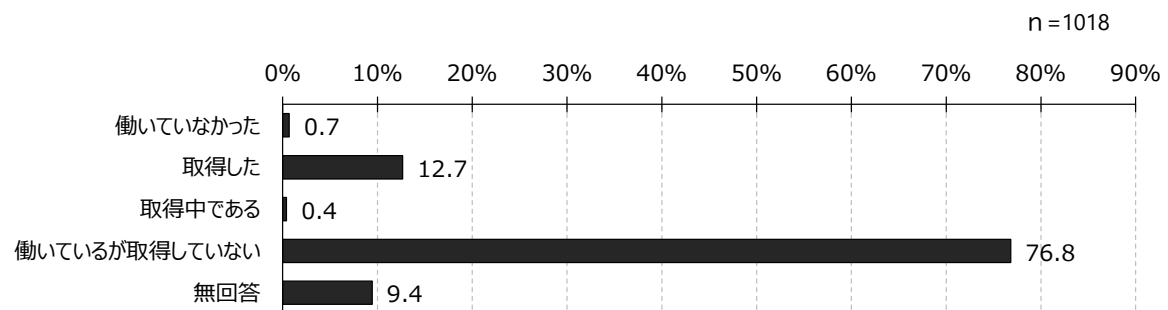
問 18 取得していない理由／お母さん【複数回答】

「その他」が 33.3% と最も多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 19.8%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 18.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 16.0%、「仕事が忙しかった」が 12.3% となっています。



問 18 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。／お父さん【単数回答】

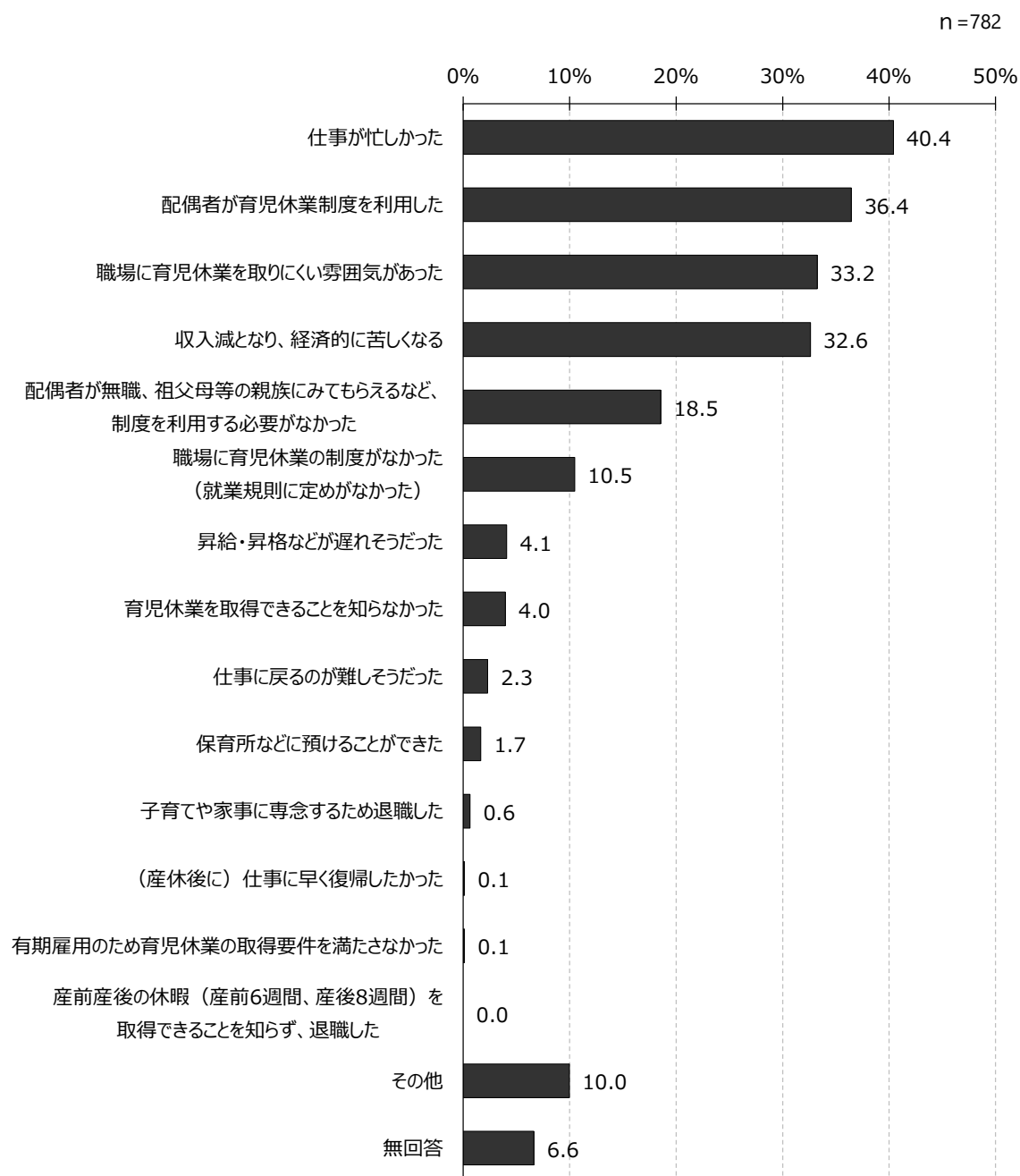
「働いているが取得していない」が 76.8%と最も多く、「取得した」が 12.7%、「働いていなかった」が 0.7%、「取得中である」が 0.4%となっています。



取得していない人

問 18 取得していない理由／お父さん【複数回答】

「仕事が忙しかった」が40.4%と最も多く、「配偶者が育児休業制度を利用した」が36.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が32.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が18.5%となっています。

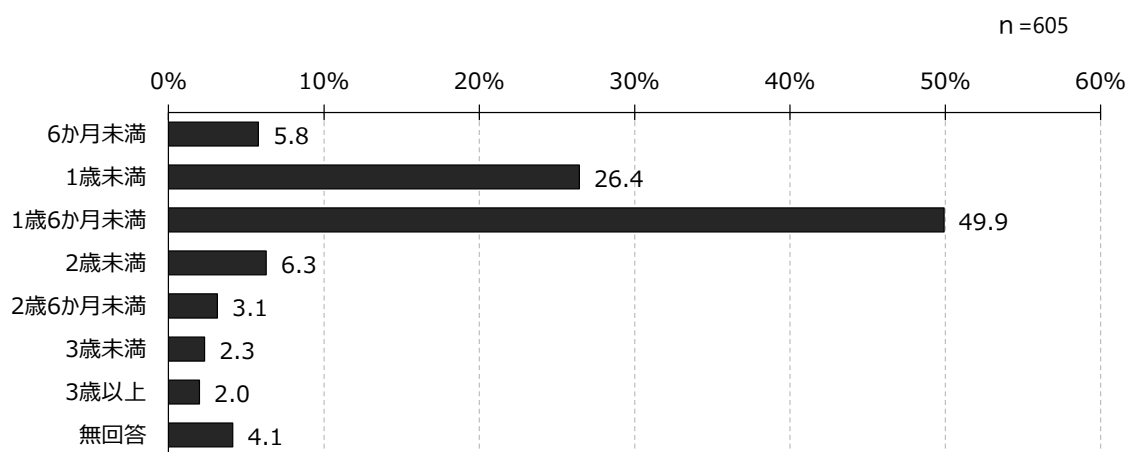


問18で「取得した」「取得中である」に○をつけた人

問 18-1 実際に、お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

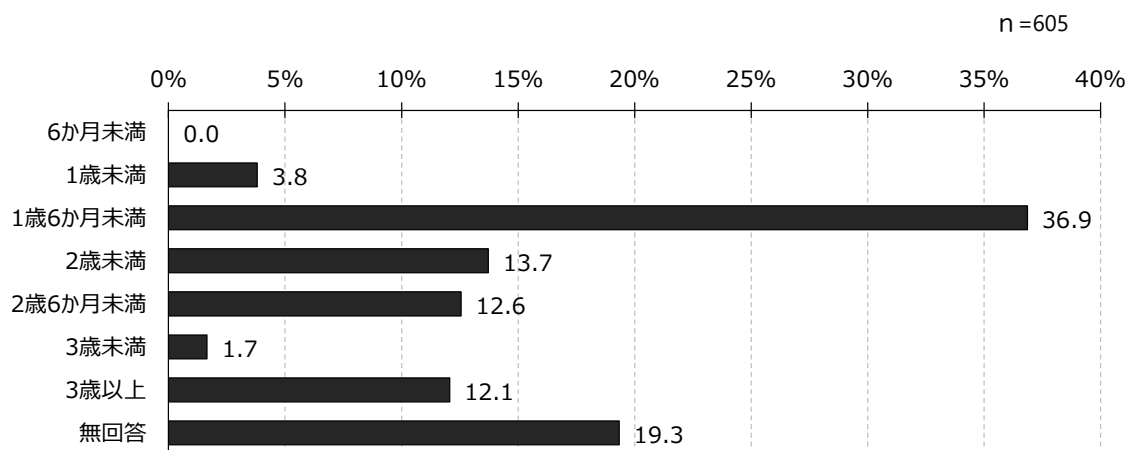
問 18-1 実際の取得期間／(1)お母さん【数値記入】

「1歳6か月未満」が49.9%と最も多く、「1歳未満」が26.4%、「2歳未満」が6.3%、「6か月未満」が5.8%、「2歳6か月未満」が3.1%となっています。



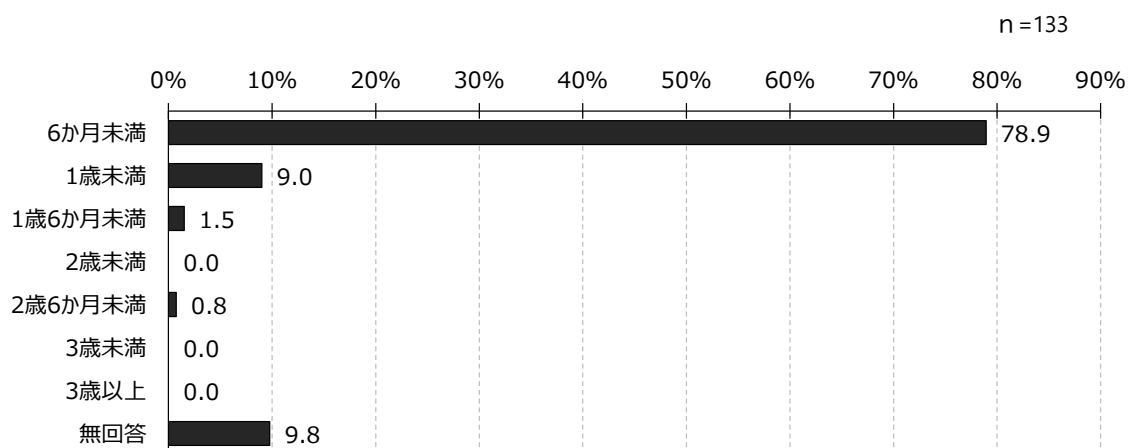
問 18-1 希望の取得期間／(1)お母さん【数値記入】

「1歳6か月未満」が36.9%と最も多く、「2歳未満」が13.7%、「2歳6か月未満」が12.6%、「3歳以上」が12.1%、「1歳未満」が3.8%となっています。



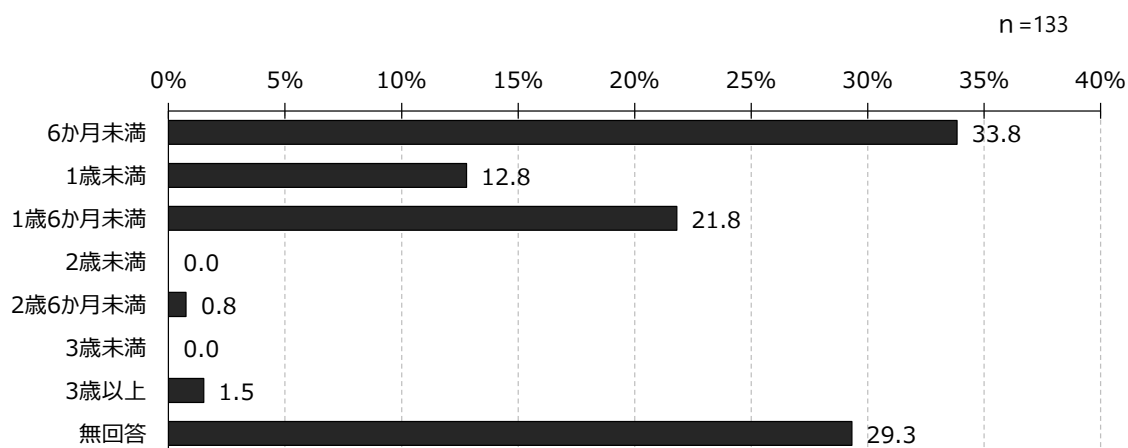
問 18-1 実際の取得期間／(2)お父さん【数値記入】

「6 か月未満」が 78.9%と最も多く、「1 歳未満」が 9.0%、「1 歳 6 か月未満」が 1.5%となっています。



問 18-1 希望の取得期間／(2)お父さん【数値記入】

「6 か月未満」が 33.8%と最も多く、「1 歳 6 か月未満」が 21.8%、「1 歳未満」が 12.8%、「3 歳以上」が 1.5%となっています。

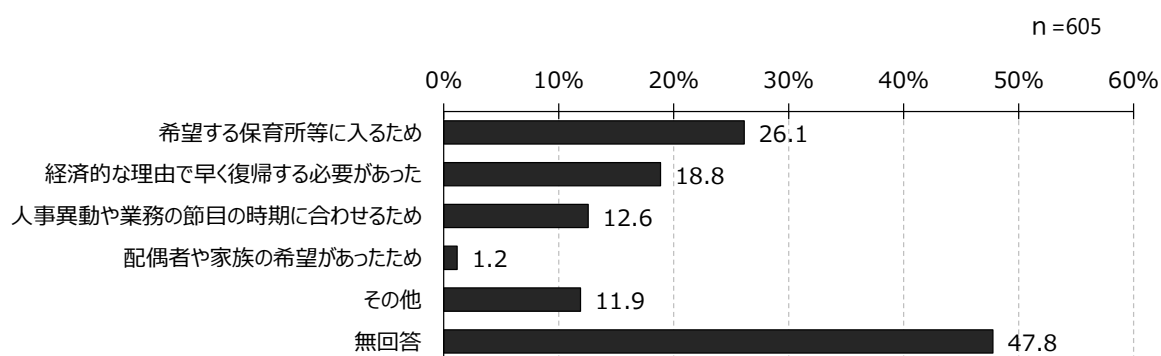


問18-1で実際の復帰と希望が異なる人

問 18-2 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

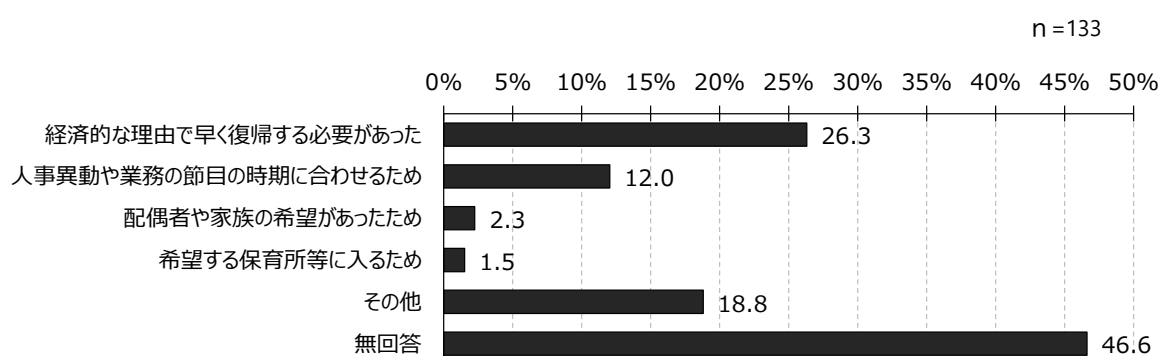
問 18-2 (1)「希望」より早く復帰した人／①お母さん【複数回答】

「希望する保育所等に入るため」が26.1%と最も多く、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が18.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が12.6%、「その他」が11.9%、「配偶者や家族の希望があったため」が1.2%となっています。



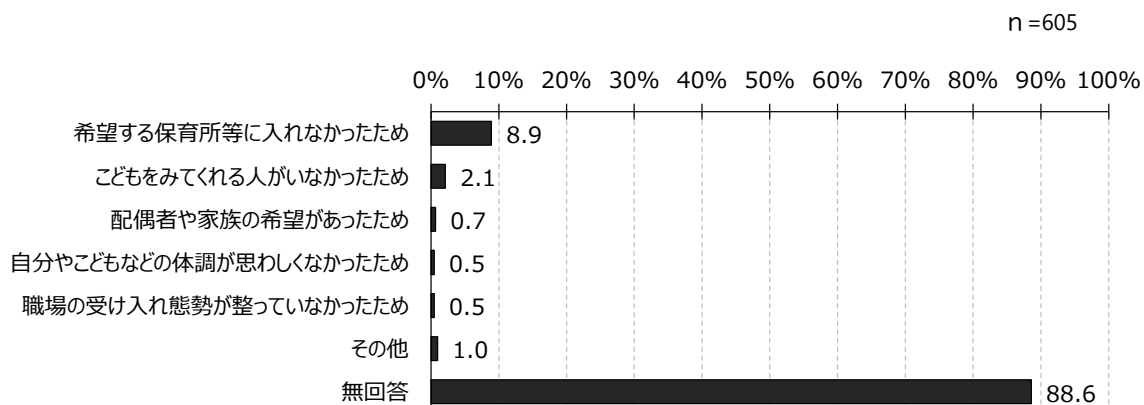
問 18-2 (1)「希望」より早く復帰した人／②お父さん【複数回答】

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が26.3%と最も多く、「その他」が18.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が12.0%、「配偶者や家族の希望があったため」が2.3%、「希望する保育所等に入るため」が1.5%となっています。



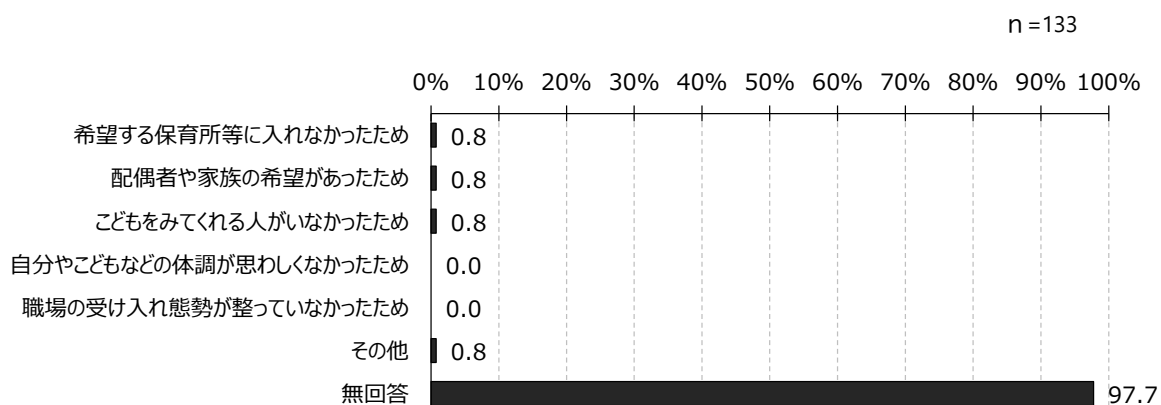
問 18-2 (2)「希望」より遅く復帰した人／①お母さん【複数回答】

「希望する保育所等に入れなかったため」が 8.9%と最も多く、「こどもをみてくれる人がいなかったため」が 2.1%、「その他」が 1.0%となっています。



問 18-2 (2)「希望」より遅く復帰した人／②お父さん【複数回答】

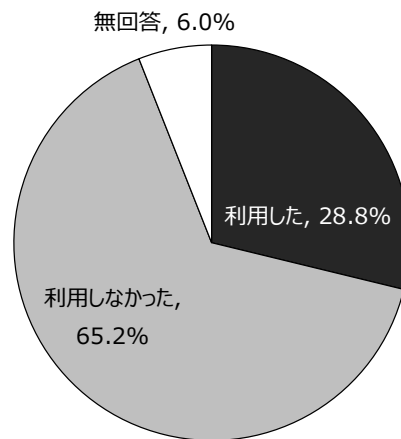
「希望する保育所等に入れなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」「こどもをみてくれる人がいなかったため」「その他」がそれぞれ 0.8%となっています。



問18で「取得した」に○をつけた人で、取得後、職場に復帰した人

問 18-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。／(1)お母さん
【単数回答】

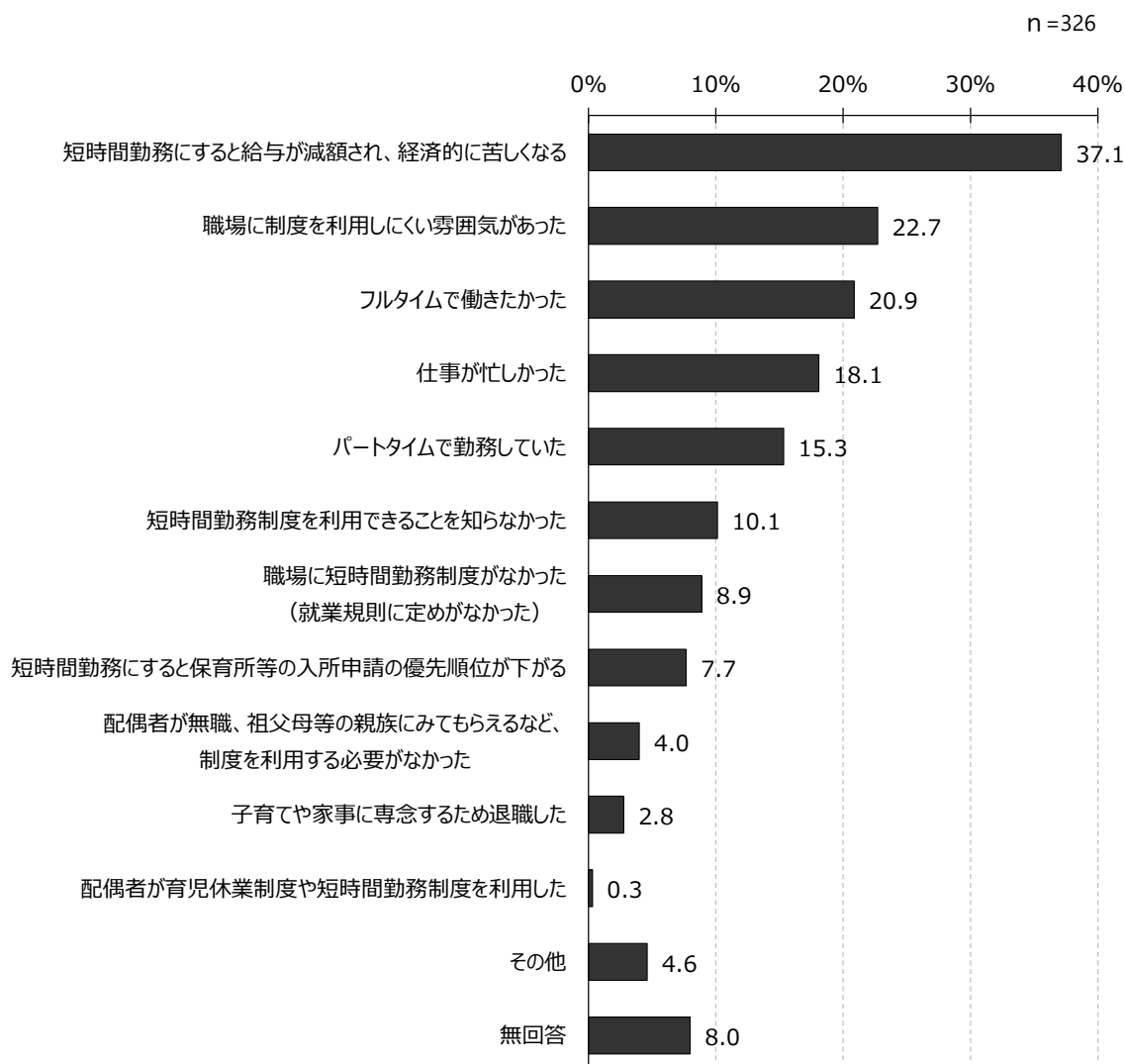
「利用した」が28.8%、「利用しなかった」が65.2%となっています。



n=500

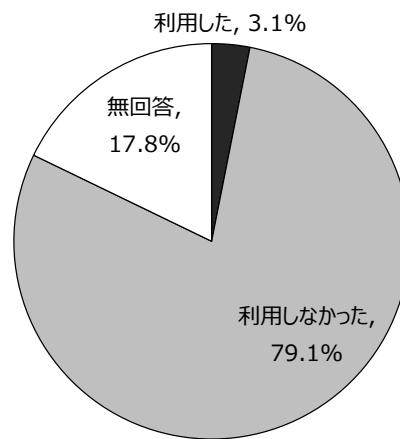
問 18-3 利用しなかった理由／(1)お母さん【複数回答】

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が37.1%と最も多く、「職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が22.7%、「フルタイムで働きたかった」が20.9%、「仕事が忙しかった」が18.1%、「パートタイムで勤務していた」が15.3%となっています。



問 18-3 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。／(2)お父さん
【単数回答】

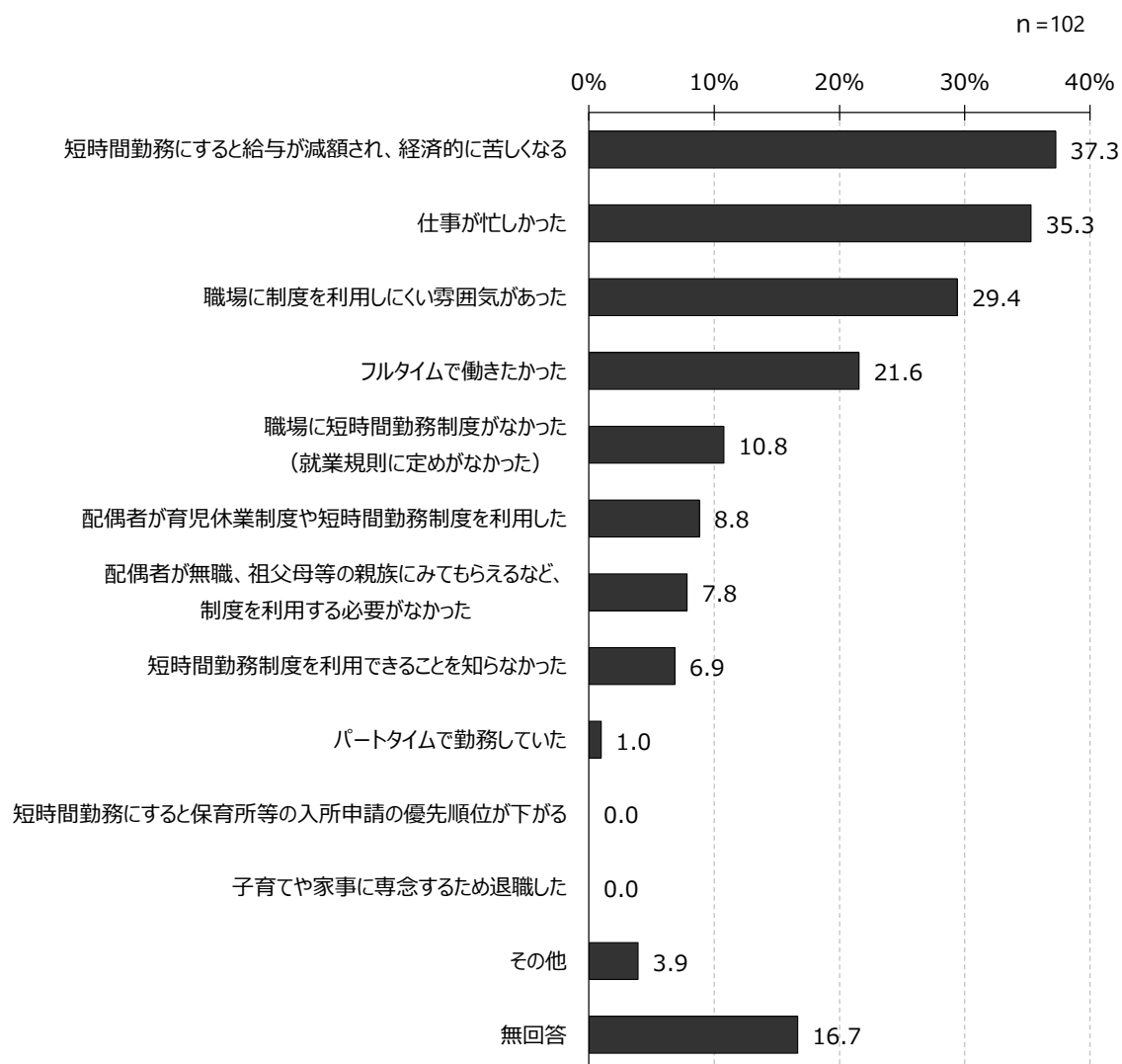
「利用した」が3.1%、「利用しなかった」が79.1%となっています。



n=129

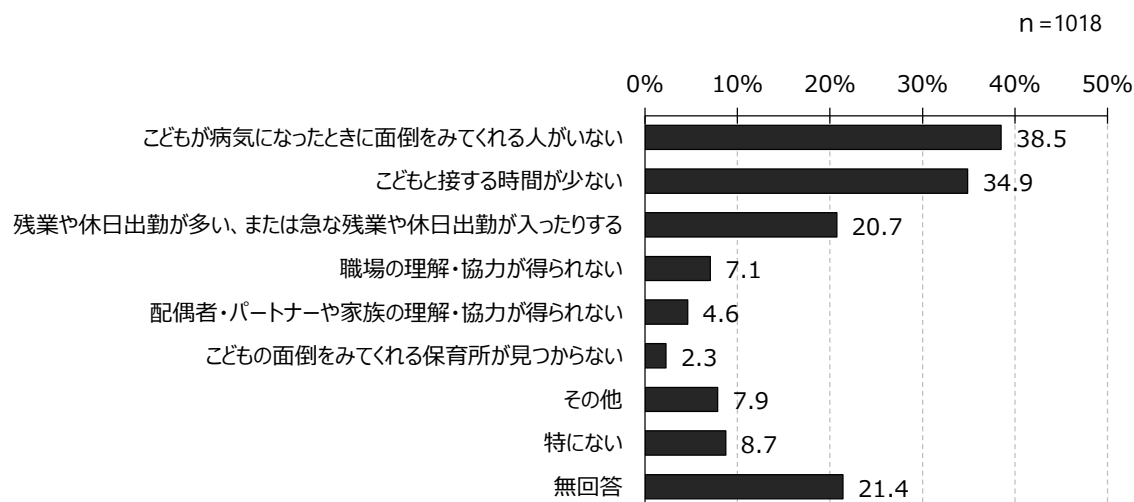
問 18-3 利用しなかった理由／(2)お父さん【複数回答】

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が37.3%と最も多く、「仕事が忙しかった」が35.3%、「職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が29.4%、「フルタイムで働きたかった」が21.6%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が10.8%となっています。



問 19 子育てと仕事を両立させる上で大変だと感じることはどのようなことですか。【複数回答】

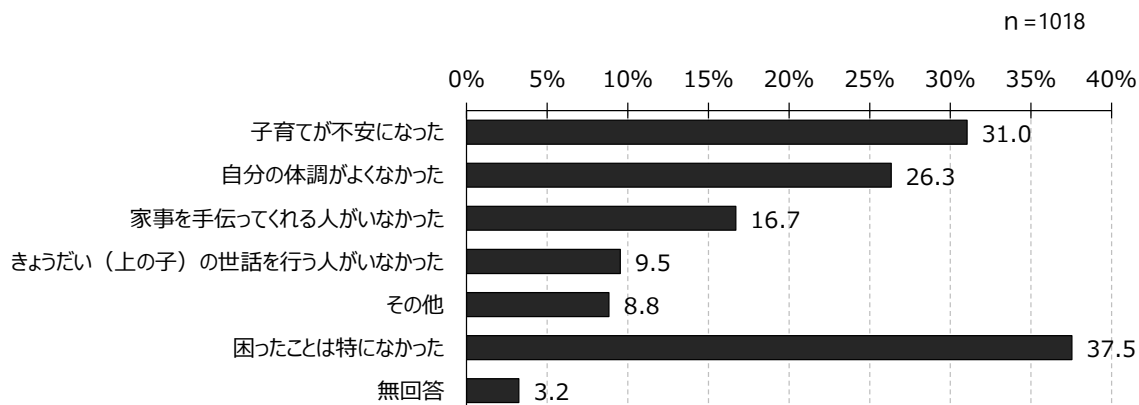
「こどもが病気になったときに面倒をみてくれる人がいない」が 38.5%と最も多く、「こどもと接する時間が少ない」が 34.9%、「残業や休日出勤が多い、または急な残業や休日出勤が入ったりする」が 20.7%、「特にない」が 8.7%、「その他」が 7.9%となっています。



子育て全般について

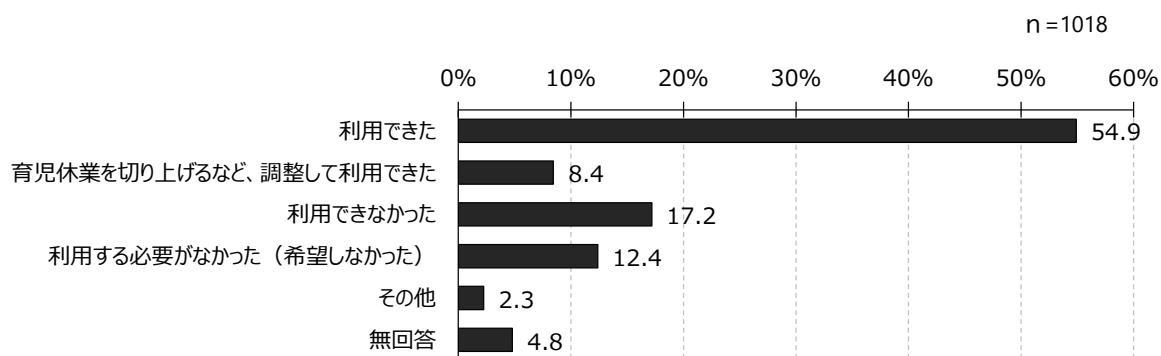
問 20 お子さんを出産した後で、困ったことはありましたか。【複数回答】

「困ったことは特になかった」が37.5%と最も多く、「子育てが不安になった」が31.0%、「自分の体調がよくなかった」が26.3%、「家事を手伝ってくれる人がいなかった」が16.7%、「きょうだい（上の子）の世話をを行う人がいなかった」が9.5%となっています。



問 21 希望した時期に、希望した保育事業を利用することができましたか。【単数回答】

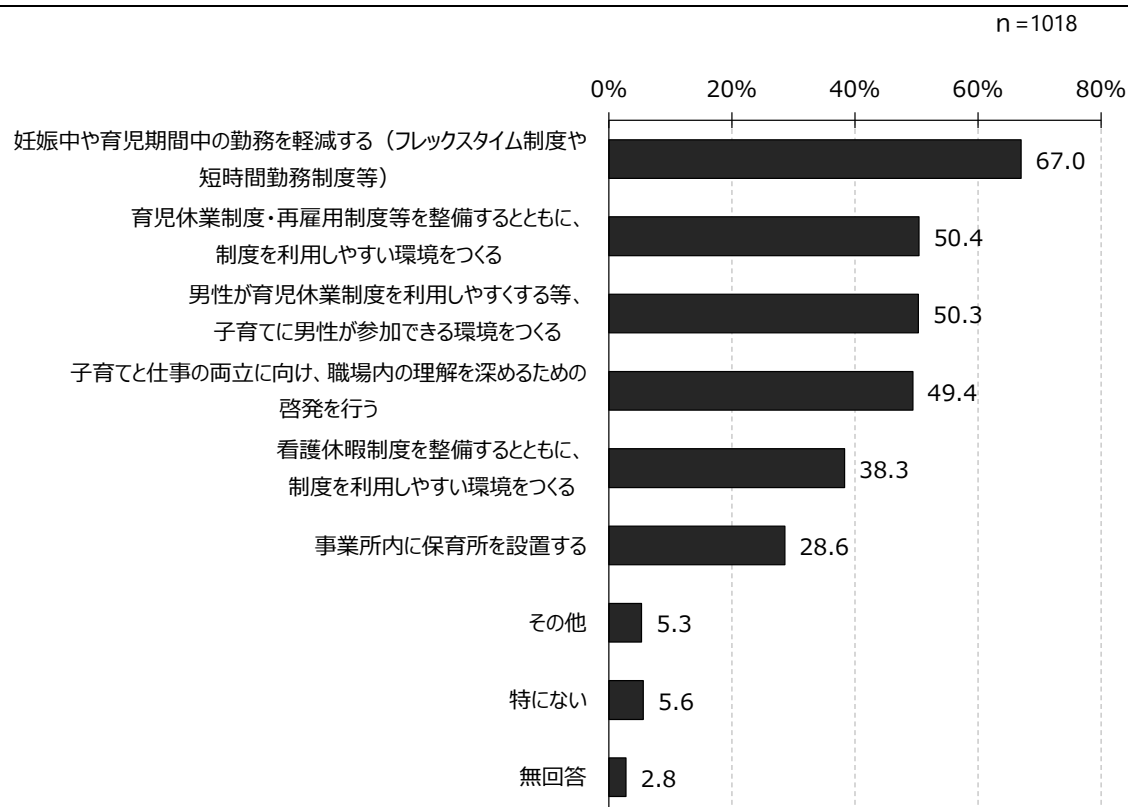
「利用できた」が54.9%と最も多く、「利用できなかった」が17.2%、「利用する必要がなかった（希望しなかった）」が12.4%、「育児休業を切り上げるなど、調整して利用できた」が8.4%、「その他」が2.3%となっています。



問 22 子育てと仕事の両立支援として、職場にはどのような取組が必要だと思いますか。

【複数回答】

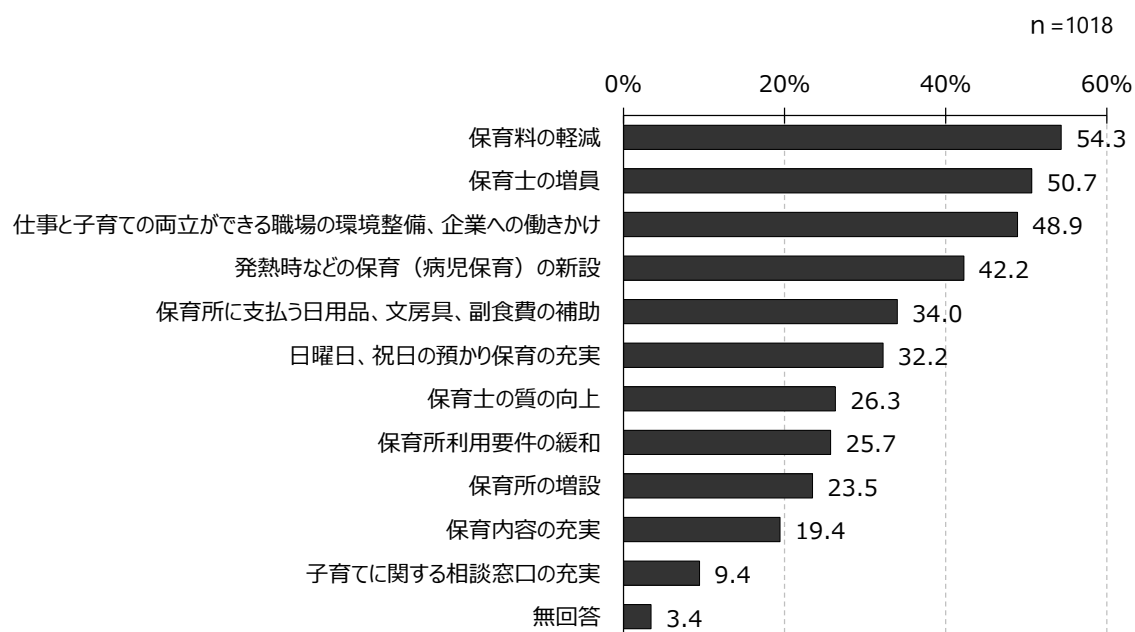
「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度等）」が 67.0%と最も多く、「育児休業制度・再雇用制度等を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」が 50.4%、「男性が育児休業制度を利用しやすくする等、子育てに男性が参加できる環境をつくる」が 50.3%、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が 49.4%、「看護休暇制度を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」が 38.3%となっています。



問 23 保育環境の充実や子育て支援などについて、重点的に取り組んでもらいたいことは何ですか。

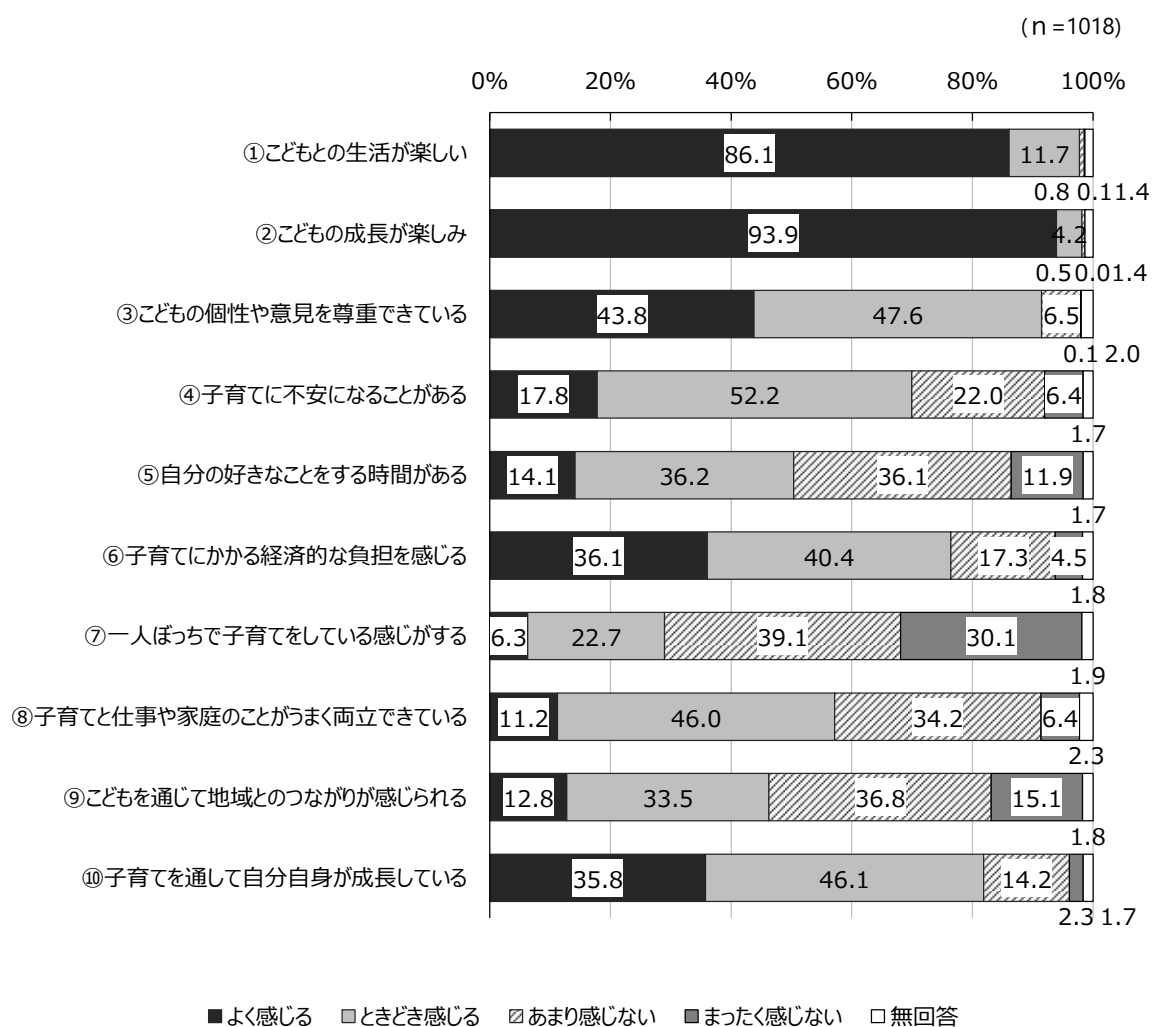
【複数回答】

「保育料の軽減」が 54.3%と最も多く、「保育士の増員」が 50.7%、「仕事と子育ての両立ができる職場の環境整備、企業への働きかけ」が 48.9%、「発熱時などの保育（病児保育）の新設」が 42.2%、「保育所に支払う日用品、文房具、副食費の補助」が 34.0%となっています。



問 24 子育てをしていて次のようなことを感じることはありますか。【単数回答】

「よく感じる」は「②こどもの成長が楽しみ」で 93.9%、「①こどもとの生活が楽しい」で 86.1%、「③こどもの個性や意見を尊重できている」で 43.8%、「⑥子育てにかかる経済的な負担を感じる」で 36.1%、「⑩子育てを通して自分自身が成長している」で 35.8%となっています。

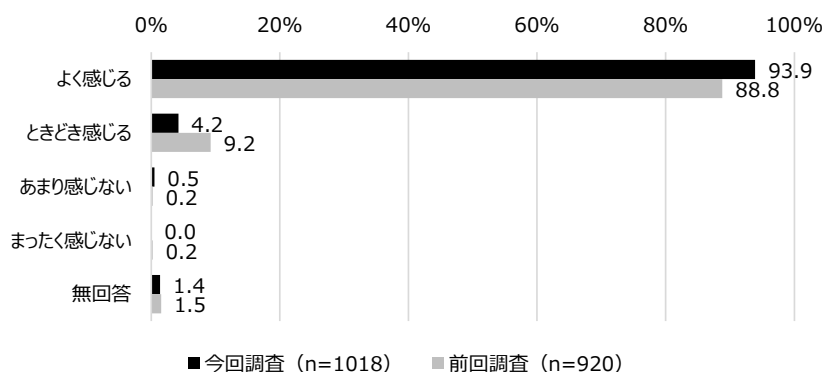


問 24 子育てをしていて感じること(前回比較)

問 24 の項目のうち前回調査と同等の設問について比較を行いました。

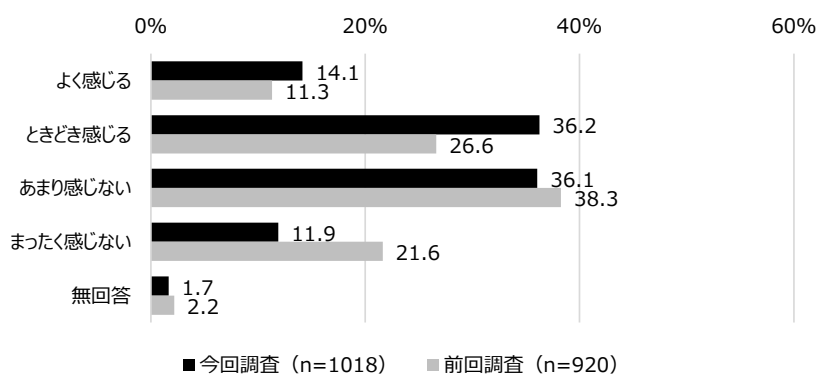
②こどもの成長が楽しみ

「よく感じる」が 5.1 ポイント増加し、「ときどき感じる」が 5.0 ポイント減少しています。



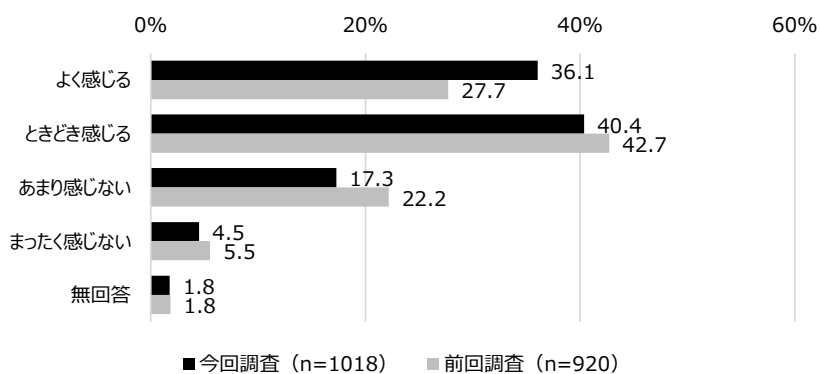
⑤自分の好きなことをする時間がある

「ときどき感じる」が 9.6 ポイント増加し、「まったく感じない」が 9.7 ポイント減少しています。



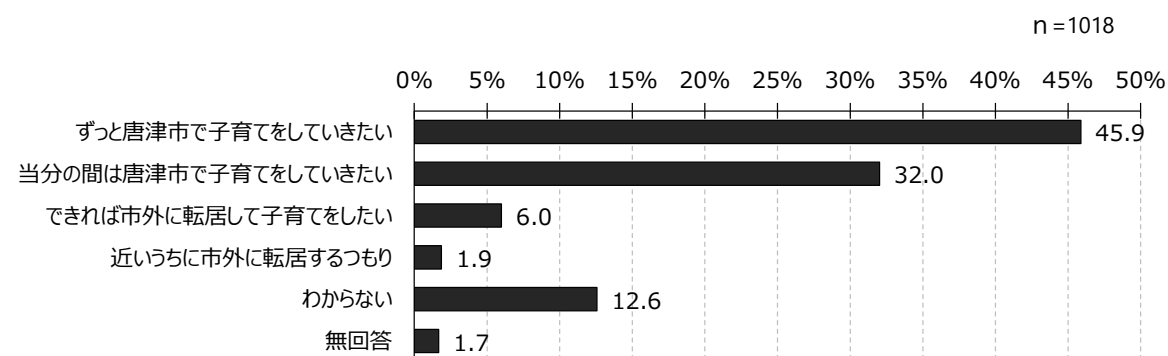
⑥子育てにかかる経済的な負担を感じる

「よく感じる」が 8.4 ポイント増加しています。



問 25 今後も唐津市で子育てをしていきたいと思いませんか。【単数回答】

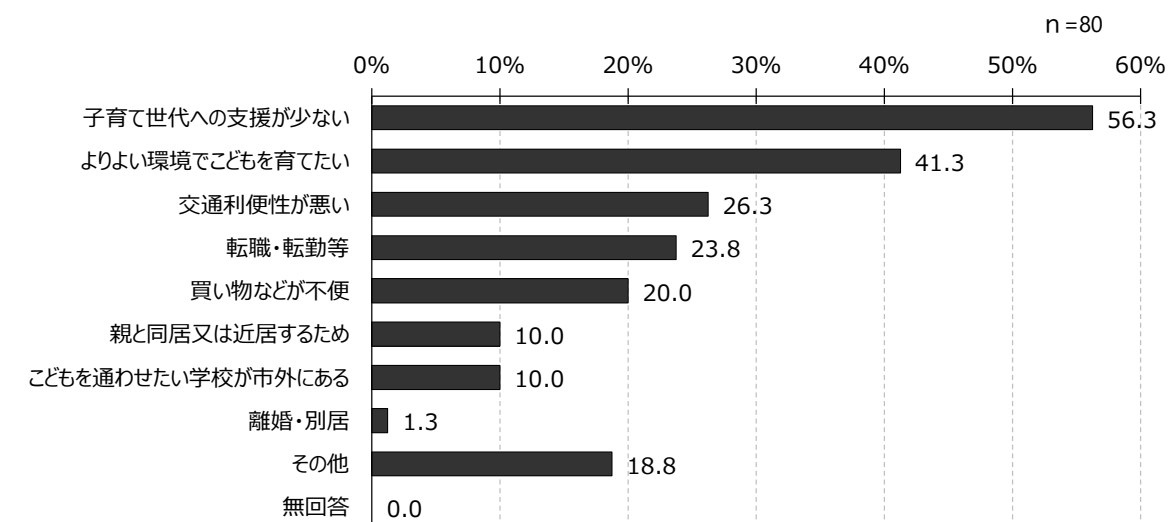
「ずっと唐津市で子育てをしていきたい」が 45.9%と最も多く、「当分の間は唐津市で子育てをしていきたい」が 32.0%、「わからない」が 12.6%、「できれば市外に転居して子育てをしたい」が 6.0%、「近いうちに市外に転居するつもり」が 1.9%となっています。



問25で「できれば市外に転居して子育てをしたい」「近いうちに市外に転居するつもり」に○をつけた人

問 26 転居したい理由やきっかけを教えてください。【複数回答】

「子育て世代への支援が少ない」が 56.3%と最も多く、「よりよい環境で子どもを育てたい」が 41.3%、「交通利便性が悪い」が 26.3%、「転職・転勤等」が 23.8%、「買い物などが不便」が 20.0%となっています。



問 27 こどもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。【複数回答】

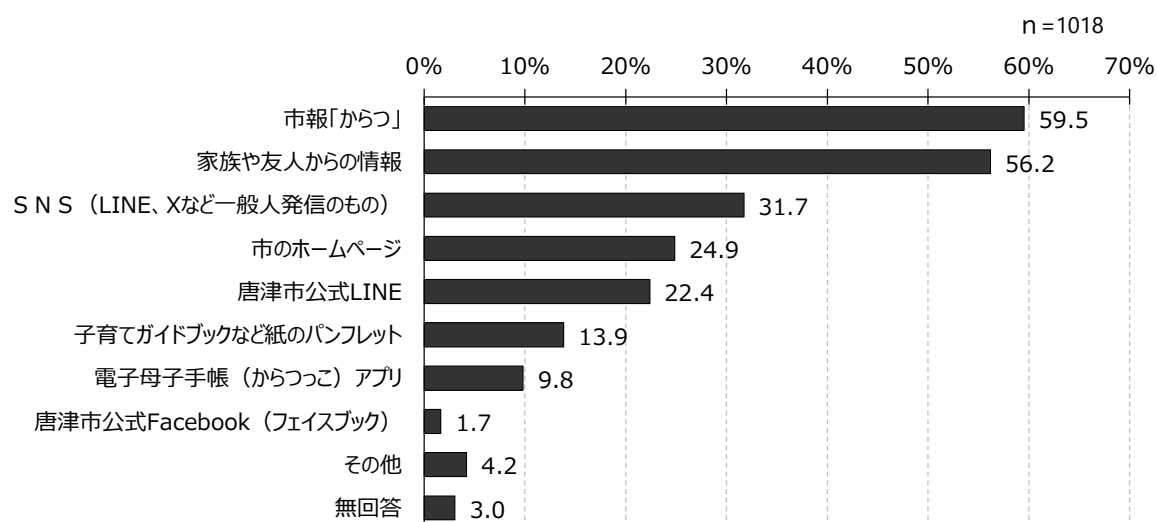
「保育事業の費用負担軽減や児童手当等、子育てのための経済的支援の充実」が 76.2%と最も多く、「地域でこどもたちが遊んだりする場の充実」が 61.3%、「こどもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が 59.9%となっています。



問 28 こどもや子育てに関する市の情報などをどういう方法で入手していますか。
また、今後、どういう方法で入手したいですか。

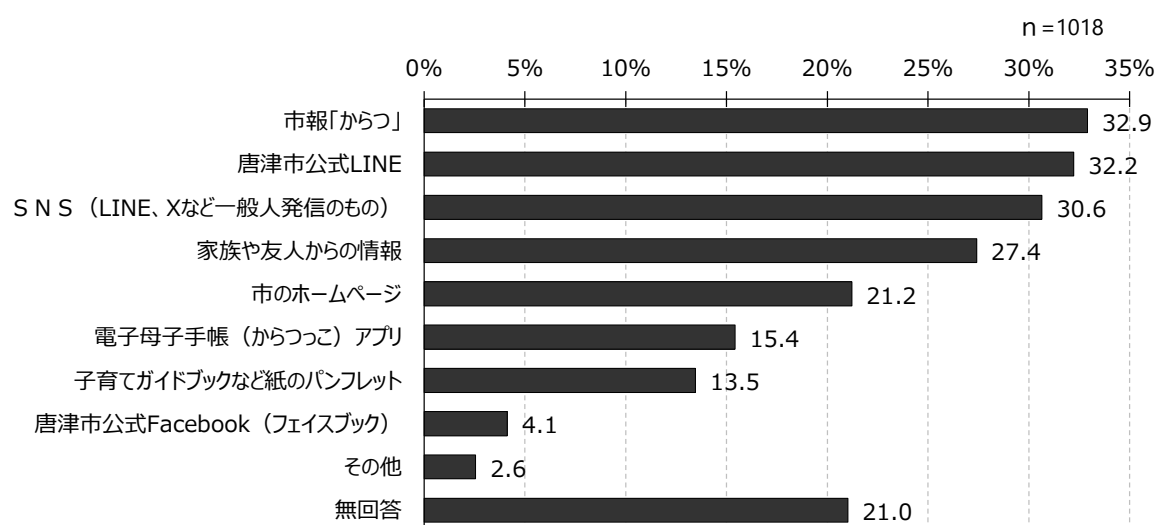
問 28 A 現在の入手方法【複数回答】

「市報「からつ」」が 59.5%と最も多く、「家族や友人からの情報」が 56.2%、「SNS (LINE、X など一般人発信のもの)」が 31.7%、「市のホームページ」が 24.9%、「唐津市公式 LINE」が 22.4%となっています。



問 28 B 今後、使いたい方法【複数回答】

「市報「からつ」」が 32.9%と最も多く、「唐津市公式 LINE」が 32.2%、「SNS (LINE、X など一般人発信のもの)」が 30.6%、「家族や友人からの情報」が 27.4%、「市のホームページ」が 21.2%となっています。



問29 最後に、市の子育て支援策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。【自由記入】

自由記入には 409 件の記入がありました。主な意見は以下のとおりです。

主な意見	件数
保育料の軽減を求める声	56
子どもが集える施設の必要性	54
唐津市の子育て環境の魅力、よい評価	52
子どもの医療費無料化の要望	37
公園の整備・充実	37
ひとり親家庭への理解と支援、ひとり親家庭以外への支援充実	37
保育士の増員・待遇改善・質の向上	33
育児休業や短時間勤務の充実や使いやすさへの要望	14
放課後児童クラブの使いやすさや食事提供の要望	12
公共事業より子ども支援の拡充を求める声	11

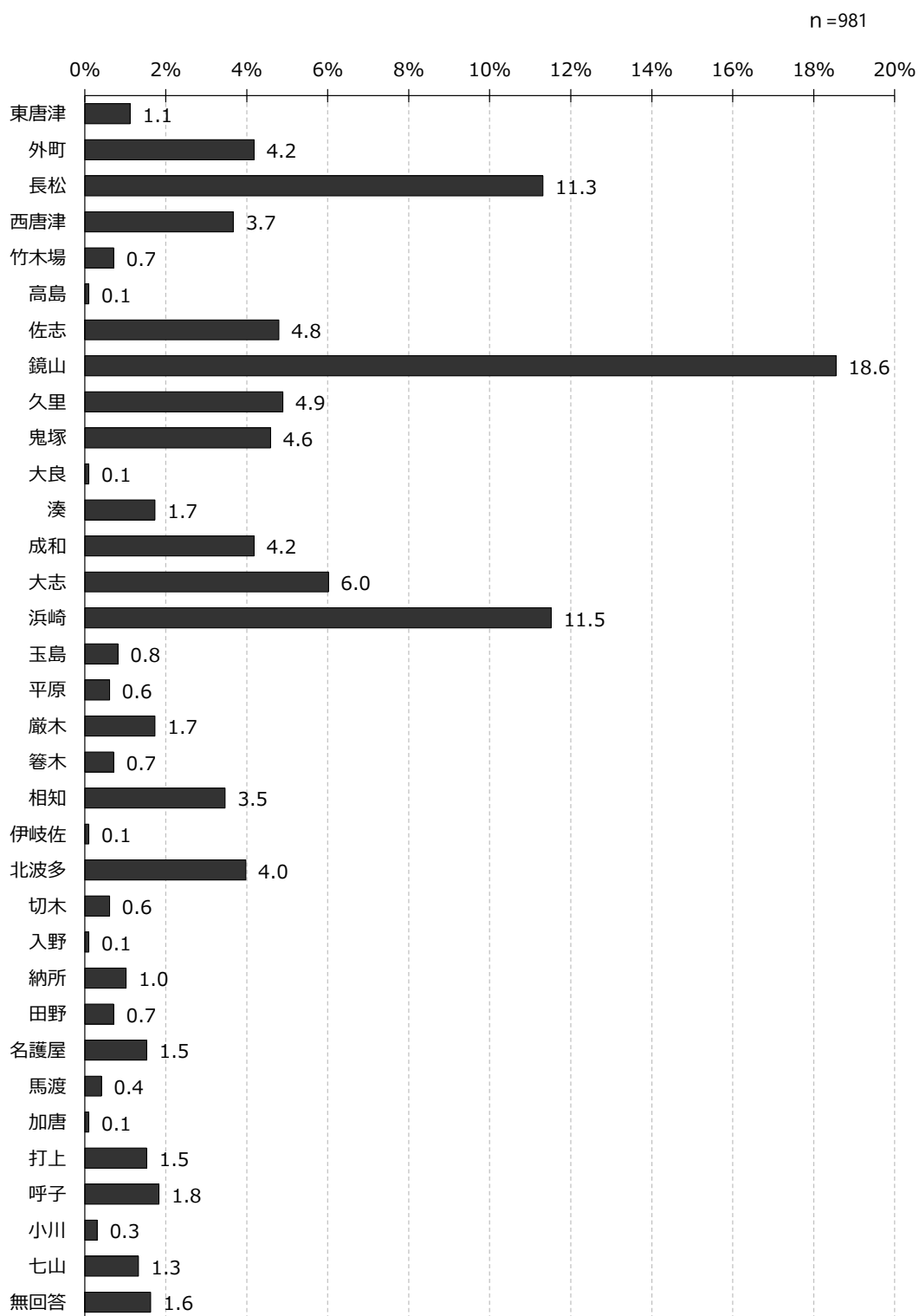
子ども・子育て支援に関するアンケート調査

Ⅲ 小学生児童保護者 結果

お住まいの地区について

問1 唐津市のどちらにお住まいですか。小学校区でお答えください。【単数回答】

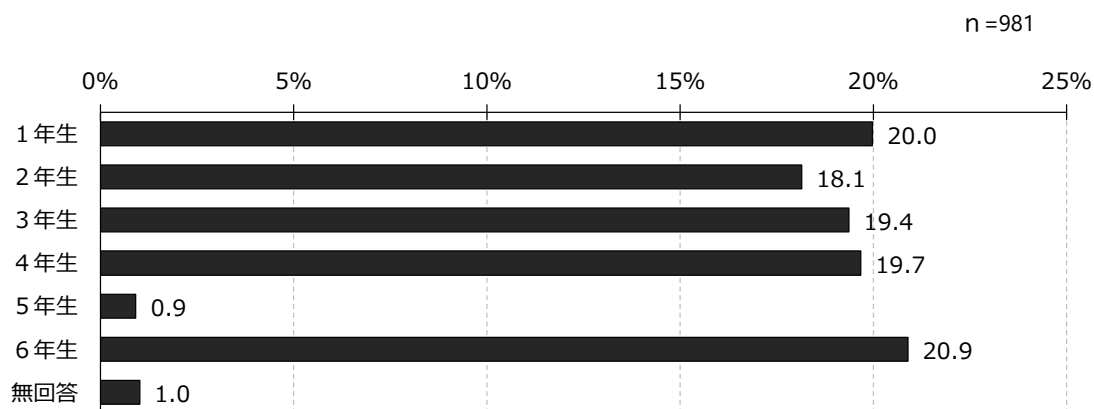
「鏡山」が18.6%と最も多く、「浜崎」が11.5%、「長松」が11.3%、「大志」が6.0%、「久里」が4.9%となっています。



お子さんご家族の状況などについて

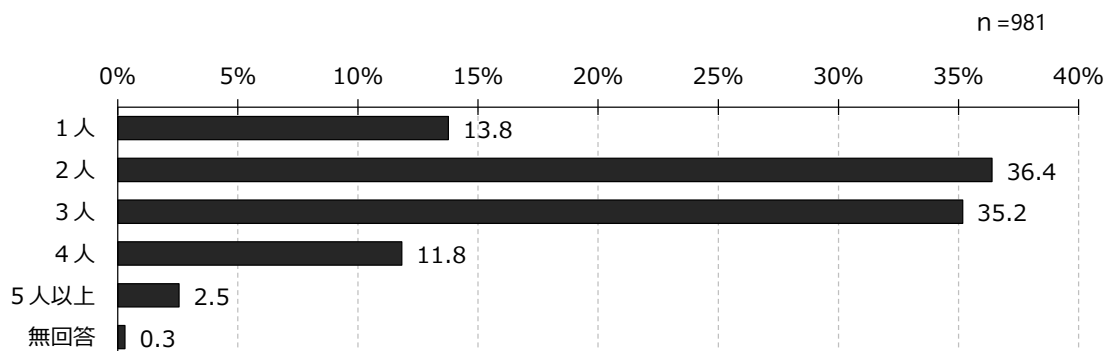
問2 お子さんの学年を教えてください。【単数回答】

「6年生」が20.9%と最も多く、「1年生」が20.0%、「4年生」が19.7%、「3年生」が19.4%、「2年生」が18.1%となっています。



問3 お子さんの兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答え下さい。【単数回答】

「2人」が36.4%と最も多く、「3人」が35.2%、「1人」が13.8%、「4人」が11.8%、「5人以上」が2.5%となっています。

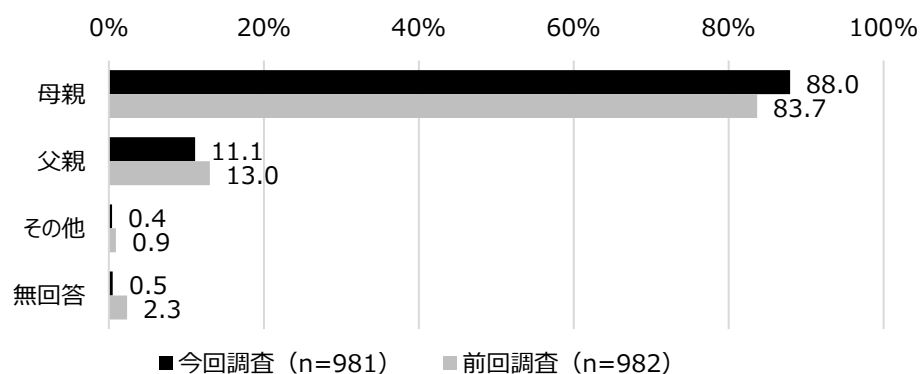


問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

【単数回答】

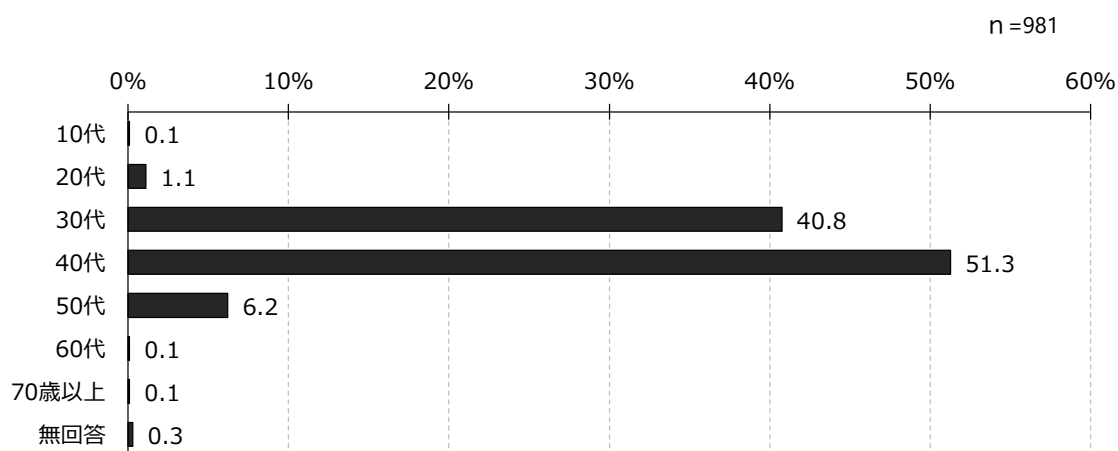
「母親」が88.0%と最も多く、「父親」が11.1%となっています。

前回調査と比較すると、「母親」が4.3ポイント増加しています。



問5 この調査にご回答くださっている方の年齢を教えてください。【単数回答】

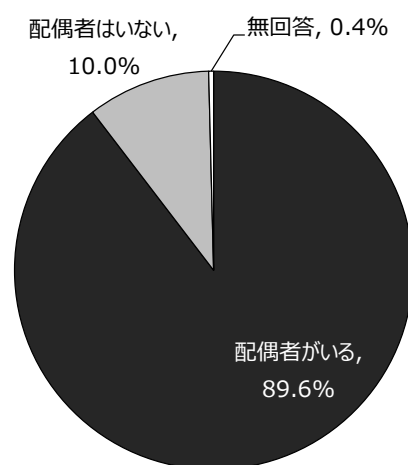
「40代」が51.3%と最も多く、「30代」が40.8%、「50代」が6.2%、「20代」が1.1%となっています。



問6 この調査にご回答くださっている方には、配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。

【単数回答】

「配偶者がいる」が 89.6%、「配偶者はいない」が 10.0%となっています。

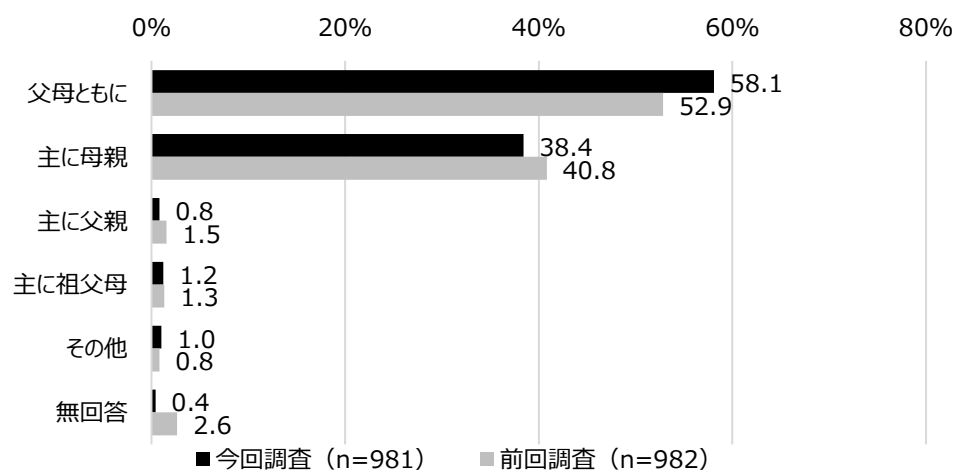


n=981

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【単数回答】

「父母ともに」が 58.1%と最も多く、「主に母親」が 38.4%、「主に祖父母」が 1.2%、「その他」が 1.0%となっています。

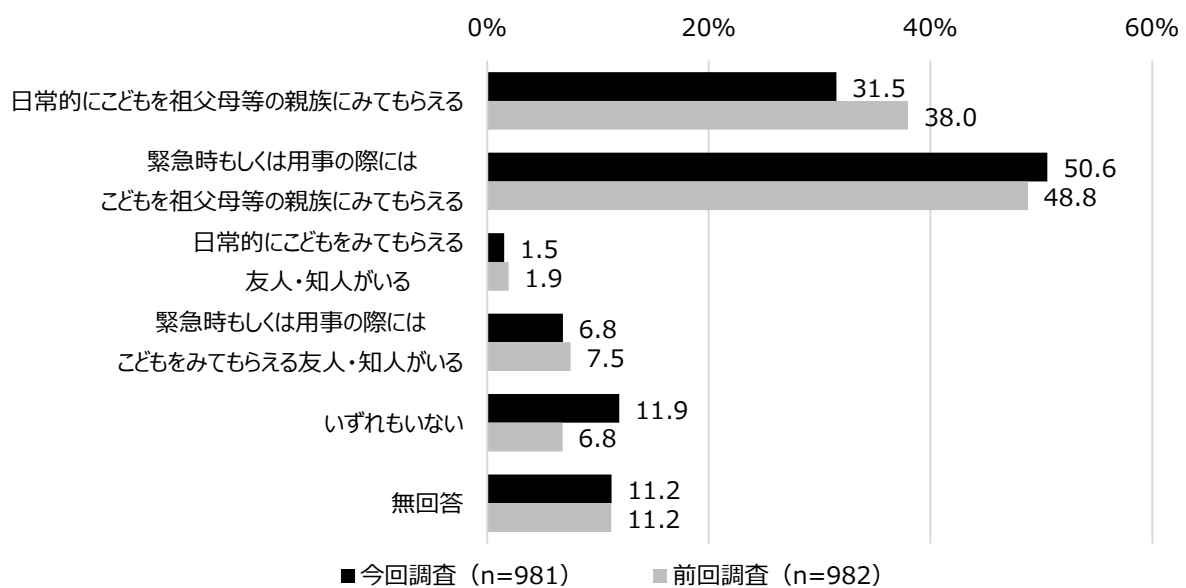
前回調査と比較すると、「父母ともに」は 5.2 ポイント増加（未就学児童保護者では 9.6 ポイント増加）し、「主に母親」は 2.4 ポイント減少しています。未就学児童保護者よりは少ないものの母親のみではなく父母が協力しての子育てが増えています。



こどもの育ちを取り巻く環境について

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいですか。【複数回答】

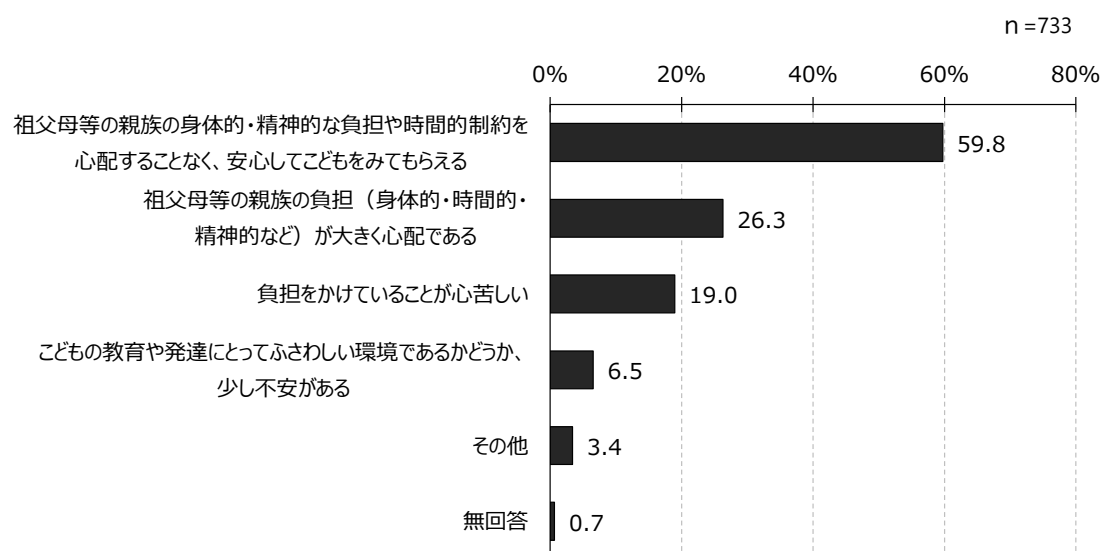
「緊急時もしくは用事の際にはこどもを祖父母等の親族にみてもらえる」が 50.6%と最も多く、「日常的にこどもを祖父母等の親族にみてもらえる」が 31.5%、「いずれもない」が 11.9%、「緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が 6.8%、「日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる」が 1.5%となっています。前回調査と比較すると、「日常的にこどもを祖父母等の親族にみてもらえる」が 6.5 ポイント減少し、「いずれもない」が 5.1 ポイント増加しています。



問8で「1」または「2」(祖父母等の親族にみてもらえる)に○をつけた人

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

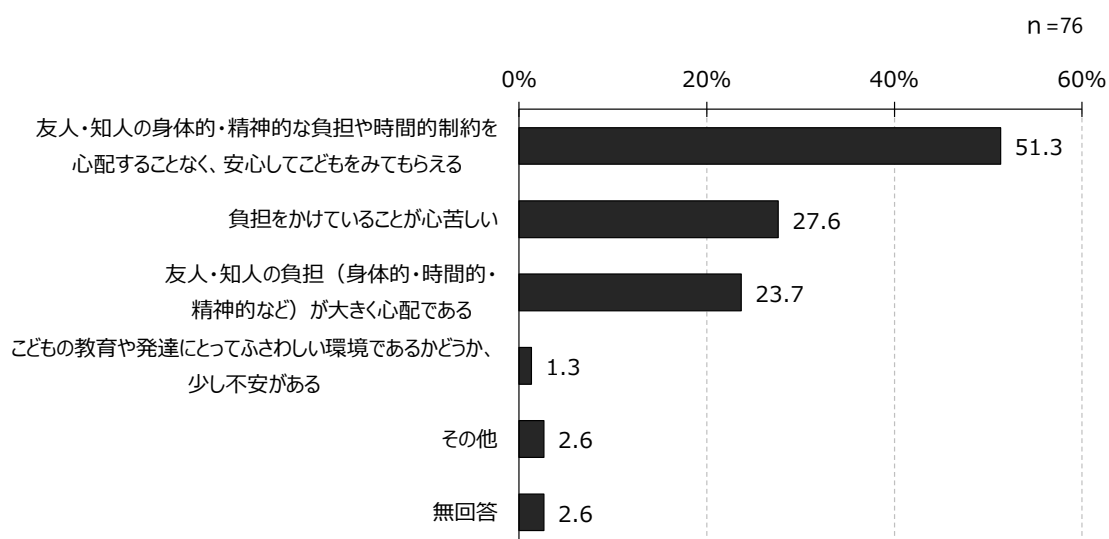
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 59.8%と最も多く、「祖父母等の親族の負担（身体的・時間的・精神的など）が大きく心配である」が 26.3%、「負担をかけていることが心苦しい」が 19.0%、「こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」が 6.5%、「その他」が 3.4%となっています。



問8で「3」または「4」(友人・知人にみてもらえる)に○をつけた人

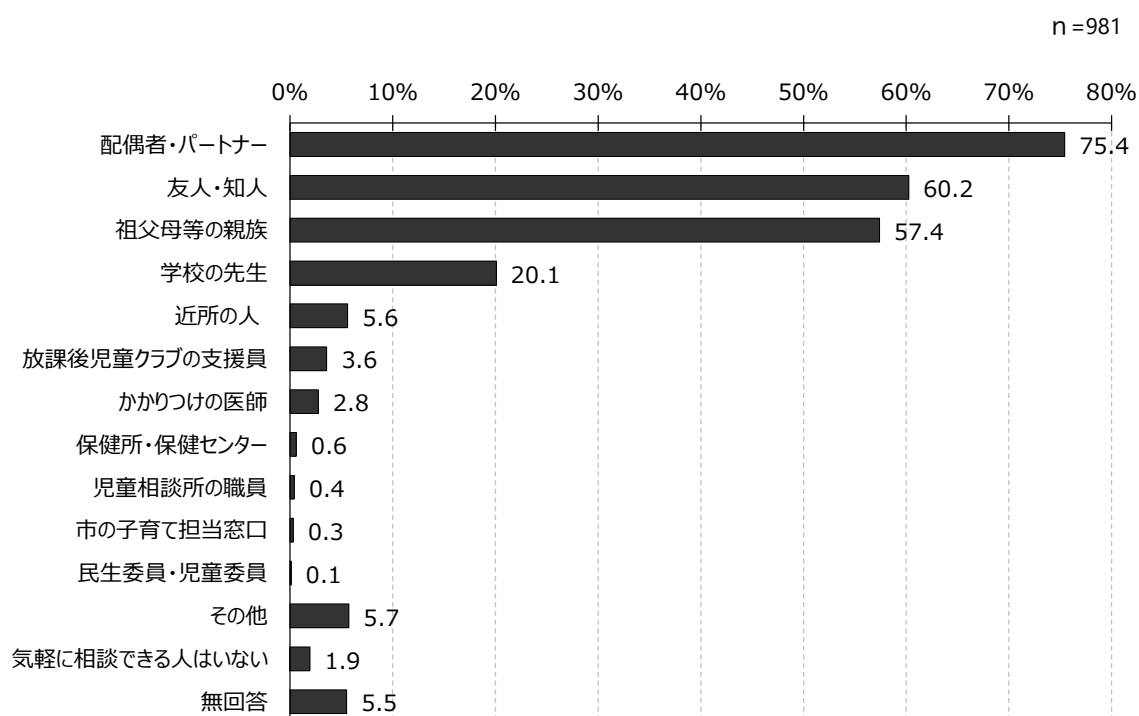
問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 51.3%と最も多く、「負担をかけていることが心苦しい」が 27.6%、「友人・知人の負担（身体的・時間的・精神的など）が大きく心配である」が 23.7%、「その他」が 2.6%、「こどもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある」が 1.3%となっています。



問9 お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。【複数回答】

「配偶者・パートナー」が75.4%と最も多く、「友人・知人」が60.2%、「祖父母等の親族」が57.4%、「学校の先生」が20.1%、「その他」が5.7%となっています。

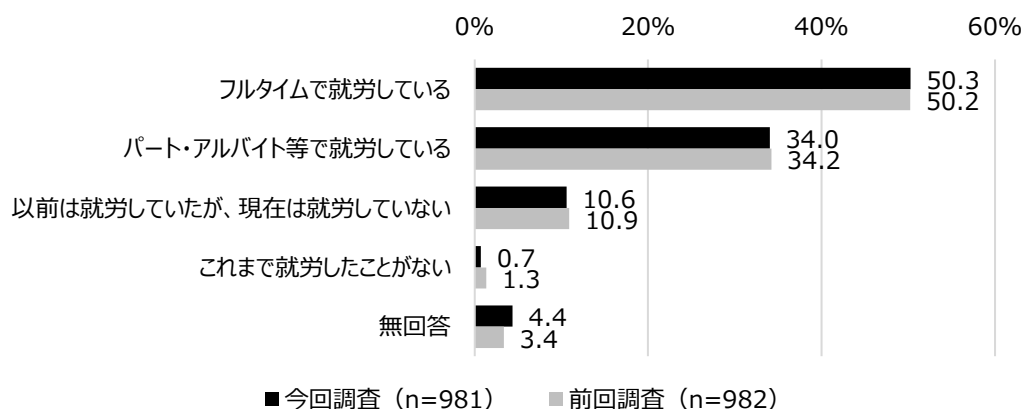


お子さんの保護者の就労状況について

問 10 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)は次のどれですか。

問 10 (1)「お母さん」について／就労状況【単数回答】

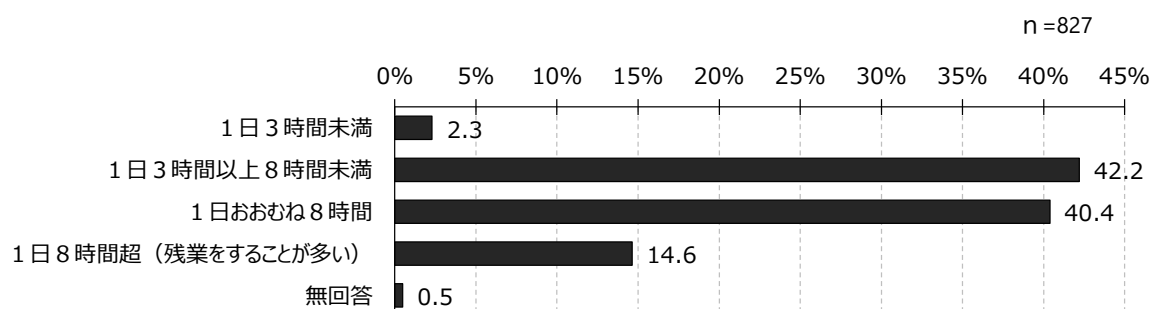
「フルタイムで就労している」が 50.3%と最も多く、「パート・アルバイト等で就労している」が 34.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 10.6%となっています。
前回調査と比較しても、いずれも 1 ポイント未満の増減で変化はみられません。



問10(1)「お母さん」についてで「1～2」(就労している)に○をつけた人

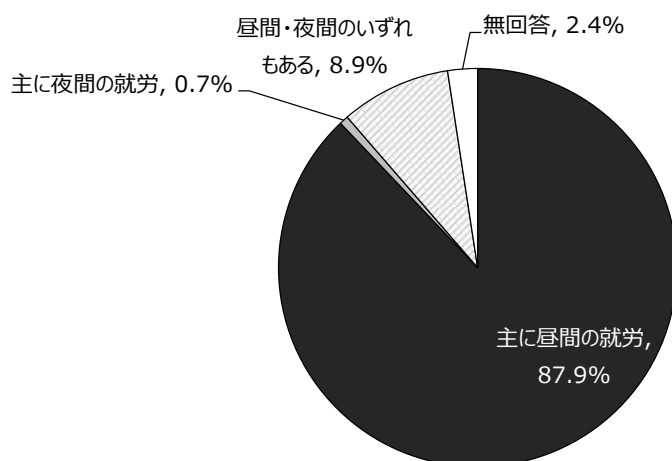
問 10 (1)-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「1日3時間以上8時間未満」が 42.2%と最も多く、「1日おおむね8時間」が 40.4%、「1日8時間超(残業をすることが多い)」が 14.6%、「1日3時間未満」が 2.3%となっています。



問 10 (1)-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「主に昼間の就労」が 87.9%と最も多く、「昼間・夜間のいずれもある」が 8.9%、「主に夜間の就労」が 0.7%となっています。

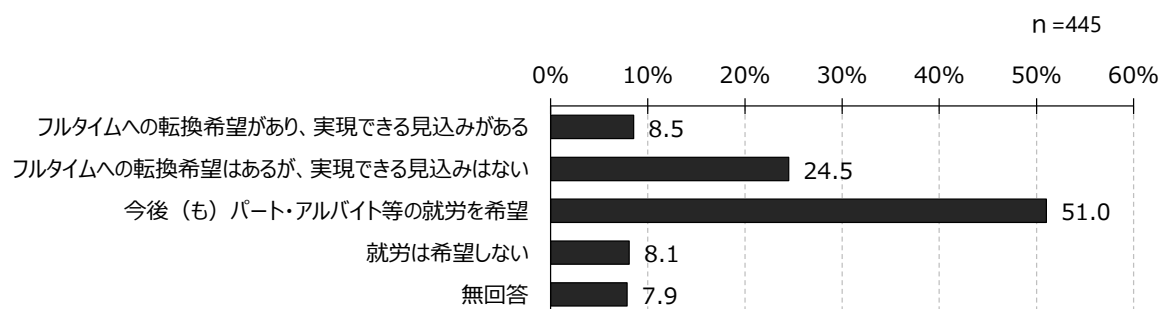


n=827

問10(1)「お母さん」についてで「2～4」(フルタイム就労以外)に○をつけた人

問 10 (1)-3 今後、フルタイム就労への転換を希望しますか。【単数回答】

「今後（も）パート・アルバイト等の就労を希望」が 51.0%と最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.5%、「就労は希望しない」が 8.1%となっています。

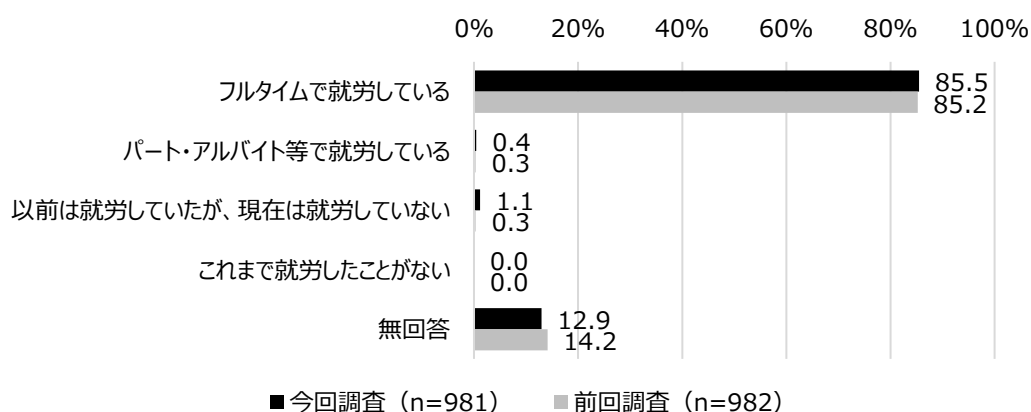


n=445

問 10 (2)「お父さん」について／就労状況【単数回答】

「フルタイムで就労している」が 85.5%と最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.1%となっています。

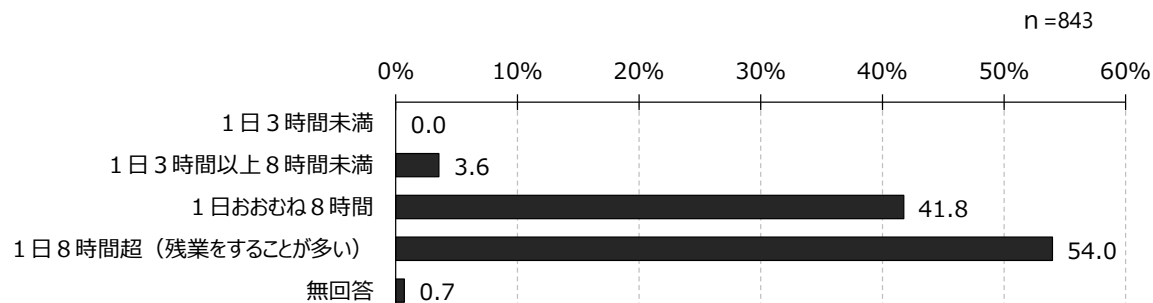
前回調査と比較しても、いずれも 1 ポイント未満の増減で変化はみられません。



問10(2)「お父さん」についてで「1～2」(就労している)に○をつけた人

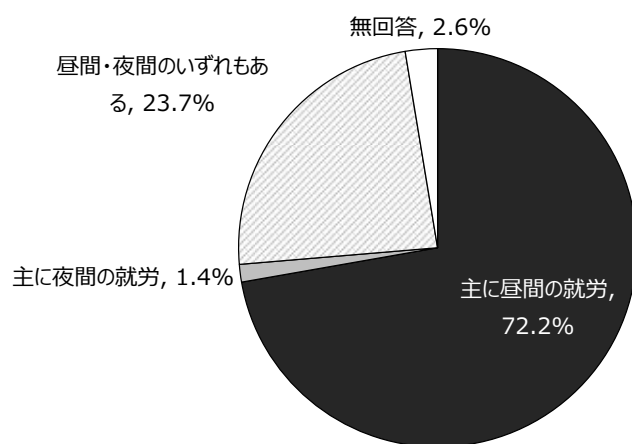
問 10 (2)-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「1日8時間超（残業をすることが多い）」が 54.0%と最も多く、「1日おおむね8時間」が 41.8%、「1日3時間以上8時間未満」が 3.6%となっています。



問 10 (2)-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。【単数回答】

「主に昼間の就労」が 72.2%と最も多く、「昼間・夜間のいずれもある」が 23.7%、「主に夜間の就労」が 1.4%となっています。

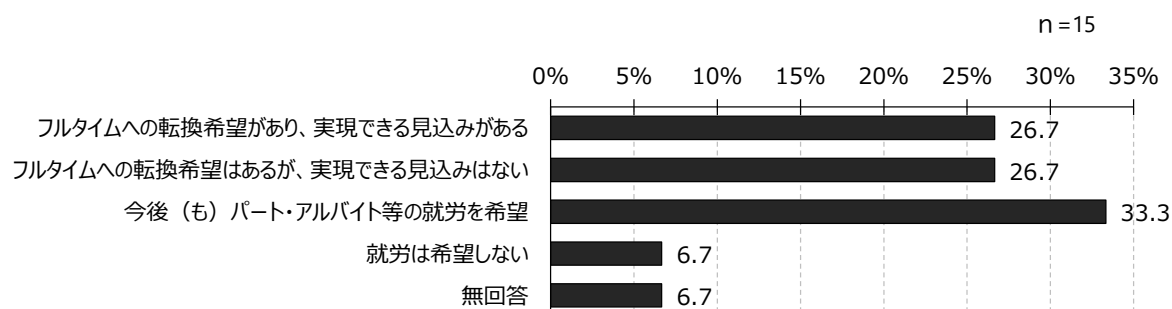


n=843

問10(2)「お父さん」についてで「2～4」(フルタイム就労以外)に○をつけた人

問 10 (2)-3 今後、フルタイム就労への転換を希望しますか。【単数回答】

「今後（も）パート・アルバイト等の就労を希望」が 33.3%と最も多く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 26.7%、「就労は希望しない」が 6.7%となっています。



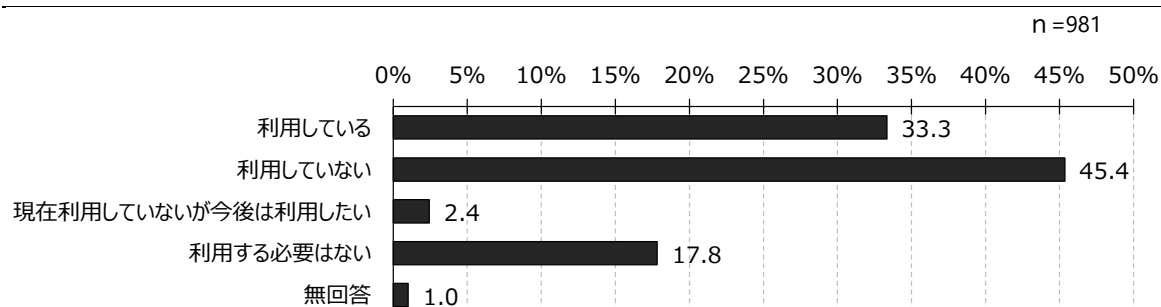
n = 15

放課後児童クラブの利用について

問 11 お子さんの、放課後児童クラブの利用について、平日、土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中それぞれの利用状況と利用希望をお答えください。

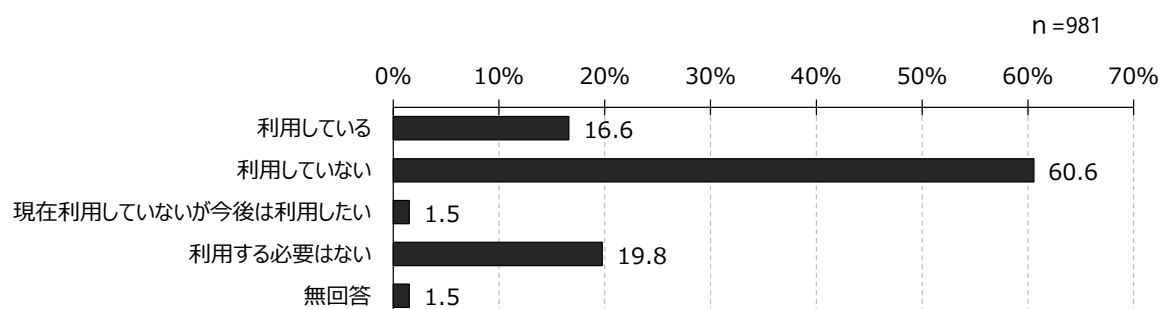
問 11 放課後児童クラブの利用／(1)平日【単数回答】

「利用していない」が45.4%と最も多く、「利用している」が33.3%、「利用する必要はない」が17.8%、「現在利用していないが今後は利用したい」が2.4%となっています。



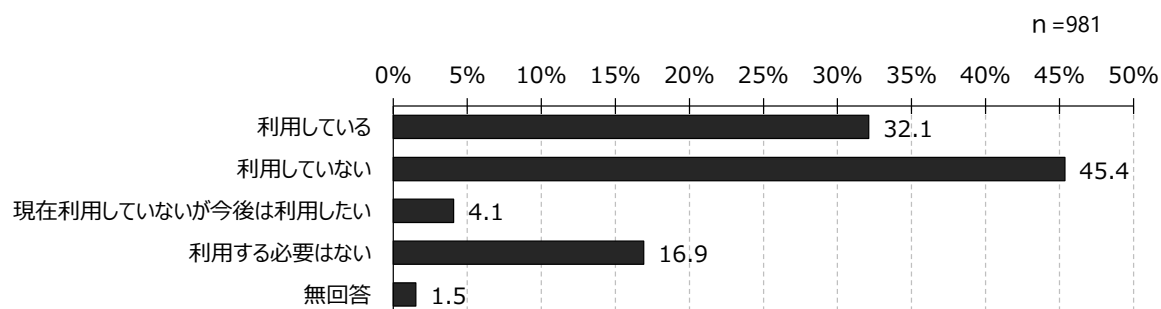
問 11 放課後児童クラブの利用／(2)土曜日【単数回答】

「利用していない」が60.6%と最も多く、「利用する必要はない」が19.8%、「利用している」が16.6%、「現在利用していないが今後は利用したい」が1.5%となっています。



問 11 放課後児童クラブの利用／(3)夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中【単数回答】

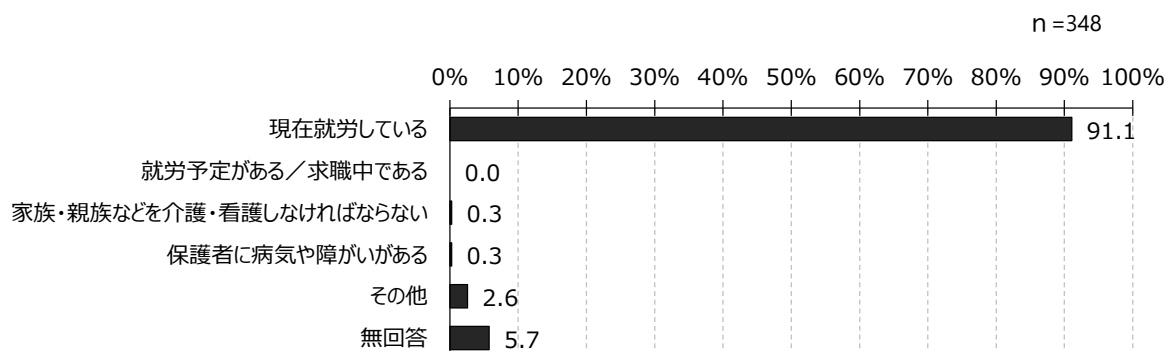
「利用していない」が45.4%と最も多く、「利用している」が32.1%、「利用する必要はない」が16.9%、「現在利用していないが今後は利用したい」が4.1%となっています。



問11で、曜日、期間に関わらず「利用している」に○をつけた人

問 11-1 現在、利用している理由を教えてください。【単数回答】

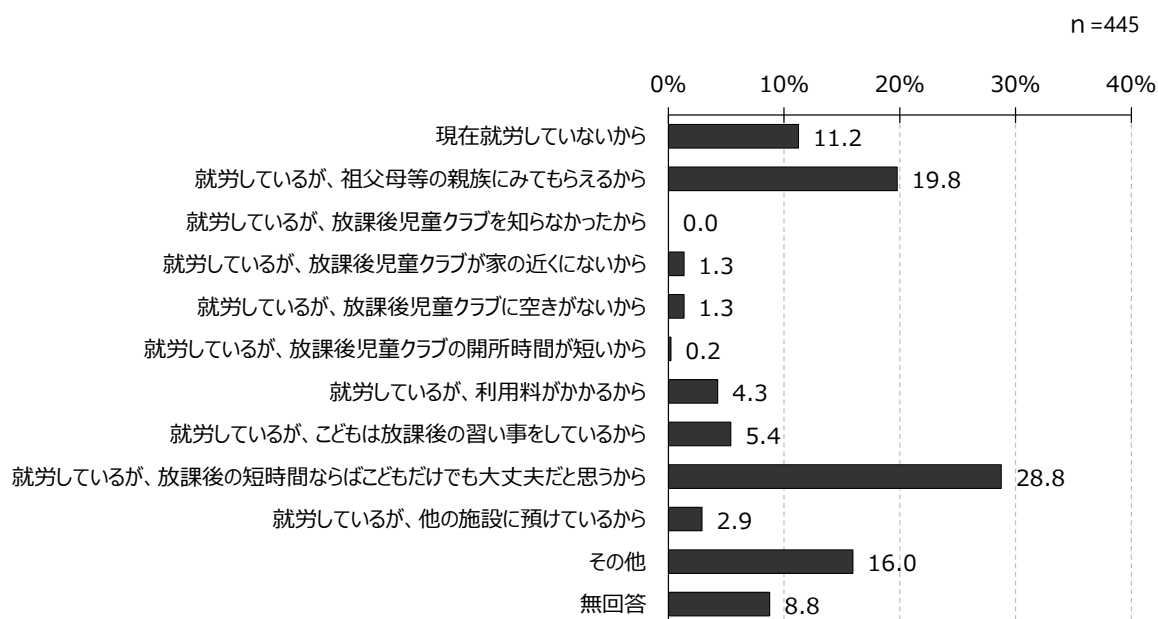
「現在就労している」が91.1%と最も多く、「その他」が2.6%、「家族・親族などを介護・看護しなければならない」「保護者に病気や障がいがある」が0.3%となっています。



問11の(1)平日で「利用していない」に○をした人

問 11-2 平日に利用していない理由は何ですか。【単数回答】

「就労しているが、放課後の短時間ならばこどもだけでも大丈夫だと思うから」が28.8%と最も多く、「就労しているが、祖父母等の親族にみてもらえるから」が19.8%、「その他」が16.0%、「現在就労していないから」が11.2%、「就労しているが、こどもは放課後の習い事をしているから」が5.4%となっています。

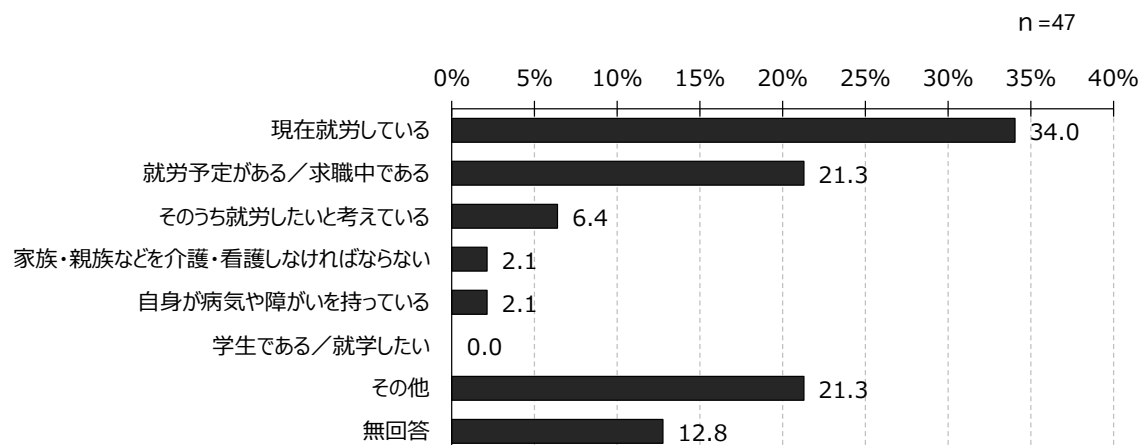


問11の(1)～(3)のいずれかで「現在利用していないが今後は利用したい」に○をつけた人

問 11-3 今後、放課後児童クラブを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

【単数回答】

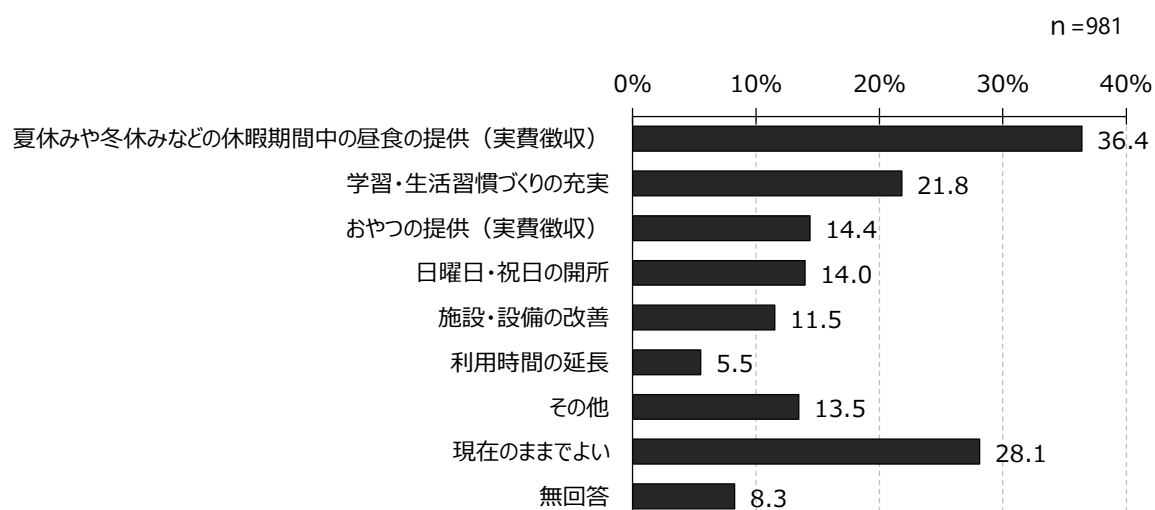
「現在就労している」が34.0%と最も多く、「就労予定がある／求職中である」「その他」が21.3%、「そのうち就労したいと考えている」が6.4%、「家族・親族などを介護・看護しなければならない」「自身が病気や障がいを持っている」が2.1%となっています。



現在の利用、今後の利用希望に関わらず、すべての人

問 12 放課後児童クラブに対してどのようなことを希望しますか。【複数回答】

「夏休みや冬休みなどの休暇期間中の昼食の提供（実費徴収）」が36.4%と最も多く、「現在のままでよい」が28.1%、「学習・生活習慣づくりの充実」が21.8%、「おやつ提供（実費徴収）」が14.4%、「日曜日・祝日の開所」が14.0%となっています。

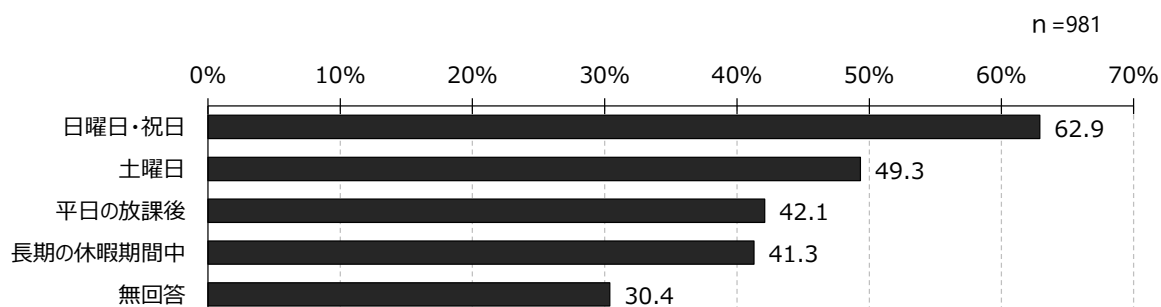


お子さんの放課後等の過ごし方全般について

問 13 お子さんについて、低学年と高学年の間それぞれで、放課後の時間、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

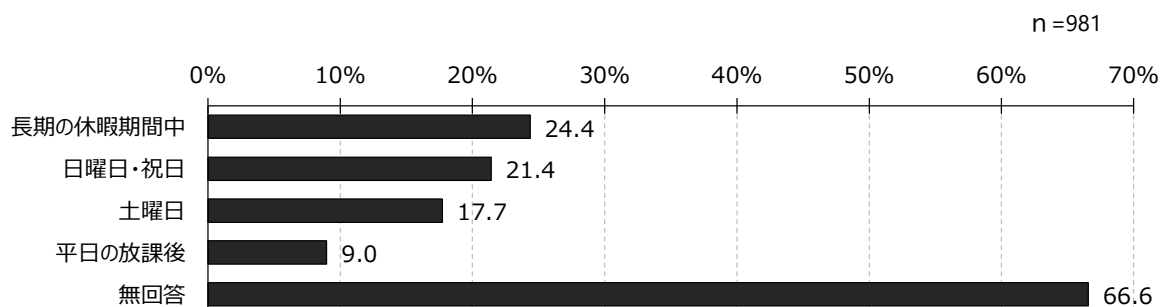
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／①自宅【複数回答】

「日曜日・祝日」が 62.9%と最も多く、「土曜日」が 49.3%、「平日の放課後」が 42.1%、「長期の休暇期間中」が 41.3%となっています。



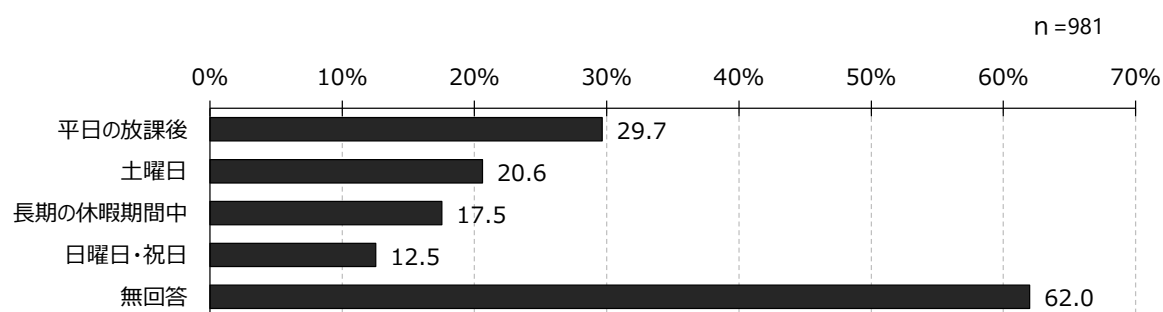
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／②祖父母宅や友人・知人宅【複数回答】

「長期の休暇期間中」が 24.4%と最も多く、「日曜日・祝日」が 21.4%、「土曜日」が 17.7%、「平日の放課後」が 9.0%となっています。



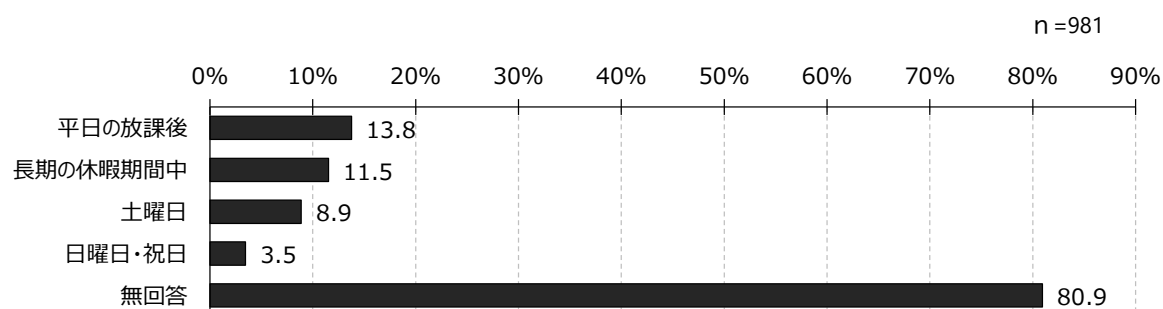
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)【複数回答】

「平日の放課後」が 29.7%と最も多く、「土曜日」が 20.6%、「長期の休暇期間中」が 17.5%、「日曜日・祝日」が 12.5%となっています。



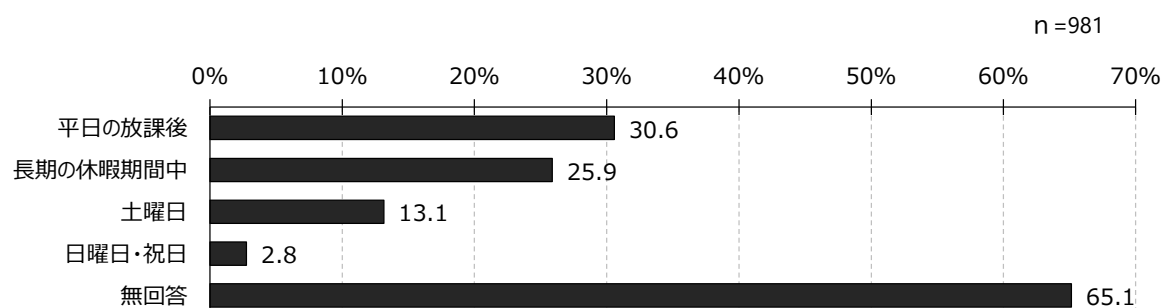
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／④放課後子ども教室【複数回答】

「平日の放課後」が 13.8%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 11.5%、「土曜日」が 8.9%、「日曜日・祝日」が 3.5%となっています。



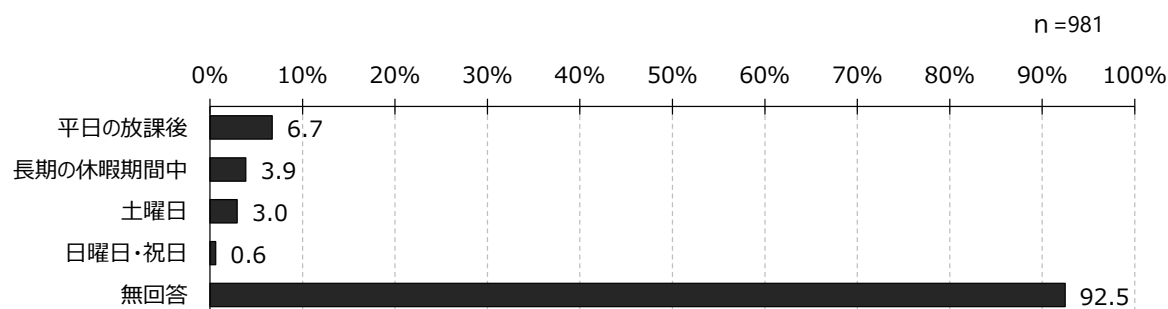
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／⑤放課後児童クラブ【複数回答】

「平日の放課後」が 30.6%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 25.9%、「土曜日」が 13.1%、「日曜日・祝日」が 2.8%となっています。



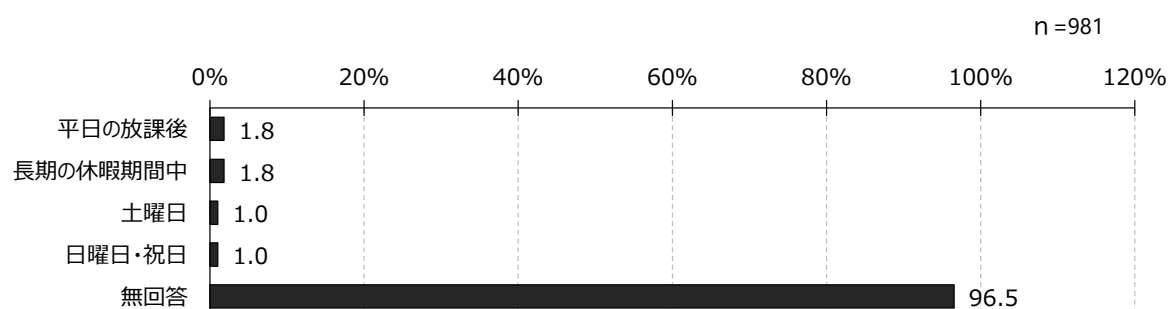
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／⑥放課後等デイサービス【複数回答】

「平日の放課後」が6.7%と最も多く、「長期の休暇期間中」が3.9%、「土曜日」が3.0%、「日曜日・祝日」が0.6%となっています。



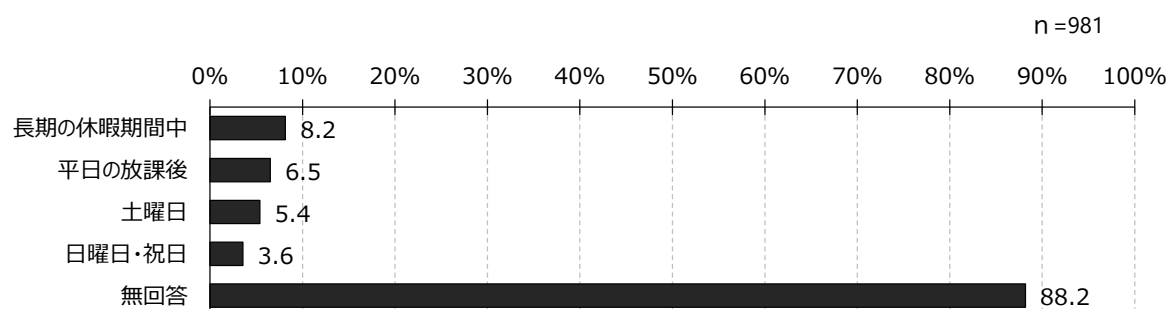
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／⑦ファミリー・サポート・センター(ラビットくん)【複数回答】

「平日の放課後」「長期の休暇期間中」が1.8%、「土曜日」「日曜日・祝日」が1.0%となっています。



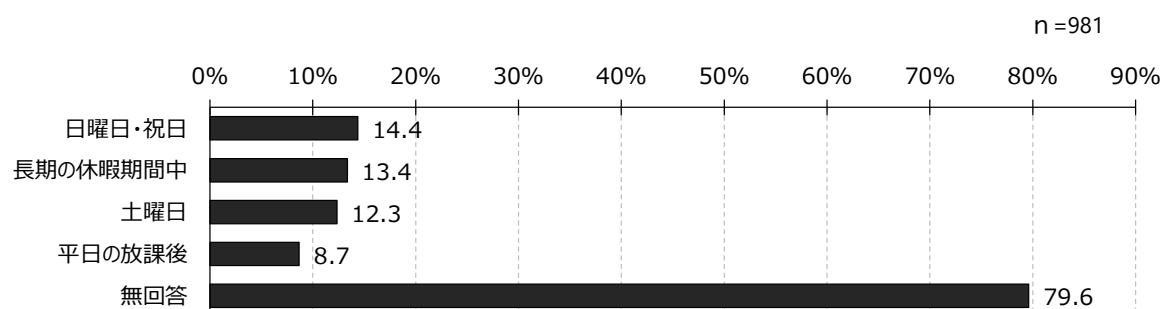
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／⑧こどもの居場所【複数回答】

「長期の休暇期間中」が8.2%と最も多く、「平日の放課後」が6.5%、「土曜日」が5.4%、「日曜日・祝日」が3.6%となっています。



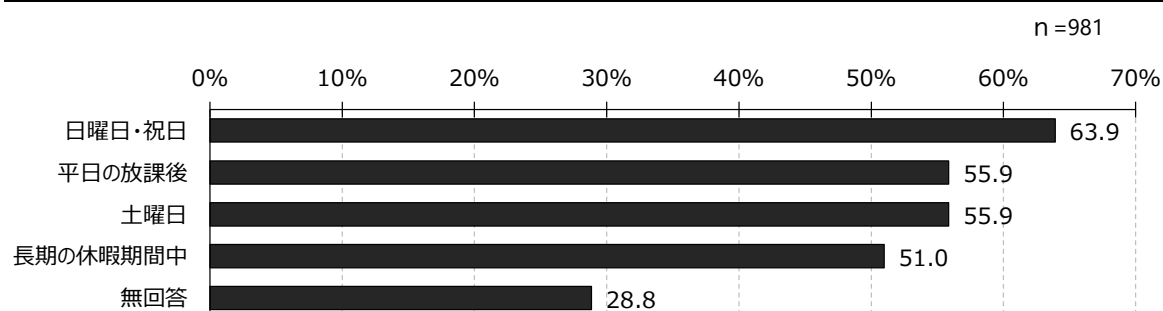
問 13 (1)低学年(1～3年生)の間／⑨その他（公民館、公園など）【複数回答】

「日曜日・祝日」が 14.4%と最も多く、「長期の休暇期間中」が 13.4%、「土曜日」が 12.3%、「平日の放課後」が 8.7%となっています。



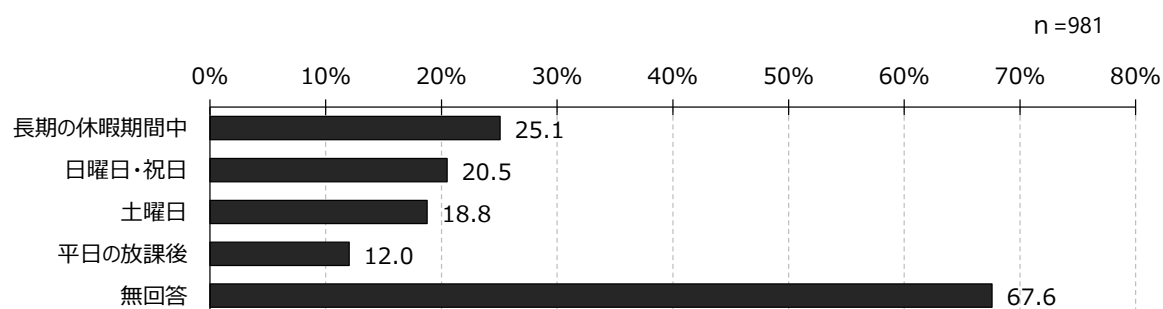
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／①自宅【複数回答】

「日曜日・祝日」が 63.9%と最も多く、「平日の放課後」「土曜日」が 55.9%、「長期の休暇期間中」が 51.0%となっています。



問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／②祖父母宅や友人・知人宅【複数回答】

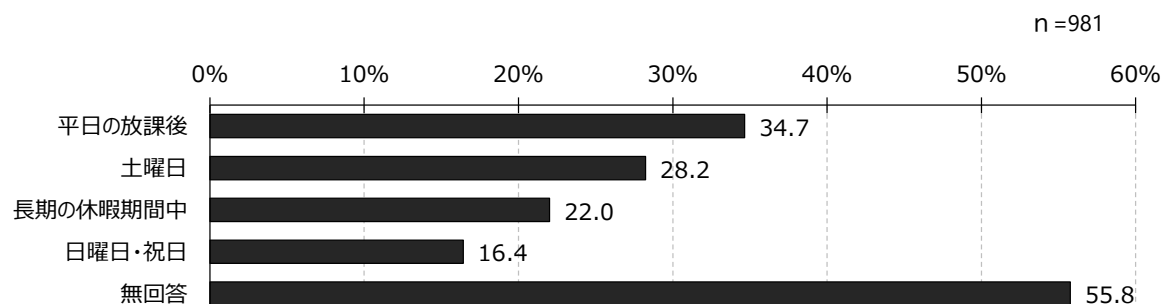
「長期の休暇期間中」が 25.1%と最も多く、「日曜日・祝日」が 20.5%、「土曜日」が 18.8%、「平日の放課後」が 12.0%となっています。



問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

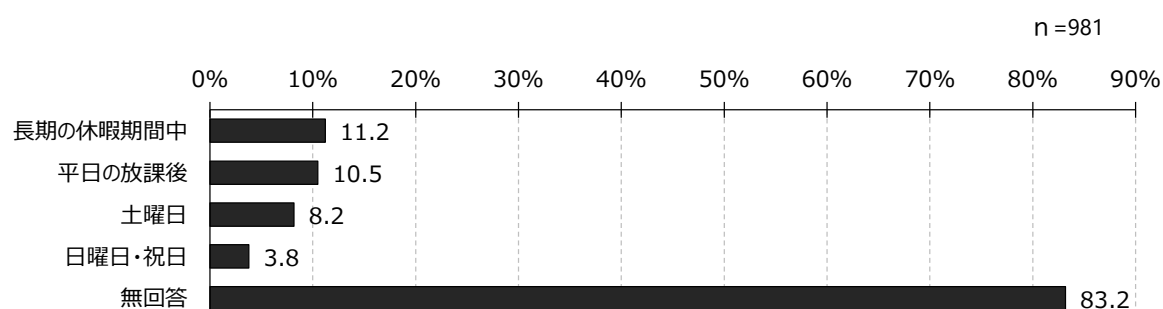
【複数回答】

「平日の放課後」が 34.7%と最も多く、「土曜日」が 28.2%、「長期の休暇期間中」が 22.0%、「日曜日・祝日」が 16.4%となっています。



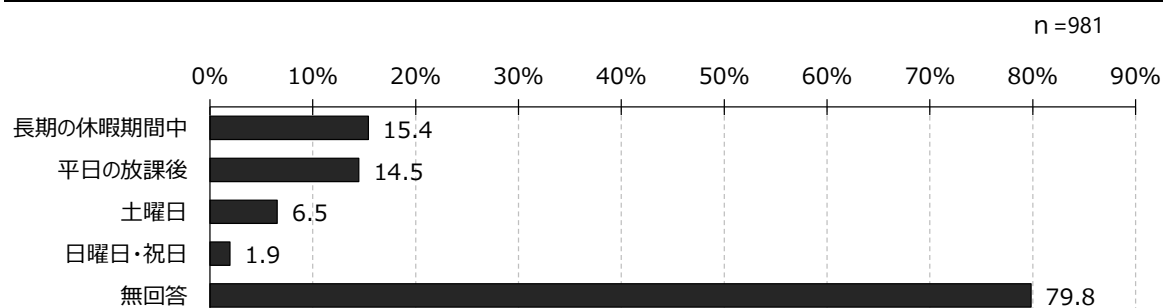
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／④放課後子ども教室【複数回答】

「長期の休暇期間中」が 11.2%と最も多く、「平日の放課後」が 10.5%、「土曜日」が 8.2%、「日曜日・祝日」が 3.8%となっています。



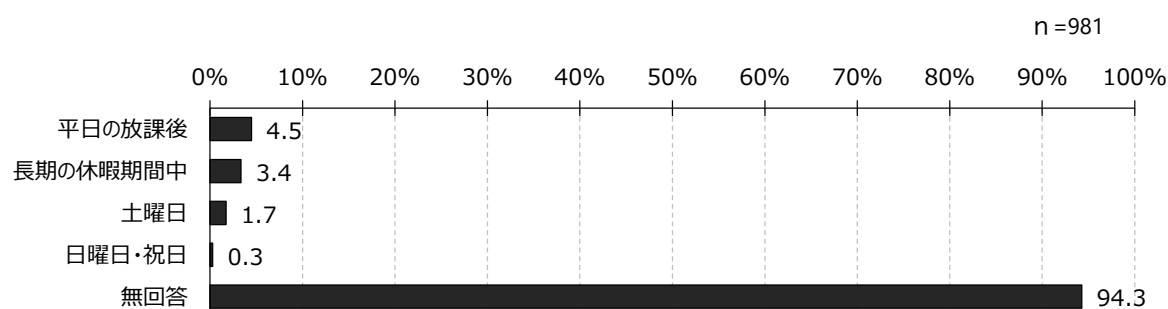
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／⑤放課後児童クラブ【複数回答】

「長期の休暇期間中」が 15.4%と最も多く、「平日の放課後」が 14.5%、「土曜日」が 6.5%、「日曜日・祝日」が 1.9%となっています。



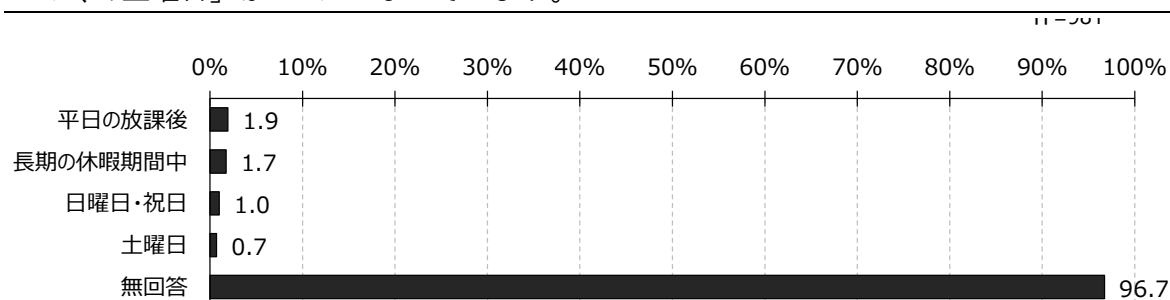
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／⑥放課後等デイサービス【複数回答】

「平日の放課後」が4.5%と最も多く、「長期の休暇期間中」が3.4%、「土曜日」が1.7%、「日曜日・祝日」が0.3%となっています。



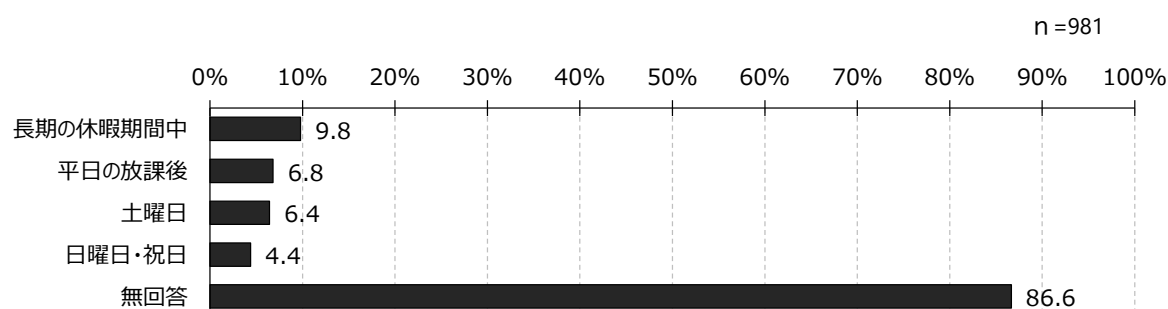
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／⑦ファミリー・サポート・センター(ラビットくん)【複数回答】

「平日の放課後」が1.9%と最も多く、「長期の休暇期間中」が1.7%、「日曜日・祝日」が1.0%、「土曜日」が0.7%となっています。



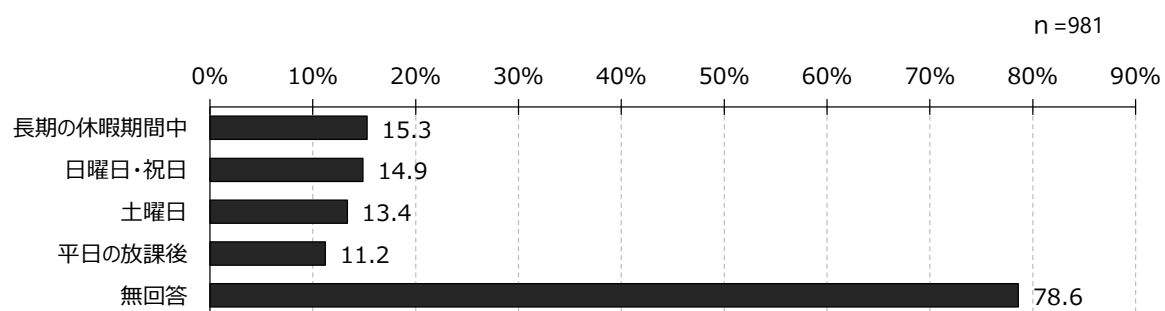
問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／⑧こどもの居場所【複数回答】

「長期の休暇期間中」が9.8%と最も多く、「平日の放課後」が6.8%、「土曜日」が6.4%、「日曜日・祝日」が4.4%となっています。



問 13 (2)高学年(4～6年生)の間／⑨その他（公民館、公園など）【複数回答】

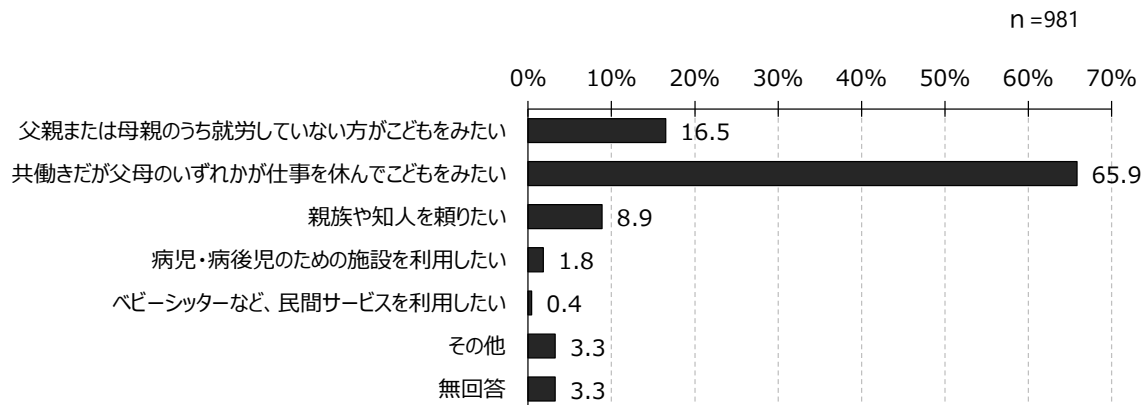
「長期の休暇期間中」が 15.3%と最も多く、「日曜日・祝日」が 14.9%、「土曜日」が 13.4%、「平日の放課後」が 11.2%となっています。



お子さんの病気等の際の対応について

問 14 お子さんが病気やケガの際、どのように対応したいと思いますか。【単数回答】

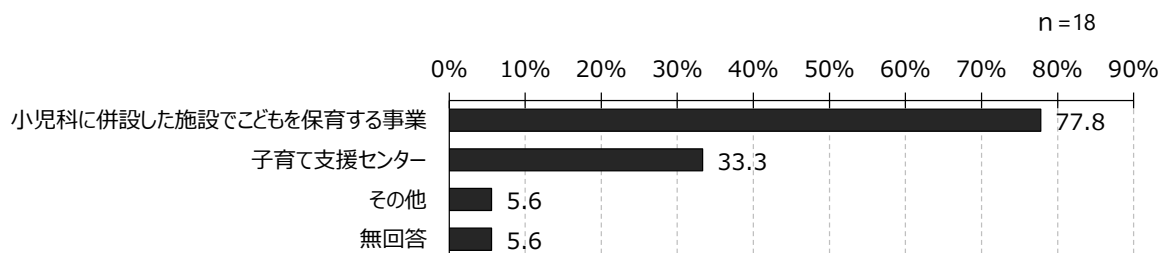
「共働きだが父母のいずれかが仕事を休んでこどもをみたい」が65.9%と最も多く、「父親または母親のうち就労していない方がこどもをみたい」が16.5%、「親族や知人を頼りたい」が8.9%、「その他」が3.3%、「病児・病後児のための施設を利用したい」が1.8%となっています。



問14で「病児・病後児のための施設を利用したい」に○をつけた人

問 14-1 お子さんが病気やケガの際にこどもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【複数回答】

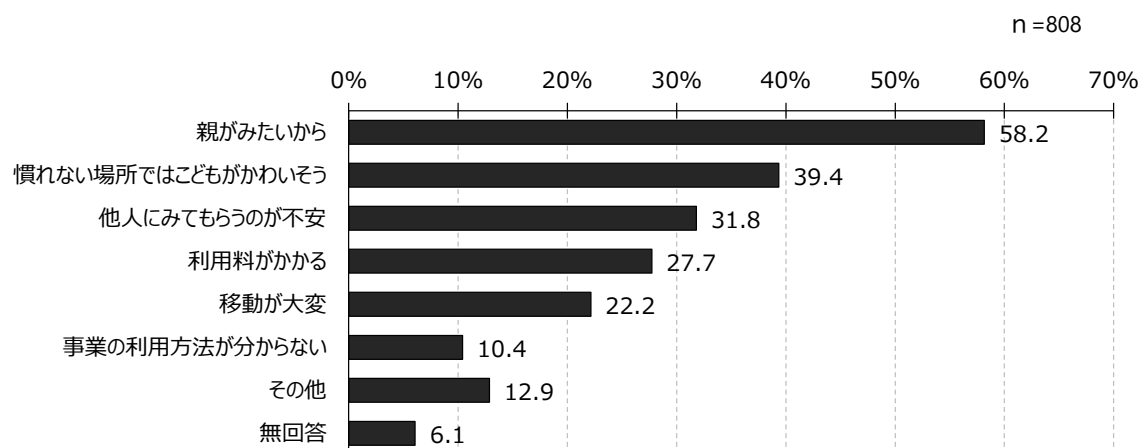
「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」が77.8%と最も多く、「子育て支援センター」が33.3%、「その他」が5.6%となっています。



問14で「父母のいずれかがこどもをみたい」(就労していない人・仕事を休んで)に○をつけた人

問 14-2 施設・民間サービス・親族や知人をお願いしたいと思わない理由は何ですか。【複数回答】

「親がみたいから」が58.2%と最も多く、「慣れない場所ではこどもがかわいそう」が39.4%、「他人にみてもらうのが不安」が31.8%、「利用料がかかる」が27.7%、「移動が大変」が22.2%となっています。

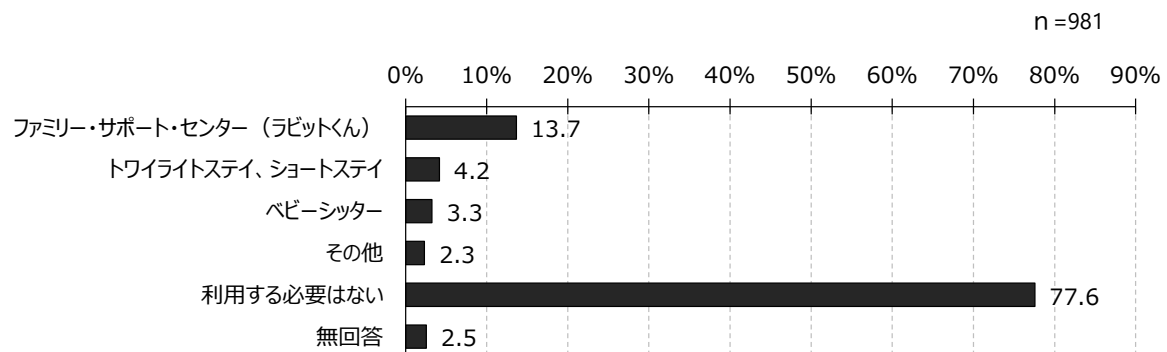


お子さんの一時預かり等の利用について

問 15 お子さんについて、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で利用したい事業はありますか。

【複数回答】

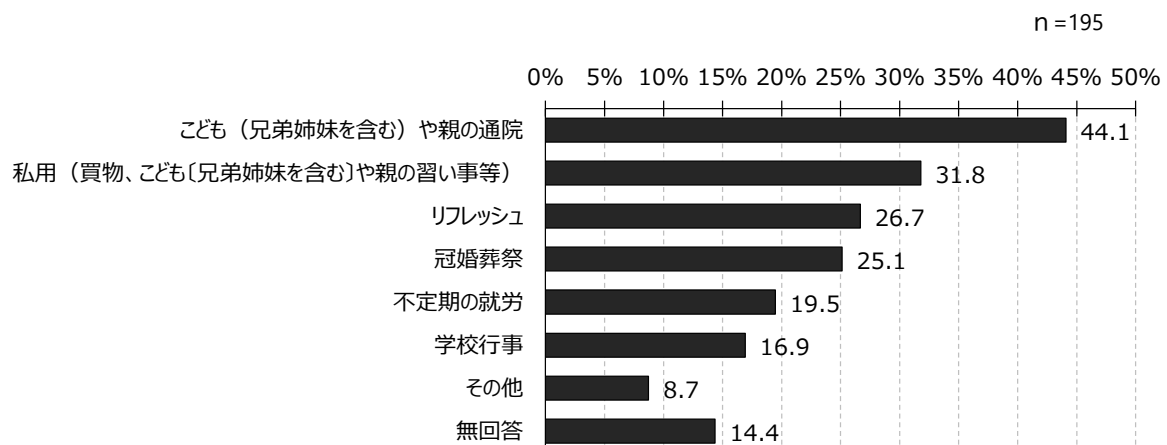
「利用する必要はない」が77.6%と最も多く、「ファミリー・サポート・センター（ラビットくん）」が13.7%、「トワイライトステイ、ショートステイ」が4.2%、「ベビーシッター」が3.3%、「その他」が2.3%となっています。



問15で「1～4」（利用する必要はない以外）に○をつけた人

問 15-1 どのような目的で、事業を利用したいと思いますか。【複数回答】

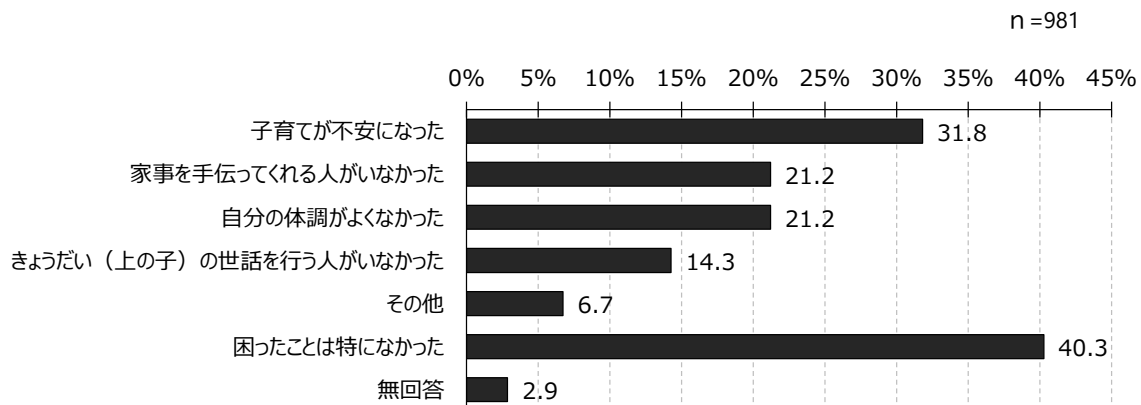
「こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院」が44.1%と最も多く、「私用（買物、こども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）」が31.8%、「リフレッシュ」が26.7%、「冠婚葬祭」が25.1%、「不定期の就労」が19.5%となっています。



子育て全般や子育ての環境について

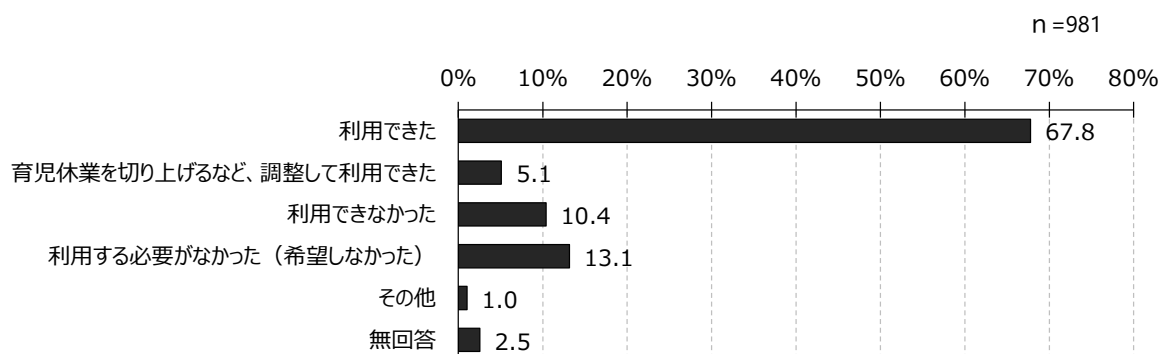
問 16 お子さんを出産した後で、困ったことはありましたか。【複数回答】

「困ったことは特になかった」が40.3%と最も多く、「子育てが不安になった」が31.8%、「家事を手伝ってくれる人がいなかった」「自分の体調がよくなかった」が21.2%、「きょうだい（上の子）の世話をを行う人がいなかった」が14.3%となっています。



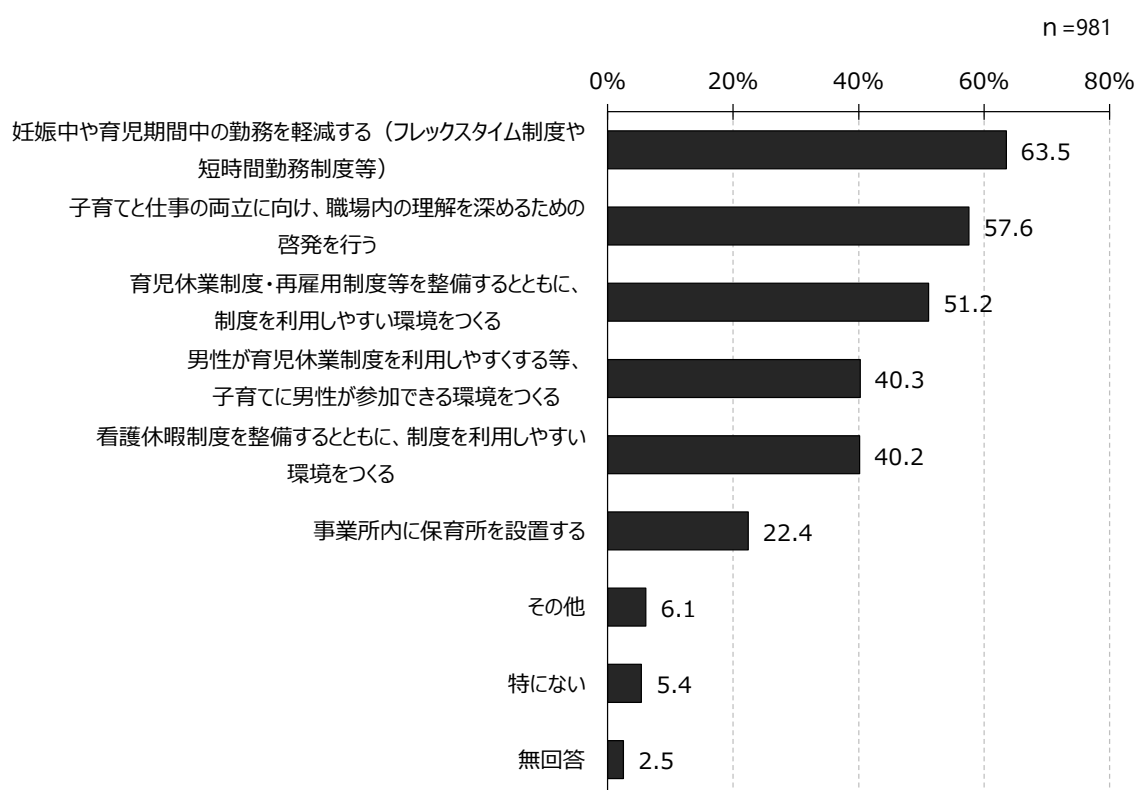
問 17 乳幼児期、希望した時期に、希望した保育事業を利用することができましたか。【単数回答】

「利用できた」が67.8%と最も多く、「利用する必要がなかった(希望しなかった)」が13.1%、「利用できなかった」が10.4%、「育児休業を切り上げるなど、調整して利用できた」が5.1%、「その他」が1.0%となっています。



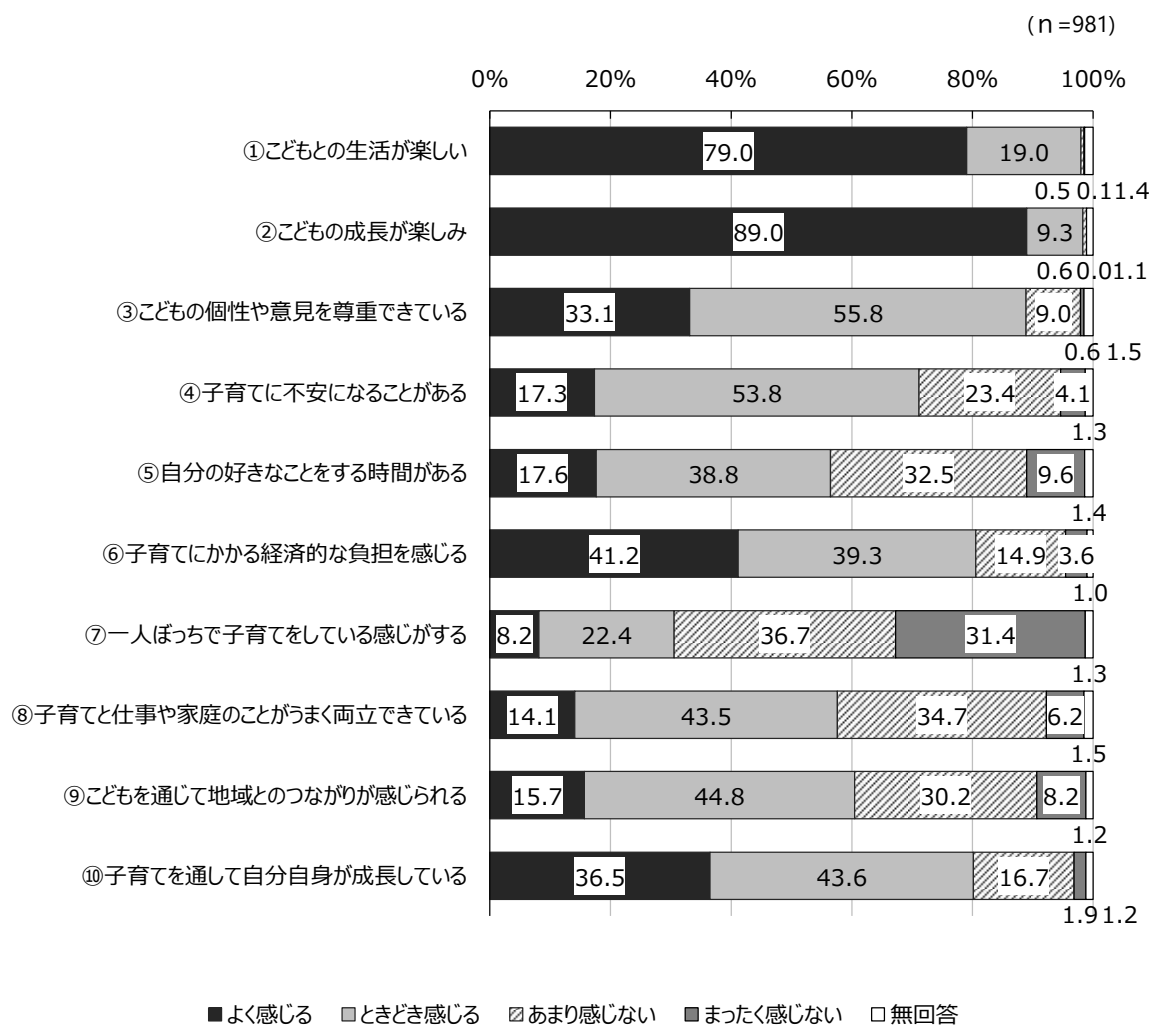
問18 子育てと仕事の両立支援として、職場にはどのような取組が必要だと思いますか。【複数回答】

「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度等）」が63.5%と最も多く、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が57.6%、「育児休業制度・再雇用制度等を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」が51.2%、「男性が育児休業制度を利用しやすくする等、子育てに男性が参加できる環境をつくる」が40.3%、「看護休暇制度を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる」が40.2%となっています。



問 19 子育てをしていて次のようなことを感じることはありますか。【単数回答】

「よく感じる」は「②こどもの成長が楽しみ」で 89.0%、「①こどもとの生活が楽しい」で 79.0%、「⑥子育てにかかる経済的な負担を感じる」で 41.2%、「⑩子育てを通して自分自身が成長している」で 36.5%、「③こどもの個性や意見を尊重できている」で 33.1%となっています。

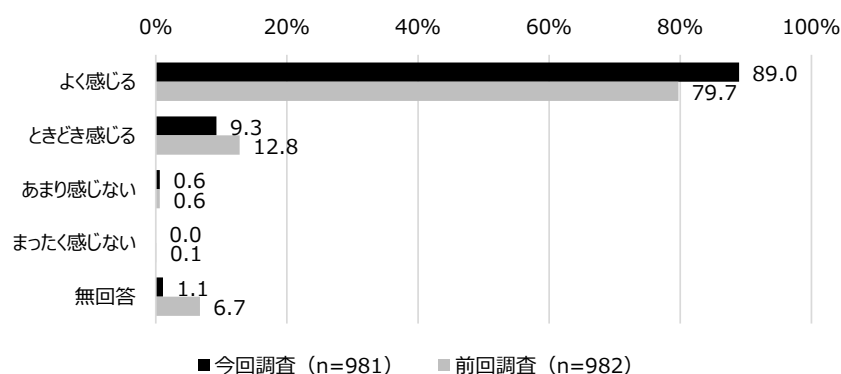


問 19 子育てをしていて感じること(前回比較)

問 19 の項目のうち前回調査と同等の設問について比較を行いました。

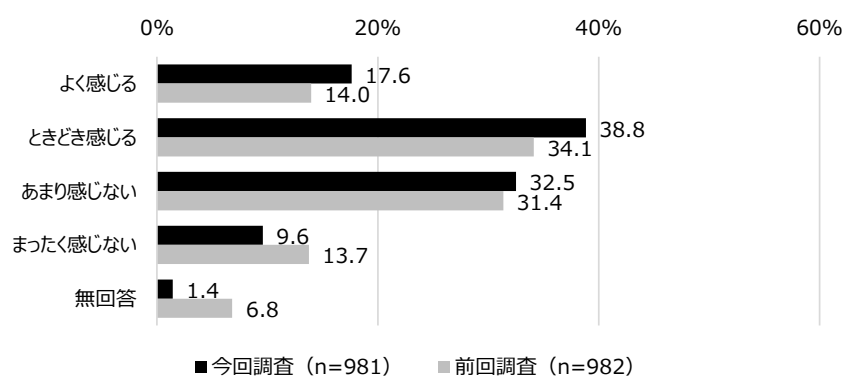
②子どもの成長が楽しみ

「よく感じる」が 9.3 ポイント増加しています。



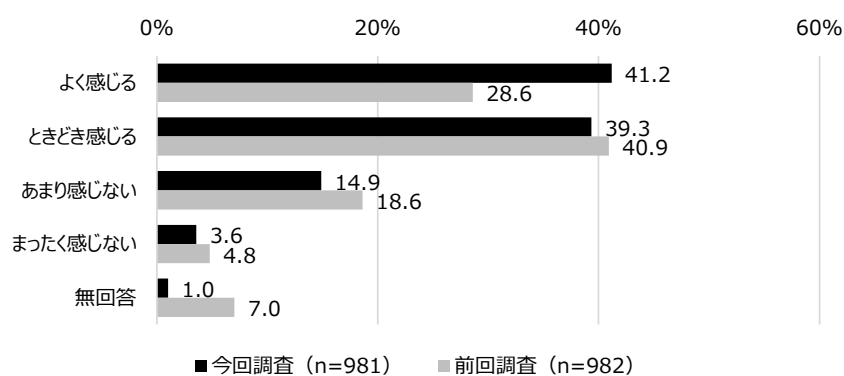
⑤自分の好きなことをする時間がある

「よく感じる」「ときどき感じる」がわずかに増加し、「まったく感じない」がわずかに減少しています。



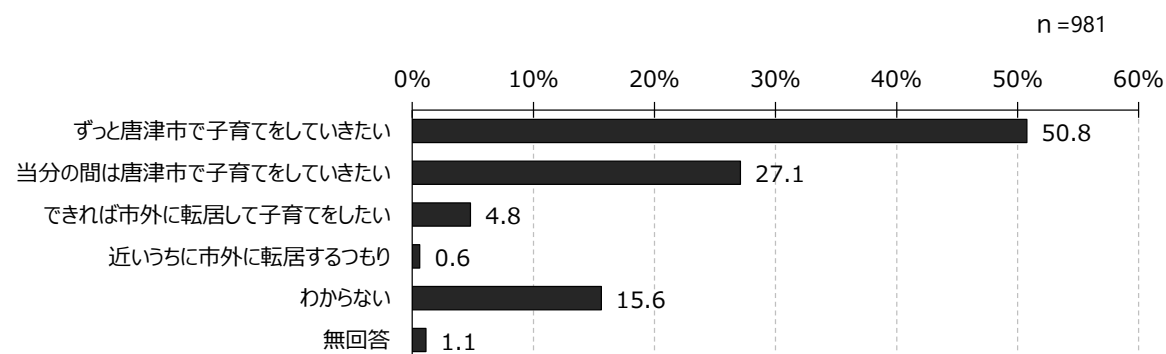
⑥子育てにかかる経済的な負担を感じる

「よく感じる」が 12.6 ポイント増加しています。



問 20 今後も唐津市で子育てをしていきたいと思いますか。【単数回答】

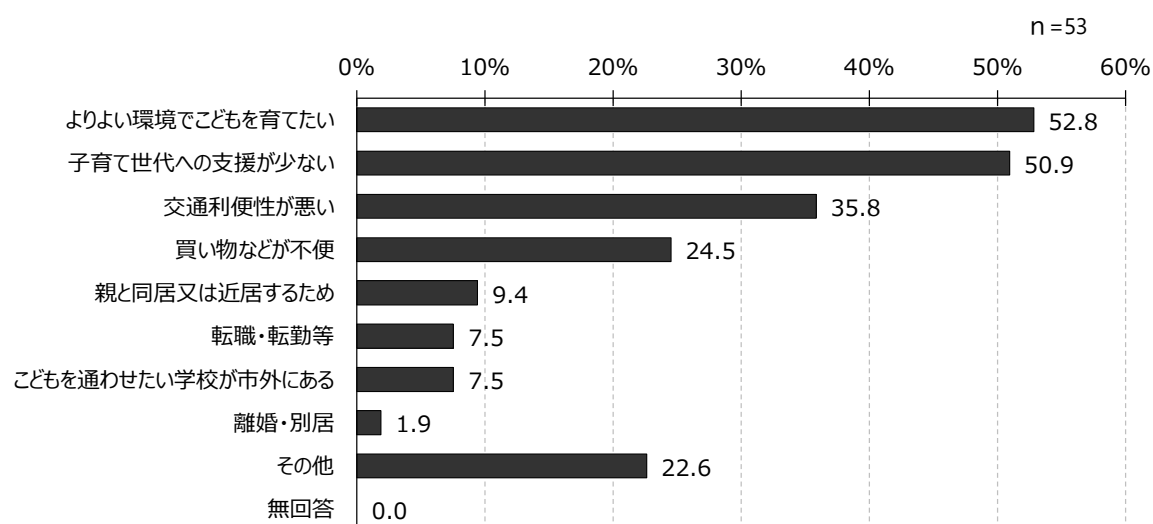
「ずっと唐津市で子育てをしていきたい」が 50.8%と最も多く、「当分の間は唐津市で子育てをしていきたい」が 27.1%、「わからない」が 15.6%、「できれば市外に転居して子育てをしたい」が 4.8%となっています。



問20で「できれば市外に転居して子育てをしたい」「近いうちに市外に転居するつもり」に○をつけた人

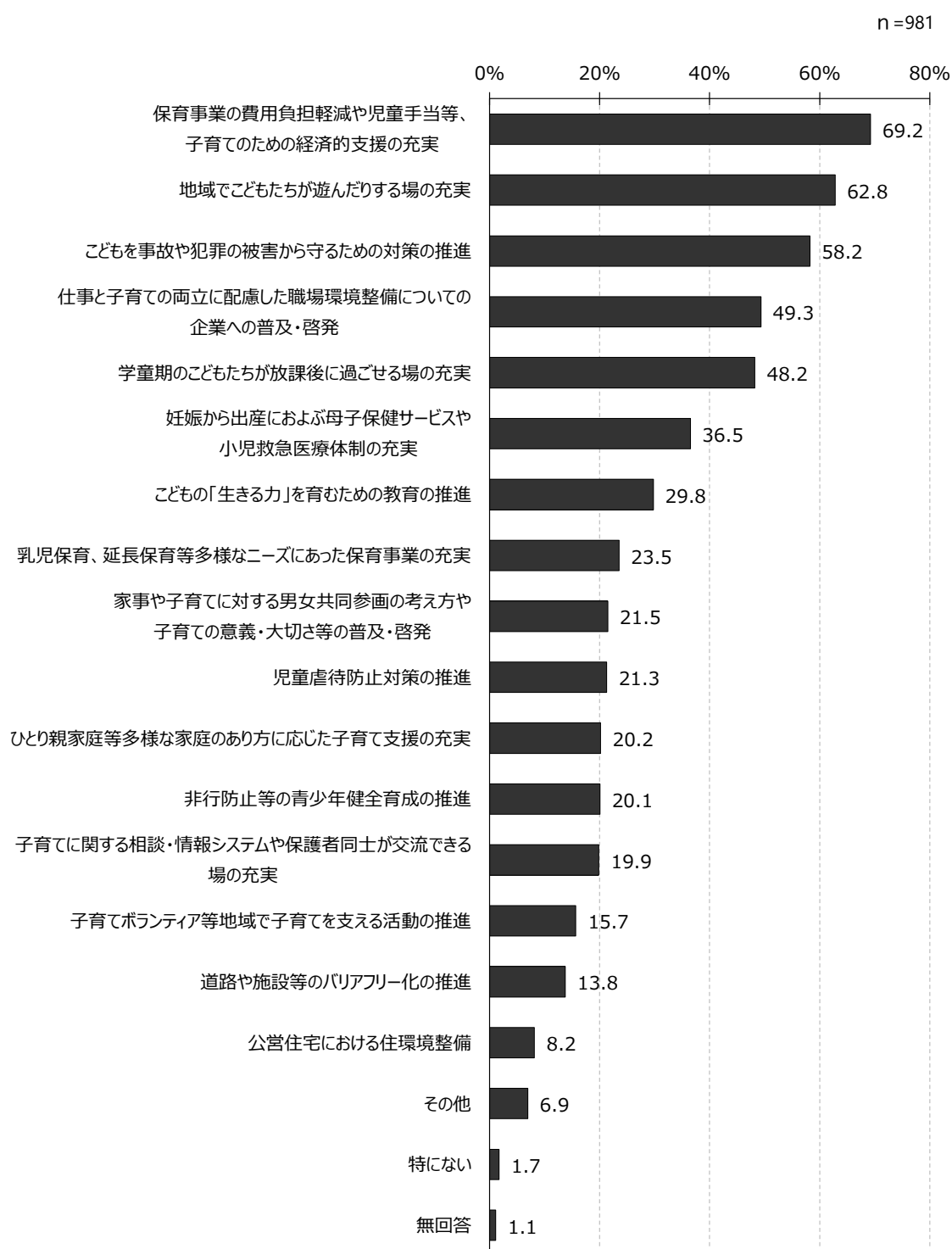
問 21 転居したい理由やきっかけを教えてください。【複数回答】

「よりよい環境でこどもを育てたい」が 52.8%と最も多く、「子育て世代への支援が少ない」が 50.9%、「交通利便性が悪い」が 35.8%、「買い物などが不便」が 24.5%、「その他」が 22.6%となっています。



問 22 こどもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。【複数回答】

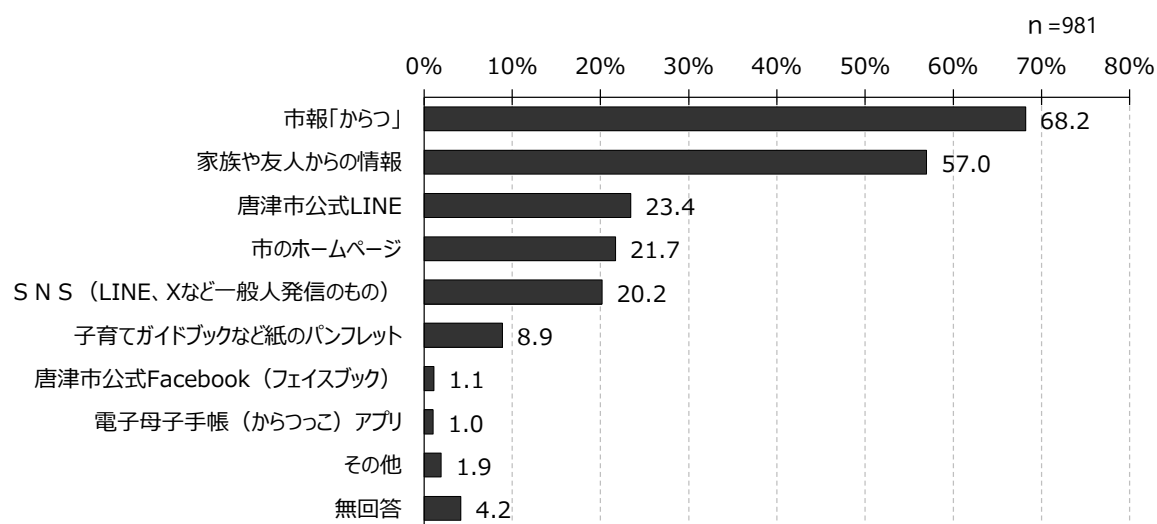
「保育事業の費用負担軽減や児童手当等、子育てのための経済的支援の充実」が 69.2%と最も多く、「地域でこどもたちが遊んだりする場の充実」が 62.8%、「こどもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進」が 58.2%、「仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発」が 49.3%、「学童期のこどもたちが放課後に過ごせる場の充実」が 48.2%となっています。



問 23 こどもや子育てに関する市の情報などをどういう方法で入手していますか。また、今後、どう
いう方法で入手したいですか。

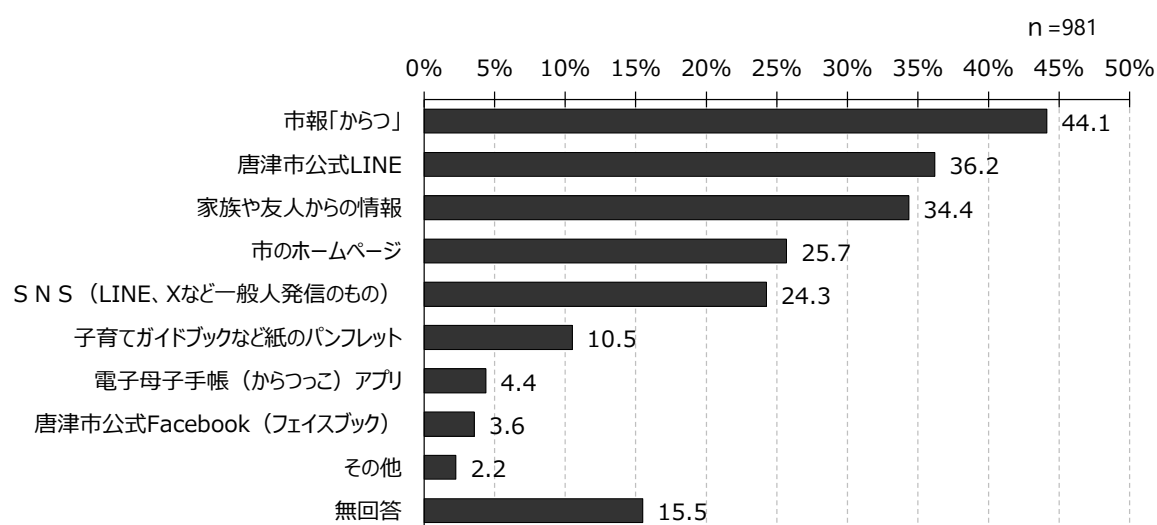
問 23 A 現在の入手方法【複数回答】

「市報「からつ」」が 68.2%と最も多く、「家族や友人からの情報」が 57.0%、「唐津市公式
LINE」が 23.4%、「市のホームページ」が 21.7%、「SNS（LINE、X など一般人発信のもの）」が 20.2%となっています。



問 23 B 今後、使いたい方法【複数回答】

「市報「からつ」」が 44.1%と最も多く、「唐津市公式 LINE」が 36.2%、「家族や友人からの
情報」が 34.4%、「市のホームページ」が 25.7%、「SNS（LINE、X など一般人発信のもの）」が 24.3%となっています。



問 24 最後に、市の子育て支援策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。【自由記入】

自由記入には 360 件の記入がありました。主な意見は以下のとおりです。

主な意見	件数
子育て支援の充実を求める声	119
子どもが遊べる施設の充実を希望	54
放課後児童クラブの充実や利用条件の改善を希望	38
物価高や子育て費用の増加による金銭的不安と支援の要望	33
給食の質と量の改善、給食費の完全無償化を希望	23
母子家庭・父子家庭への支援を希望	22
通学路の安全対策の強化を希望	21
地域との連携強化、地域の人の子育てへの理解を希望	20
不登校児、発達障がいへの支援	13
中学校入学時等の制服の費用軽減を希望	8

こどもの生活アンケート

Ⅳ 小学 5 年生保護者・ 中学 2 年生保護者 結果

こどもの生活アンケートにおける経済的な状況の分類

1 こどもの生活アンケートにおける経済的な状況の分類

こどもの生活アンケートの保護者票では、「世帯全体のおおよその年間収入（税込）」の設問（問18）と、「生計を同一にしている家族の人数」の設問（問2）を設けています。

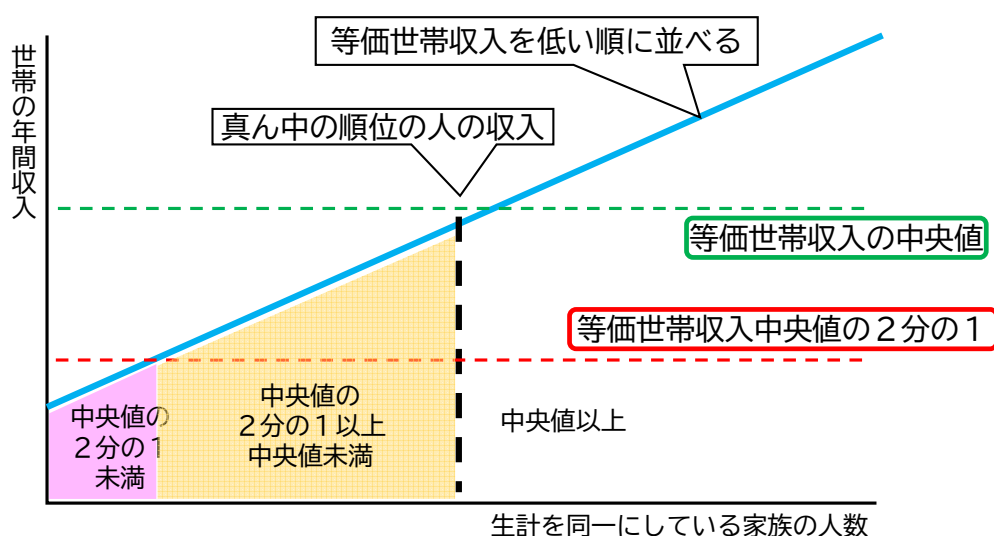
上記2つの回答から、今後、「経済的な状況別」として以下のような処理を行い、「等価世帯収入」による分類による分析を行っています。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする）。

○上記の値を、同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、「中央値以上」、「中央値の2分の1以上中央値未満」、「中央値の2分の1未満」で分類する。

等価世帯収入＝世帯の収入を、同居家族の人数の平方根で除す



2 こどもの生活アンケートにおける経済的な状況の分類結果

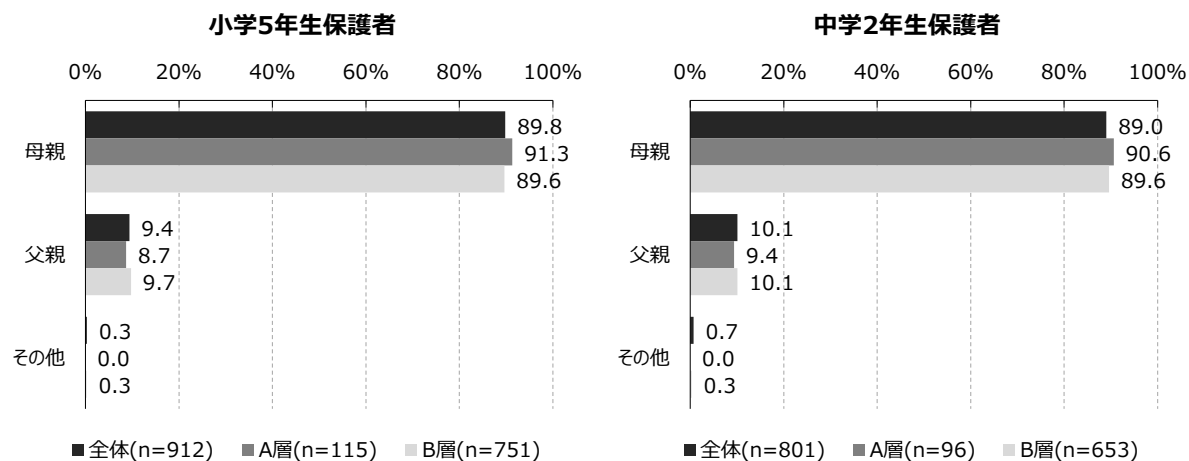
前述の経済的な状況の分類を行った結果の状況別の割合は以下のとおりです。

上段：n(回答数) 下段：％		合計	経済的な状況			
			中央値の2分の1未満	中央値の2分の1以上中央値未満	中央値以上	無回答
全体		1713	211	570	834	98
		100.0	12.3	33.3	48.7	5.7
学年	小学5年生保護者	912	115	320	431	46
		100.0	12.6	35.1	47.3	5.0
	中学2年生保護者	801	96	250	403	52
		100.0	12.0	31.2	50.3	6.5
本報告書での表記			全体			
			A層	B層		

本報告書では、「中央値の2分の1未満」に属する家庭を「A層」、「中央値以上」及び「中央値の2分の1以上中央値未満」に属する家庭を「B層」と表記し、経済的な状況別としてクロス集計を行っています。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。【単数回答】

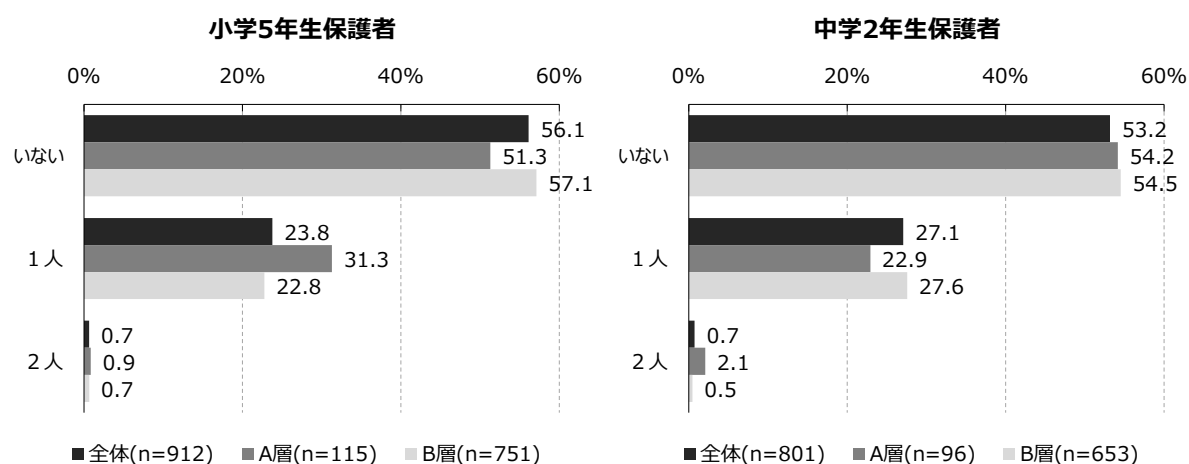
小学5年生保護者では「母親」が89.8%、「父親」が9.4%、中学2年生保護者では「母親」が89.0%、「父親」が10.1%となっています。



問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。【単数回答】

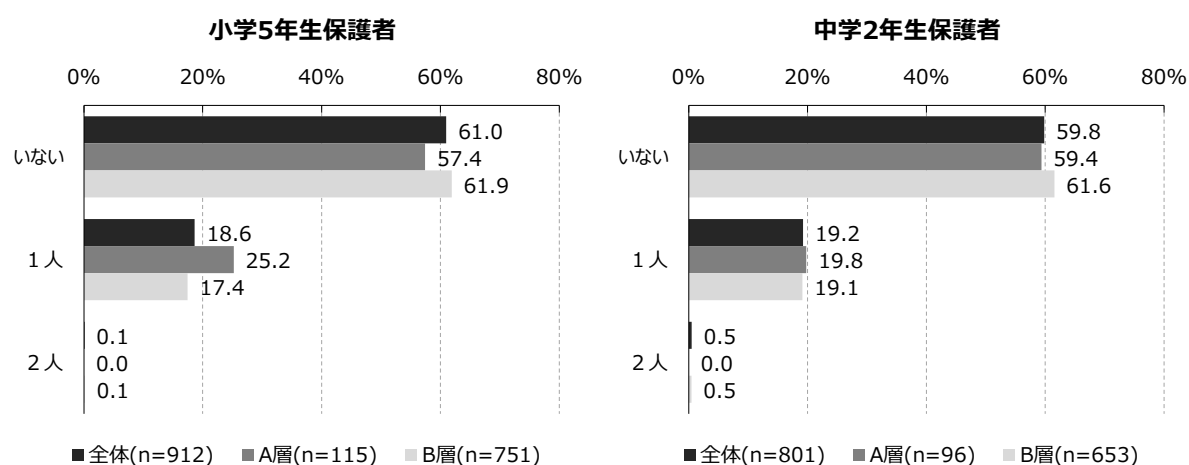
a) 祖母

小学5年生保護者では「いない」が56.1%、中学2年生保護者では「いない」が53.2%となっています。



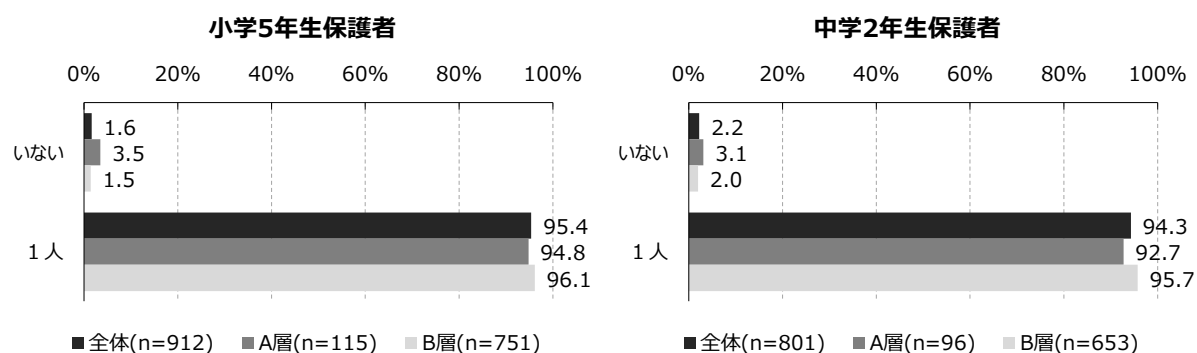
問2 b) 祖父

小学5年生保護者では「いない」が61.0%、中学2年生保護者では「いない」が59.8%となっています。



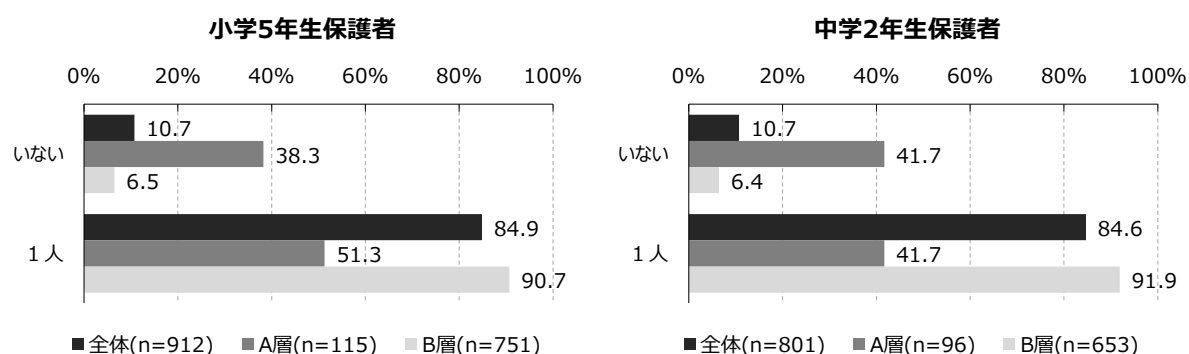
問2 c) 母親

小学5年生保護者では、「いない」が1.6%、中学2年生保護者では「いない」が2.2%となっています。



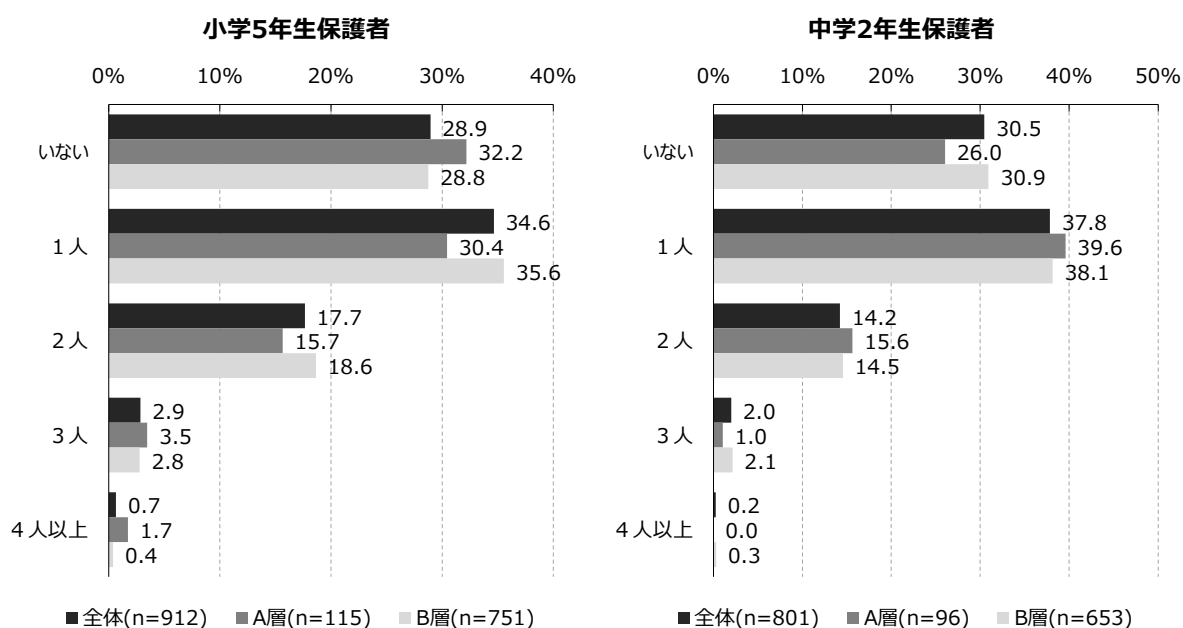
問2 d) 父親

小学5年生保護者では「いない」が10.7%、中学2年生保護者では「いない」が10.7%となっています。「いない」はA層で全体より多くなっています。



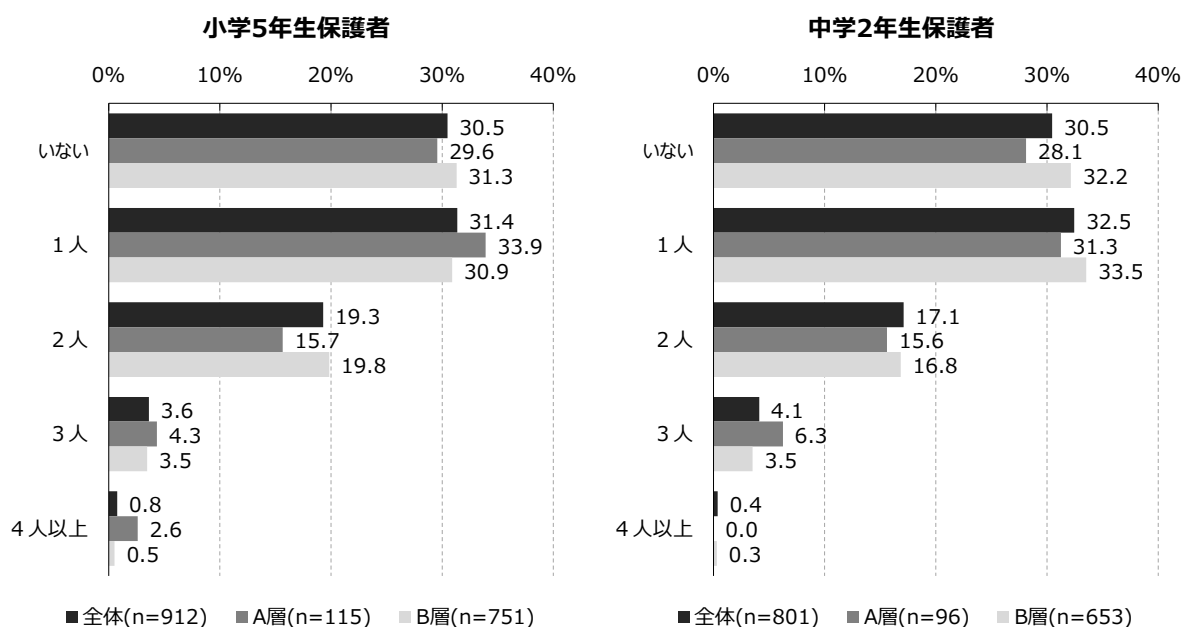
問2 e) 姉・兄

小学5年生保護者では「1人」が34.6%、「いない」が28.9%、中学2年生保護者では「1人」が37.8%、「いない」が30.5%となっています。



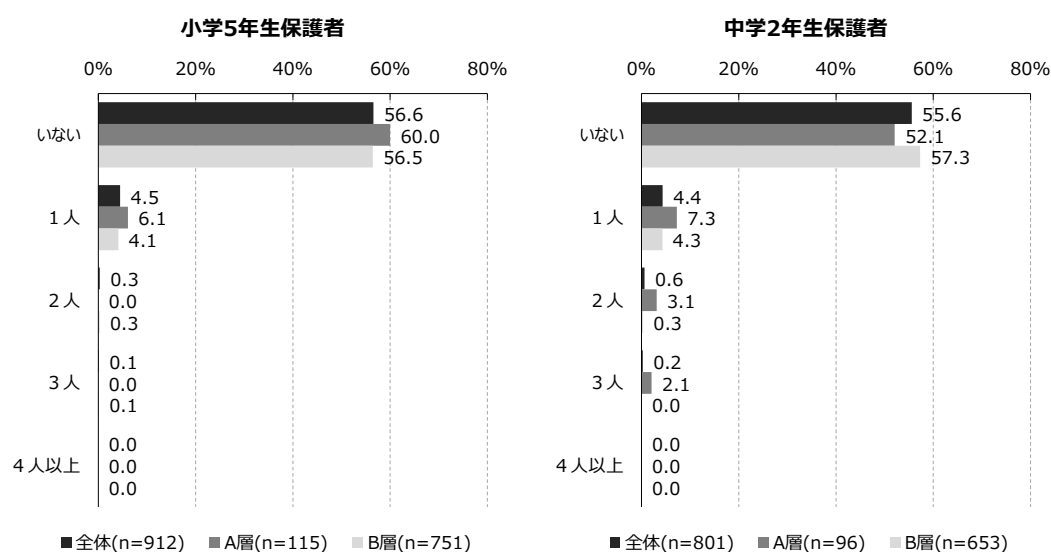
問2 f) 妹・弟

小学5年生保護者では「1人」が31.4%、「いない」が30.5%、中学2年生保護者では「1人」が32.5%、「いない」が30.5%となっています。



問2 g) その他

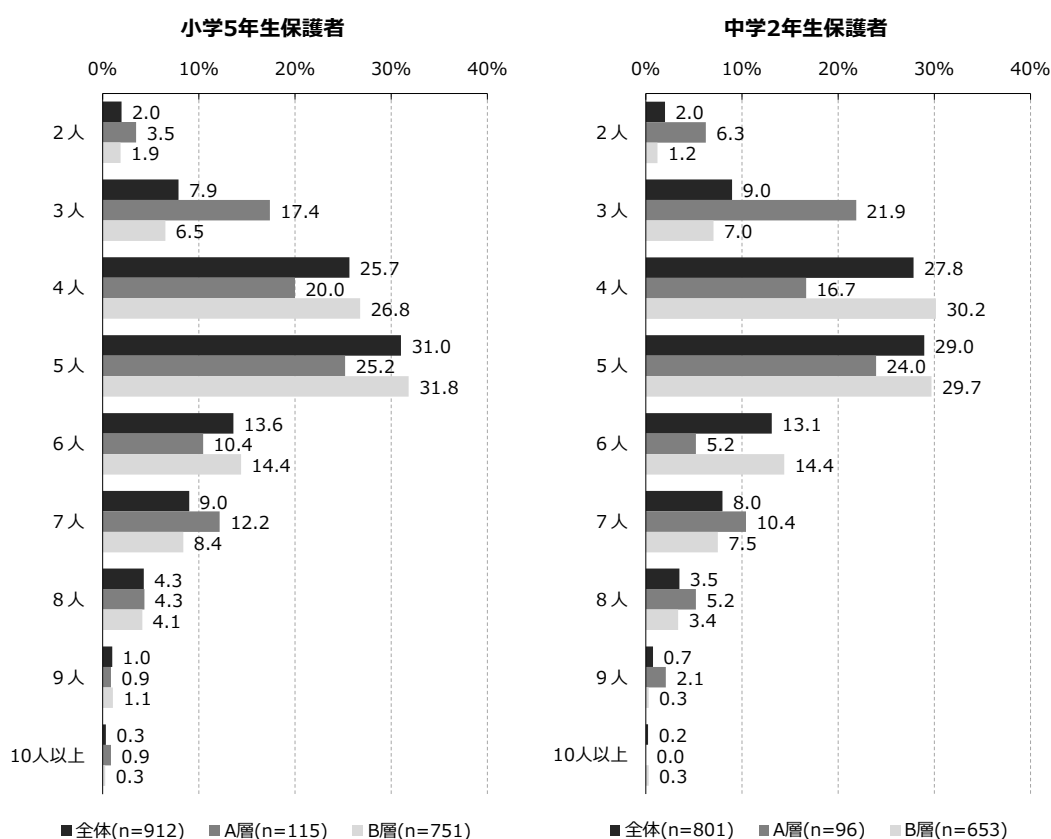
小学5年生保護者では「いない」が56.6%、中学2年生保護者では「いない」が55.6%となっています。



問2 h) 合計

小学5年生保護者では「5人」が31.0%、「4人」が25.7%となっています。中学2年生保護者では「5人」が29.0%、「4人」が27.8%となっています。

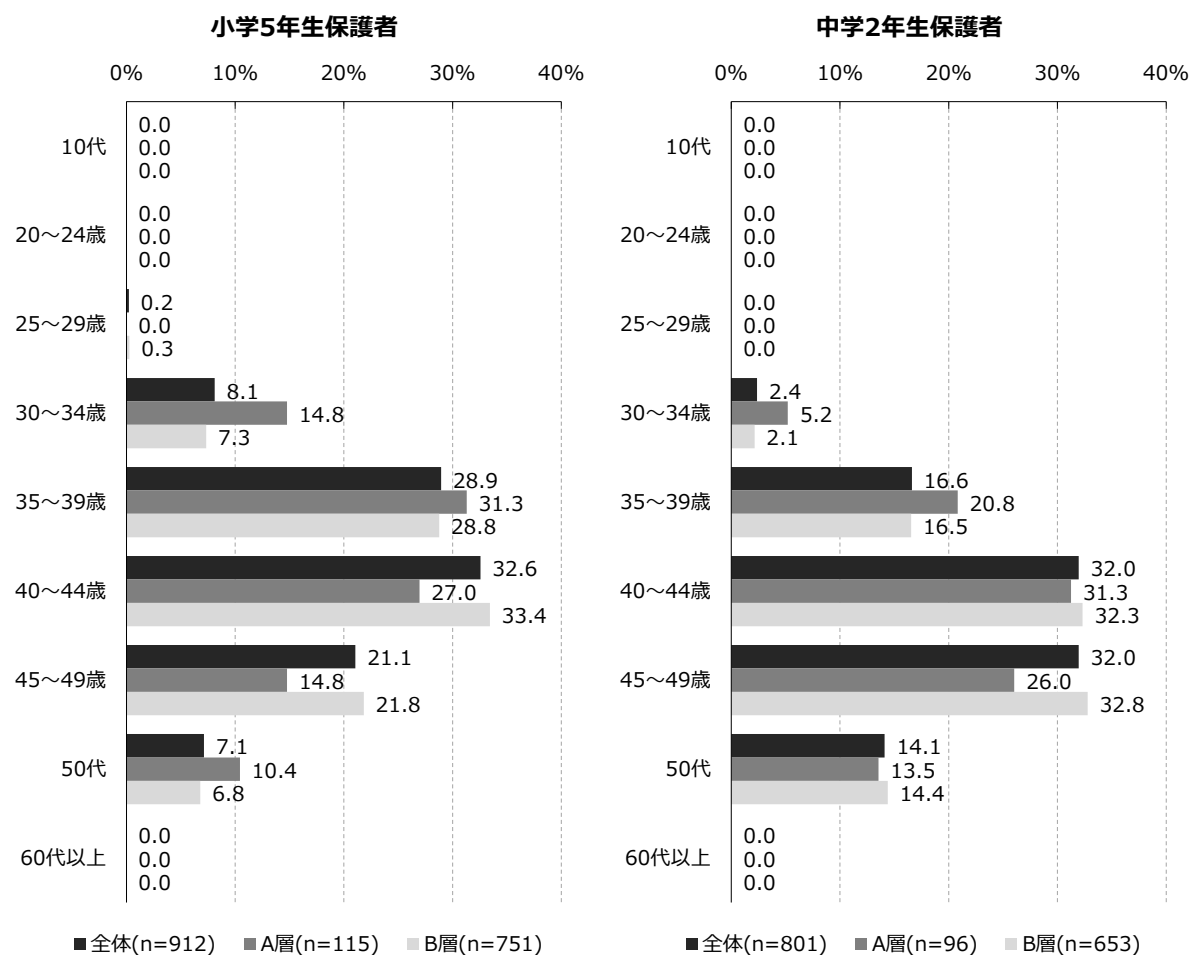
「2人」は5ポイント以上の差でA層がB層より多くなっています。



問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。【数値記入】

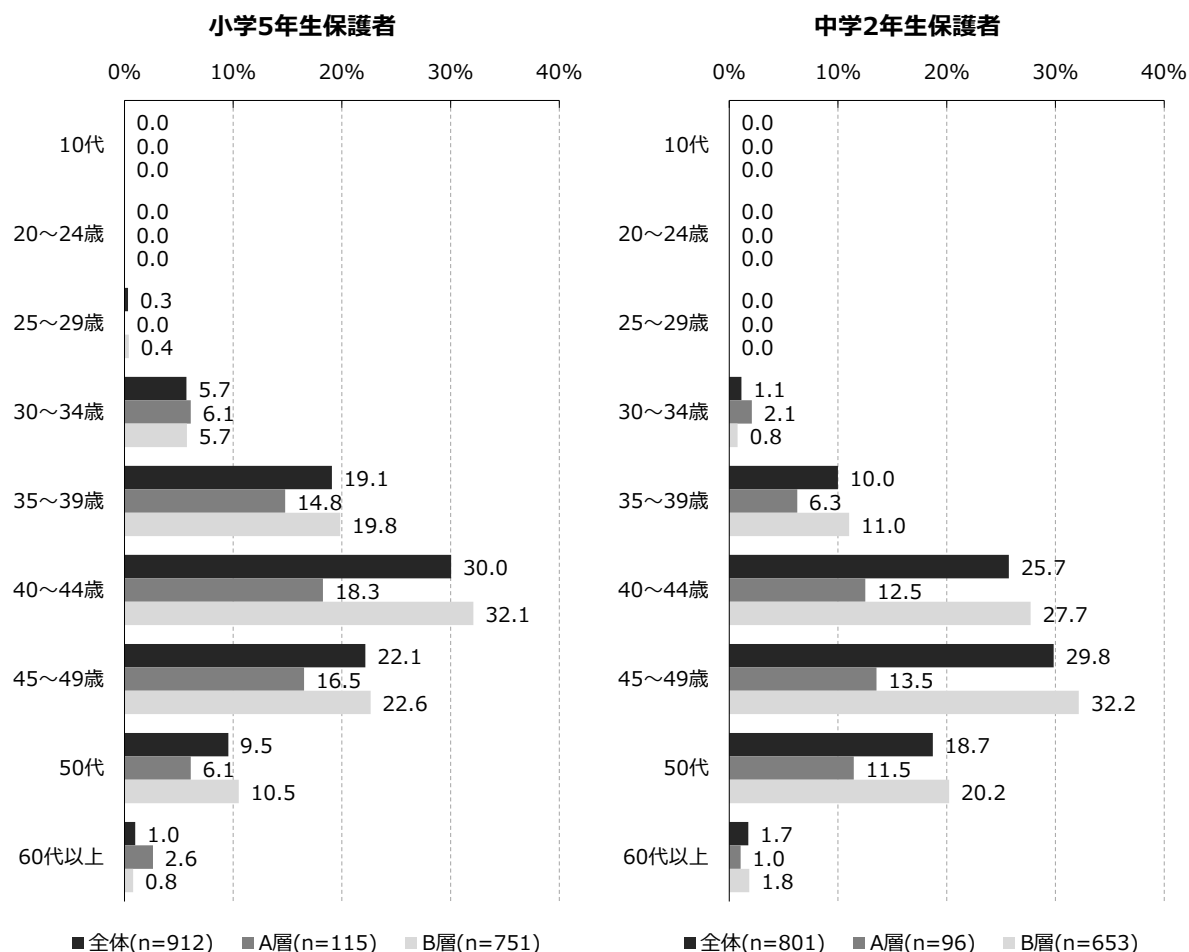
現在の年齢／母親

小学5年生保護者では「40～44歳」が32.6%と最も多く、「35～39歳」が28.9%、「45～49歳」が21.1%となっています。中学2年生保護者では「40～44歳」「45～49歳」が32.0%、「35～39歳」が16.6%となっています。



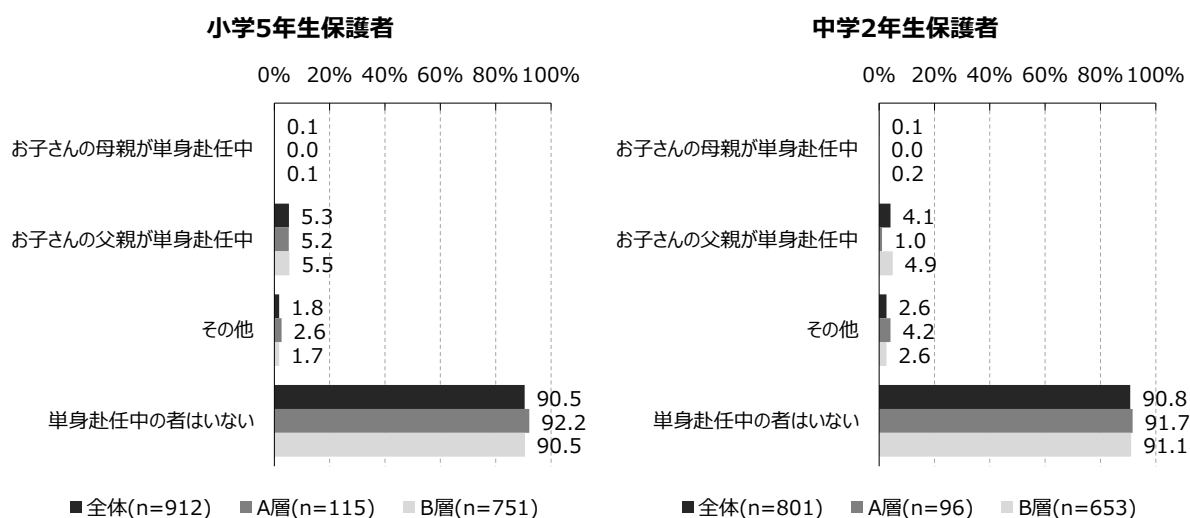
問3 現在の年齢／父親

小学5年生保護者では「40～44歳」が30.0%と最も多く、「45～49歳」が22.1%、「35～39歳」が19.1%となっています。中学2年生保護者では「45～49歳」が29.8%と最も多く、「40～44歳」が25.7%、「50代」が18.7%となっています。



問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。【複数回答】

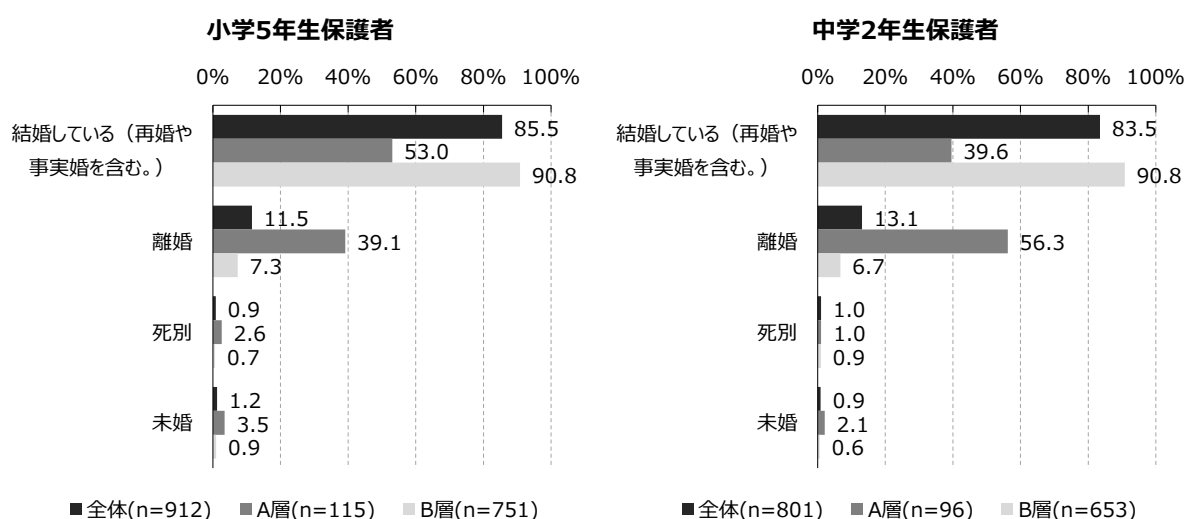
いずれも「単身赴任中の者はいない」が最も多くなっています。



問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。【単数回答】

小学5年生保護者では「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が85.5%と最も多く、「離婚」が11.5%、「未婚」が1.2%となっています。中学2年生保護者では「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が83.5%と最も多く、「離婚」が13.1%、「死別」が1.0%となっています。

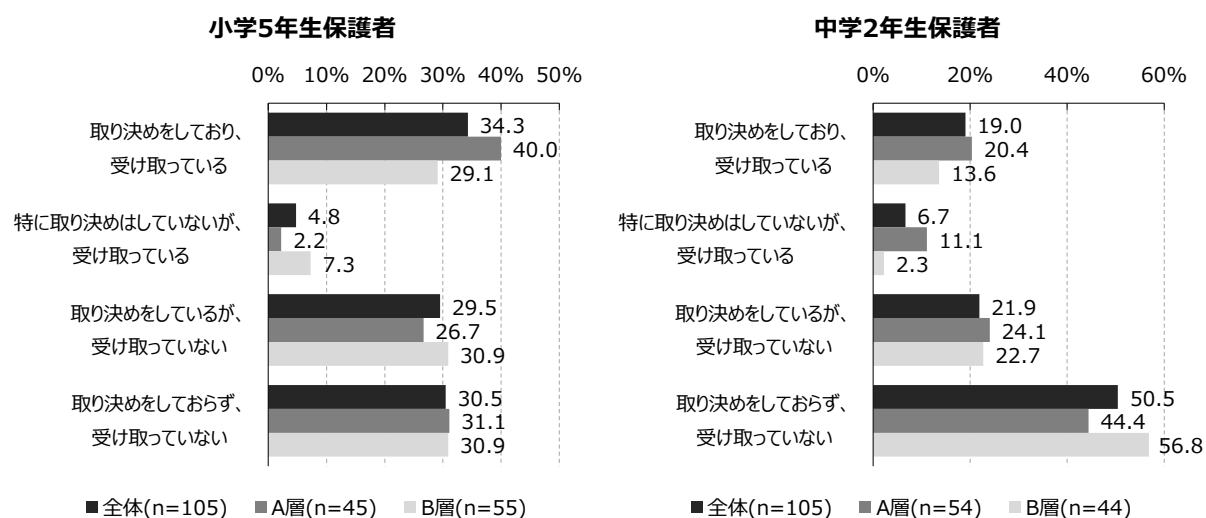
いずれもA層では「離婚」が全体より多くなっています。



前問で「離婚」を選んだ人

問6 離婚相手と、お子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。【単数回答】

小学5年生保護者では「取り決めをしており、受け取っている」が34.3%と最も多く、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が30.5%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が29.5%となっています。中学2年生保護者では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が50.5%と最も多く、「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.9%、「取り決めをしており、受け取っている」が19.0%となっています。

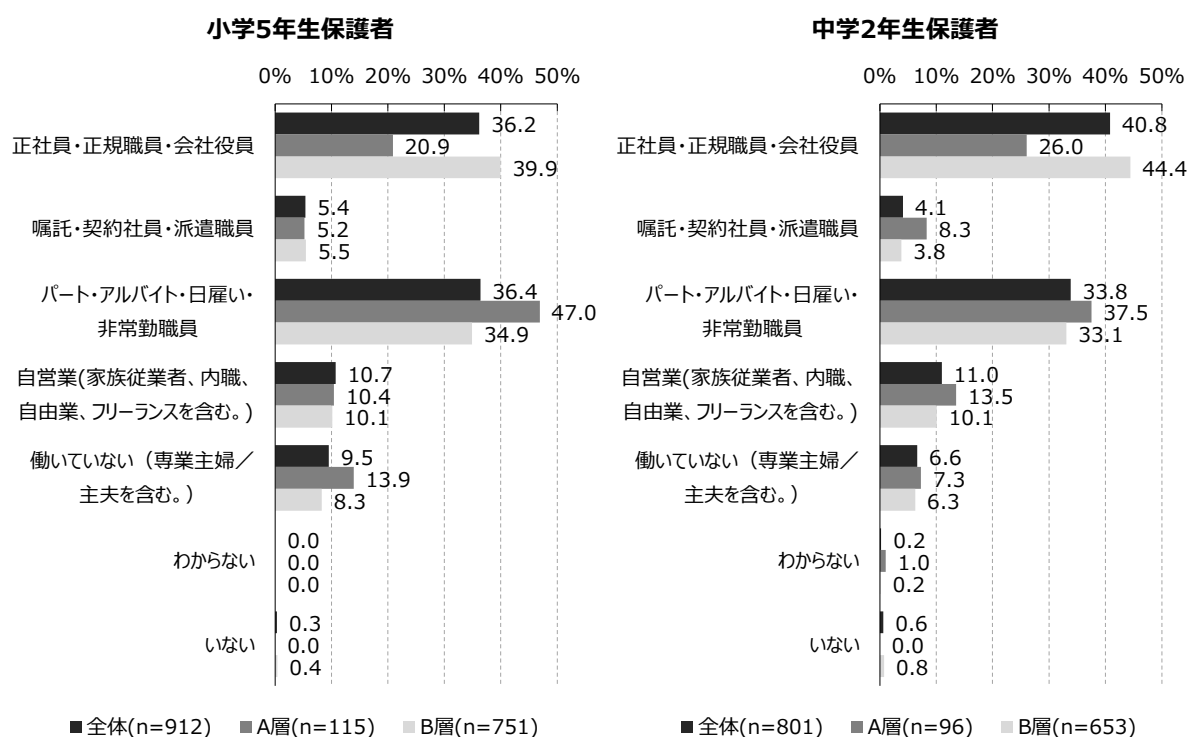


問7 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。【単数回答】

就労状況／a) 母親

小学5年生保護者では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が36.4%と最も多く、「正社員・正規職員・会社役員」が36.2%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が10.7%となっています。中学2年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」が40.8%と最も多く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が33.8%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が11.0%となっています。

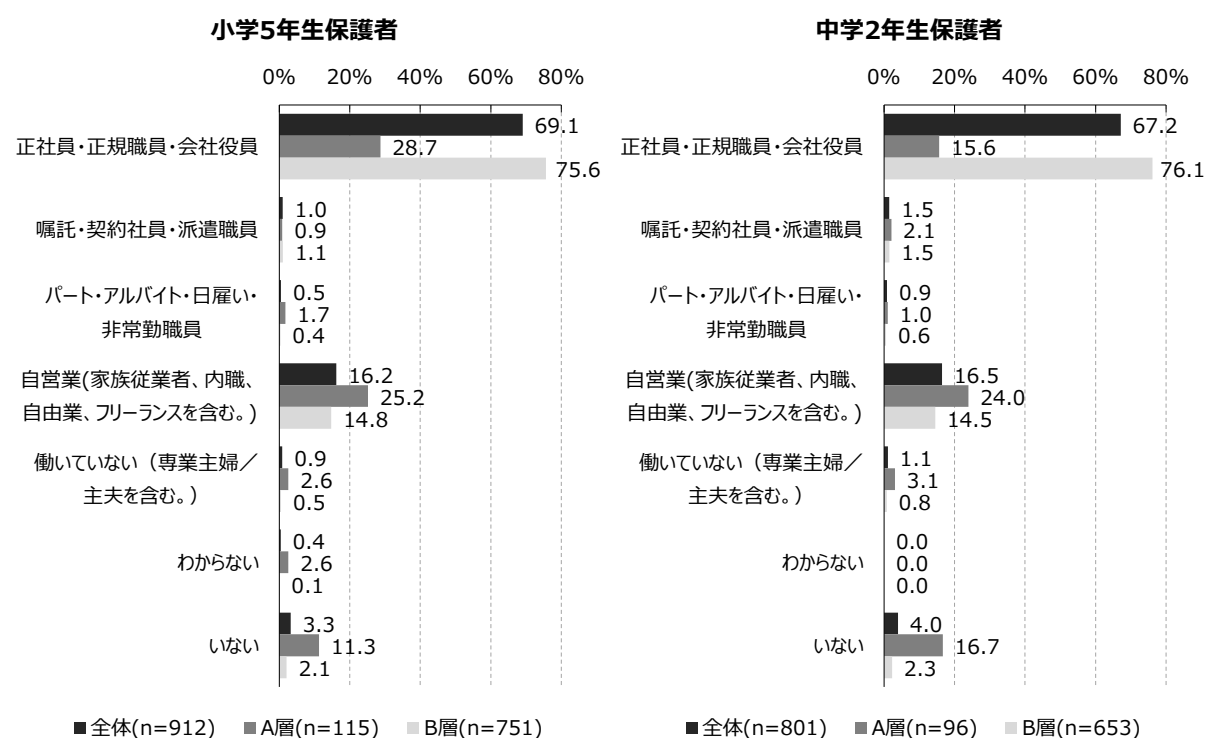
「正社員・正規職員・会社役員」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。また、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より多くなっています。



問7 就労状況／b) 父親

小学5年生保護者では「正社員・正規職員・会社役員」が69.1%と最も多く、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が16.2%、「いない」が3.3%となっています。中学2年生保護者では、「正社員・正規職員・会社役員」が67.2%と最も多く、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が16.5%、「いない」が4.0%となっています。

「正社員・正規職員・会社役員」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。また、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より多くなっています。



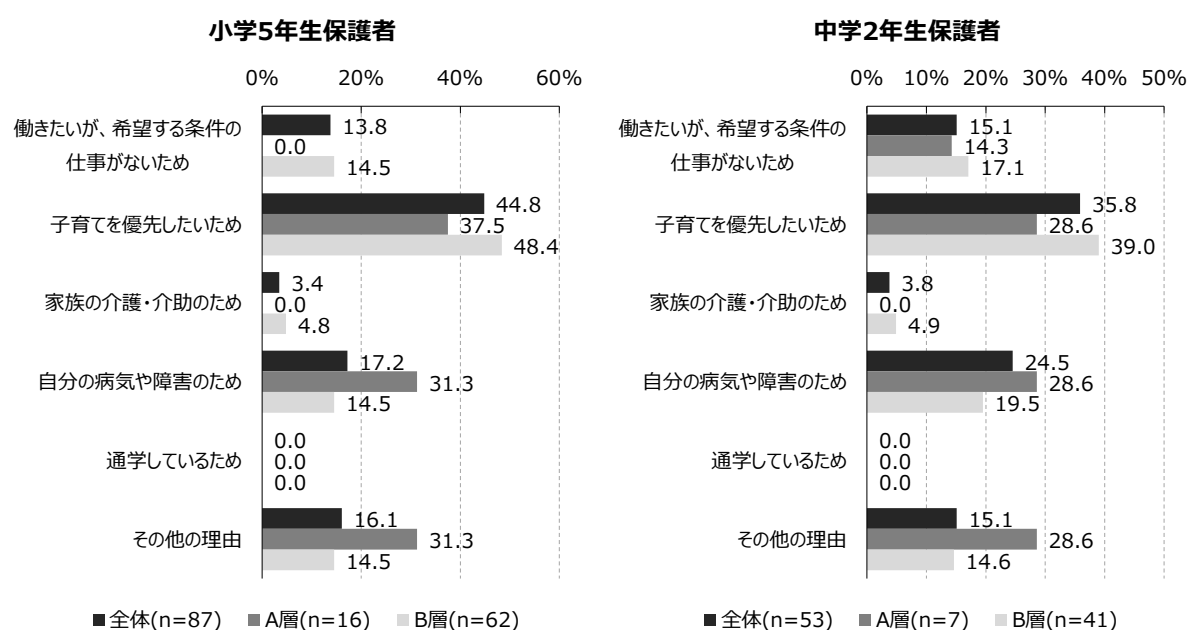
前の質問で「5 働いていない」と答えた人

問8 働いていない最も主な理由を教えてください。【単数回答】

働いていない最も主な理由／a) 母親

小学5年生保護者では「子育てを優先したいため」が44.8%と最も多く、「自分の病気や障害のため」が17.2%、「その他の理由」が16.1%となっています。中学2年生保護者では「子育てを優先したいため」が35.8%と最も多く、「自分の病気や障害のため」が24.5%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」「その他の理由」が15.1%となっています。

「子育てを優先したいため」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。

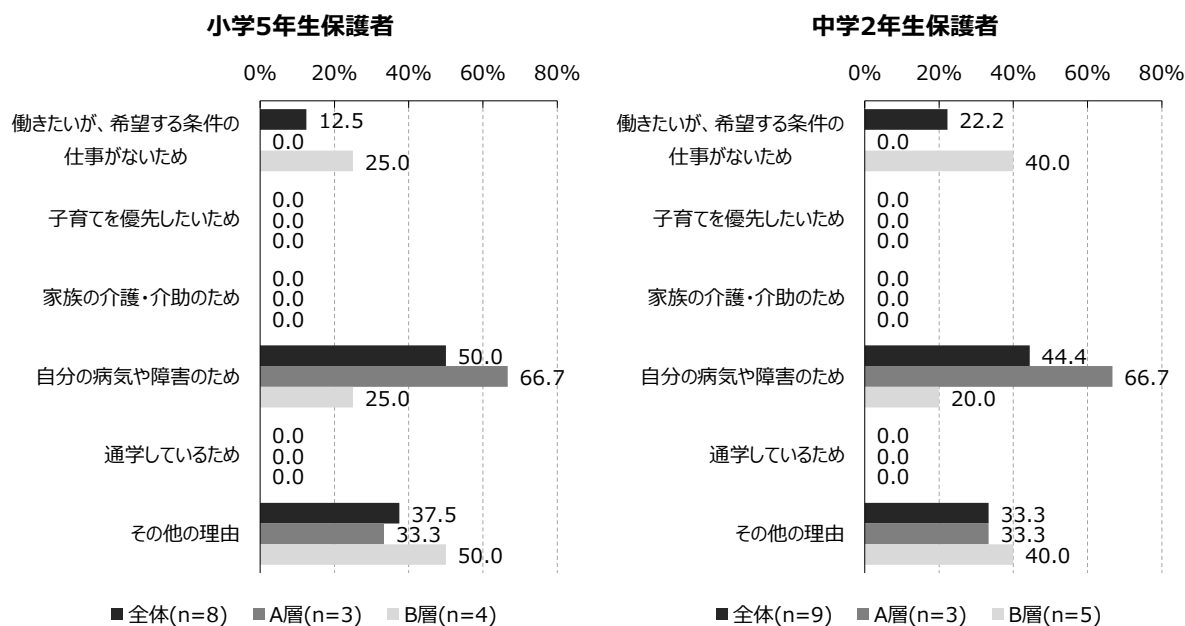


※本設問では佐賀県調査票と合わせ「障がい」を「障害」と表記

問8 働いていない最も主な理由／b) 父親

小学5年生保護者では「自分の病気や障害のため」が50.0%と最も多く、「その他の理由」が37.5%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が12.5%となっています。中学2年生保護者では「自分の病気や障害のため」が44.4%と最も多く、「その他の理由」が33.3%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が22.2%となっています。

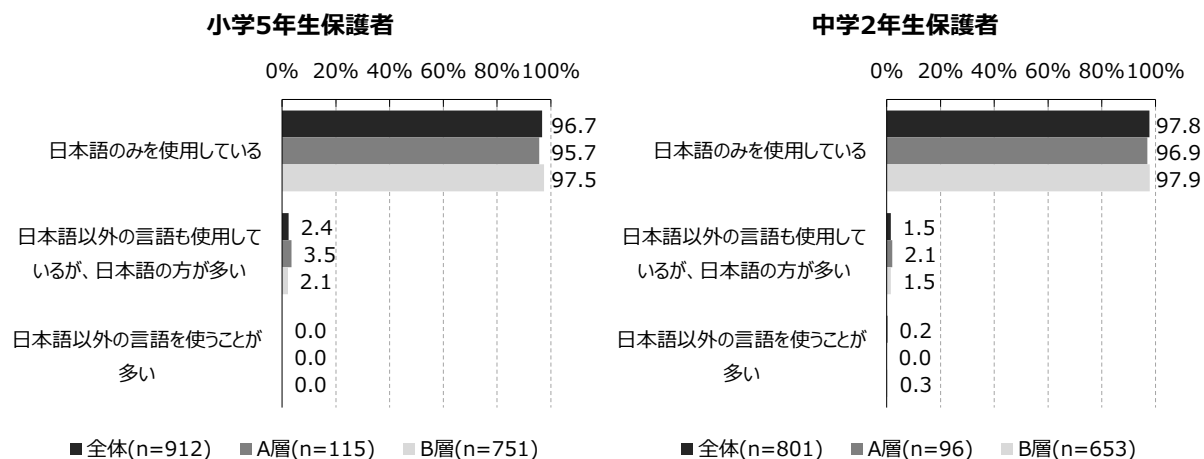
「自分の病気や障害のため」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より多くなっています。



※本設問では佐賀県調査票と合わせ「障がい」を「障害」と表記

問9 ご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。【単数回答】

小学5年生保護者では「日本語のみを使用している」が96.7%と最も多く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.4%、中学2年生保護者では「日本語のみを使用している」が97.8%と最も多く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.5%となっています。

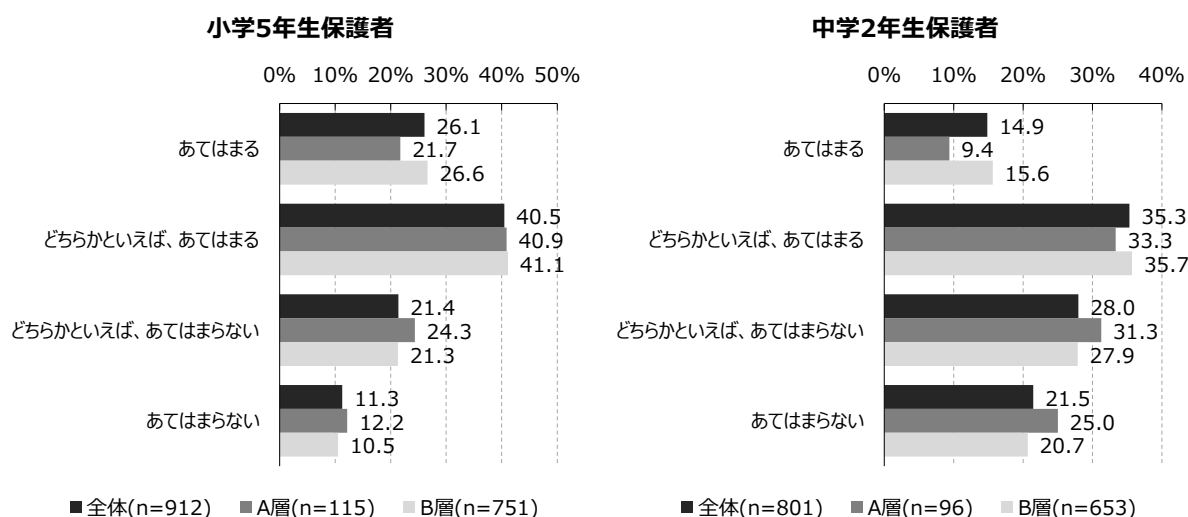


問 10 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

【単数回答】

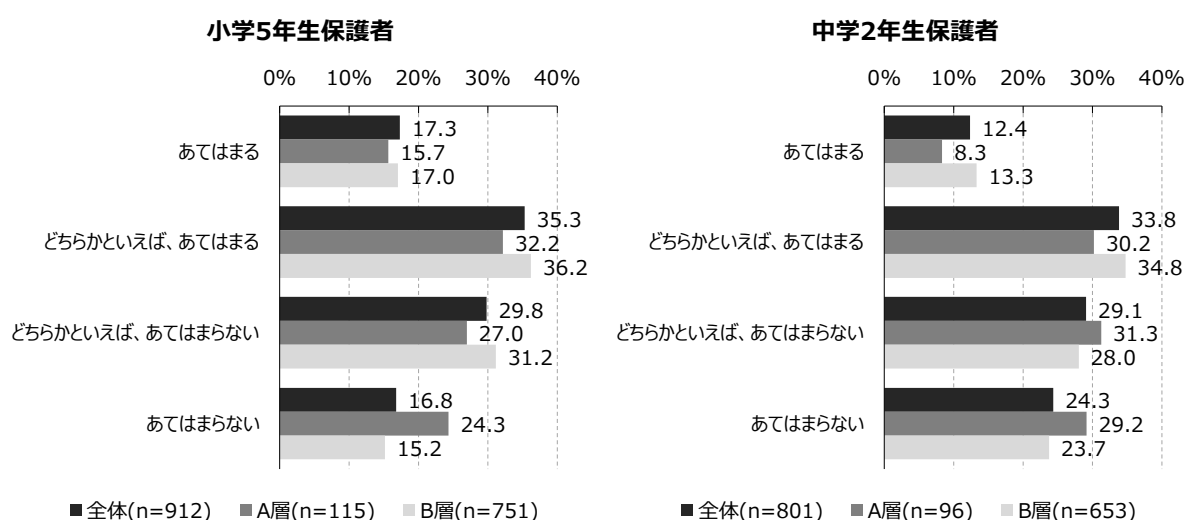
問 10 a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

小学5年生保護者では「どちらかといえば、あてはまる」が40.5%と最も多く、「あてはまる」が26.1%、「どちらかといえば、あてはまらない」が21.4%となっています。中学2年生保護者では「どちらかといえば、あてはまる」が35.3%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまらない」が28.0%、「あてはまらない」が21.5%となっています。



問 10 b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

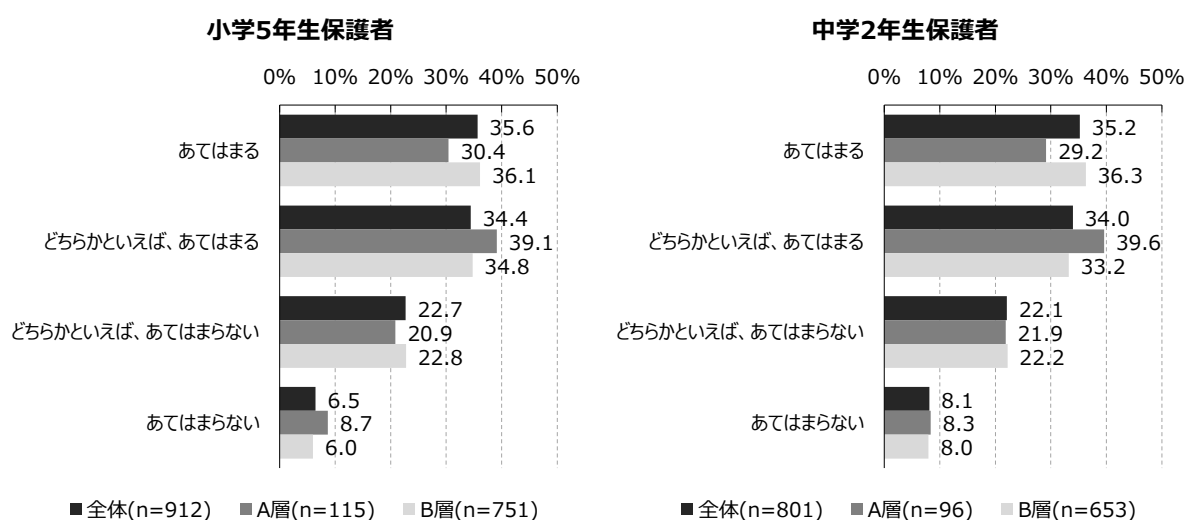
小学5年生保護者では「どちらかといえば、あてはまる」が35.3%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまらない」が29.8%、「あてはまる」が17.3%となっています。中学2年生保護者では、「どちらかといえば、あてはまる」が33.8%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまらない」が29.1%、「あてはまらない」が24.3%となっています。



問 10 c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

小学 5 年生保護者では「あてはまる」が 35.6%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまる」が 34.4%、「どちらかといえば、あてはまらない」が 22.7%となっています。中学 2 年生保護者では、「あてはまる」が 35.2%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまる」が 34.0%、「どちらかといえば、あてはまらない」が 22.1%となっています。

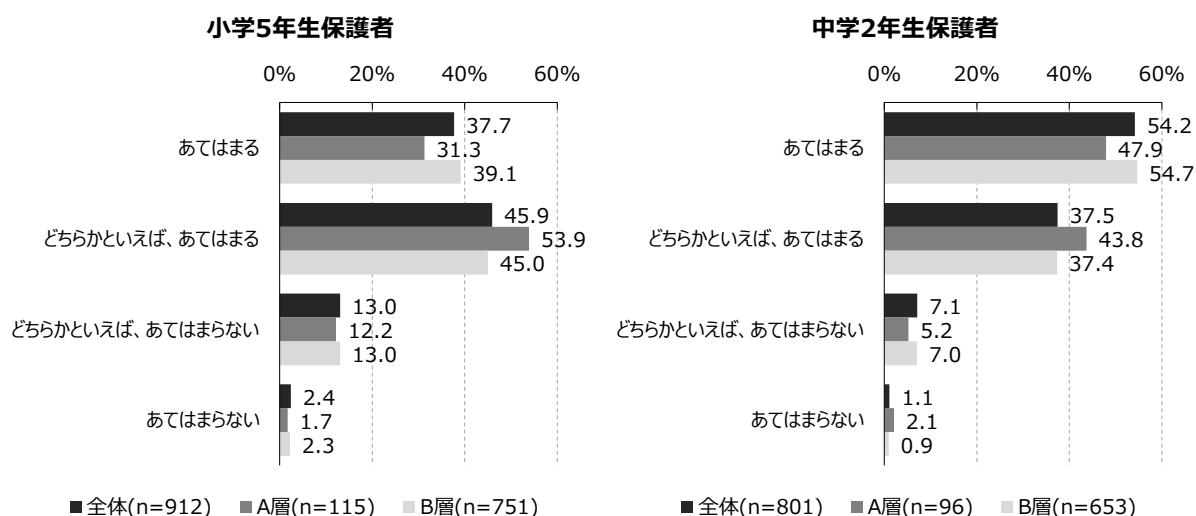
「あてはまる」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より少なくなっています。



問 10 d) お子さんと、勉強や成績のことについて話をしている

小学 5 年生保護者では「どちらかといえば、あてはまる」が 45.9%と最も多く、「あてはまる」が 37.7%、「どちらかといえば、あてはまらない」が 13.0%となっています。中学 2 年生保護者では、「あてはまる」が 54.2%と最も多く、「どちらかといえば、あてはまる」が 37.5%、「どちらかといえば、あてはまらない」が 7.1%となっています。

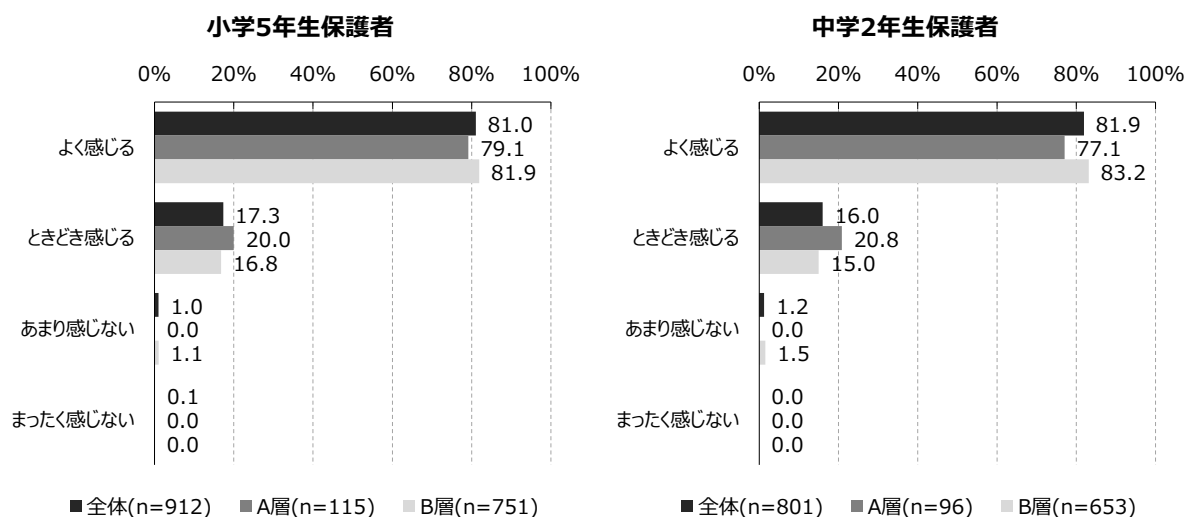
「あてはまる」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より少なくなっています。また、「どちらかといえば、あてはまる」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より多くなっています。



問 11 あなたは、こどもとの生活の中で次のようなことを感じることはありますか。【単数回答】

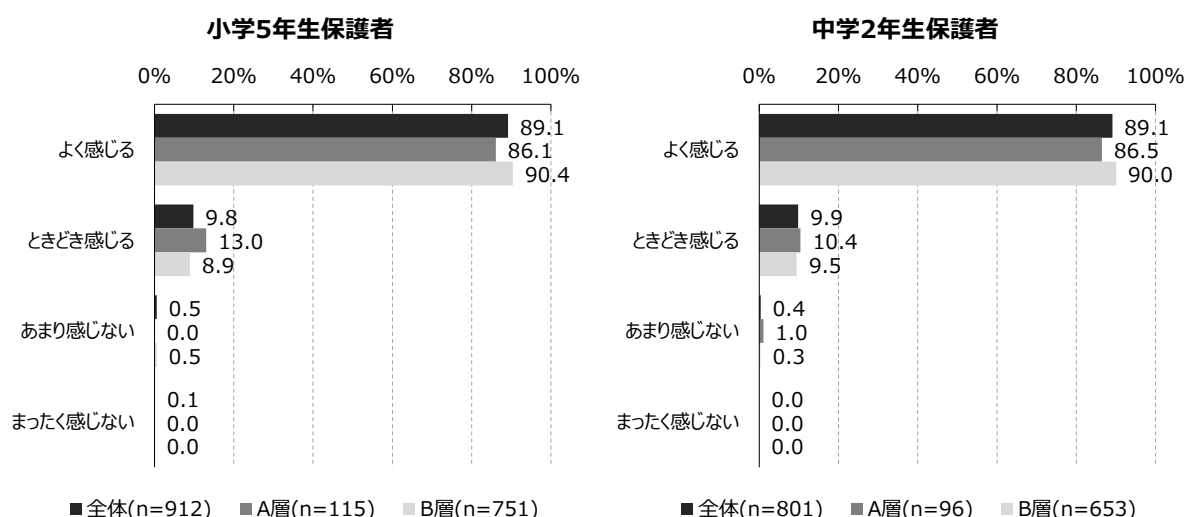
問 11 a) こどもとの生活が楽しい

小学5年生保護者では「よく感じる」が81.0%と最も多く、「ときどき感じる」が17.3%、「あまり感じない」が1.0%となっています。中学2年生保護者では、「よく感じる」が81.9%と最も多く、「ときどき感じる」が16.0%、「あまり感じない」が1.2%となっています。



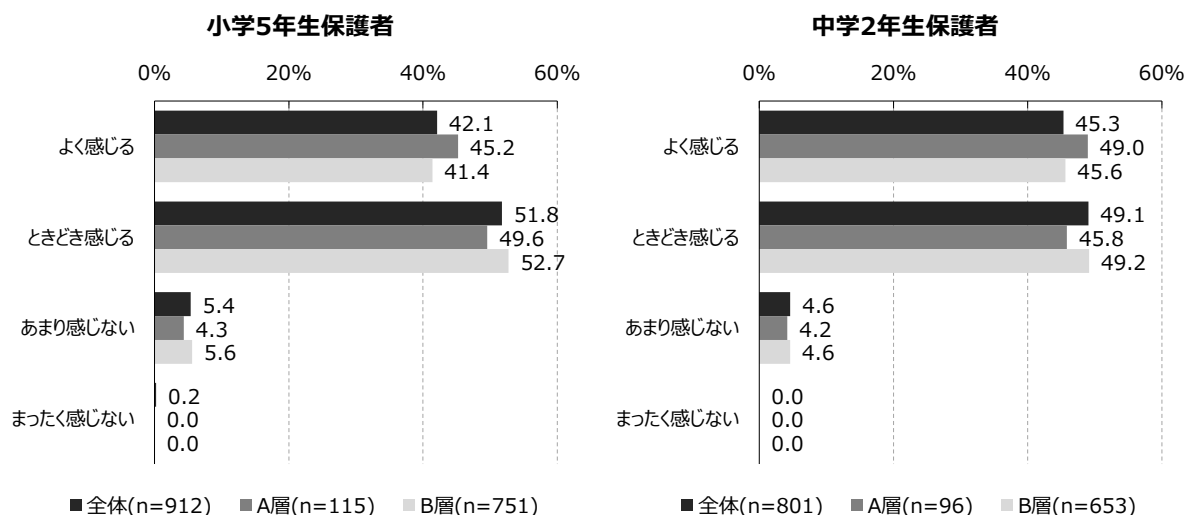
問 11 b) こどもの成長が楽しみ

小学5年生保護者では「よく感じる」が89.1%と最も多く、「ときどき感じる」が9.8%、「あまり感じない」が0.5%となっています。中学2年生保護者では、「よく感じる」が89.1%と最も多く、「ときどき感じる」が9.9%、「あまり感じない」が0.4%となっています。



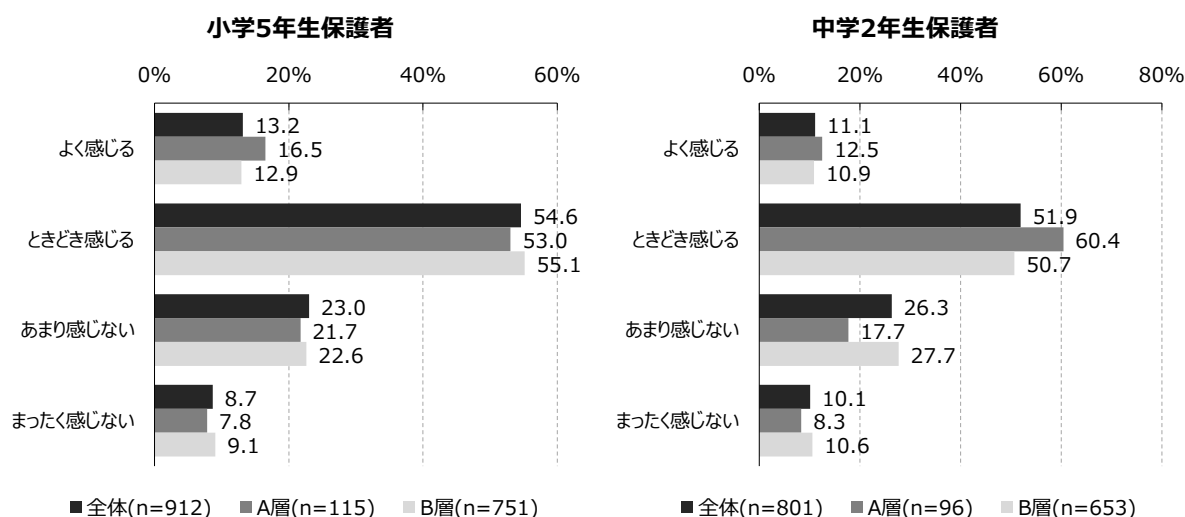
問 11 c) こどもの個性や意見を尊重できている

小学5年生保護者では「ときどき感じる」が51.8%と最も多く、「よく感じる」が42.1%、「あまり感じない」が5.4%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が49.1%と最も多く、「よく感じる」が45.3%、「あまり感じない」が4.6%となっています。



問 11 d) 子育てに不安になることがある

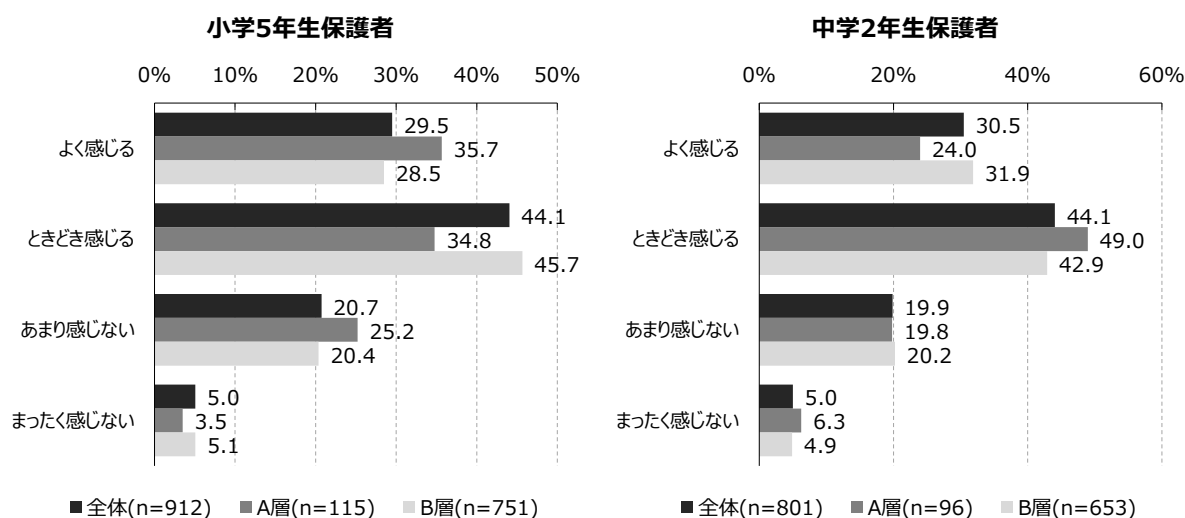
小学5年生保護者では「ときどき感じる」が54.6%と最も多く、「あまり感じない」が23.0%、「よく感じる」が13.2%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が51.9%と最も多く、「あまり感じない」が26.3%、「よく感じる」が11.1%となっています。



問 11 e) 自分の好きなことをする時間がある

小学5年生保護者では「ときどき感じる」が44.1%と最も多く、「よく感じる」が29.5%、「あまり感じない」が20.7%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が44.1%と最も多く、「よく感じる」が30.5%、「あまり感じない」が19.9%となっています。

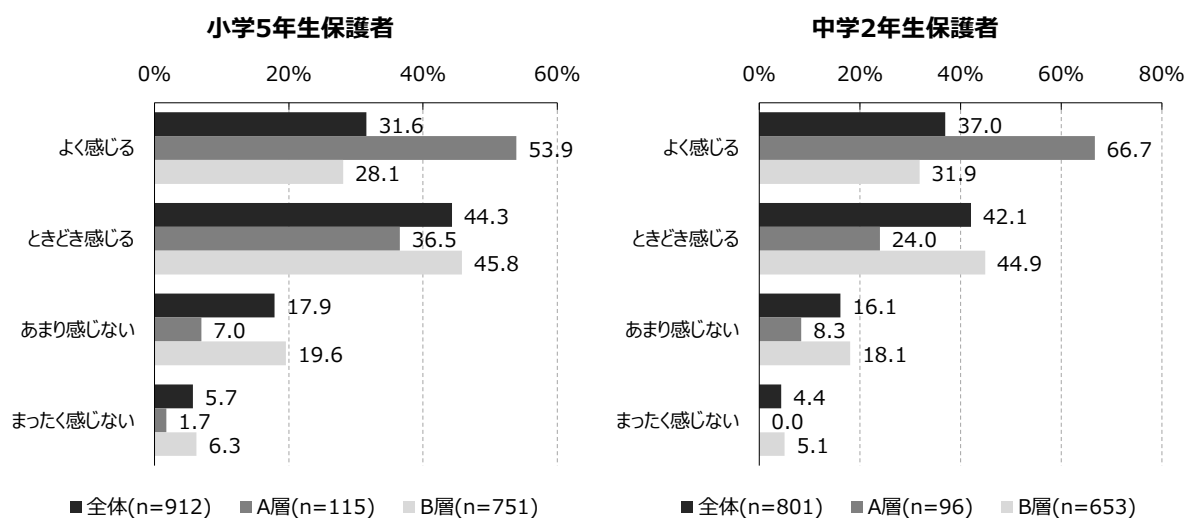
「よく感じる」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より多く、中学2年生保護者ではA層が全体より少なくなっています。また、「あまり感じない」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より多くなっています。



問 11 f) 子育てにかかる経済的な負担を感じる

小学5年生保護者では「ときどき感じる」が44.3%と最も多く、「よく感じる」が31.6%、「あまり感じない」が17.9%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が42.1%と最も多く、「よく感じる」が37.0%、「あまり感じない」が16.1%となっています。

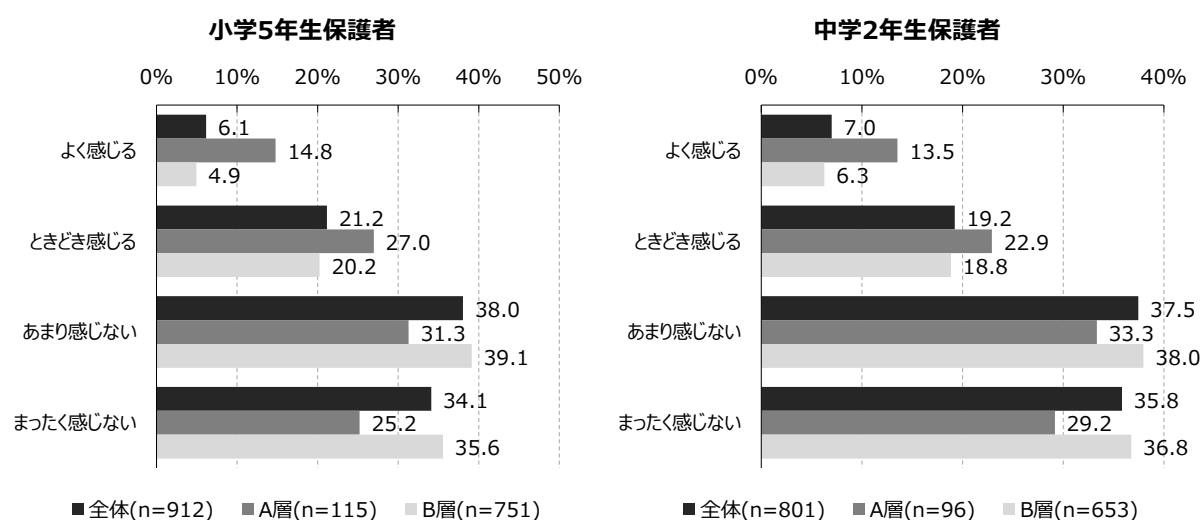
「よく感じる」をみると、小学5年生保護者で22.3ポイント、中学2年生保護者で29.7ポイント、A層が全体より多くなっています。また、「あまり感じない」「まったく感じない」では小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より5～10ポイント程度の差で少なくなっています。



問 11 g) 一人ばっちで子育てをしている感じがする

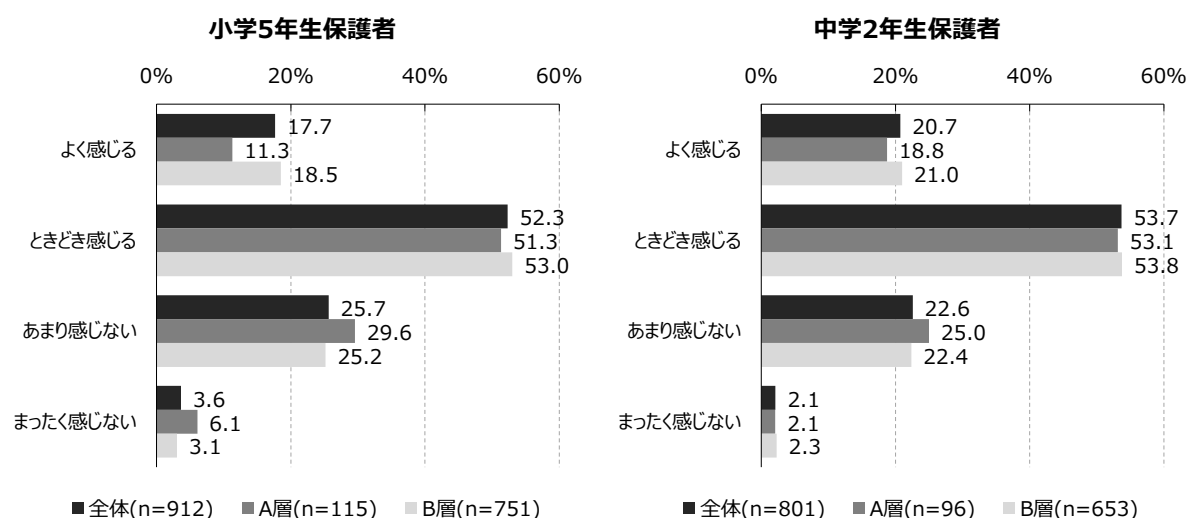
小学 5 年生保護者では「あまり感じない」が 38.0%と最も多く、「まったく感じない」が 34.1%、「ときどき感じる」が 21.2%となっています。中学 2 年生保護者では「あまり感じない」が 37.5%と最も多く、「まったく感じない」が 35.8%、「ときどき感じる」が 19.2%となっています。

「よく感じる」「ときどき感じる」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より多くなっています。



問 11 h) 子育てと仕事や家庭のことがうまく両立できている

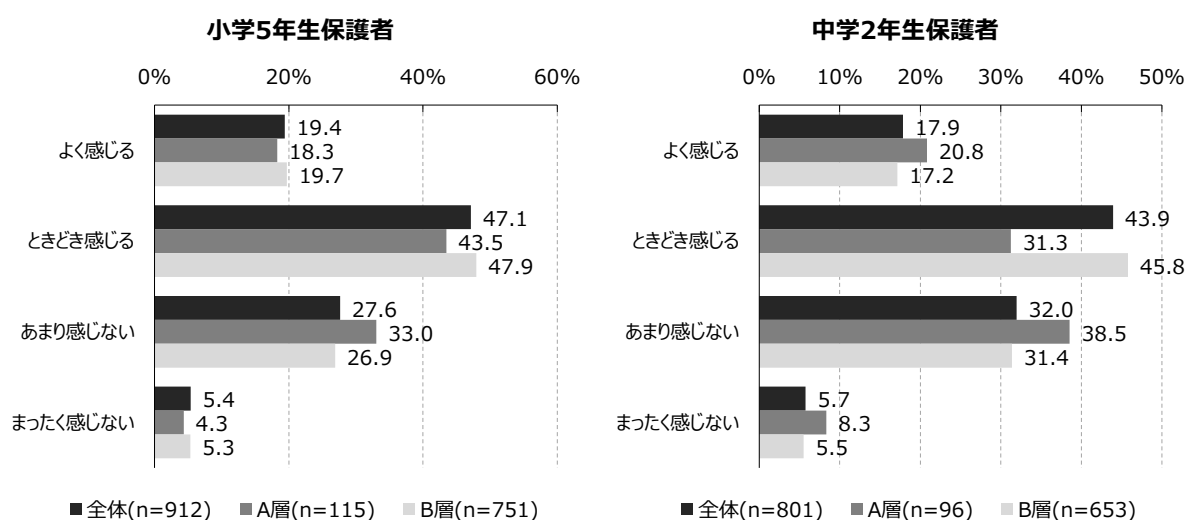
小学 5 年生保護者では「ときどき感じる」が 52.3%と最も多く、「あまり感じない」が 25.7%、「よく感じる」が 17.7%となっています。中学 2 年生保護者では「ときどき感じる」が 53.7%と最も多く、「あまり感じない」が 22.6%、「よく感じる」が 20.7%となっています。



問 11 i) こどもを通じて地域とのつながりが感じられる

小学5年生保護者では「ときどき感じる」が47.1%と最も多く、「あまり感じない」が27.6%、「よく感じる」が19.4%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が43.9%と最も多く、「あまり感じない」が32.0%、「よく感じる」が17.9%となっています。

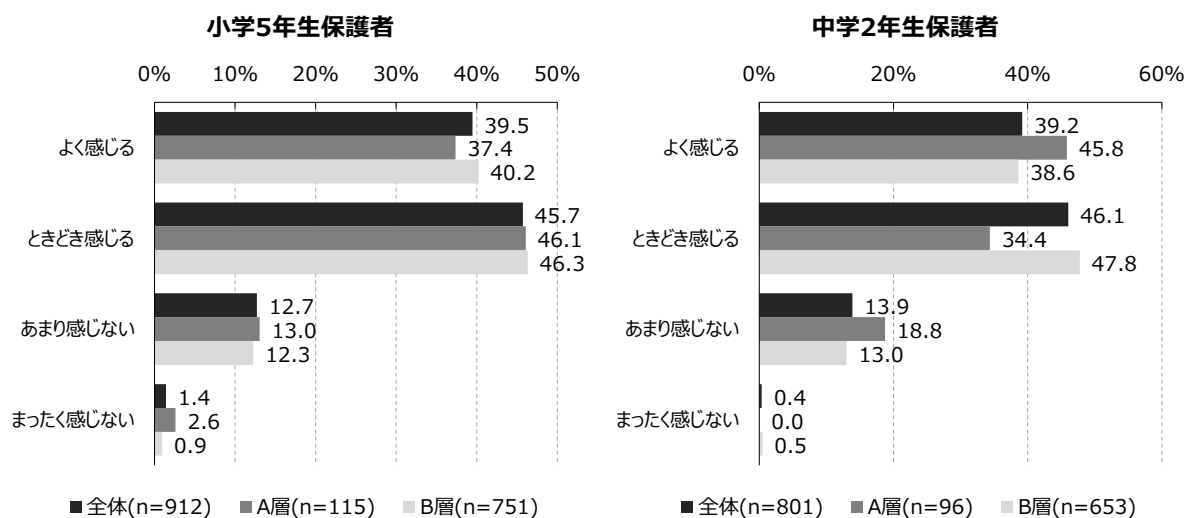
「あまり感じない」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より多くなっています。また、「ときどき感じる」をみると、中学2年生保護者ではA層が全体より12.6ポイント少なくなっています。



問 11 j) 子育てを通して自分自身が成長している

小学5年生保護者では「ときどき感じる」が45.7%と最も多く、「よく感じる」が39.5%、「あまり感じない」が12.7%となっています。中学2年生保護者では、「ときどき感じる」が46.1%と最も多く、「よく感じる」が39.2%、「あまり感じない」が13.9%となっています。

「よく感じる」をみると、中学2年生保護者ではA層が全体より多くなっています。また、「ときどき感じる」をみると、中学2年生保護者ではA層が全体より11.7ポイント少なくなっています。

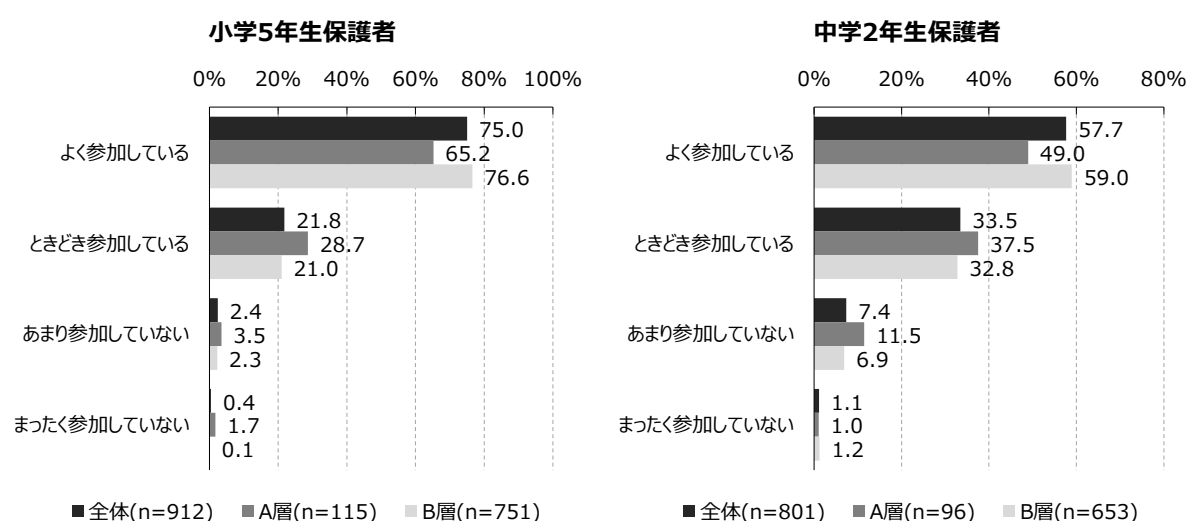


問 12 あなたは、次のようなことにどの程度参加していますか。【単数回答】

問 12 a) 授業参観や運動会などの学校行事

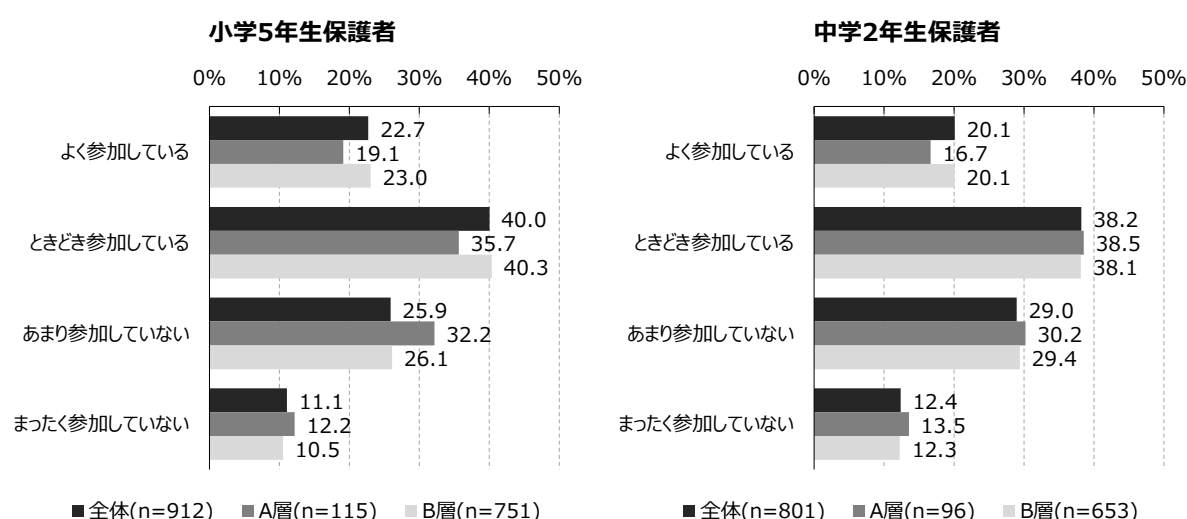
小学 5 年生保護者では「よく参加している」が 75.0%と最も多く、「ときどき参加している」が 21.8%、「あまり参加していない」が 2.4%となっています。中学 2 年生保護者では、「よく参加している」が 57.7%と最も多く、「ときどき参加している」が 33.5%、「あまり参加していない」が 7.4%となっています。

「よく参加している」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より少なくなっています。



問 12 b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど

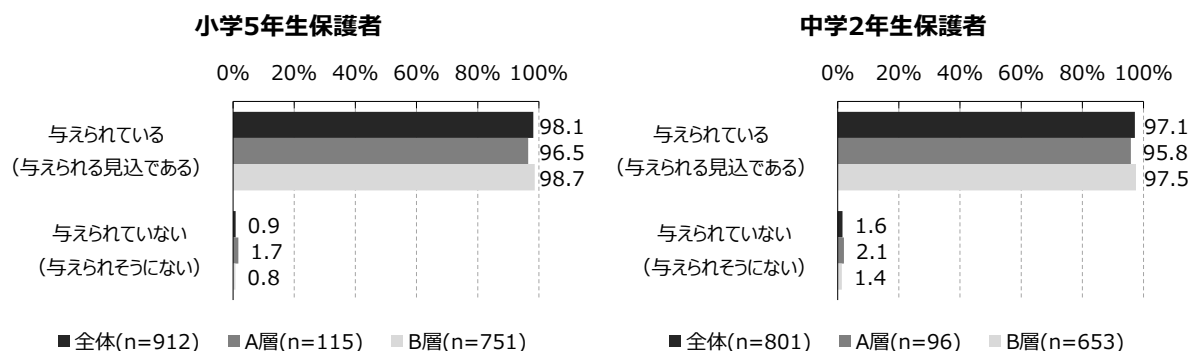
小学 5 年生保護者では「ときどき参加している」が 40.0%と最も多く、「あまり参加していない」が 25.9%、「よく参加している」が 22.7%となっています。中学 2 年生保護者では、「ときどき参加している」が 38.2%と最も多く、「あまり参加していない」が 29.0%、「よく参加している」が 20.1%となっています。



問 13 次のような環境・モノについて、あなたの家庭ではお子さんに与えられていますか。または、与えられそうですか。【単数回答】

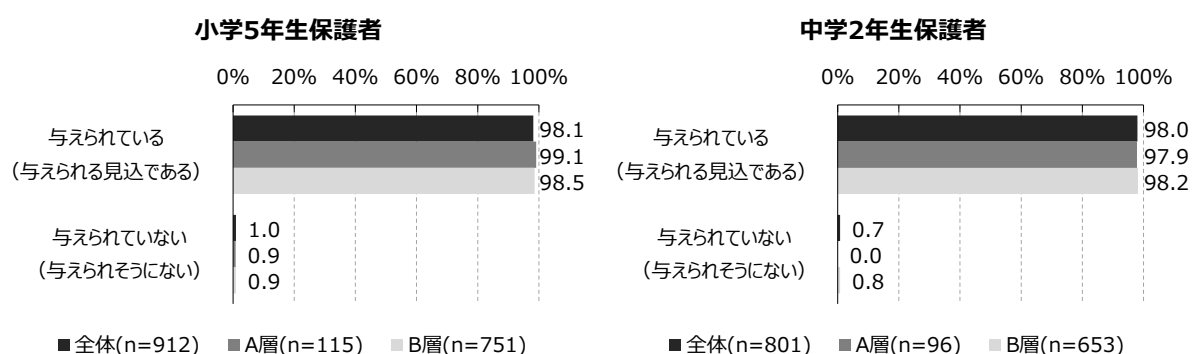
問 13 a) 一日三度(朝・昼・夕)の食事

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.1%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.9%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が97.1%、「与えられていない（与えられそうにない）」が1.6%となっています。



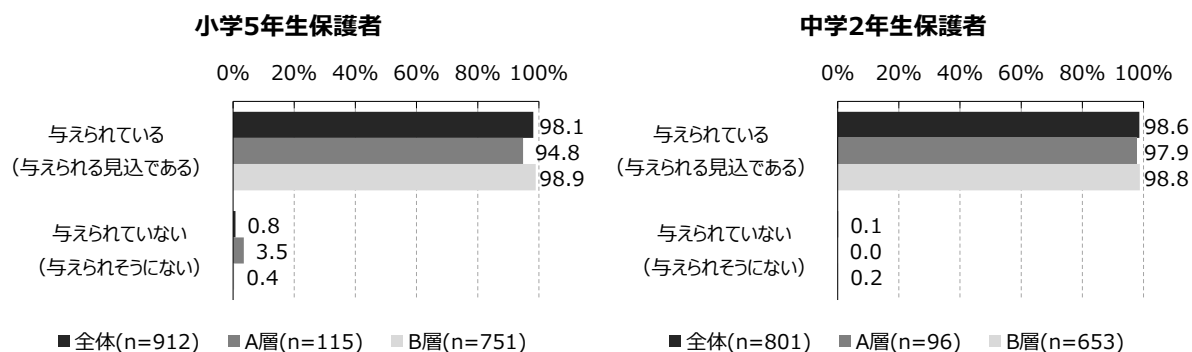
問 13 b) 手作りの夕食

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.1%、「与えられていない（与えられそうにない）」が1.0%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.0%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.7%となっています。



問 13 c) 必要なときに病院・診療所に行く

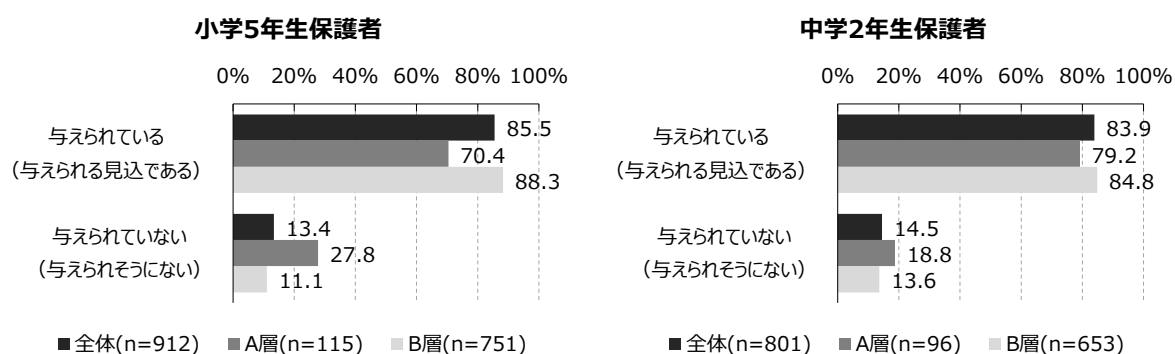
小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.1%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.8%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.6%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.1%となっています。



問 13 d) 絵本やこども用の本

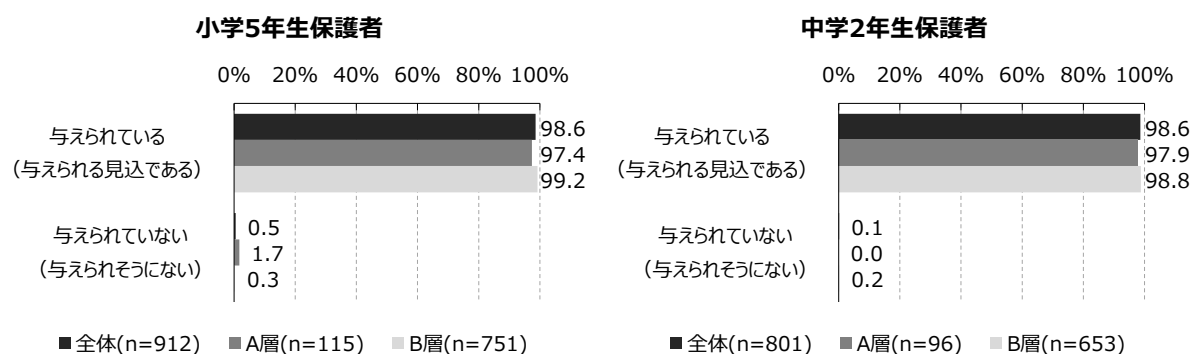
小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が85.5%、「与えられていない（与えられそうにない）」が13.4%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が83.9%、「与えられていない（与えられそうにない）」が14.5%となっています。

「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より多くなっています。また、「与えられている（与えられる見込である）」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より15.1ポイント少なくなっています。



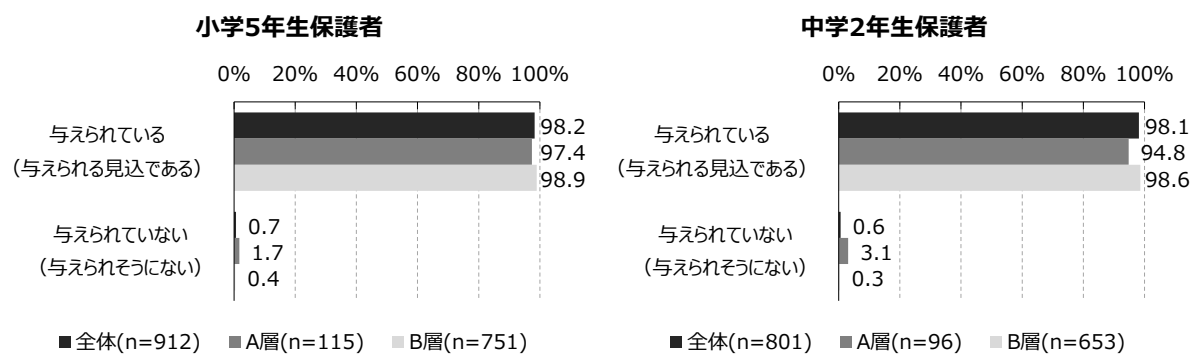
問 13 e) 必要な文房具

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.6%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.5%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.6%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.1%となっています。



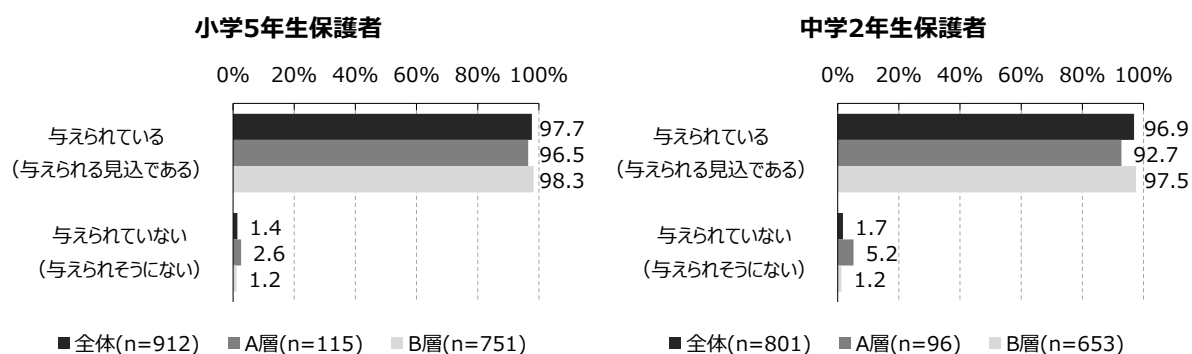
問 13 f) 季節にあった衣服

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.2%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.7%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.1%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.6%となっています。



問 13 g) 誕生日のお祝い

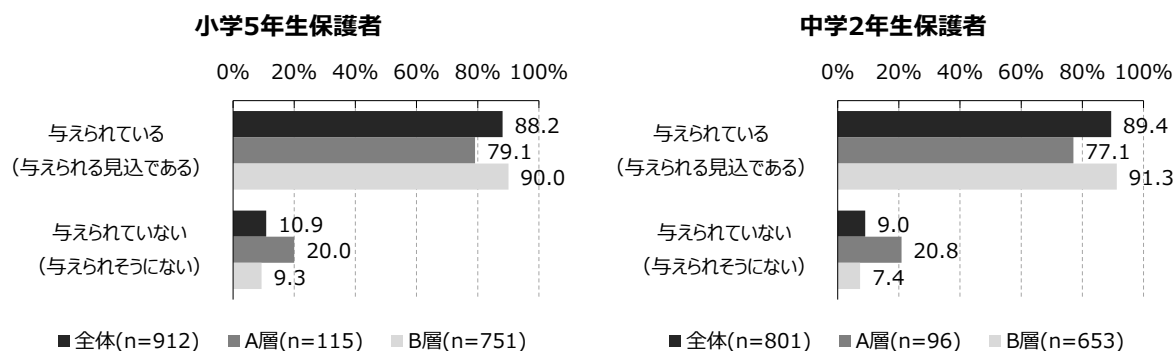
小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が97.7%、「与えられていない（与えられそうにない）」が1.4%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が96.9%、「与えられていない（与えられそうにない）」が1.7%となっています。



問 13 h) 適当なおこづかい

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が88.2%、「与えられていない（与えられそうにない）」が10.9%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が89.4%、「与えられていない（与えられそうにない）」が9.0%となっています。

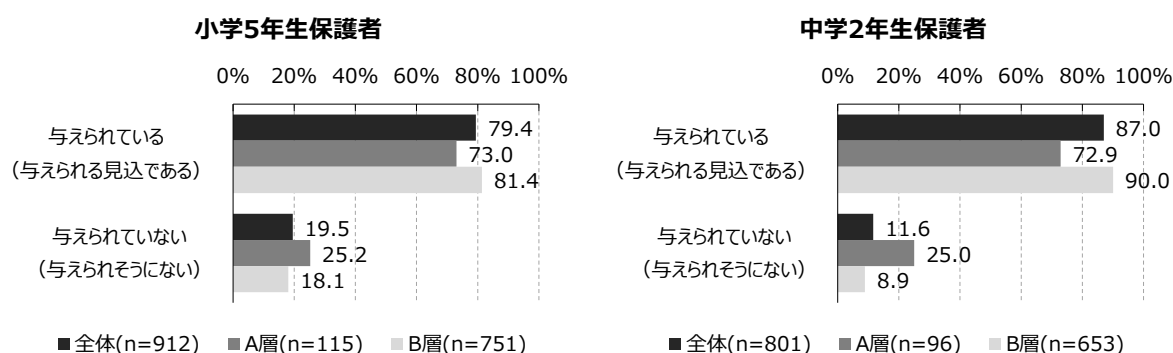
「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より多くなっています。



問 13 i) こども専用の勉強机

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が79.4%、「与えられていない（与えられそうにない）」が19.5%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が87.0%、「与えられていない（与えられそうにない）」が11.6%となっています。

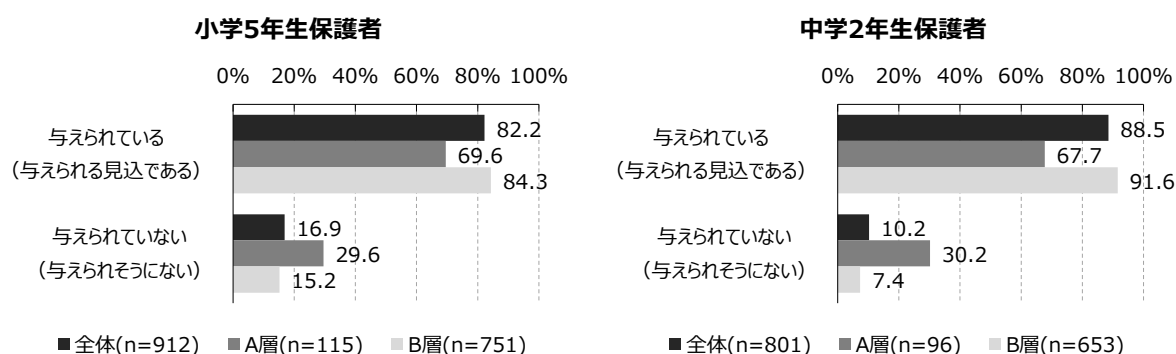
「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、中学2年生保護者ではA層が全体より13.4ポイント多くなっています。



問 13 j) こども部屋(兄弟姉妹と共有も含む)

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が82.2%、「与えられていない（与えられそうにない）」が16.9%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が88.5%、「与えられていない（与えられそうにない）」が10.2%となっています。

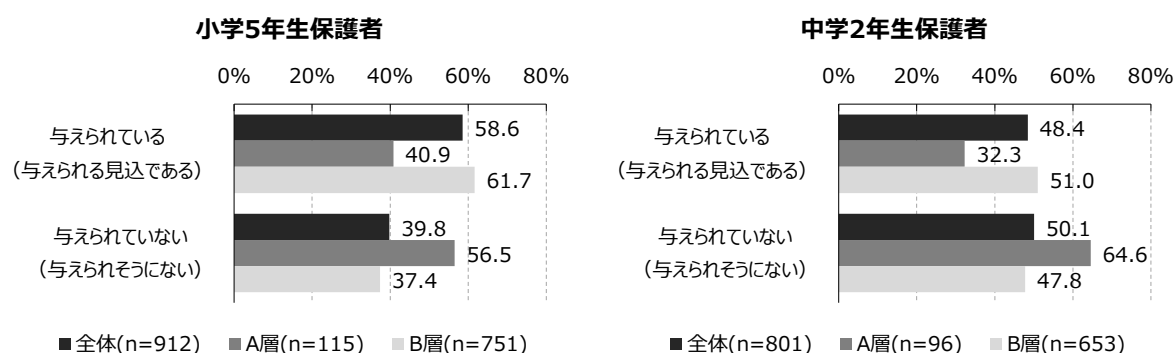
「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、小学5年生保護者で12.7ポイント、中学2年生保護者で20.0ポイント、A層が全体より多くなっています。



問 13 k) キャンプなど自然体験活動への参加

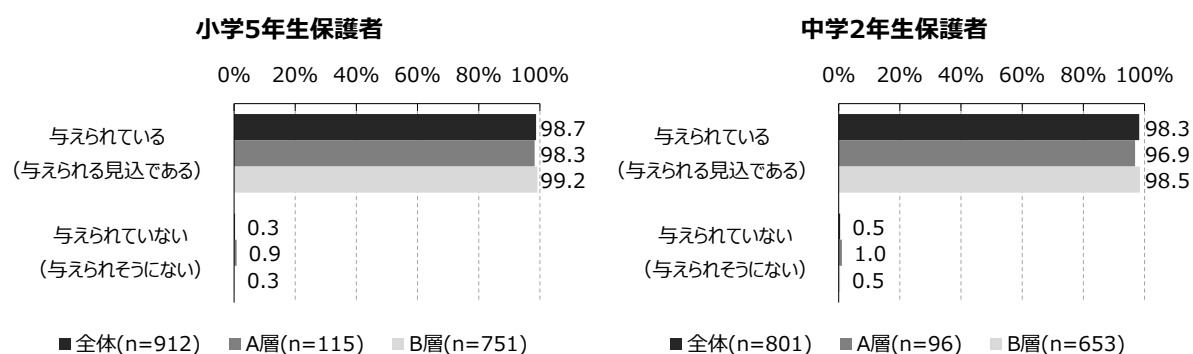
小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が58.6%、「与えられていない（与えられそうにない）」が39.8%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が48.4%、「与えられていない（与えられそうにない）」が50.1%となっています。

「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、小学5年生保護者で16.7ポイント、中学2年生保護者で14.5ポイント、A層が全体より多くなっています。



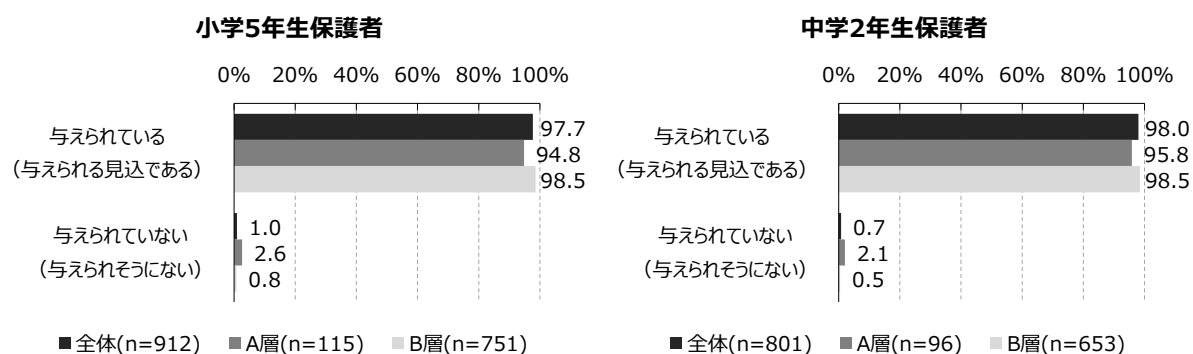
問 13 l) 遠足・修学旅行等の学校行事への参加

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が98.7%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.3%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.3%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.5%となっています。



問 13 m) 希望すれば高校・高専への進学

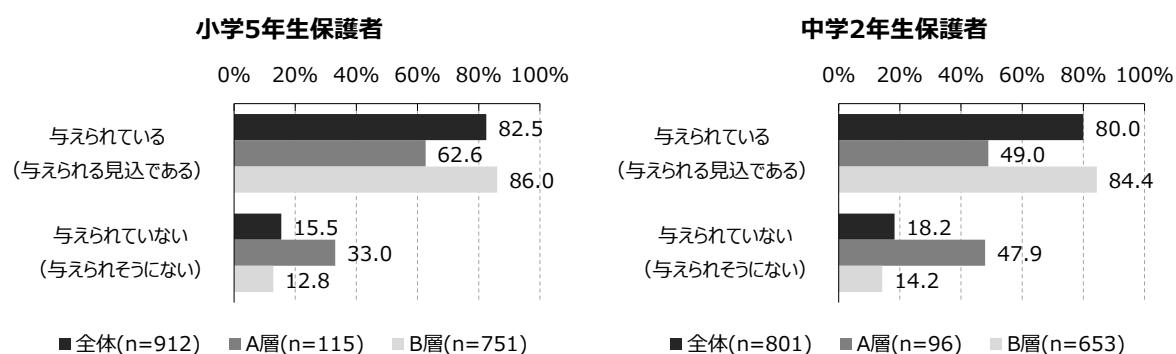
小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が97.7%、「与えられていない（与えられそうにない）」が1.0%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が98.0%、「与えられていない（与えられそうにない）」が0.7%となっています。



問 13 n) 希望すれば大学等への進学

小学5年生保護者では「与えられている（与えられる見込である）」が82.5%、「与えられていない（与えられそうにない）」が15.5%となっています。中学2年生保護者では、「与えられている（与えられる見込である）」が80.0%、「与えられていない（与えられそうにない）」が18.2%となっています。

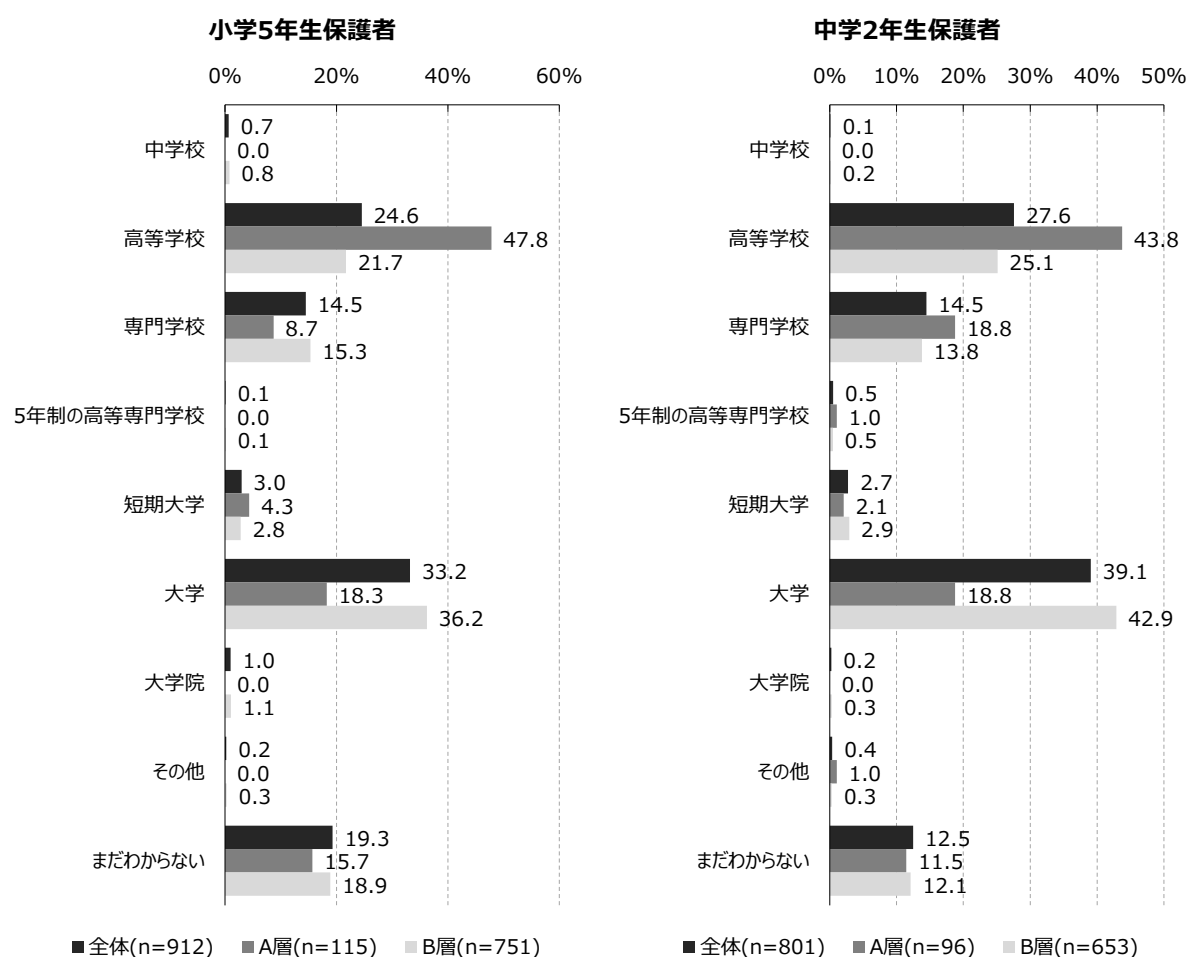
「与えられていない（与えられそうにない）」をみると、小学5年生保護者で17.5ポイント、中学2年生保護者で29.7ポイント、A層が全体より多くなっています。



問 14 お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。【単数回答】

小学5年生保護者では「大学」が33.2%と最も多く、「高等学校」が24.6%、「まだわからない」が19.3%となっています。中学2年生保護者では、「大学」が39.1%と最も多く、「高等学校」が27.6%、「専門学校」が14.5%となっています。

「高等学校」をみると、小学5年生保護者で23.2ポイント、中学2年生保護者で16.2ポイント、A層が全体より多くなっています。また、「大学」をみると、小学5年生保護者で14.9ポイント、中学2年生保護者で20.3ポイント、A層が全体より少なくなっています。

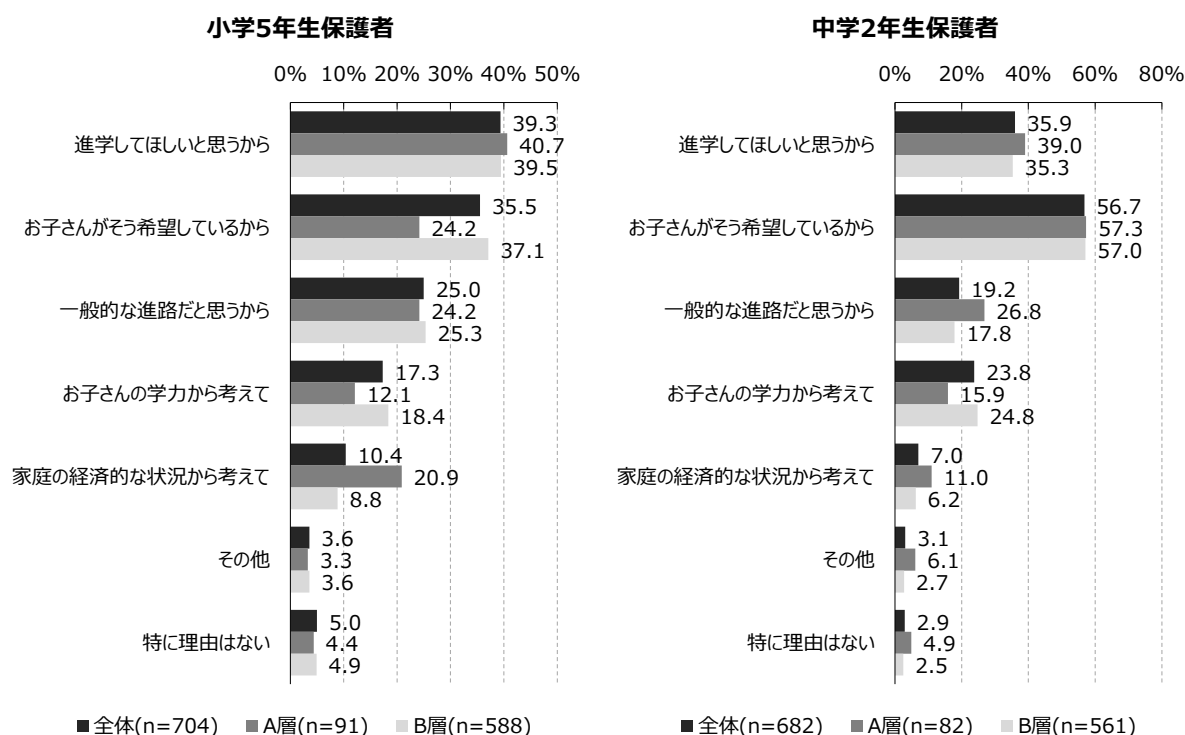


前問で「まだわからない」以外と答えた人

問 15 その理由は何ですか。【複数回答】

小学5年生保護者では「進学してほしいと思うから」が39.3%と最も多く、「お子さんがそう希望しているから」が35.5%、「一般的な進路だと思うから」が25.0%となっています。中学2年生保護者では、「お子さんがそう希望しているから」が56.7%と最も多く、「進学してほしいと思うから」が35.9%、「お子さんの学力から考えて」が23.8%となっています。

「家庭の経済的な状況から考えて」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より10.5ポイント多くなっています。

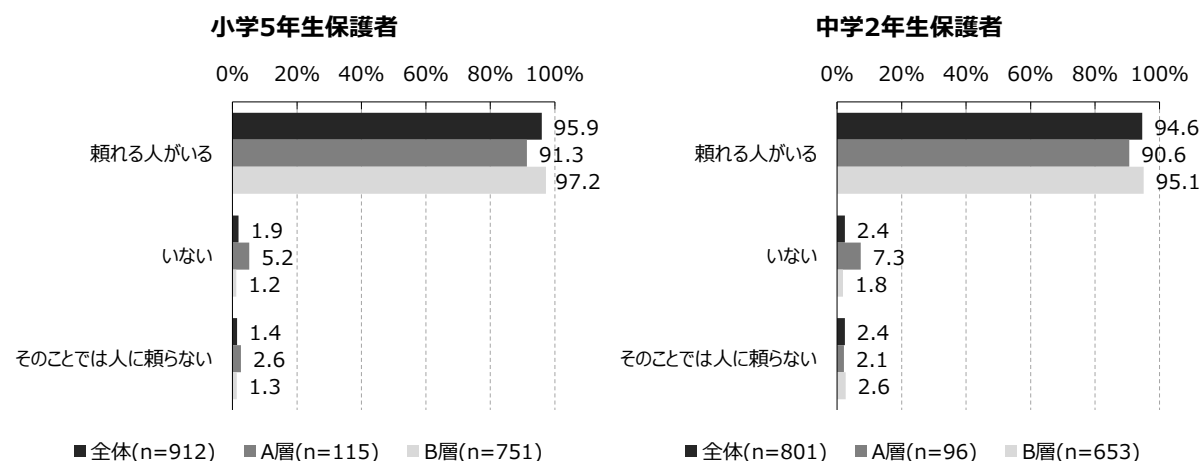


問 16 あなたは、次のような事柄で頼れる人はいますか。【単数回答】

また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。【複数回答】

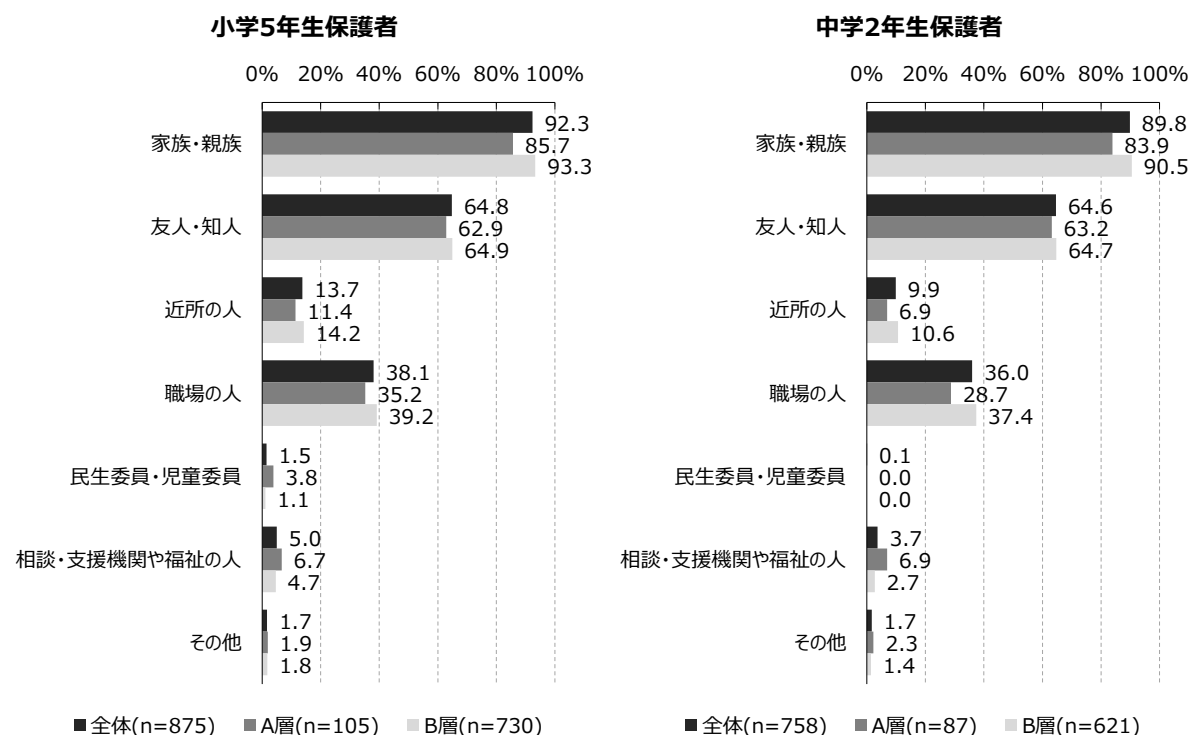
問 16 a) 子育てに関する相談【単数回答】

小学5年生保護者では「頼れる人がいる」が95.9%と最も多く、「いない」が1.9%、「そのことでは人に頼らない」が1.4%となっています。中学2年生保護者では、「頼れる人がいる」が94.6%と最も多く、「いない」「そのことでは人に頼らない」が2.4%となっています。



問 16 a) 子育てに関する相談／頼れる人【複数回答】

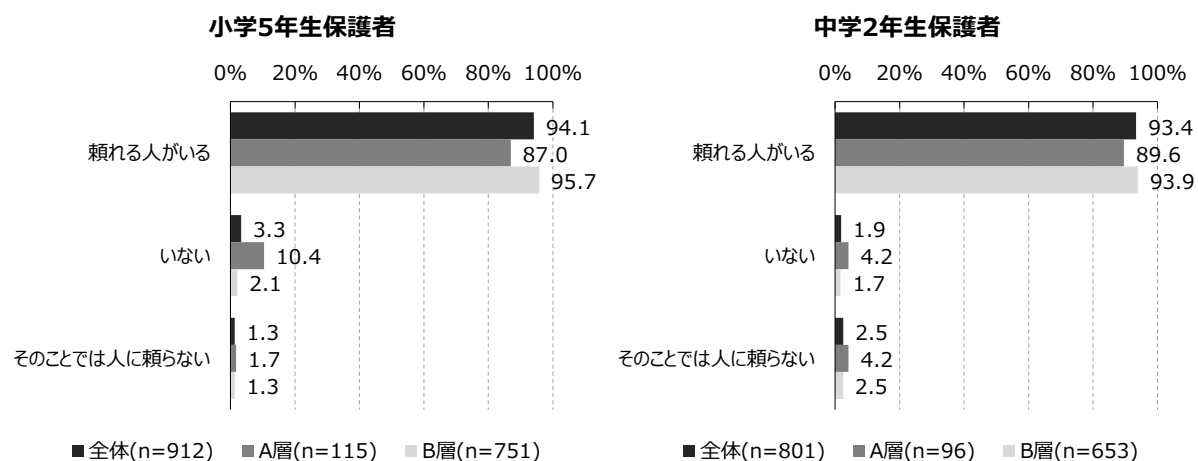
小学5年生保護者では「家族・親族」が92.3%と最も多く、「友人・知人」が64.8%、「職場の人」が38.1%となっています。中学2年生保護者では、「家族・親族」が89.8%と最も多く、「友人・知人」が64.6%、「職場の人」が36.0%となっています。



問 16 b) 重要な事柄の相談【単数回答】

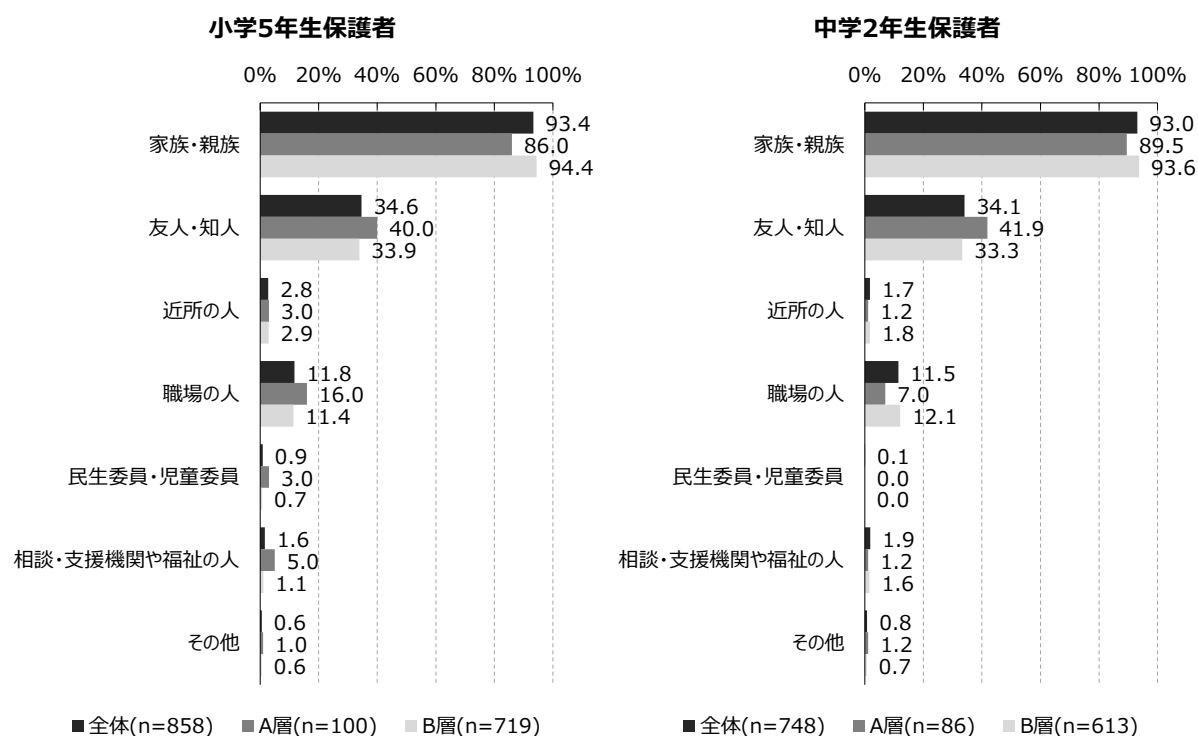
小学5年生保護者では「頼れる人がある」が94.1%と最も多く、「いない」が3.3%、「そのことでは人に頼らない」が1.3%となっています。中学2年生保護者では、「頼れる人がある」が93.4%と最も多く、「そのことでは人に頼らない」が2.5%、「いない」が1.9%となっています。

「いない」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より多くなっています。



問 16 b) 重要な事柄の相談／頼れる人【複数回答】

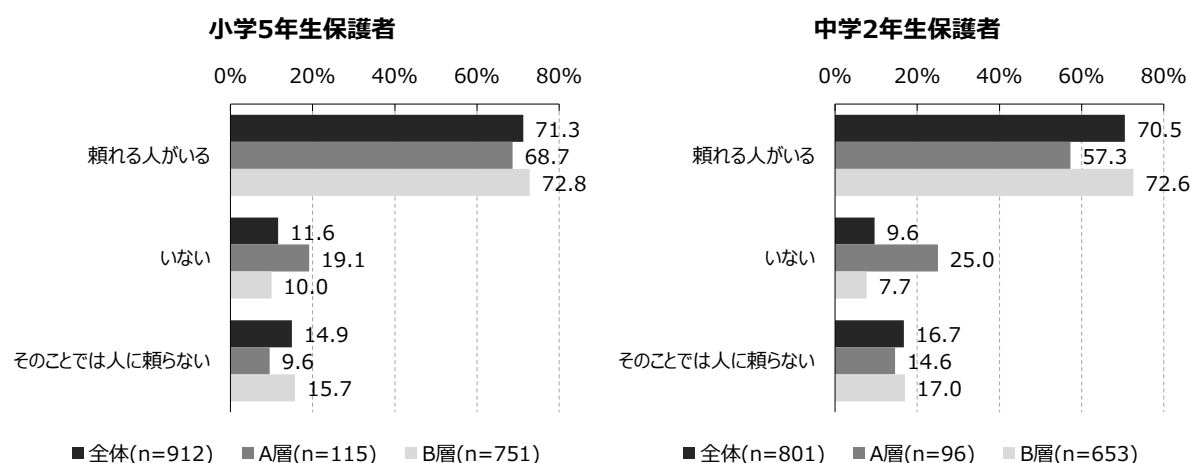
小学5年生保護者では「家族・親族」が93.4%と最も多く、「友人・知人」が34.6%、「職場の人」が11.8%となっています。中学2年生保護者では、「家族・親族」が93.0%と最も多く、「友人・知人」が34.1%、「職場の人」が11.5%となっています。



問 16 c) いざという時のお金の援助【単数回答】

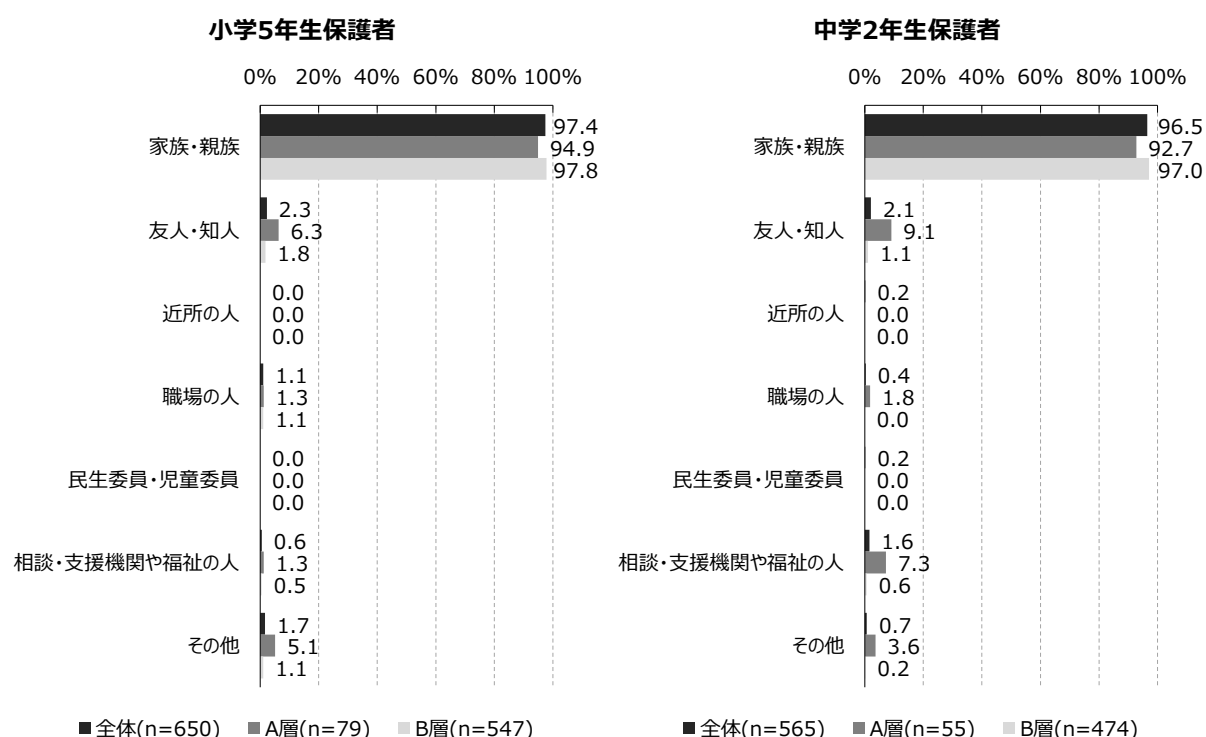
小学5年生保護者では「頼れる人がいる」が71.3%と最も多く、「そのことでは人に頼らない」が14.9%、「いない」が11.6%となっています。中学2年生保護者では、「頼れる人がいる」が70.5%と最も多く、「そのことでは人に頼らない」が16.7%、「いない」が9.6%となっています。

「いない」をみると、小学5年生保護者では7.5ポイントの差、中学2年生保護者では15.4ポイントの差でA層が全体より多くなっています。



問 16 c) いざという時のお金の援助／頼れる人【複数回答】

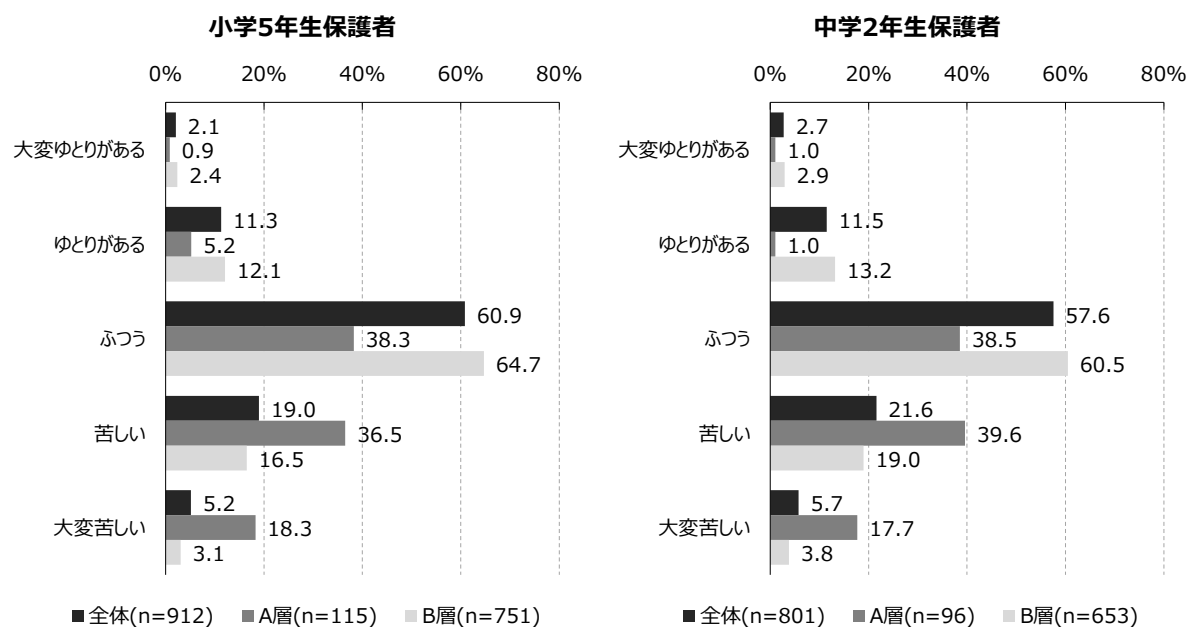
小学5年生保護者では「家族・親族」が97.4%と最も多く、「友人・知人」が2.3%、「その他」が1.7%となっています。中学2年生保護者では、「家族・親族」が96.5%と最も多く、「友人・知人」が2.1%、「相談・支援機関や福祉の人」が1.6%となっています。



問 17 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。【単数回答】

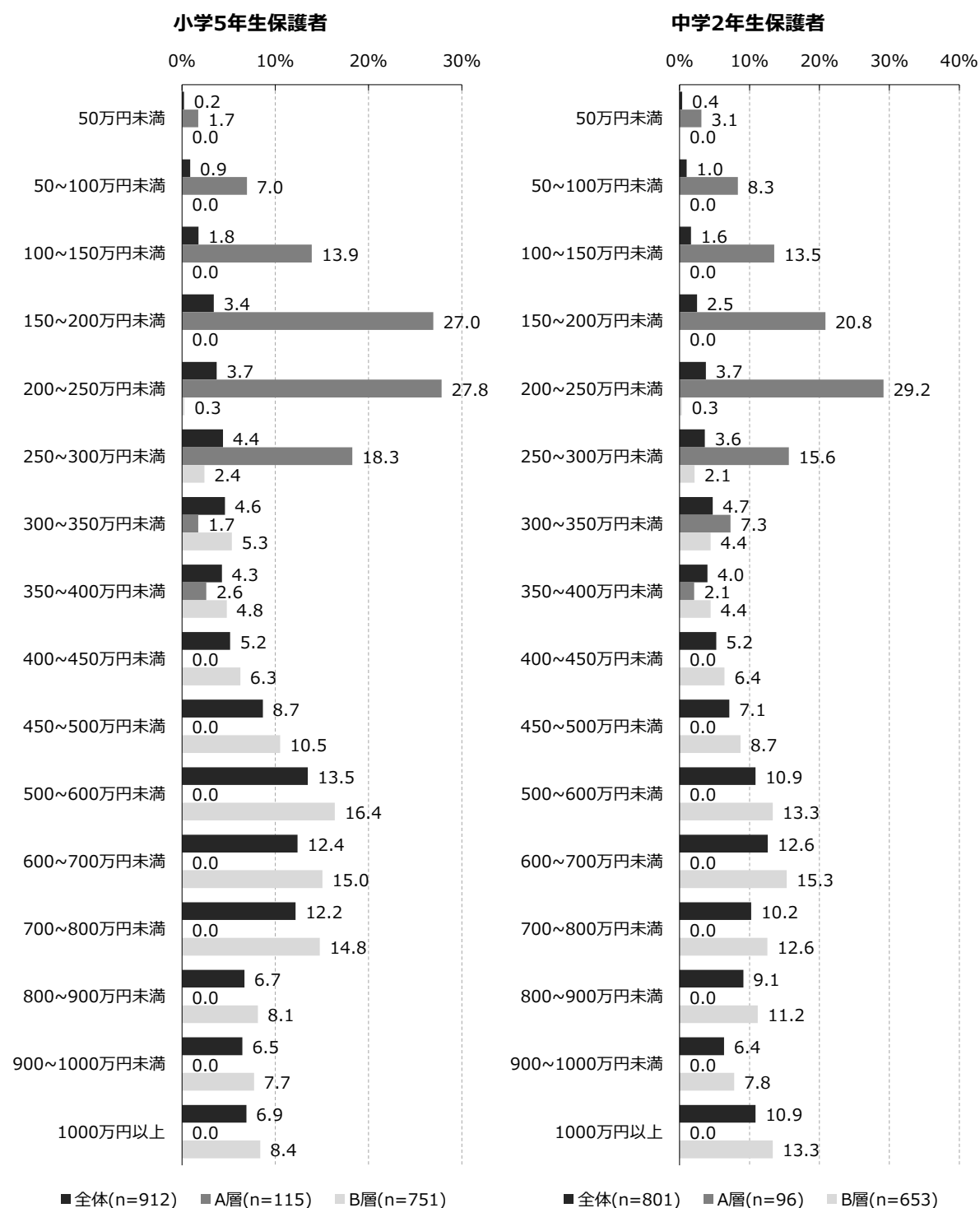
小学5年生保護者では「ふつう」が60.9%と最も多く、「苦しい」が19.0%、「ゆとりがある」が11.3%となっています。中学2年生保護者では、「ふつう」が57.6%と最も多く、「苦しい」が21.6%、「ゆとりがある」が11.5%となっています。

「苦しい」をみると、小学5年生保護者で17.5ポイント、中学2年生保護者で18.0ポイント、A層が全体より多くなっています。



問 18 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。【単数回答】

小学 5 年生保護者では「500~600 万円未満」が 13.5%と最も多く、「600~700 万円未満」が 12.4%、「700~800 万円未満」が 12.2%となっています。中学 2 年生保護者では、「600~700 万円未満」が 12.6%と最も多く、「500~600 万円未満」「1000 万円以上」が 10.9%となっています。

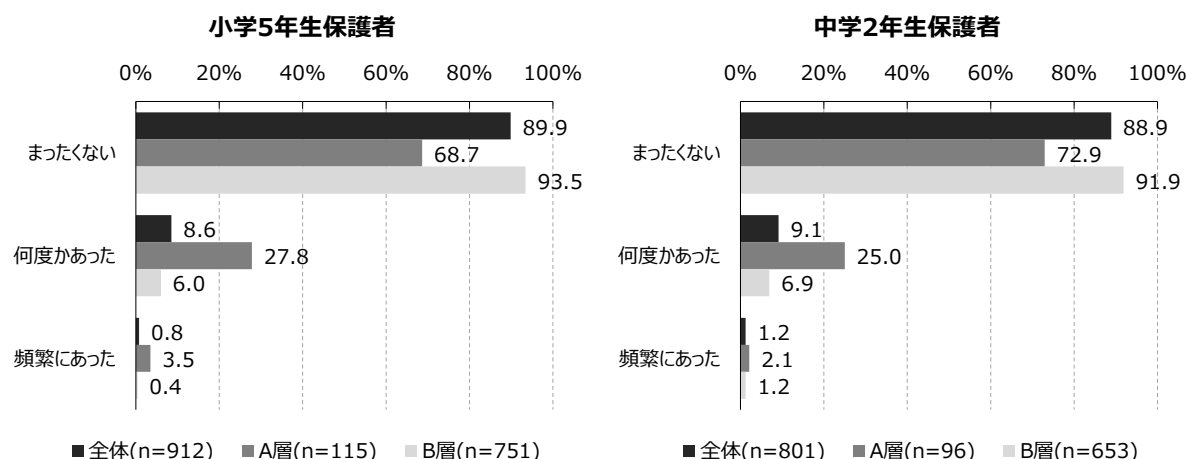


問 19 あなたの世帯(家庭)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。【単数回答】

問 19 a) 必要な食料が買えなかった(嗜好品を除く)

小学5年生保護者では「まったくない」が89.9%と最も多く、「何度かあった」が8.6%、「頻繁にあった」が0.8%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が88.9%と最も多く、「何度かあった」が9.1%、「頻繁にあった」が1.2%となっています。

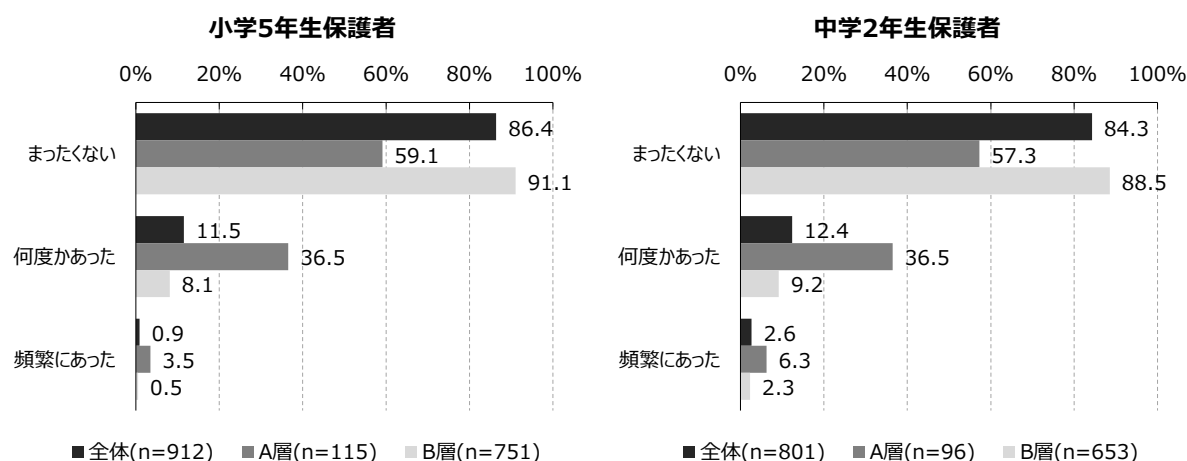
「何度かあった」をみると、小学5年生保護者で19.2ポイントの差、中学2年生保護者で15.9ポイントの差で、A層が全体より多くなっています。



問 19 b) 必要な衣料が買えなかった(高価な衣服や宝飾品を除く)

小学5年生保護者では「まったくない」が86.4%と最も多く、「何度かあった」が11.5%、「頻繁にあった」が0.9%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が84.3%と最も多く、「何度かあった」が12.4%、「頻繁にあった」が2.6%となっています。

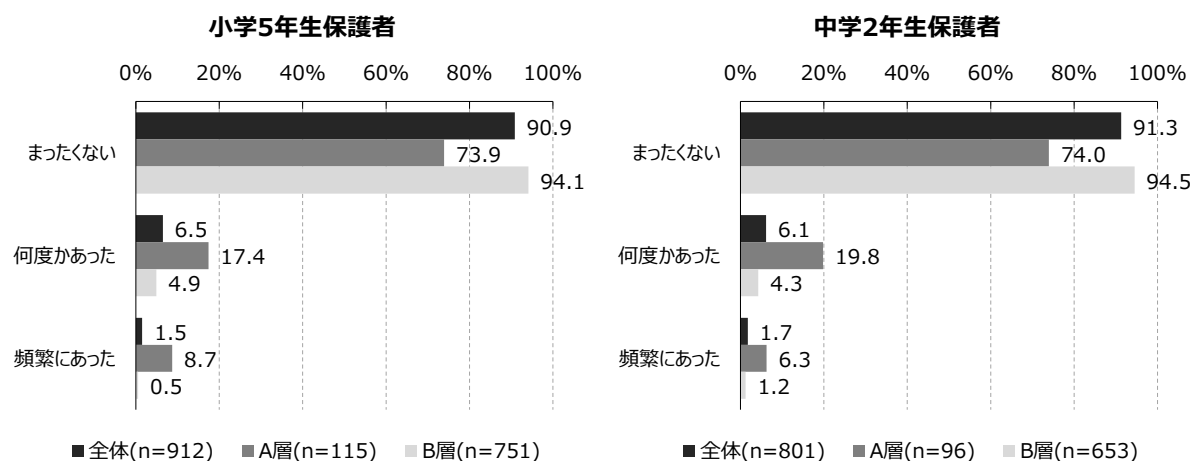
「何度かあった」をみると、小学5年生保護者で25.0ポイントの差、中学2年生保護者で24.1ポイントの差で、A層が全体より多くなっています。



問 19 c) 電気・ガス・水道料金の滞納

小学 5 年生保護者では「まったくない」が 90.9%と最も多く、「何度かあった」が 6.5%、「頻繁にあった」が 1.5%となっています。中学 2 年生保護者では、「まったくない」が 91.3%と最も多く、「何度かあった」が 6.1%、「頻繁にあった」が 1.7%となっています。

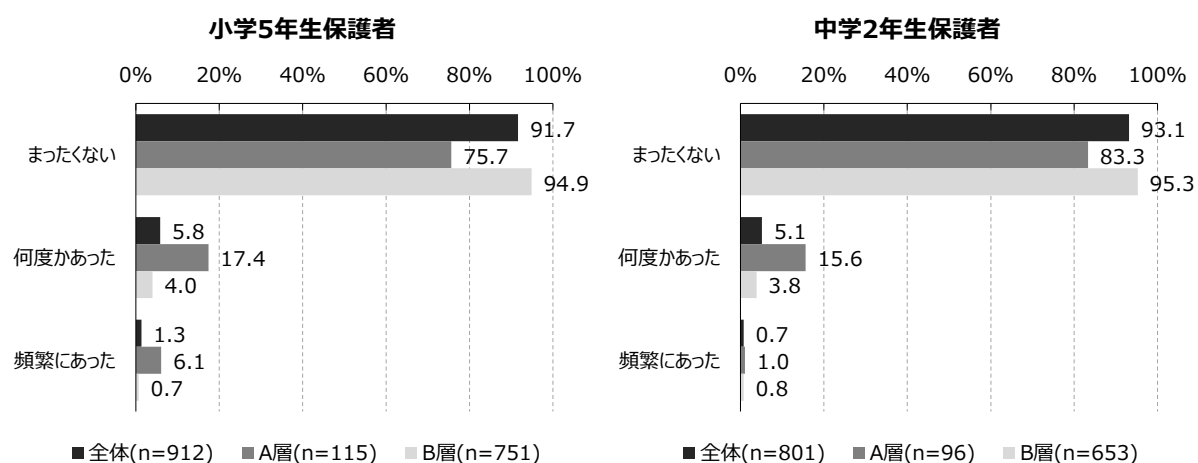
「何度かあった」「頻繁にあった」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より多くなっています。



問 19 d) 電話料金の滞納

小学 5 年生保護者では「まったくない」が 91.7%と最も多く、「何度かあった」が 5.8%、「頻繁にあった」が 1.3%となっています。中学 2 年生保護者では、「まったくない」が 93.1%と最も多く、「何度かあった」が 5.1%、「頻繁にあった」が 0.7%となっています。

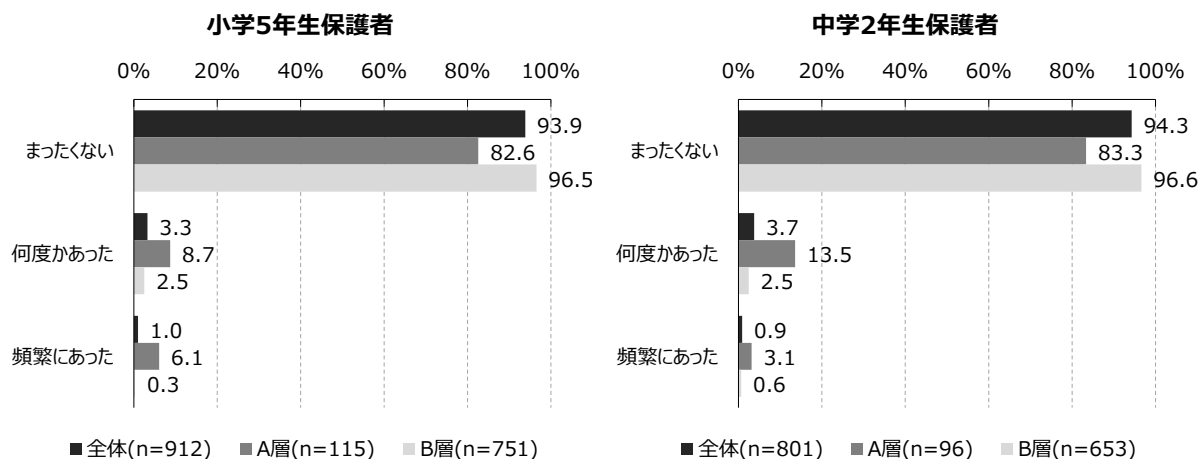
「何度かあった」をみると、小学 5 年生保護者で 11.6 ポイント、中学 2 年生保護者で 10.5 ポイント、A 層が全体より多くなっています。



問 19 e) 家賃・住宅ローンの滞納

小学 5 年生保護者では「まったくない」が 93.9%と最も多く、「何度かあった」が 3.3%、「頻繁にあった」が 1.0%となっています。中学 2 年生保護者では、「まったくない」が 94.3%と最も多く、「何度かあった」が 3.7%、「頻繁にあった」が 0.9%となっています。

「何度かあった」「頻繁にあった」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より多くなっています。

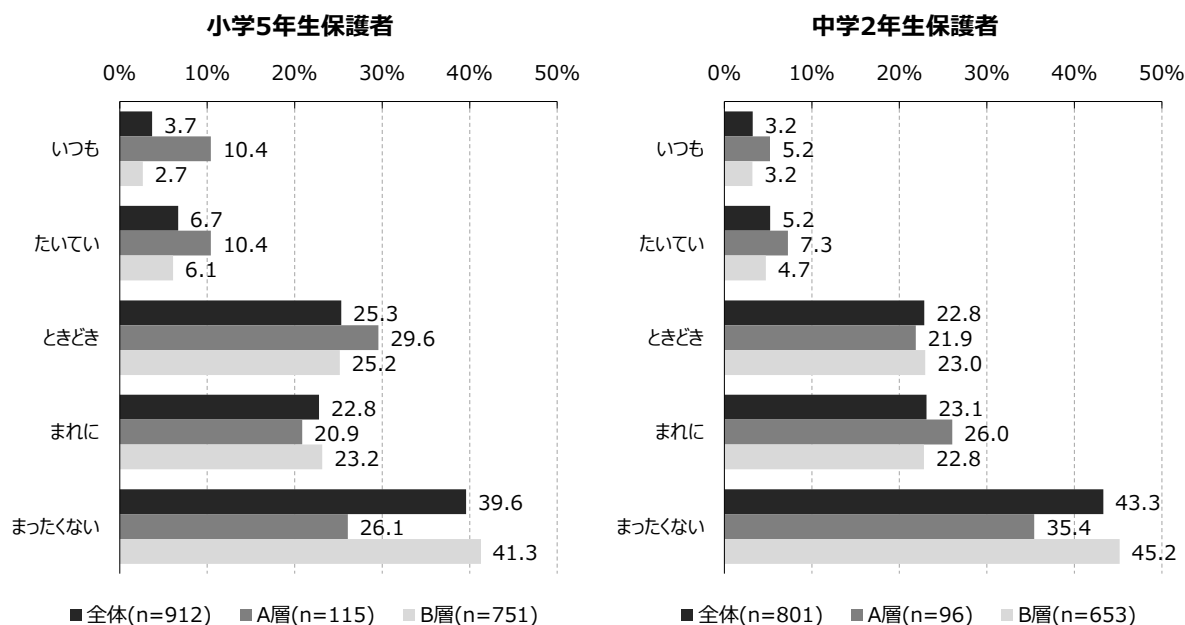


問 20 次の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。【単数回答】

問 20 a) 神経過敏に感じた

小学 5 年生保護者では「まったくない」が 39.6%と最も多く、「ときどき」が 25.3%、「まれに」が 22.8%となっています。中学 2 年生保護者では、「まったくない」が 43.3%と最も多く、「まれに」が 23.1%、「ときどき」が 22.8%となっています。

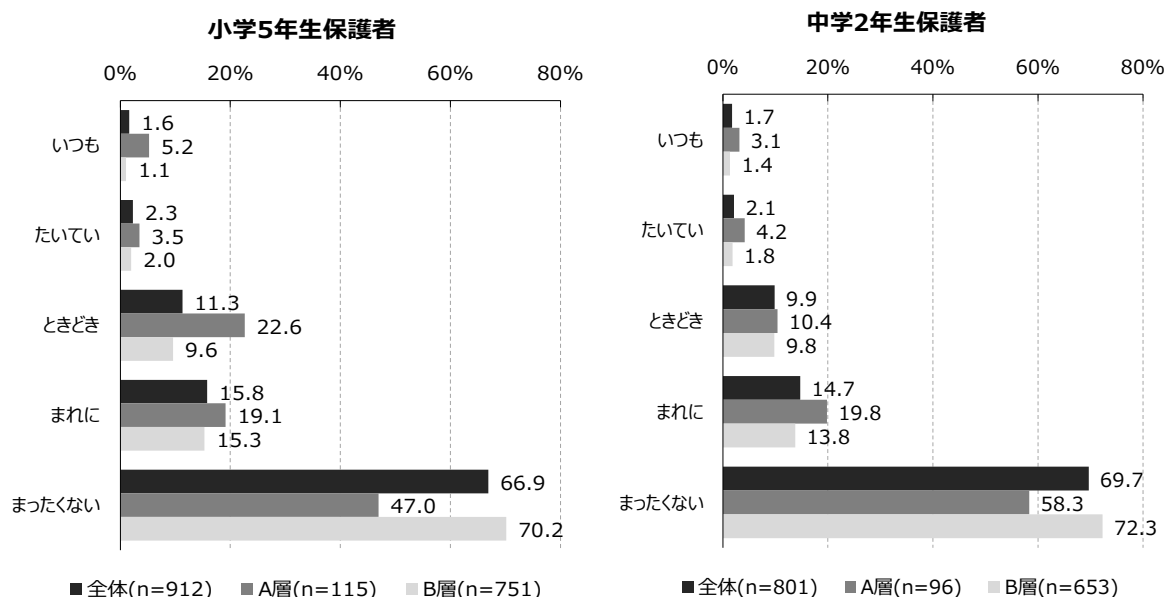
「まったくない」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より少なくなっています。



問 20 b) 絶望的だと感じた

小学5年生保護者では「まったくない」が66.9%と最も多く、「まれに」が15.8%、「ときどき」が11.3%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が69.7%と最も多く、「まれに」が14.7%、「ときどき」が9.9%となっています。

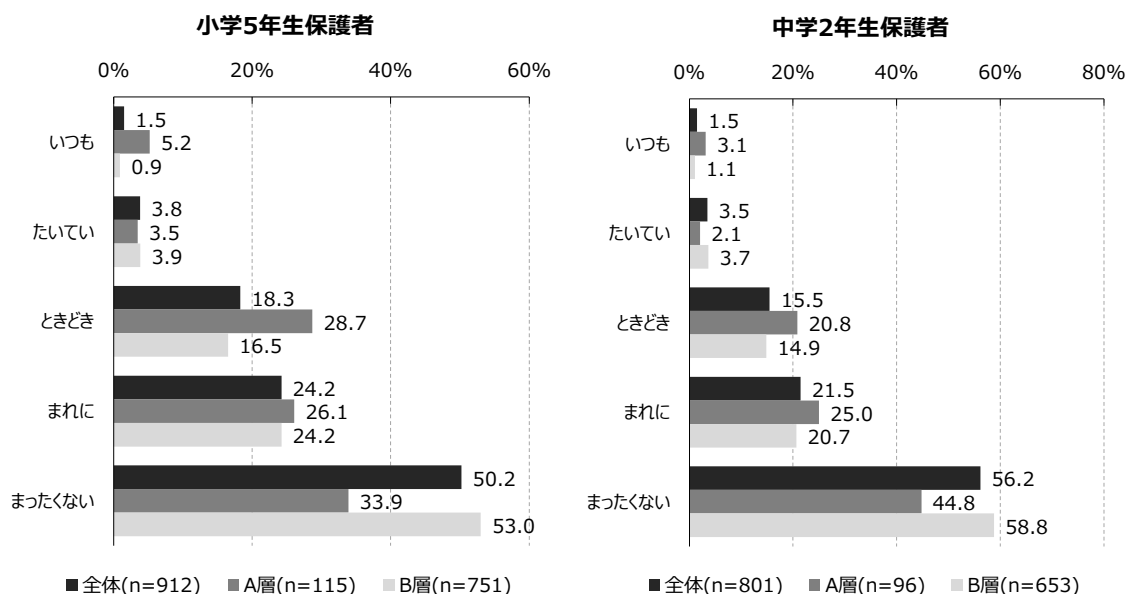
「ときどき」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より11.3ポイント多くなっています。



問 20 c) そろそろ、落ち着かなく感じた

小学5年生保護者では「まったくない」が50.2%と最も多く、「まれに」が24.2%、「ときどき」が18.3%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が56.2%と最も多く、「まれに」が21.5%、「ときどき」が15.5%となっています。

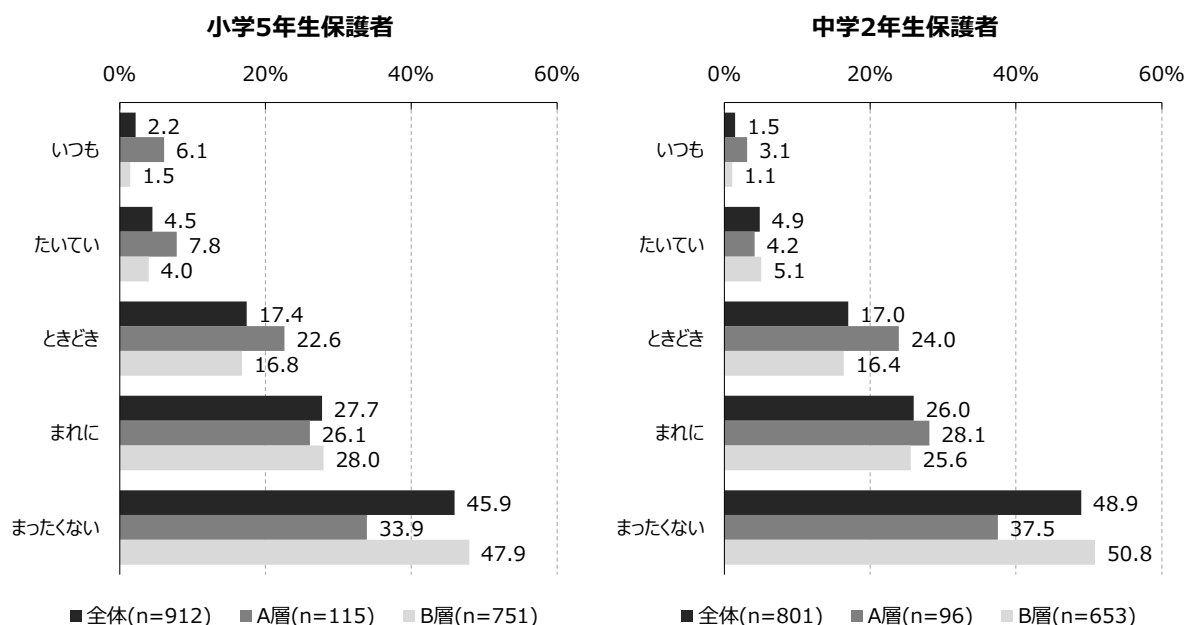
「まったくない」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。



問 20 d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

小学5年生保護者では「まったくない」が45.9%と最も多く、「まれに」が27.7%、「ときどき」が17.4%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が48.9%と最も多く、「まれに」が26.0%、「ときどき」が17.0%となっています。

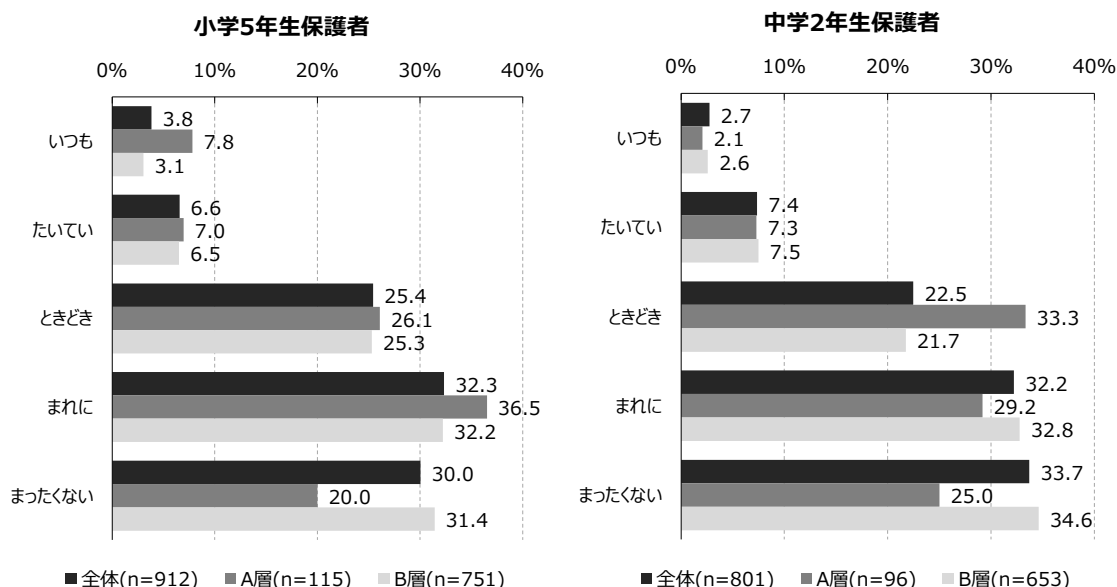
小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、「ときどき」ではA層が全体より多く、「まったくない」ではA層が全体より少なくなっています。



問 20 e) 何をするのも面倒だと感じた

小学5年生保護者では「まれに」が32.3%と最も多く、「まったくない」が30.0%、「ときどき」が25.4%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が33.7%と最も多く、「まれに」が32.2%、「ときどき」が22.5%となっています。

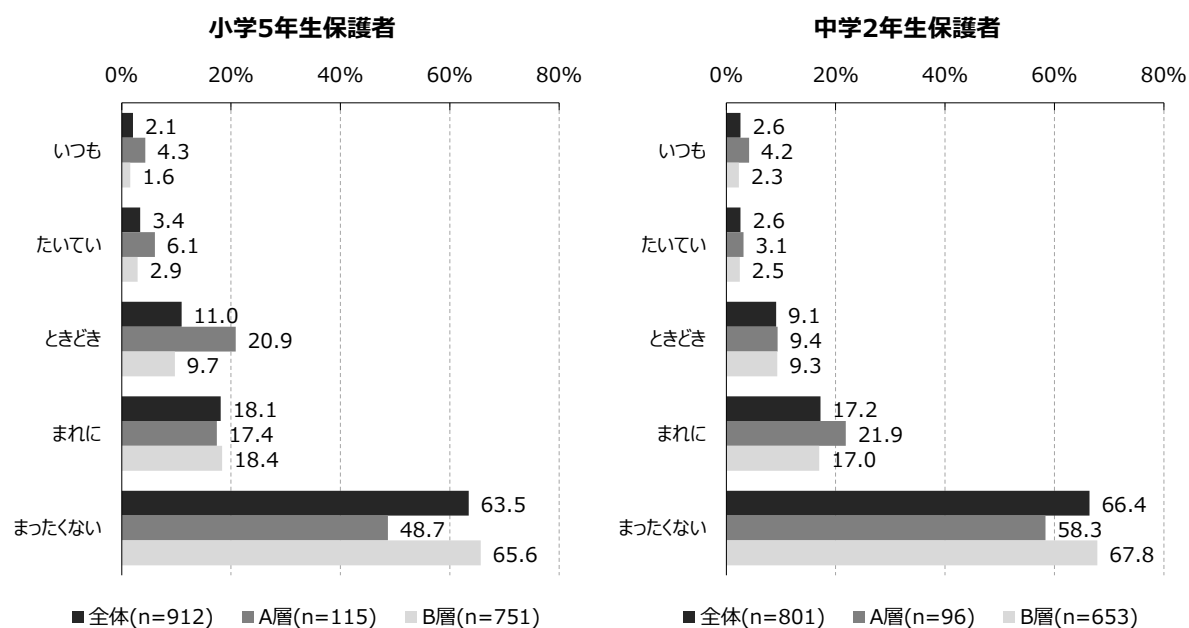
「まったくない」をみると、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。



問 20 f) 自分は価値のない人間だと感じた

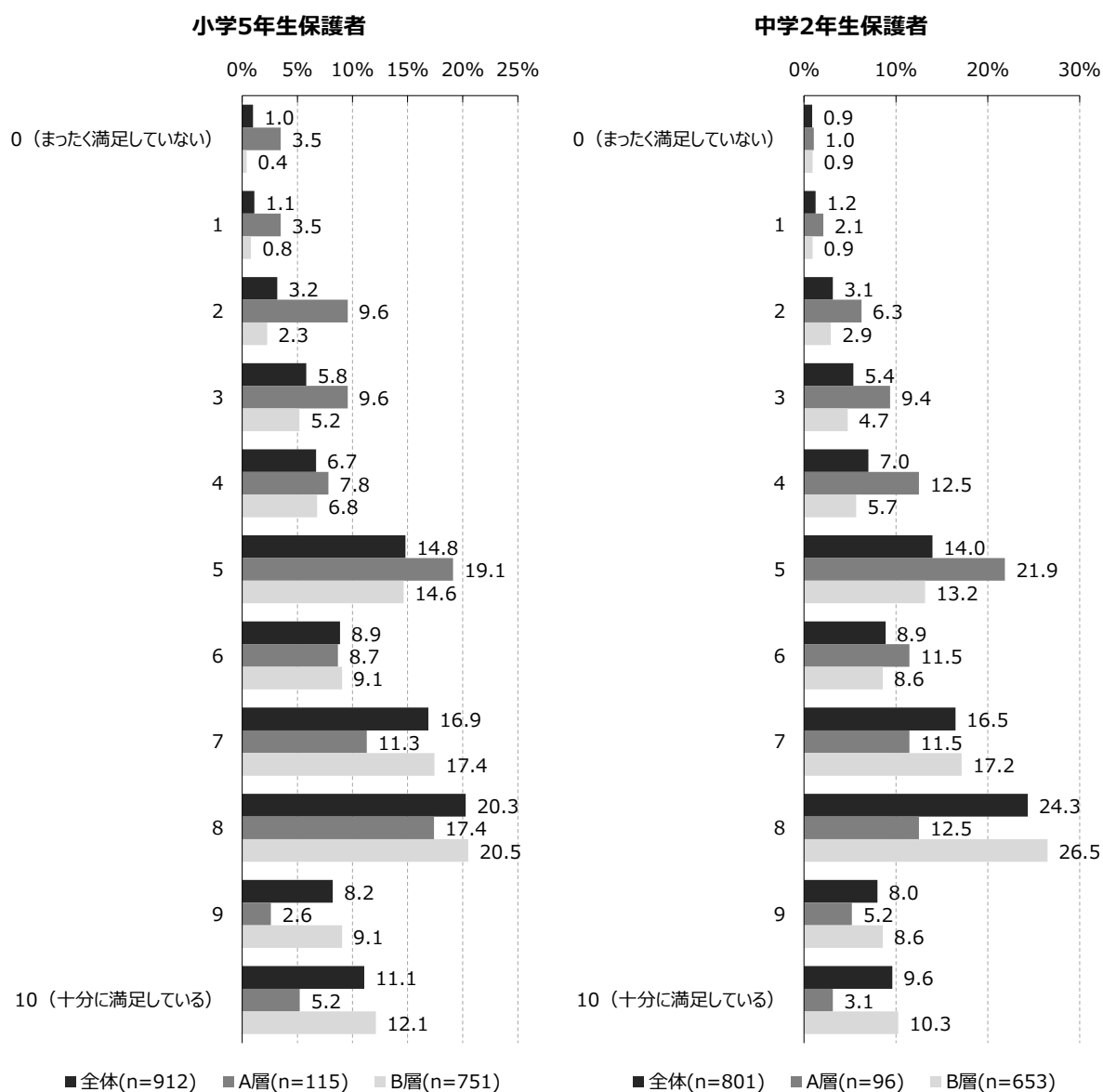
小学5年生保護者では「まったくない」が63.5%と最も多く、「まれに」が18.1%、「ときどき」が11.0%となっています。中学2年生保護者では、「まったくない」が66.4%と最も多く、「まれに」が17.2%、「ときどき」が9.1%となっています。

「ときどき」をみると、小学5年生保護者ではA層が全体より9.9ポイント多くなっています。「まったくない」では、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともにA層が全体より少なくなっています。



問 21 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していないから「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。【単数回答】

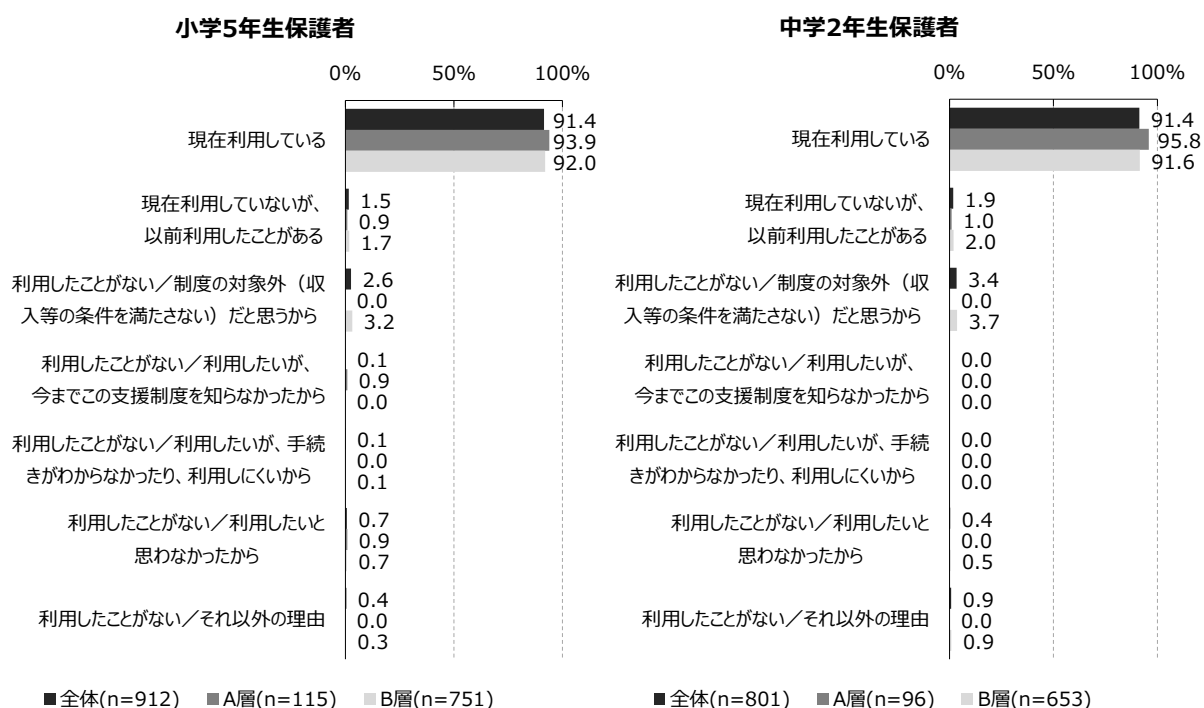
小学5年生保護者では「8」が20.3%と最も多く、「7」が16.9%、「5」が14.8%となっています。中学2年生保護者では、「8」が24.3%と最も多く、「7」が16.5%、「5」が14.0%となっています。



問 22 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。【単数回答】

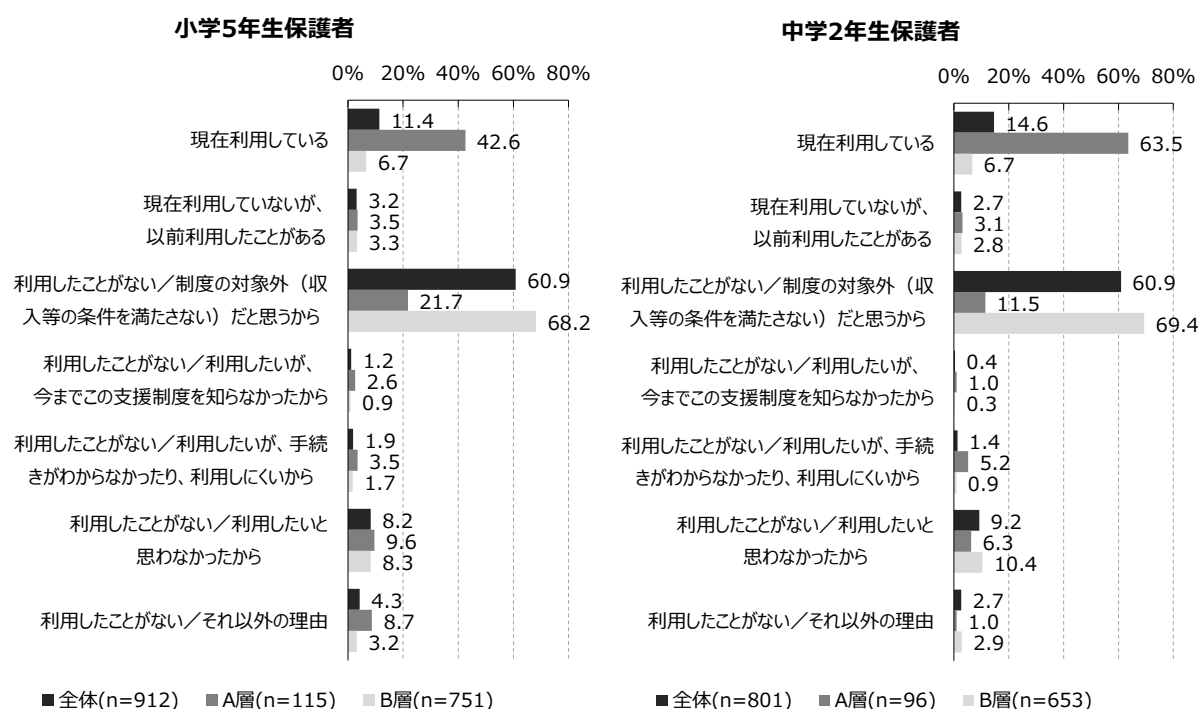
問 22 a) 児童手当

小学5年生保護者では「現在利用している」が91.4%と最も多く、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が2.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%となっています。中学2年生保護者では、「現在利用している」が91.4%と最も多く、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が3.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.9%となっています。



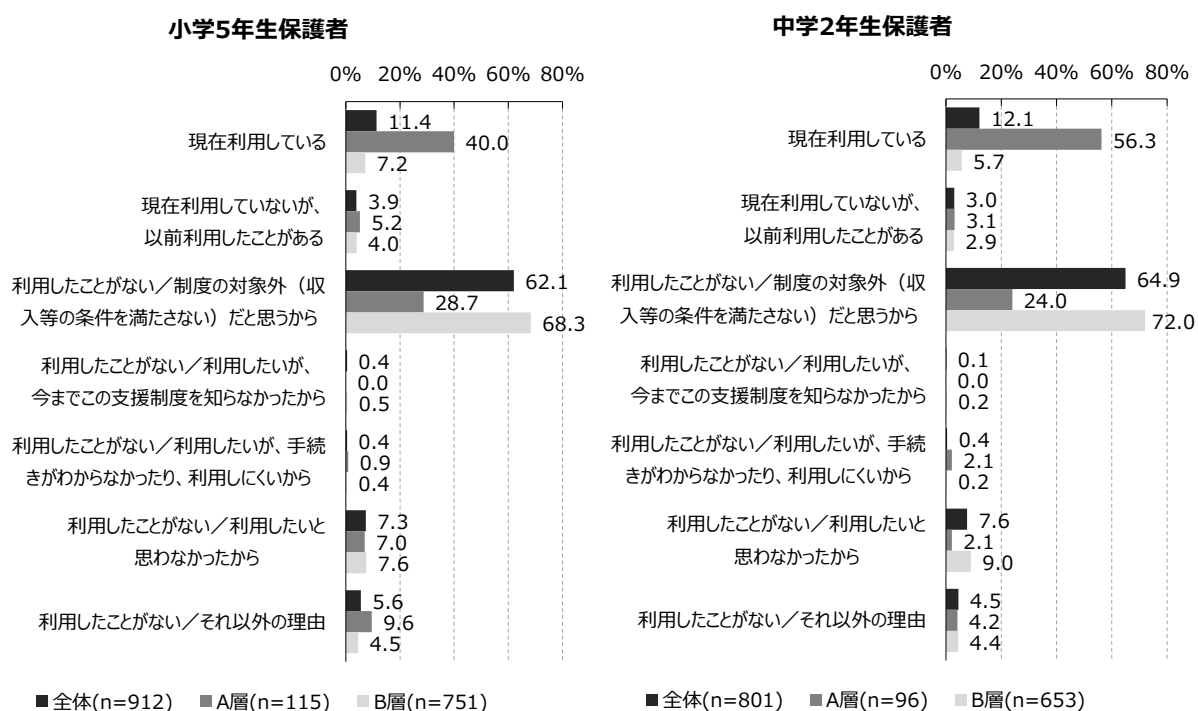
問 22 b) 就学援助

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が60.9%と最も多く、「現在利用している」が11.4%、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が8.2%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が60.9%と最も多く、「現在利用している」が14.6%、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が9.2%となっています。



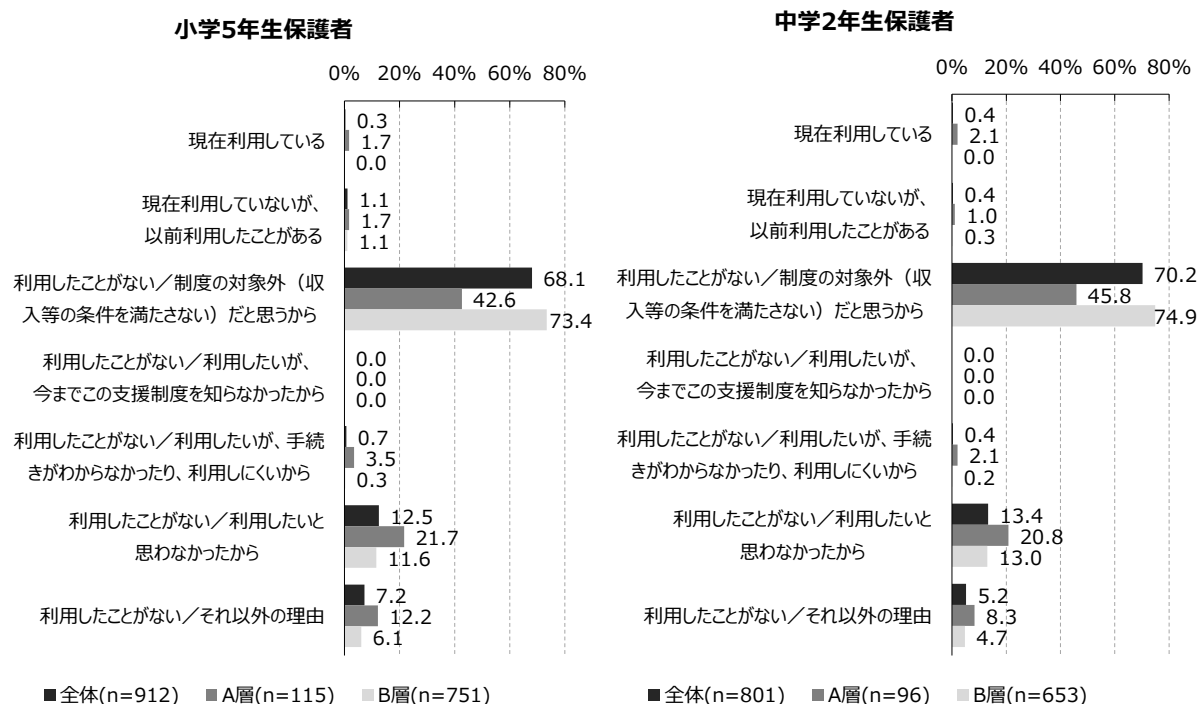
問 22 c) 児童扶養手当

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が62.1%と最も多く、「現在利用している」が11.4%、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が7.3%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が64.9%と最も多く、「現在利用している」が12.1%、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が7.6%となっています。



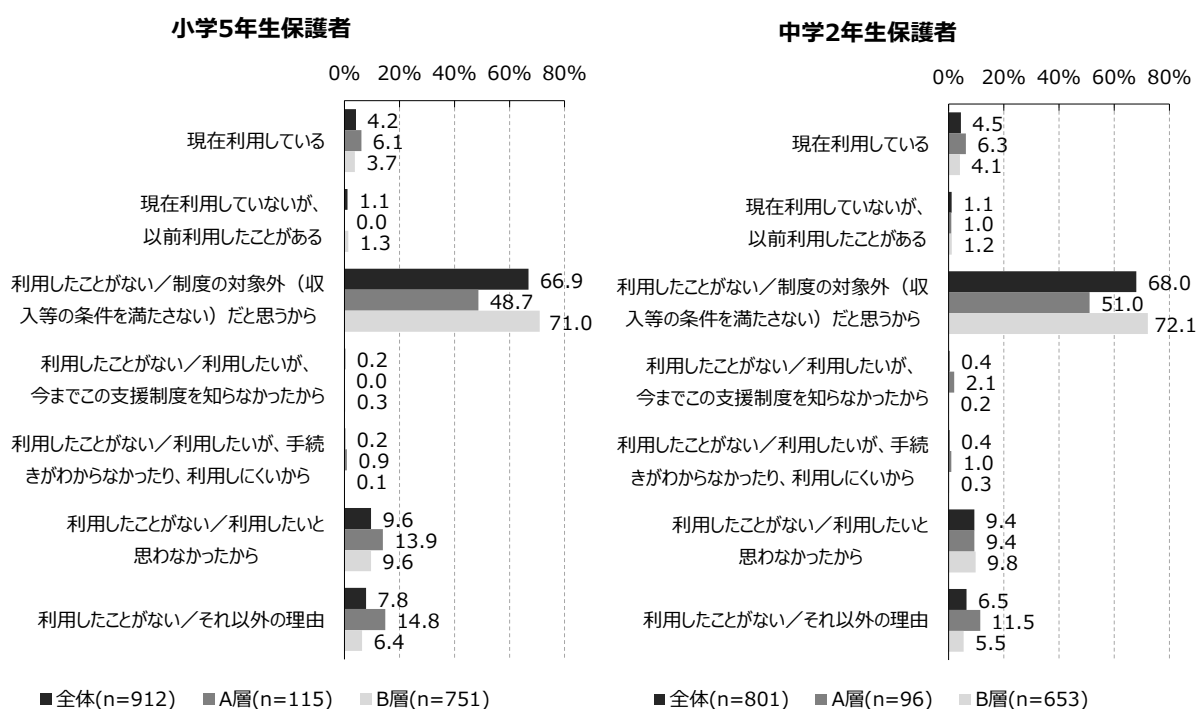
問 22 d) 生活保護

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が68.1%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が12.5%、「利用したことがない／それ以外の理由」が7.2%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が70.2%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が13.4%、「利用したことがない／それ以外の理由」が5.2%となっています。



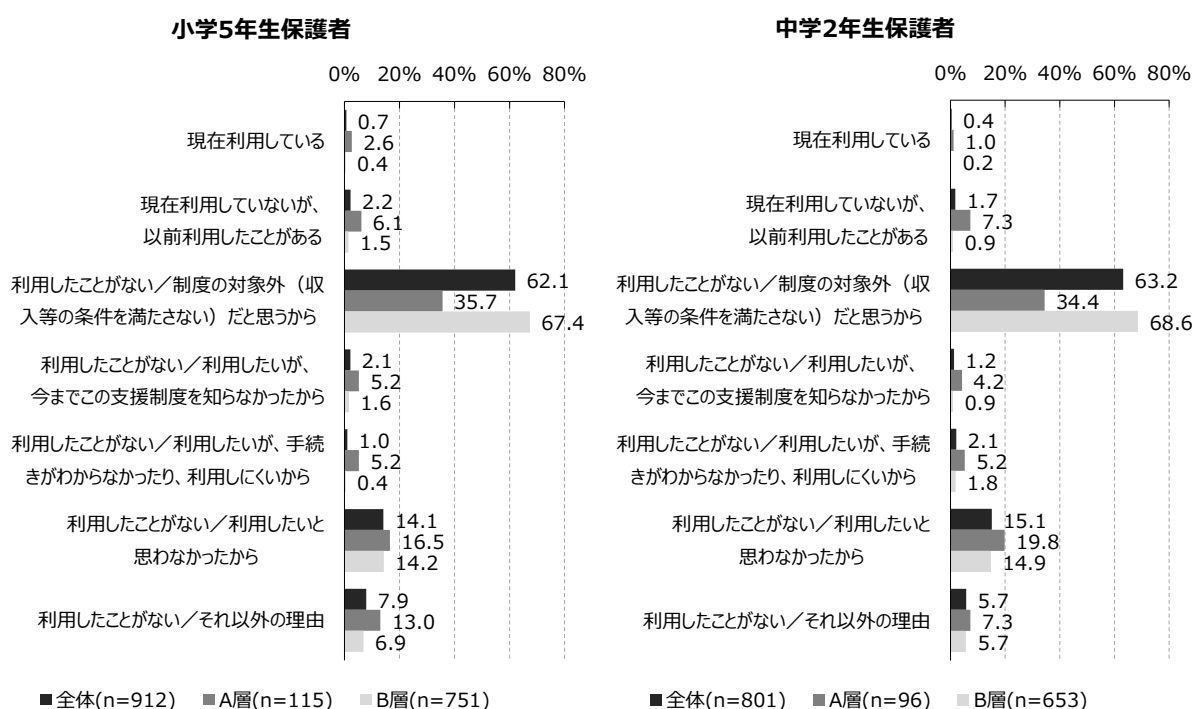
問 22 e) 障がいや難病の手当

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が66.9%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が9.6%、「利用したことがない／それ以外の理由」が7.8%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が68.0%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が9.4%、「利用したことがない／それ以外の理由」が6.5%となっています。



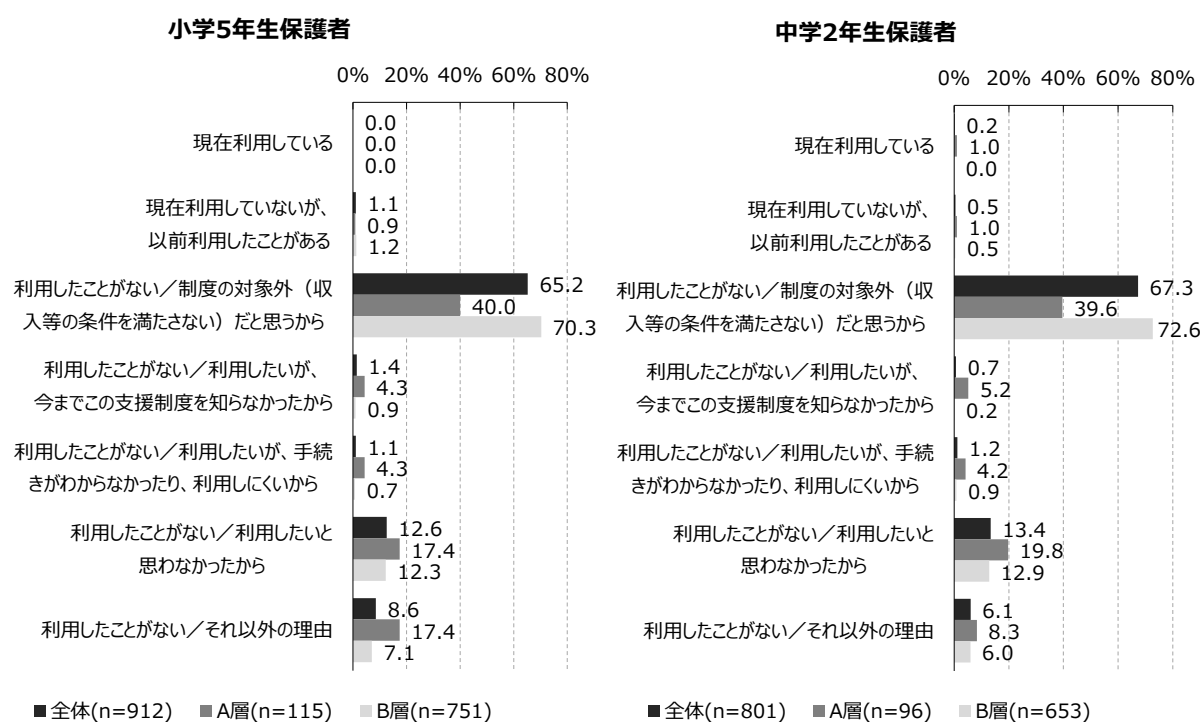
問 22 f) 行政や社会福祉協議会からの貸付

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が 62.1%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が 14.1%、「利用したことがない／それ以外の理由」が 7.9%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」が 63.2%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が 15.1%、「利用したことがない／それ以外の理由」が 5.7%となっています。



問 22 g) 母子父子寡婦福祉資金貸付

小学5年生保護者では「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が65.2%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が12.6%、「利用したことがない／それ以外の理由」が8.6%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が67.3%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思わなかったから」が13.4%、「利用したことがない／それ以外の理由」が6.1%となっています。

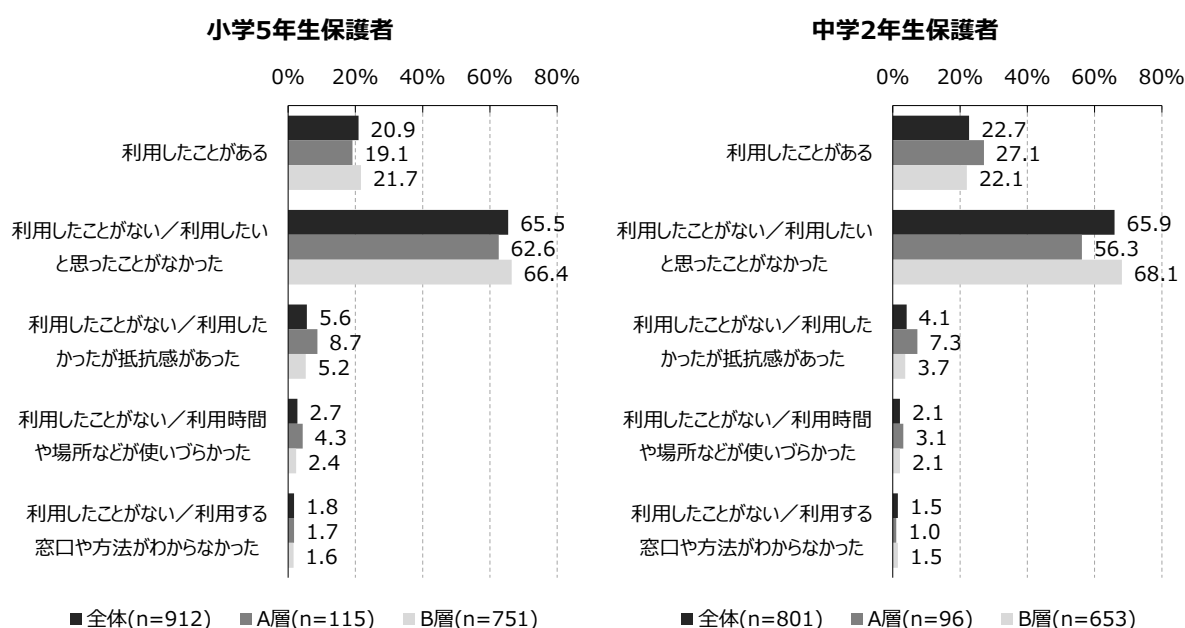


問 23 あなたのご家庭では、以下の窓口や相談先などをこれまでに利用したことがありますか。

【単数回答】

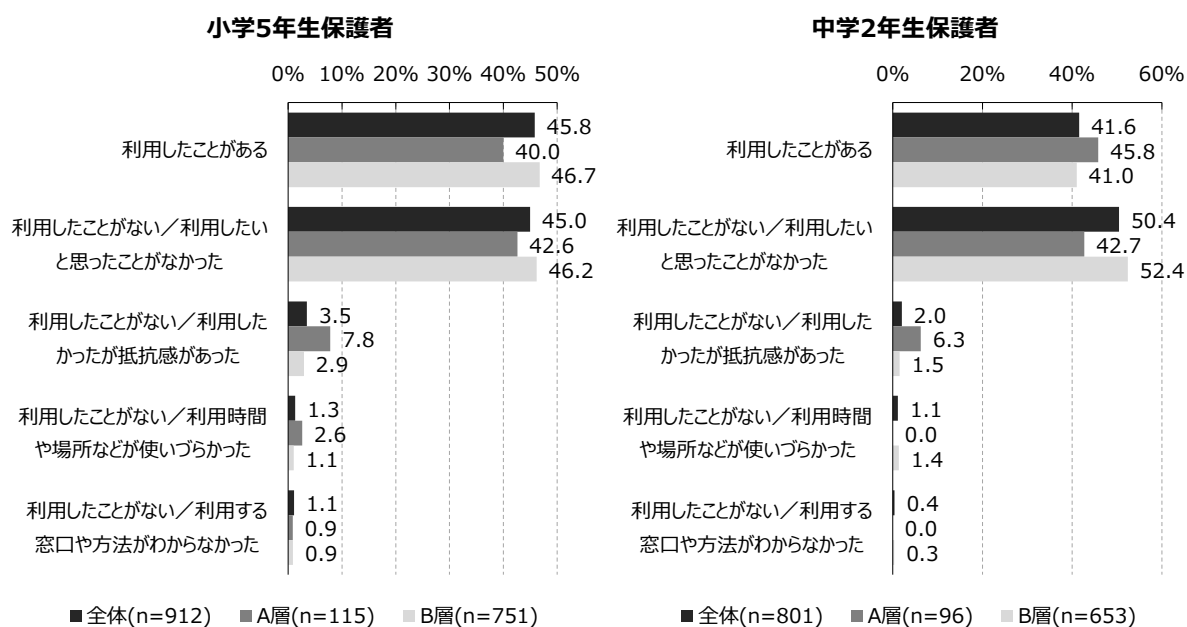
問 23 a) スクールカウンセラー

小学 5 年生保護者では「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 65.5%と最も多く、「利用したことがある」が 20.9%、「利用したことがない／利用したかったが抵抗感があつた」が 5.6%となっています。中学 2 年生保護者では、「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 65.9%と最も多く、「利用したことがある」が 22.7%、「利用したことがない／利用したかったが抵抗感があつた」が 4.1%となっています。



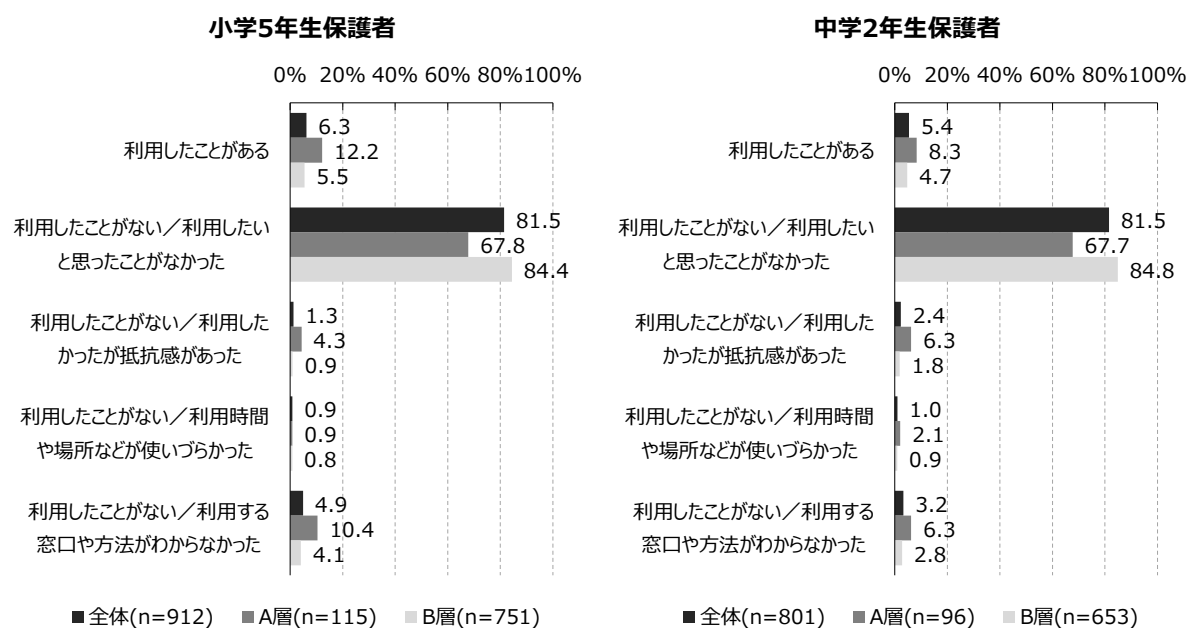
問 23 b) 学校の先生

小学5年生保護者では「利用したことがある」が45.8%と最も多く、「利用したことがない／利用したいと思っただけ」が45.0%、「利用したことがない／利用したかったが抵抗感があった」が3.5%となっています。中学2年生保護者では、「利用したことがない／利用したいと思っただけ」が50.4%と最も多く、「利用したことがある」が41.6%、「利用したことがない／利用したかったが抵抗感があった」が2.0%となっています。



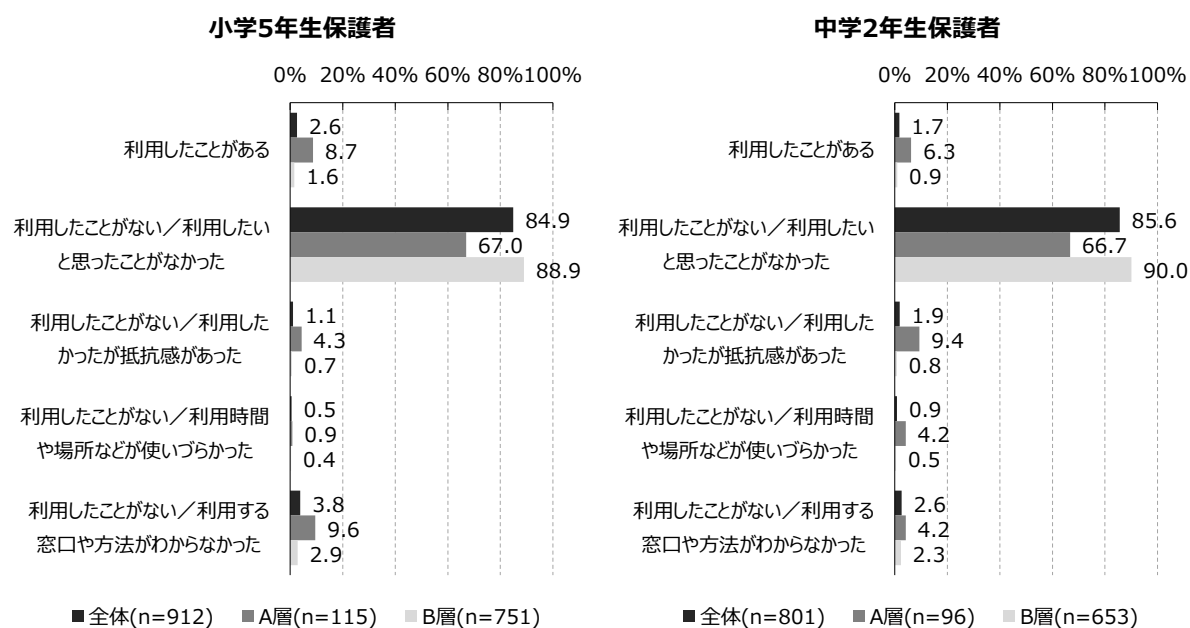
問 23 c) 児童福祉担当窓口

小学 5 年生保護者では「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 81.5%と最も多く、「利用したことがある」が 6.3%、「利用したことがない／利用する窓口や方法がわからなかった」が 4.9%となっています。中学 2 年生保護者では、「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 81.5%と最も多く、「利用したことがある」が 5.4%、「利用したことがない／利用する窓口や方法がわからなかった」が 3.2%となっています。



問 23 d) ひとり親相談担当窓口

小学 5 年生保護者では「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 84.9%と最も多く、「利用したことがない／利用する窓口や方法がわからなかった」が 3.8%、「利用したことがある」が 2.6%となっています。中学 2 年生保護者では、「利用したことがない／利用したいと思ったことがなかった」が 85.6%と最も多く、「利用したことがない／利用する窓口や方法がわからなかった」が 2.6%、「利用したことがない／利用したかったが抵抗感があった」が 1.9%となっています。

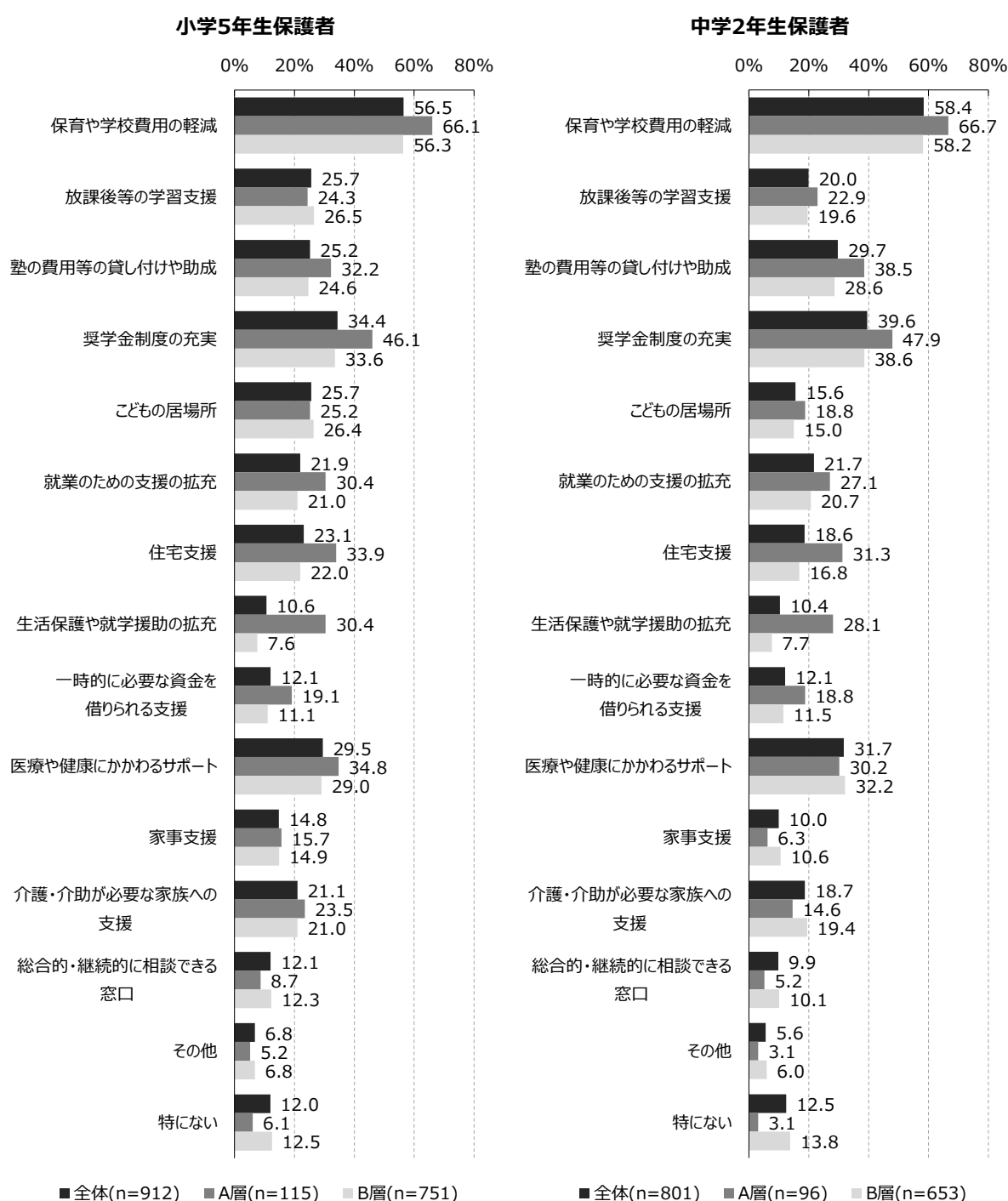


問 24 現在必要だと思う支援はどのようなことですか。【複数回答】

小学 5 年生保護者では「保育や学校費用の軽減」が 56.5%と最も多く、「奨学金制度の充実」が 34.4%、「医療や健康にかかわるサポート」が 29.5%となっています。

中学 2 年生保護者では、「保育や学校費用の軽減」が 58.4%と最も多く、「奨学金制度の充実」が 39.6%、「医療や健康にかかわるサポート」が 31.7%となっています。

「保育や学校費用の軽減」「塾の費用等の貸し付けや助成」「奨学金制度の充実」「就業のための支援の拡充」「住宅支援」「生活保護や就学援助の拡充」「一時的に必要な資金を借りられる支援」をみると、小学 5 年生保護者、中学 2 年生保護者ともに A 層が全体より多くなっています。



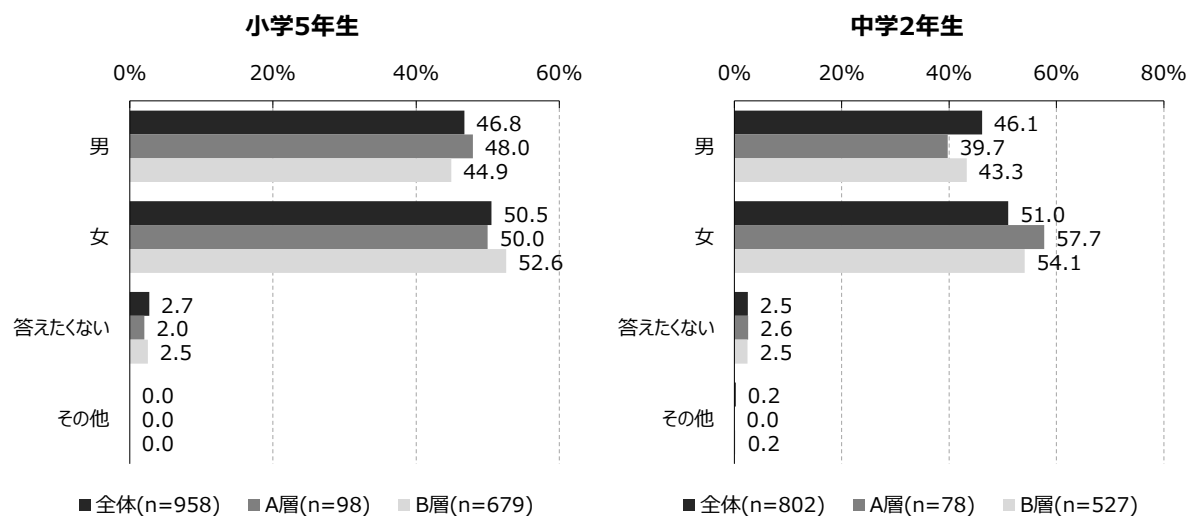
こどもの生活アンケート

V 小学 5 年生児童・ 中学 2 年生生徒 結果

※設問等の文章は小学 5 年生児童用の表記

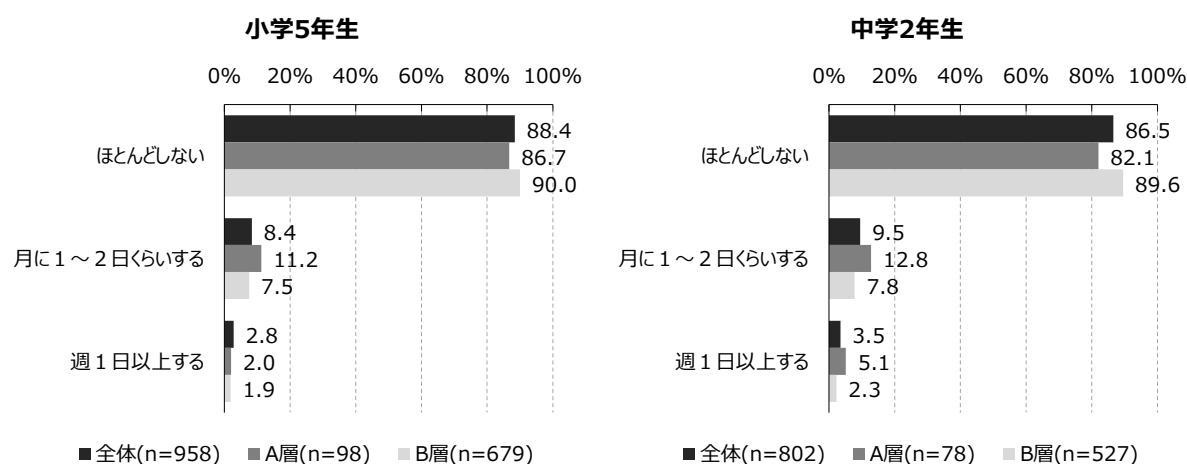
Q1 は確認番号入力欄

Q2 あなたの性別を教えてください。【単数回答】



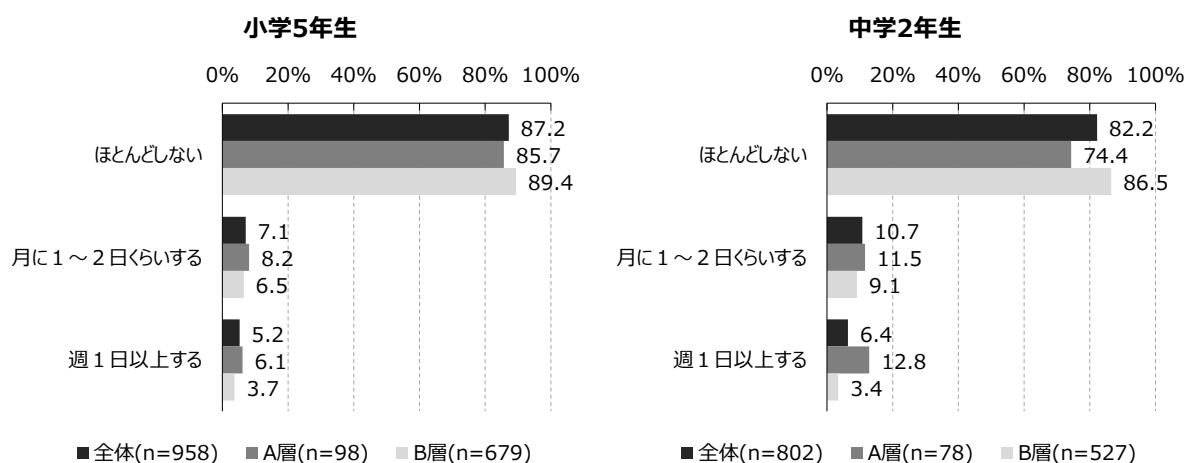
Q3 あなたは学校を欠席することがありますか。(病気の場合をのぞく)【単数回答】

小学5年生では、「ほとんどしない」が88.4%と最も多く、「月に1～2日くらいする」が8.4%、「週1日以上する」が2.8%となっています。中学2年生では、「ほとんどしない」が86.5%と最も多く、「月に1～2日くらいする」が9.5%、「週1日以上する」が3.5%となっています。



Q4 あなたは学校を遅刻や早退することがありますか。(病気の場合をのぞく)【単数回答】

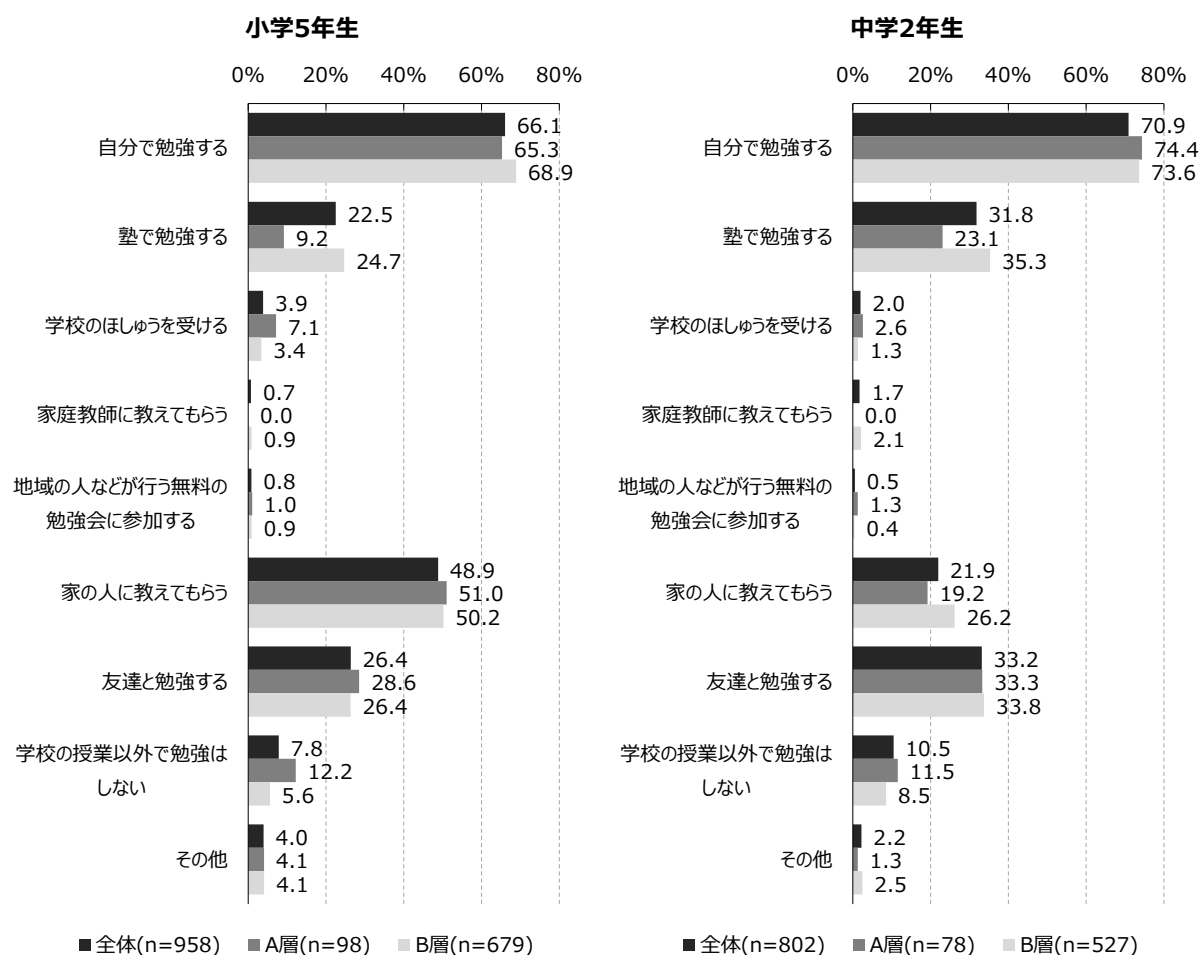
小学5年生では、「ほとんどしない」が87.2%と最も多く、「月に1～2日くらいする」が7.1%、「週1日以上する」が5.2%となっています。中学2年生では、「ほとんどしない」が82.2%と最も多く、「月に1～2日くらいする」が10.7%、「週1日以上する」が6.4%となっています。



Q5 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。【複数回答】

小学5年生では、「自分で勉強する」が66.1%と最も多く、「家の人に教えてもらう」が48.9%、「友達と勉強する」が26.4%となっています。中学2年生では、「自分で勉強する」が70.9%と最も多く、「友達と勉強する」が33.2%、「塾で勉強する」が31.8%となっています。

「塾で勉強する」をみると、小学5年生では13.3ポイント、中学2年生では8.7ポイント、A層が全体より少なくなっています。



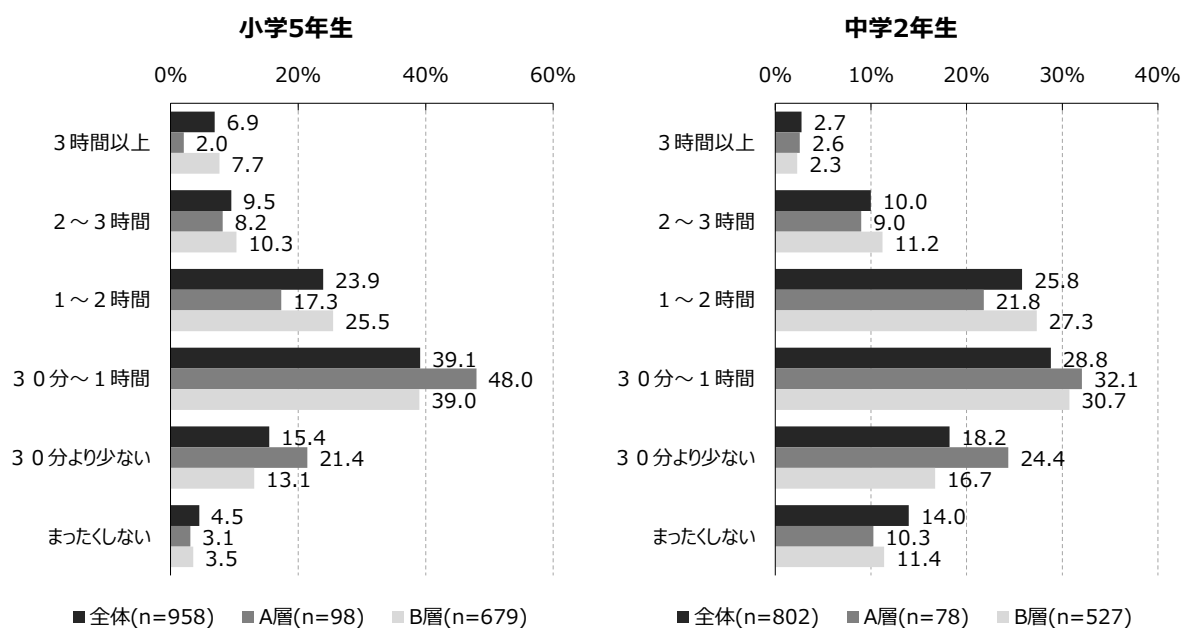
Q6 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの勉強をしますか。【単数回答】

※学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

Q6 a) 学校がある日(月～金曜日)

小学5年生では、「30分～1時間」が39.1%と最も多く、「1～2時間」が23.9%、「30分より少ない」が15.4%となっています。中学2年生では、「30分～1時間」が28.8%と最も多く、「1～2時間」が25.8%、「30分より少ない」が18.2%となっています。

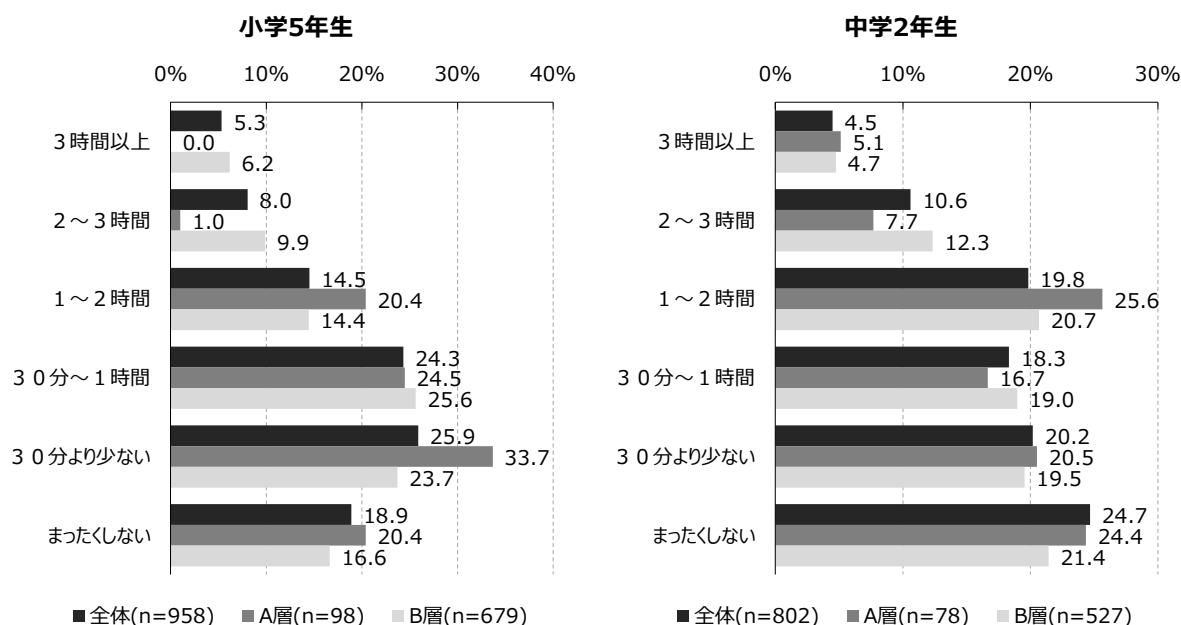
「30分～1時間」をみると、小学5年生ではA層が全体より多くなっています。



Q6 b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)

小学5年生では、「30分より少ない」が25.9%と最も多く、「30分～1時間」が24.3%、「まったくしない」が18.9%となっています。中学2年生では、「まったくしない」が24.7%と最も多く、「30分より少ない」が20.2%、「1～2時間」が19.8%となっています。

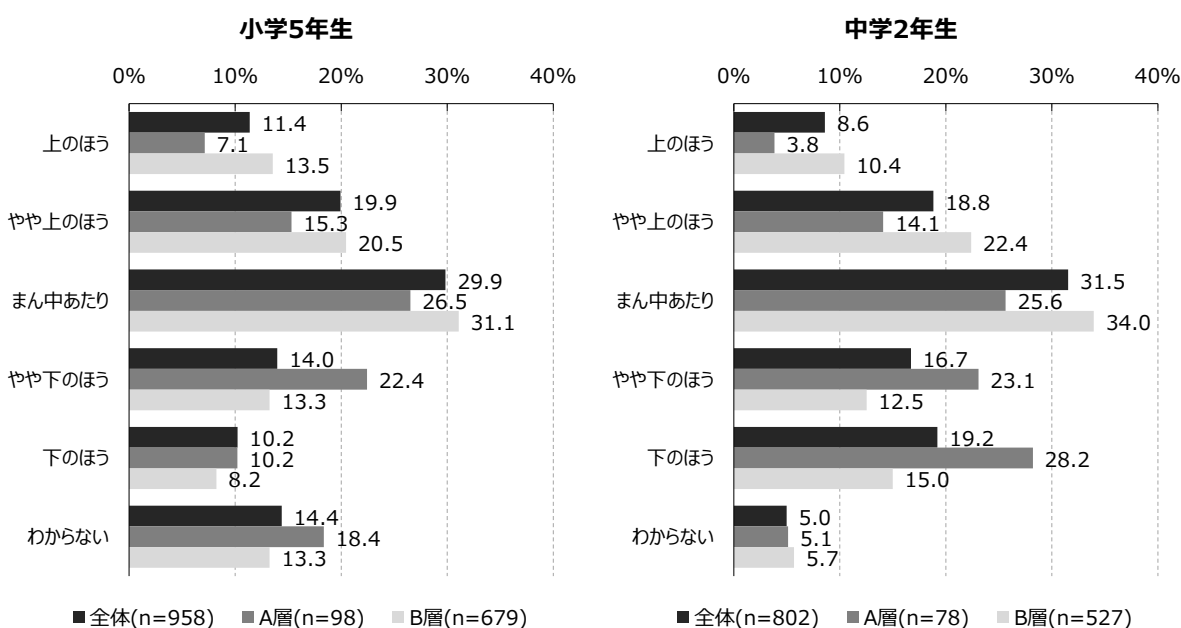
「30分より少ない」をみると、小学5年生ではA層が全体より多くなっています。



Q7 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。【単数回答】

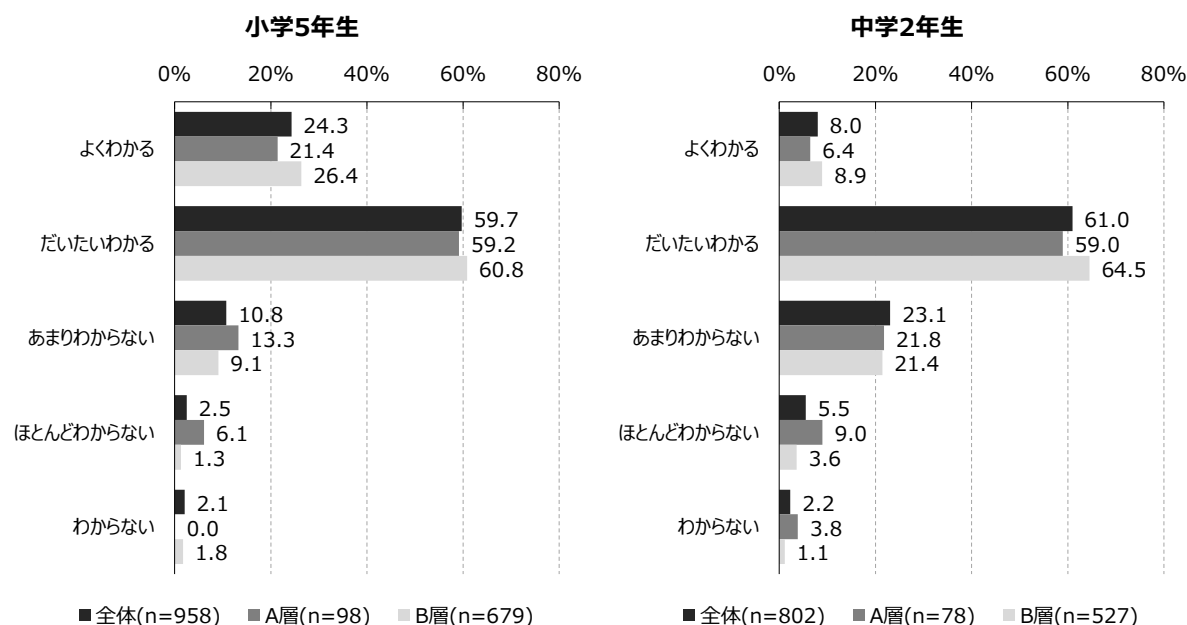
小学5年生では、「まん中あたり」が29.9%と最も多く、「やや上のほう」が19.9%、「わからない」が14.4%となっています。中学2年生では、「まん中あたり」が31.5%と最も多く、「下のほう」が19.2%、「やや上のほう」が18.8%となっています。

「下のほう」をみると、中学2年生ではA層が全体より9.0ポイント多くなっています。



Q8 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。【単数回答】

小学5年生では、「だいたいわかる」が59.7%と最も多く、「よくわかる」が24.3%、「あまりわからない」が10.8%となっています。中学2年生では、「だいたいわかる」が61.0%と最も多く、「あまりわからない」が23.1%、「よくわかる」が8.0%となっています。

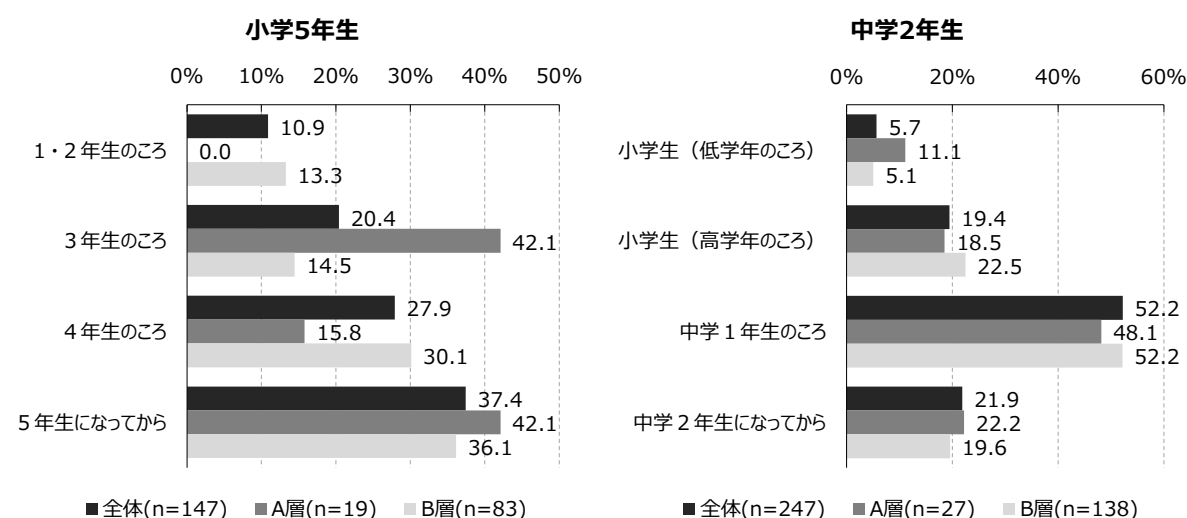


Q9 前の質問で「あまりわからない」「ほとんどわからない」「わからない」と答えた人

Q9 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。【単数回答】

小学5年生では、「5年生になってから」が37.4%と最も多く、「4年生のころ」が27.9%、「3年生のころ」が20.4%となっています。中学2年生では、「中学1年生のころ」が52.2%と最も多く、「中学2年生になってから」が21.9%、「小学生（高学年のころ）」が19.4%となっています。

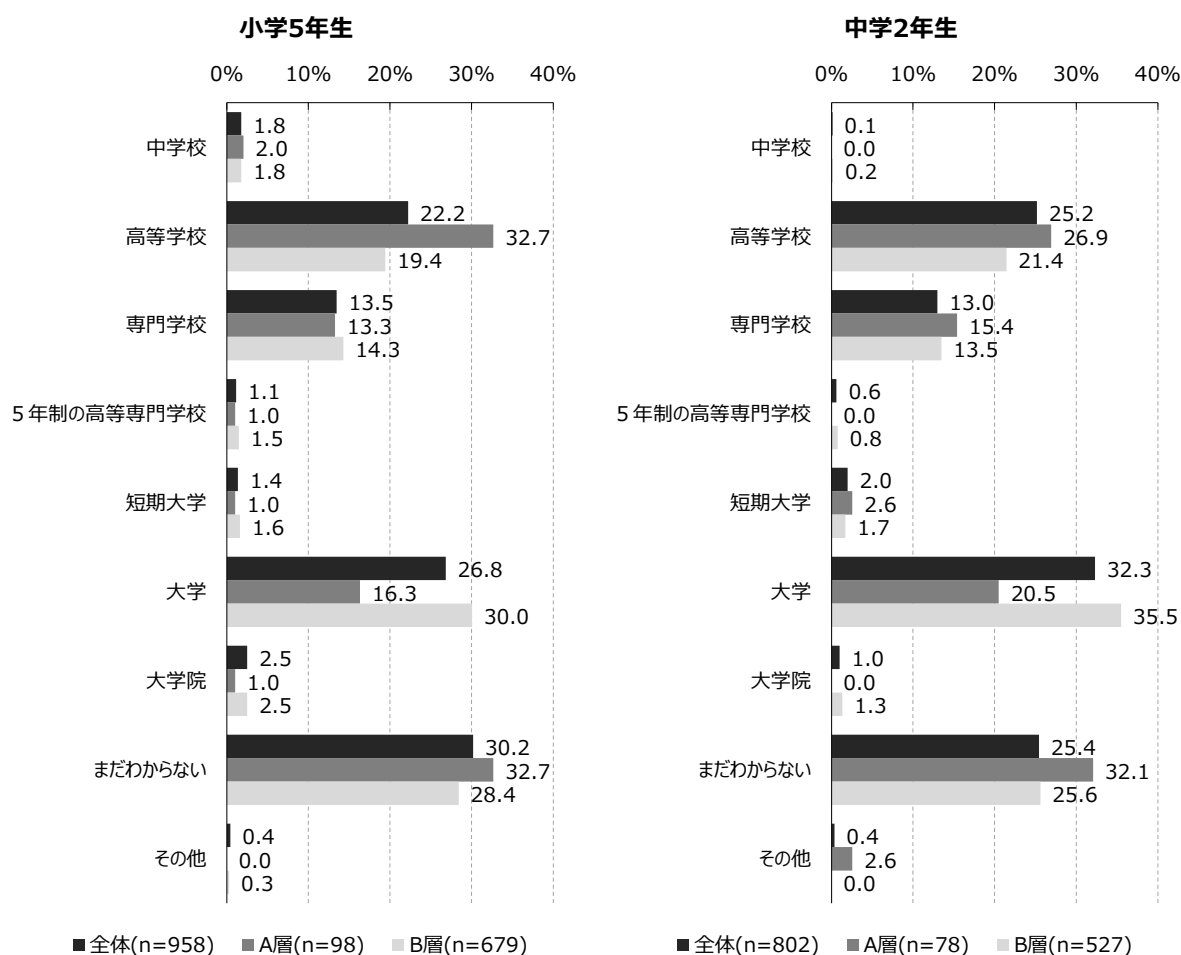
小学5年生では、「3年生のころ」でA層が全体より21.7ポイント多く、「4年生のころ」でA層が全体より12.1ポイント少なくなっています。



Q10 あなたは、しょうらい、どの学校まで進学したいですか。【単数回答】

小学5年生では、「まだわからない」が30.2%と最も多く、「大学」が26.8%、「高等学校」が22.2%となっています。中学2年生では、「大学」が32.3%と最も多く、「まだわからない」が25.4%、「高等学校」が25.2%となっています。

「高等学校」をみると、小学5年生ではA層が全体より10.5ポイント多くなっています。また、「大学」をみると、小学5年生では10.5ポイント、中学2年生では11.8ポイント、A層が全体より少なくなっています。

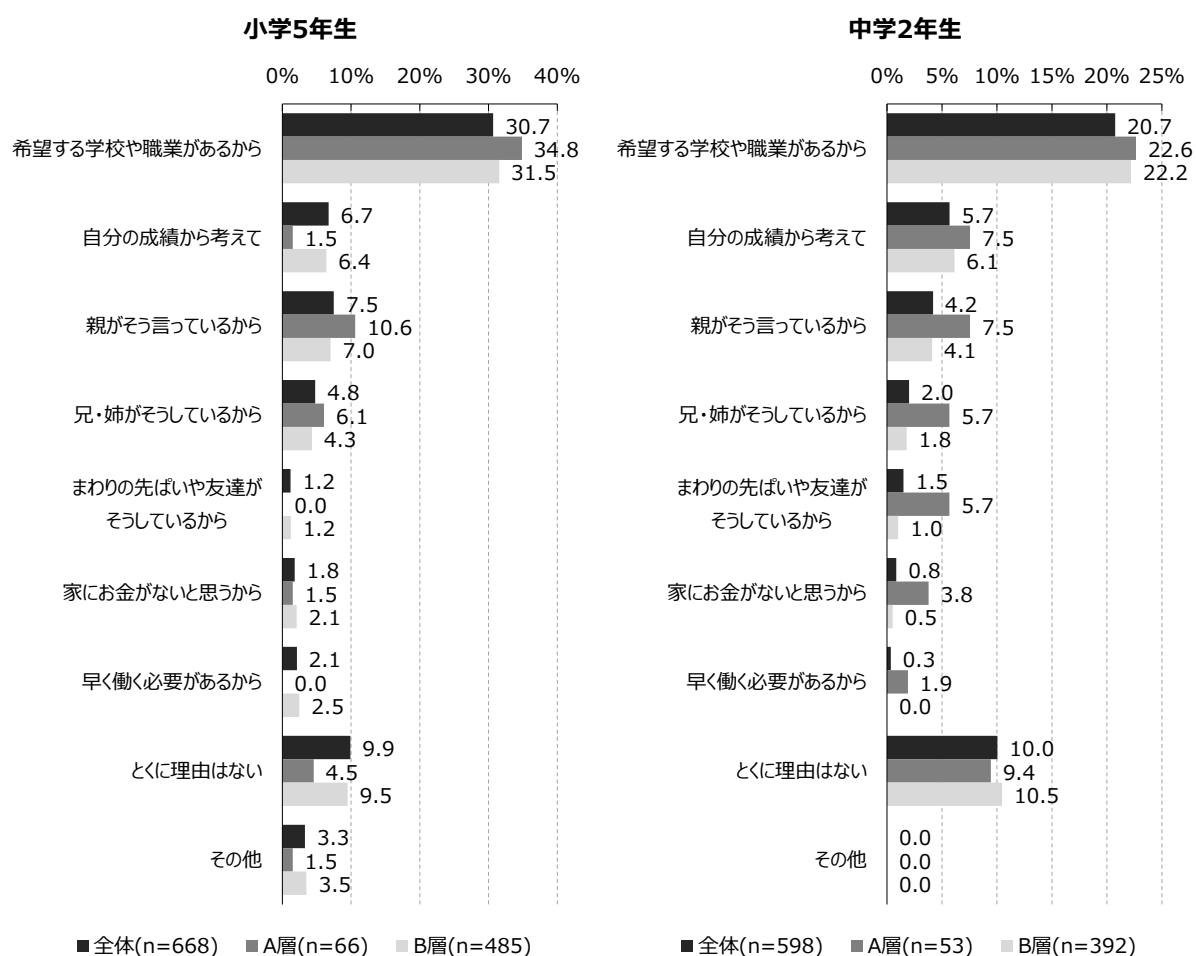


前の質問(将来の進学希望)で「まだわからない」以外と答えた人

Q11 その理由を教えてください。【複数回答】

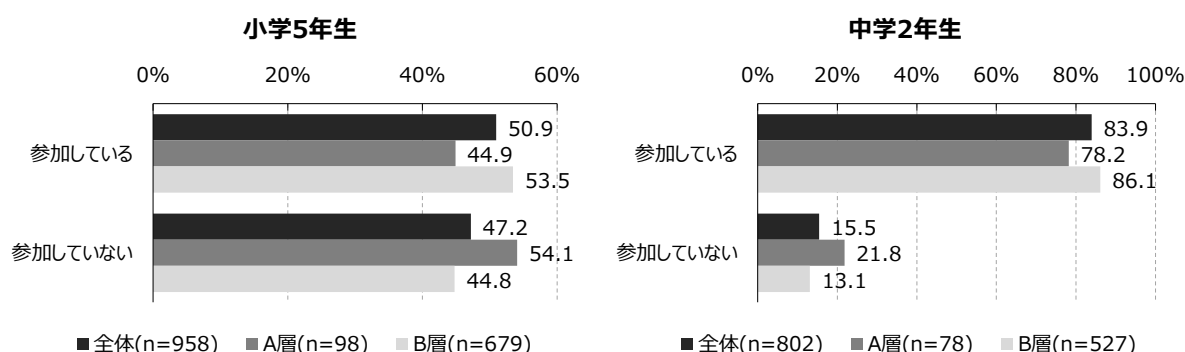
小学5年生では、「希望する学校や職業があるから」が30.7%と最も多く、「とくに理由はない」が9.9%、「親がそう言っているから」が7.5%となっています。中学2年生では、「希望する学校や職業があるから」が20.7%と最も多く、「とくに理由はない」が10.0%、「自分の成績から考えて」が5.7%となっています。

中学2年生では、「家にお金がないと思うから」がA層で3.8%みられます。



Q12 あなたは、地域のスポーツクラブ、学校の部活動に参加していますか。【単数回答】

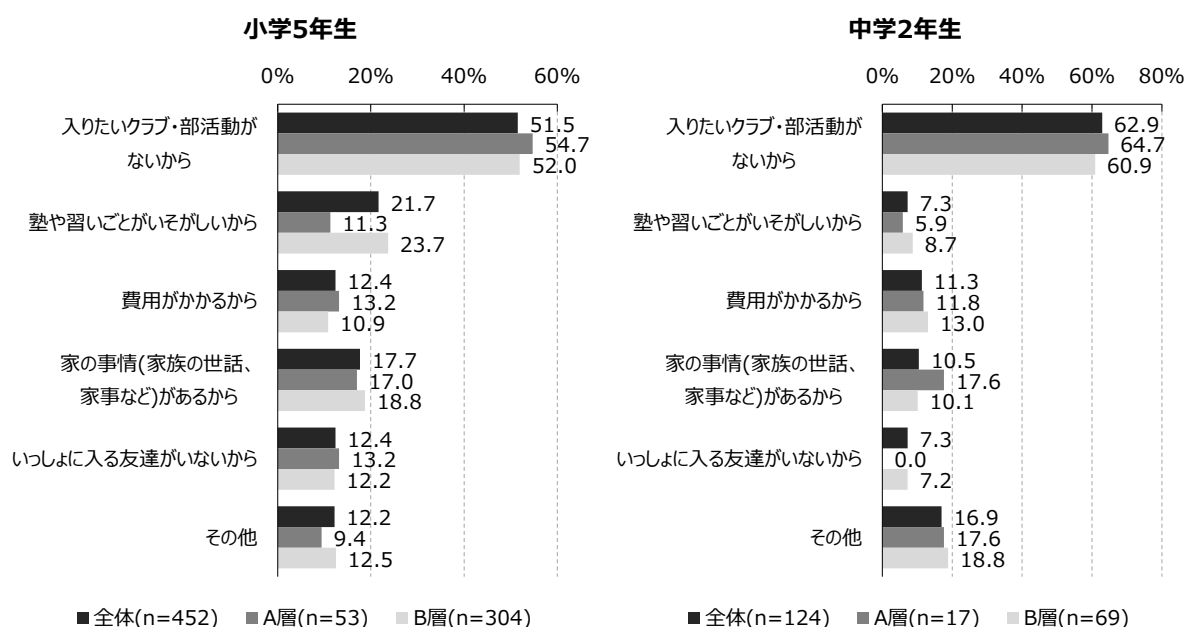
小学5年生では、「参加している」が50.9%、「参加していない」が47.2%となっています。
中学2年生では、「参加している」が83.9%、「参加していない」が15.5%となっています。



前の質問で「参加していない」と答えた人

Q13 (地域のスポーツクラブ、学校の部活動に)参加していない理由はなんですか。【複数回答】

小学5年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が51.5%と最も多く、「塾や習いごとがいそがしいから」が21.7%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が17.7%となっています。中学2年生では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が62.9%と最も多く、「その他」が16.9%、「費用がかかるから」が11.3%となっています。

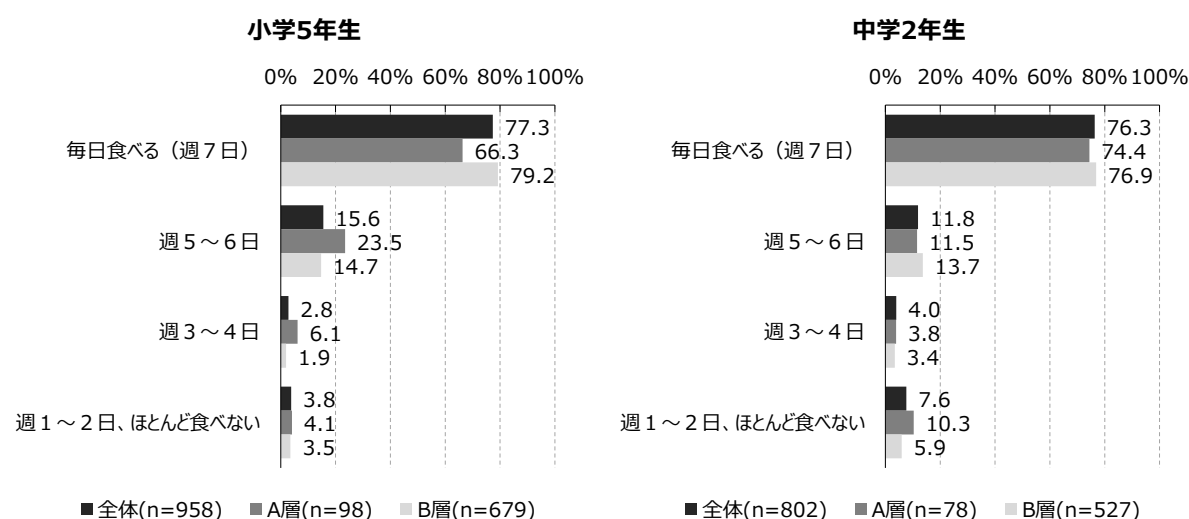


Q14 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。【単数回答】

Q14 a) 朝食

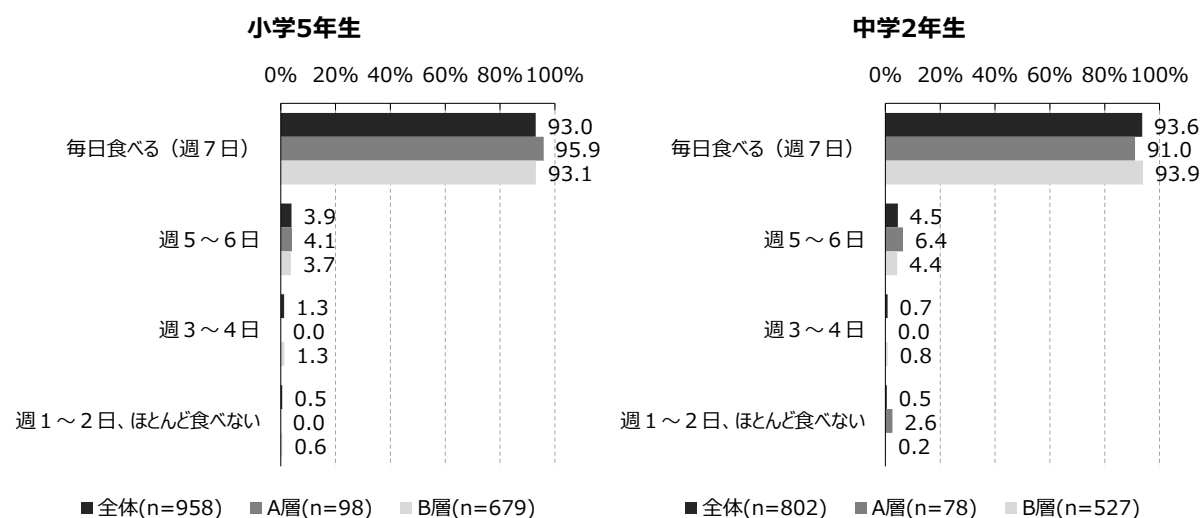
小学5年生では、「毎日食べる（週7日）」が77.3%と最も多く、「週5～6日」が15.6%、「週1～2日、ほとんど食べない」が3.8%となっています。中学2年生では、「毎日食べる（週7日）」が76.3%と最も多く、「週5～6日」が11.8%、「週1～2日、ほとんど食べない」が7.6%となっています。

「毎日食べる（週7日）」をみると、小学5年生ではA層が全体より11.0ポイント少なく、B層が全体より11.9ポイント少なくなっています。



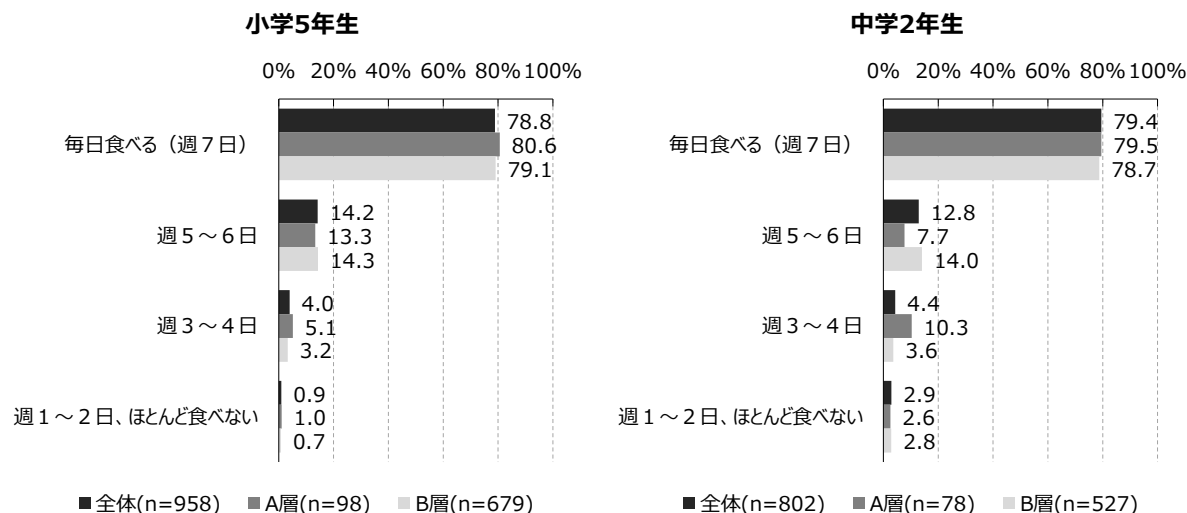
Q14 b) 夕食

小学5年生では、「毎日食べる（週7日）」が93.0%と最も多く、「週5～6日」が3.9%、「週3～4日」が1.3%となっています。中学2年生では、「毎日食べる（週7日）」が93.6%と最も多く、「週5～6日」が4.5%、「週3～4日」が0.7%となっています。



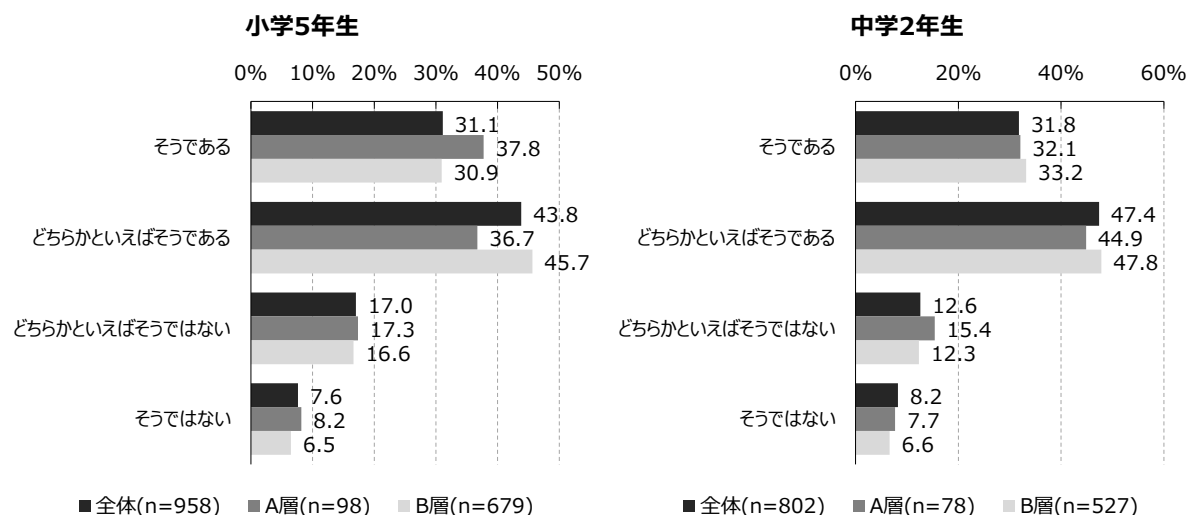
Q14 c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

小学5年生では、「毎日食べる（週7日）」が78.8%と最も多く、「週5～6日」が14.2%、「週3～4日」が4.0%となっています。中学2年生では、「毎日食べる（週7日）」が79.4%と最も多く、「週5～6日」が12.8%、「週3～4日」が4.4%となっています。



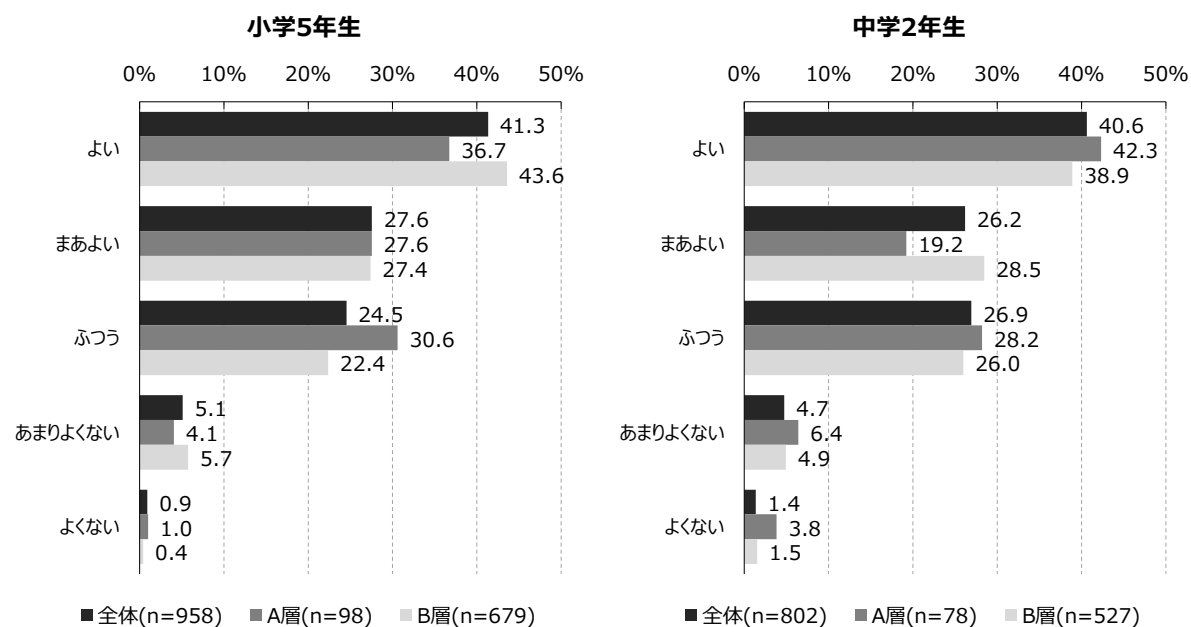
Q15 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間にねていますか。【単数回答】

小学5年生では、「どちらかといえばそうである」が43.8%と最も多く、「そうである」が31.1%、「どちらかといえばそうではない」が17.0%となっています。中学2年生では、「どちらかといえばそうである」が47.4%と最も多く、「そうである」が31.8%、「どちらかといえばそうではない」が12.6%となっています。



Q16 あなたの健康状態について教えてください。【単数回答】

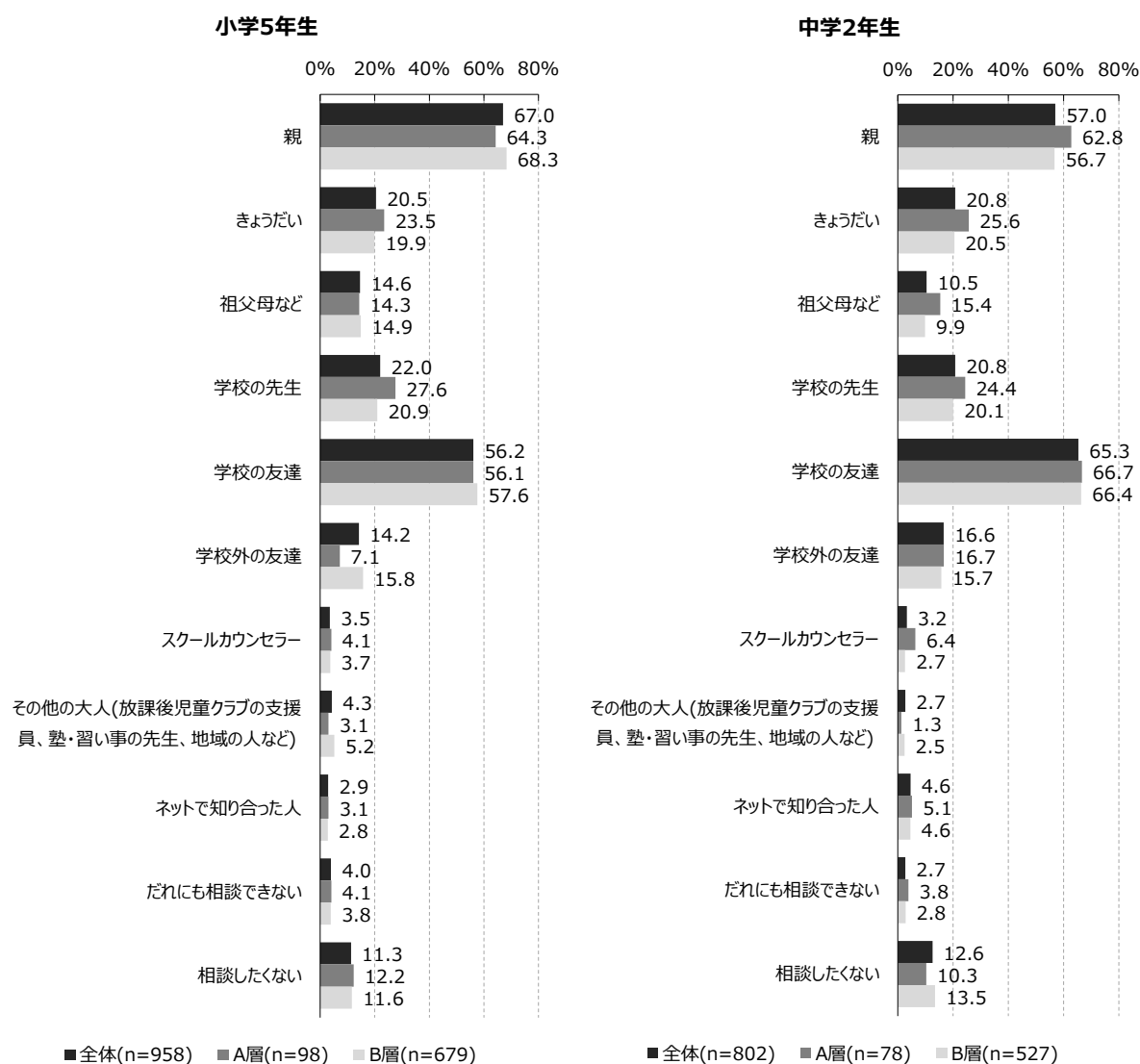
小学5年生では、「よい」が41.3%と最も多く、「まあよい」が27.6%、「ふつう」が24.5%となっています。中学2年生では、「よい」が40.6%と最も多く、「ふつう」が26.9%、「まあよい」が26.2%となっています。



Q17 あなたにこまっていることやなやみごとがあるとき、相談できると思う人はだれですか。

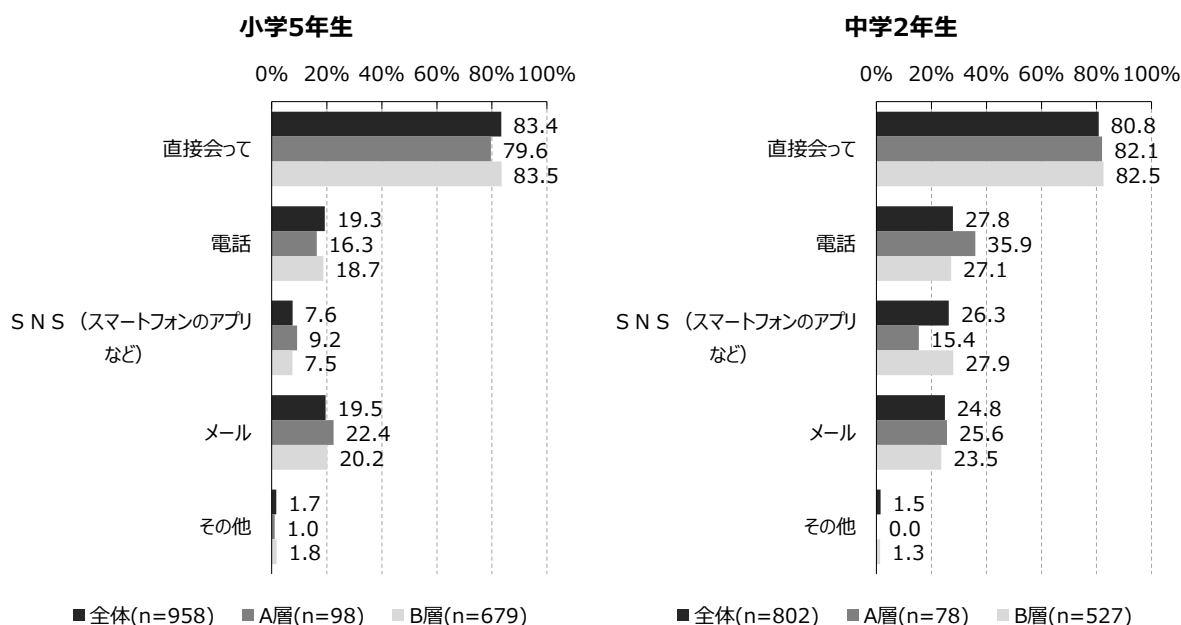
【複数回答】

小学5年生では、「親」が67.0%と最も多く、「学校の友達」が56.2%、「学校の先生」が22.0%となっています。中学2年生では、「学校の友達」が65.3%と最も多く、「親」が57.0%、「きょうだい」が20.8%となっています。



Q18 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。【複数回答】

小学5年生では、「直接会って」が83.4%と最も多く、「メール」が19.5%、「電話」が19.3%となっています。中学2年生では、「直接会って」が80.8%と最も多く、「電話」が27.8%、「SNS（スマートフォンのアプリなど）」が26.3%となっています。

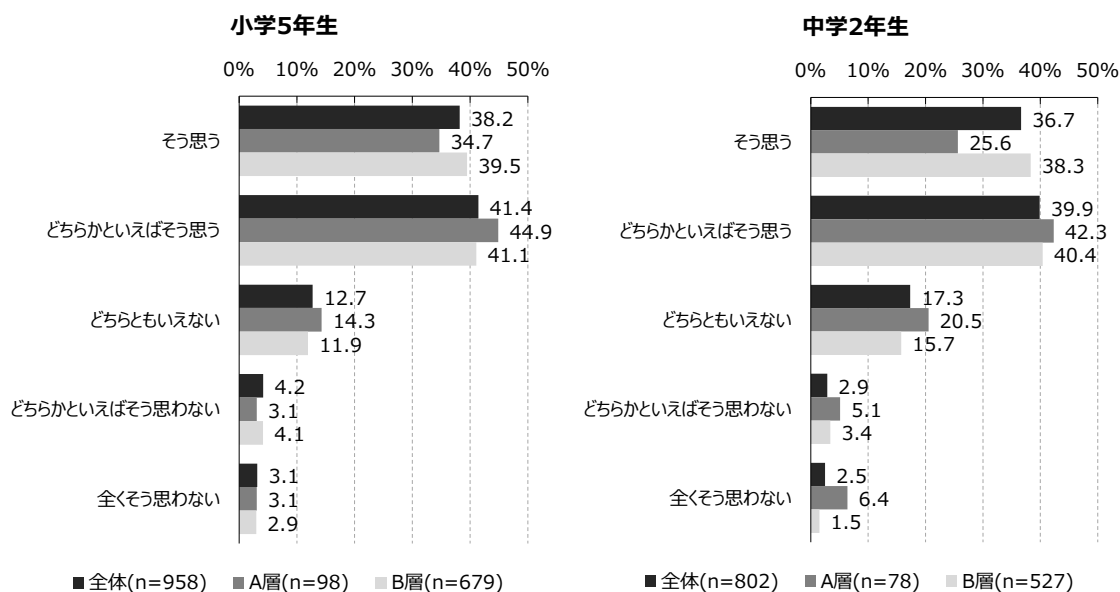


Q19 自分の意見や考えは、まわりの大人の人にきちんと聞いてもらえていると思いますか。

【単数回答】

小学5年生では、「どちらかといえばそう思う」が41.4%と最も多く、「そう思う」が38.2%、「どちらともいえない」が12.7%となっています。中学2年生では、「どちらかといえばそう思う」が39.9%と最も多く、「そう思う」が36.7%、「どちらともいえない」が17.3%となっています。

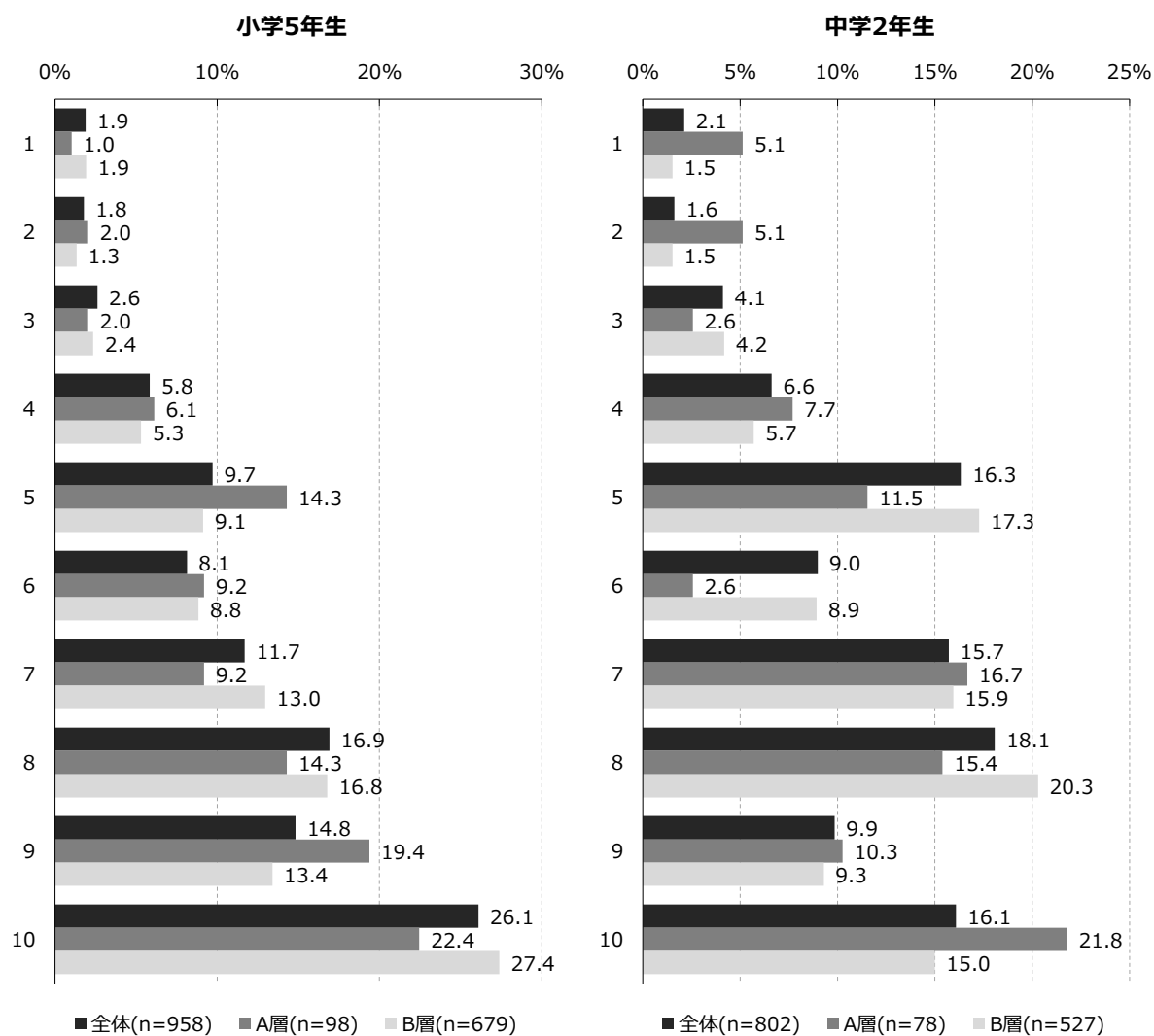
「そう思う」をみると、中学2年生ではA層が全体より11.1ポイント少なくなっています。



Q20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

【まったく満足していない1～大変満足している10までで選択】

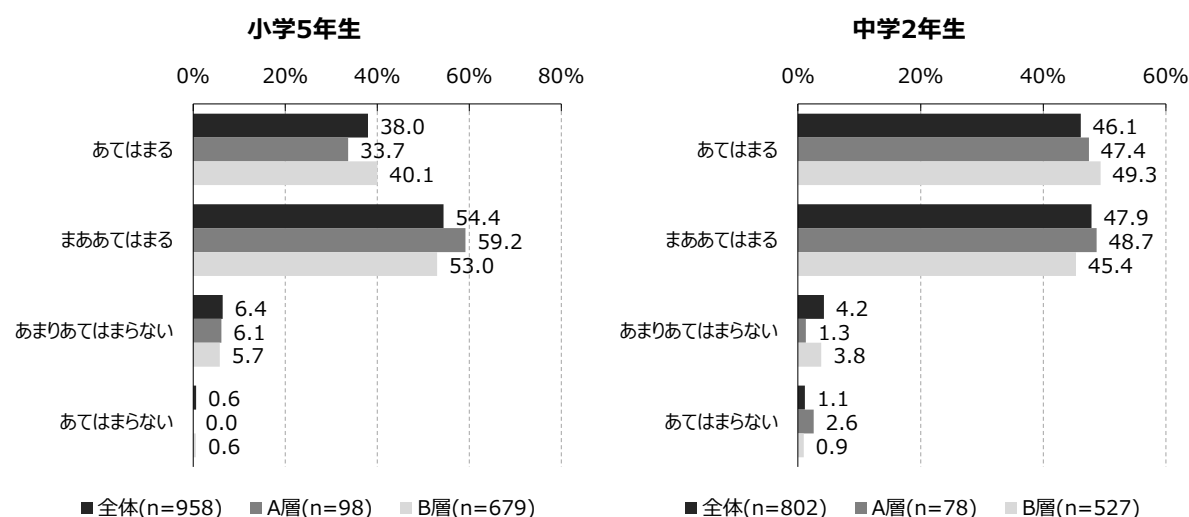
小学5年生では、「10」が26.1%と最も多く、「8」が16.9%、「9」が14.8%となっています。中学2年生では、「8」が18.1%と最も多く、「5」が16.3%、「10」が16.1%となっています。



Q21 次の質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。【単数回答】

Q21 a) 他人に対して親切にしているようにしている。他人の気持ちをよく考える。

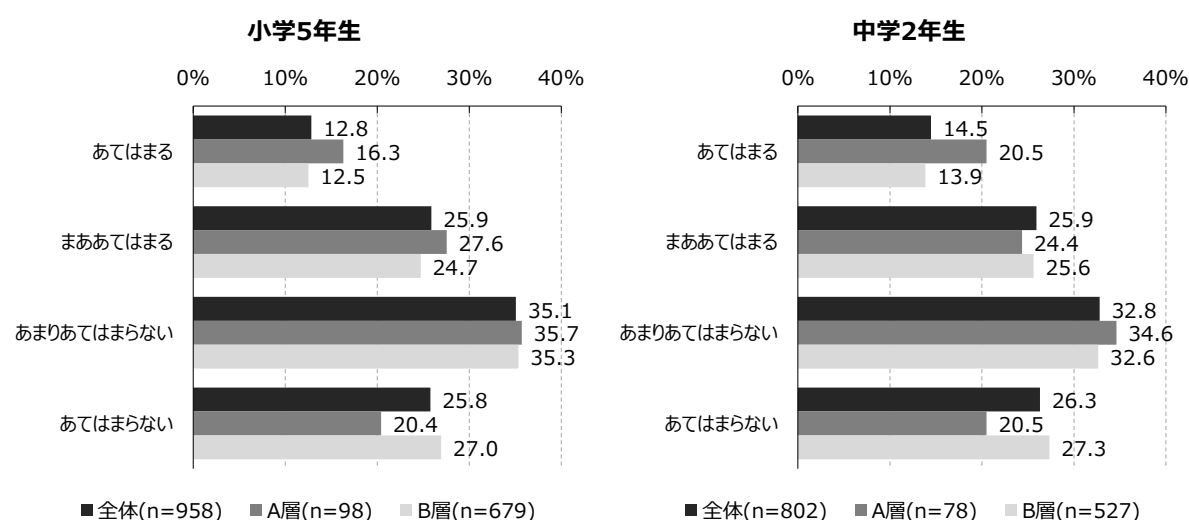
小学5年生では、「まああてはまる」が54.4%と最も多く、「あてはまる」が38.0%、「あまりあてはまらない」が6.4%となっています。中学2年生では、「まああてはまる」が47.9%と最も多く、「あてはまる」が46.1%、「あまりあてはまらない」が4.2%となっています。



Q21 b) よく頭やおなかがいなくなったり、気分が悪くなったりする。

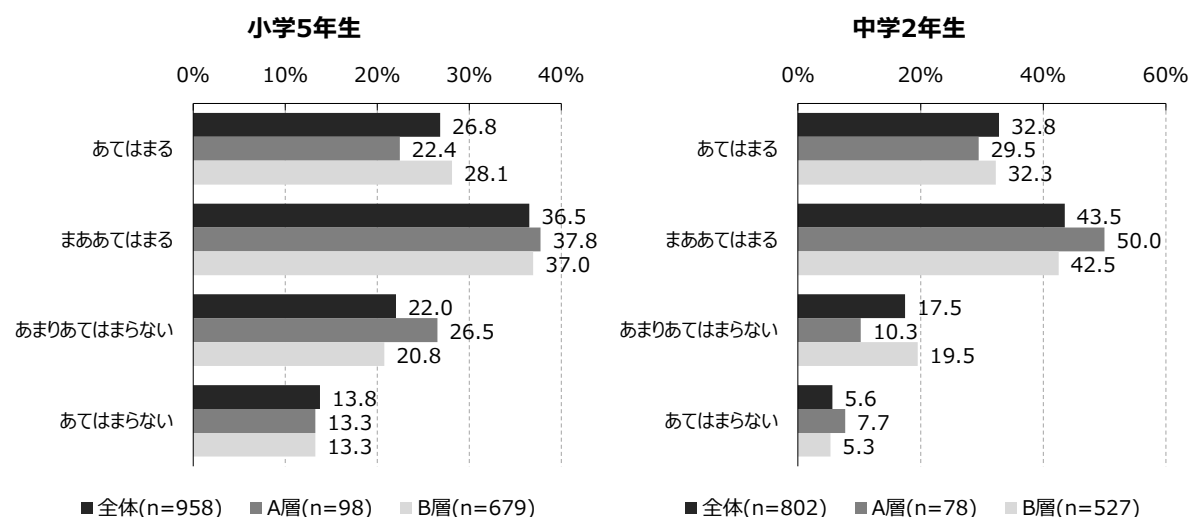
小学5年生では、「あまりあてはまらない」が35.1%と最も多く、「まああてはまる」が25.9%、「あてはまらない」が25.8%となっています。中学2年生では、「あまりあてはまらない」が32.8%と最も多く、「あてはまらない」が26.3%、「まああてはまる」が25.9%となっています。

「あてはまる」をみると、小学5年生、中学2年生ともA層が全体より多くなっています。



Q21 c) 他の子どもたちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)。

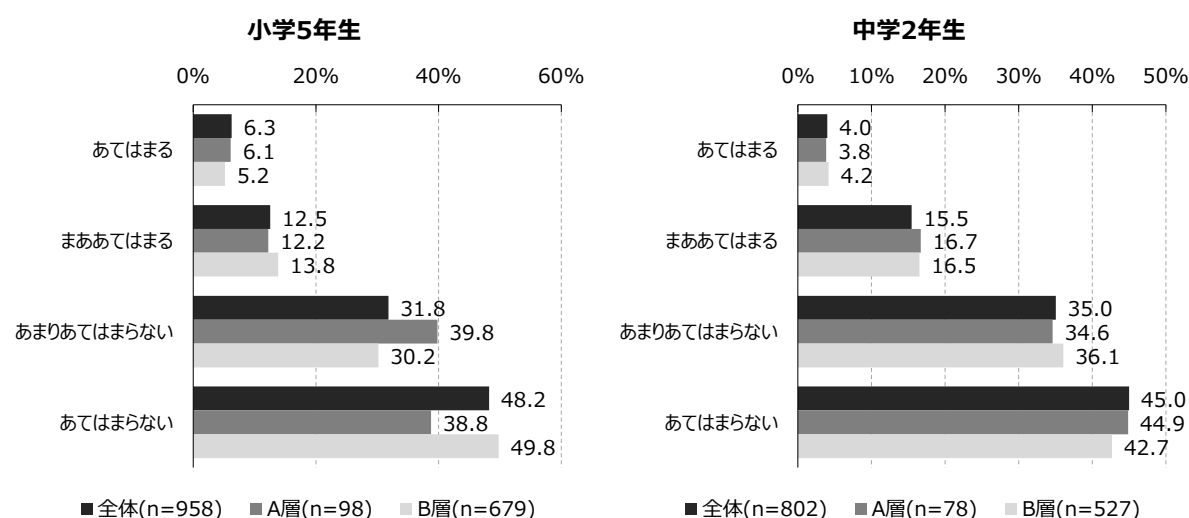
小学5年生では、「まああてはまる」が36.5%と最も多く、「あてはまる」が26.8%、「あまりあてはまらない」が22.0%となっています。中学2年生では、「まああてはまる」が43.5%と最も多く、「あてはまる」が32.8%、「あまりあてはまらない」が17.5%となっています。「あまりあてはまらない」をみると、中学2年生ではA層が全体より少なくなっています。



Q21 d) たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことをさける。

小学5年生では、「あてはまらない」が48.2%と最も多く、「あまりあてはまらない」が31.8%、「まああてはまる」が12.5%となっています。中学2年生では、「あてはまらない」が45.0%と最も多く、「あまりあてはまらない」が35.0%、「まああてはまる」が15.5%となっています。

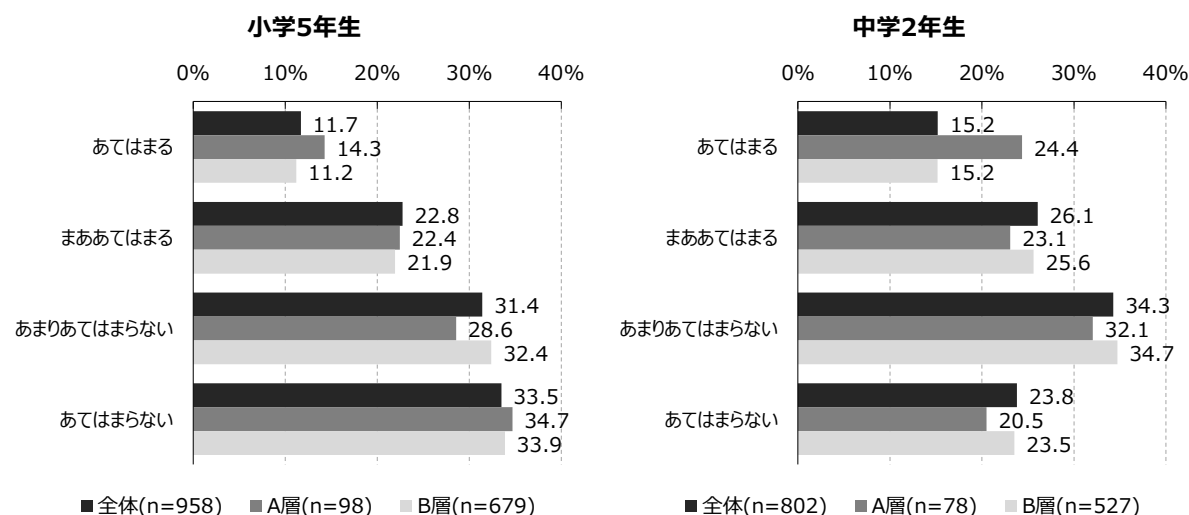
「あてはまらない」をみると、小学5年生ではA層が全体より9.4ポイント少なくなっています。



Q21 e) 心配ごとが多く、いつも不安だ。

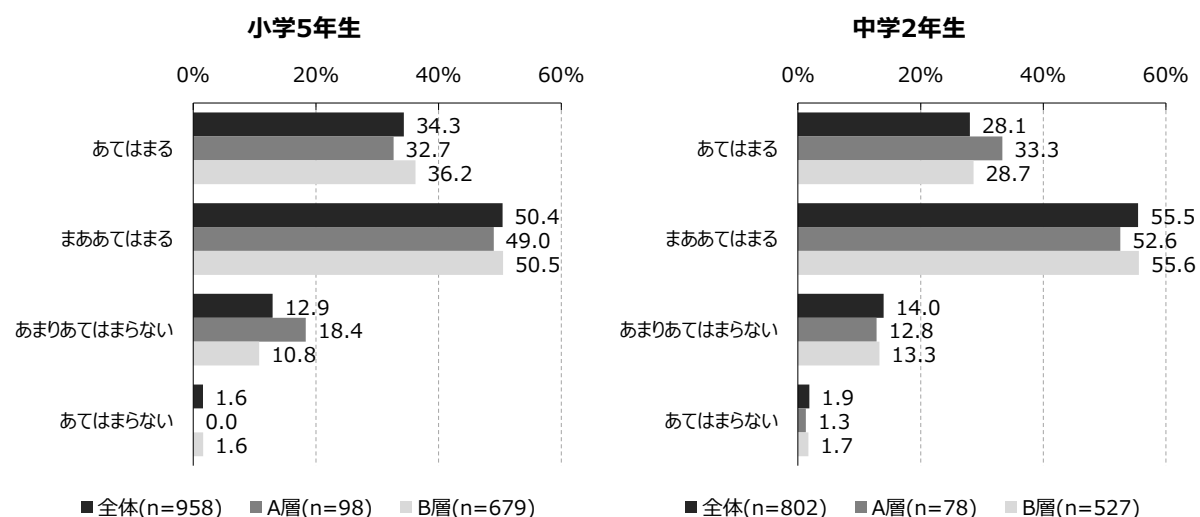
小学5年生では、「あてはまらない」が33.5%と最も多く、「あまりあてはまらない」が31.4%、「まああてはまる」が22.8%となっています。中学2年生では、「あまりあてはまらない」が34.3%と最も多く、「まああてはまる」が26.1%、「あてはまらない」が23.8%となっています。

「あてはまる」をみると、中学2年生ではA層が全体より9.2ポイント多くなっています。



Q21 f) だれかがこまっているときはすすんで助ける。

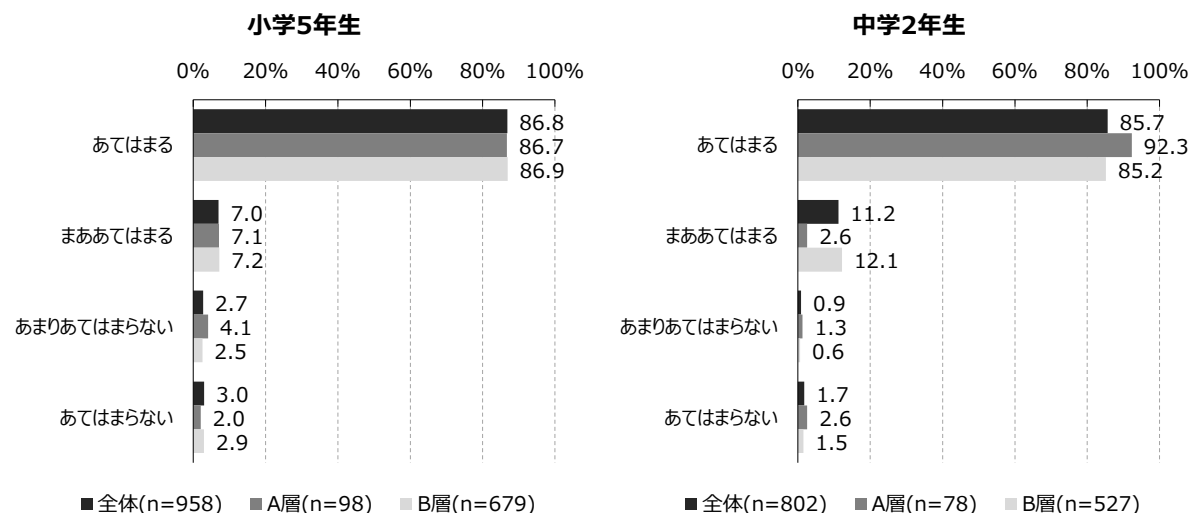
小学5年生では、「まああてはまる」が50.4%と最も多く、「あてはまる」が34.3%、「あまりあてはまらない」が12.9%となっています。中学2年生では、「まああてはまる」が55.5%と最も多く、「あてはまる」が28.1%、「あまりあてはまらない」が14.0%となっています。



Q21 g) 仲の良い友達が少なくとも1人はいる。

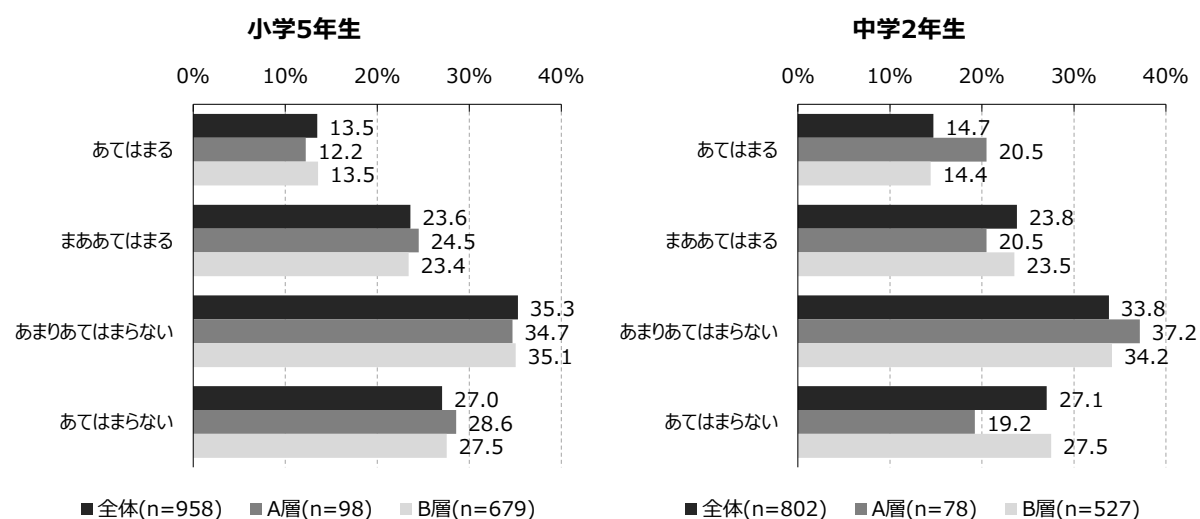
小学5年生では、「あてはまる」が86.8%と最も多く、「まああてはまる」が7.0%、「あてはまらない」が3.0%となっています。中学2年生では、「あてはまる」が85.7%と最も多く、「まああてはまる」が11.2%、「あてはまらない」が1.7%となっています。

「まああてはまる」をみると、中学2年生ではA層が全体より8.6ポイント少なくなっています。



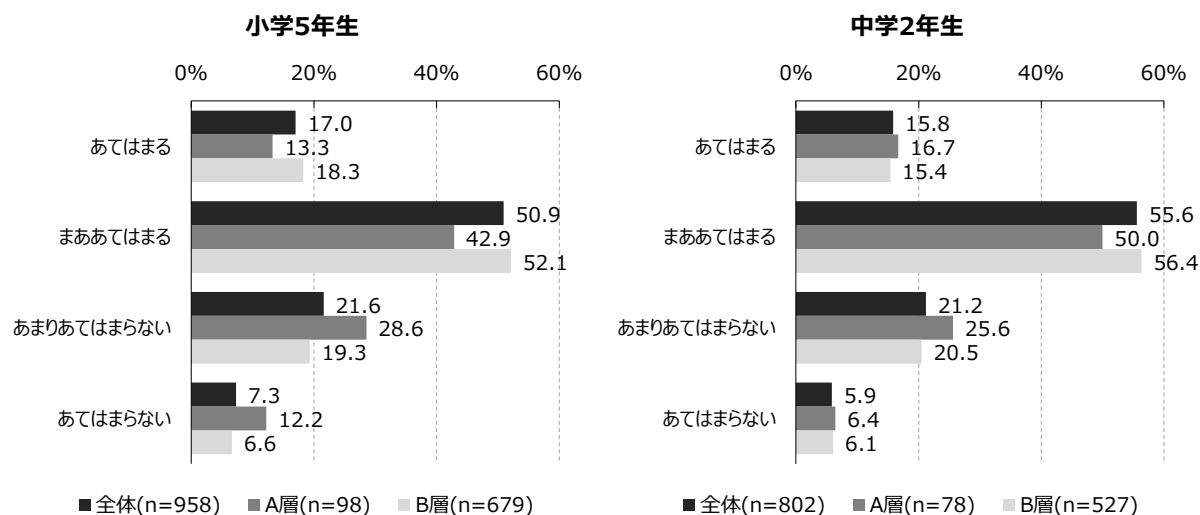
Q21 h) おちこんだり、なみだぐむことがよくある。

小学5年生では、「あまりあてはまらない」が35.3%と最も多く、「あてはまらない」が27.0%、「まああてはまる」が23.6%となっています。中学2年生では、「あまりあてはまらない」が33.8%と最も多く、「あてはまらない」が27.1%、「まああてはまる」が23.8%となっています。



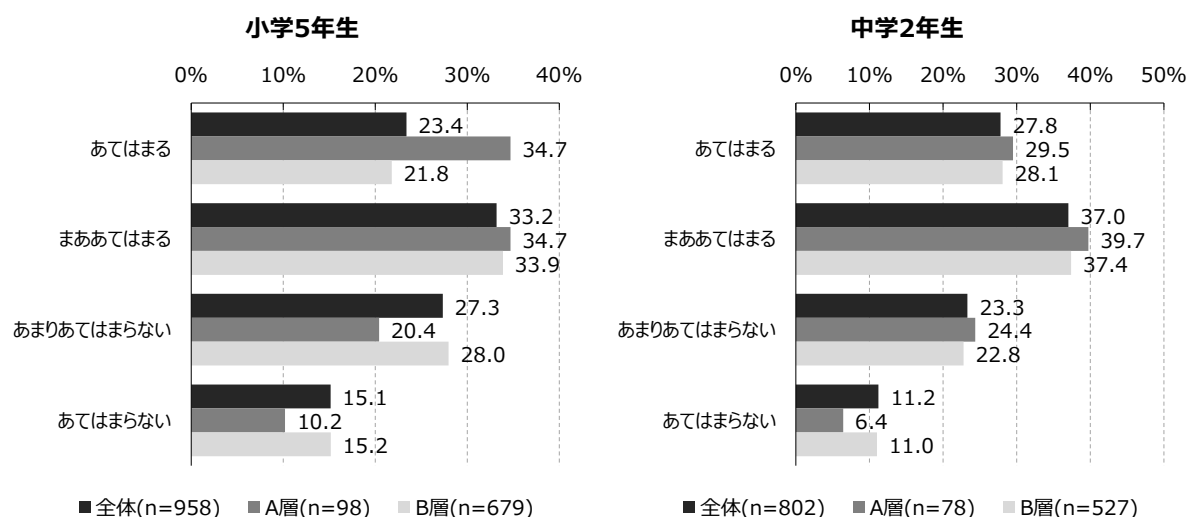
Q21 i) 同じくらいの年れいのこどもからは、だいたい好かれている。

小学 5 年生では、「まああてはまる」が 50.9%と最も多く、「あまりあてはまらない」が 21.6%、「あてはまる」が 17.0%となっています。中学 2 年生では、「まああてはまる」が 55.6%と最も多く、「あまりあてはまらない」が 21.2%、「あてはまる」が 15.8%となっています。



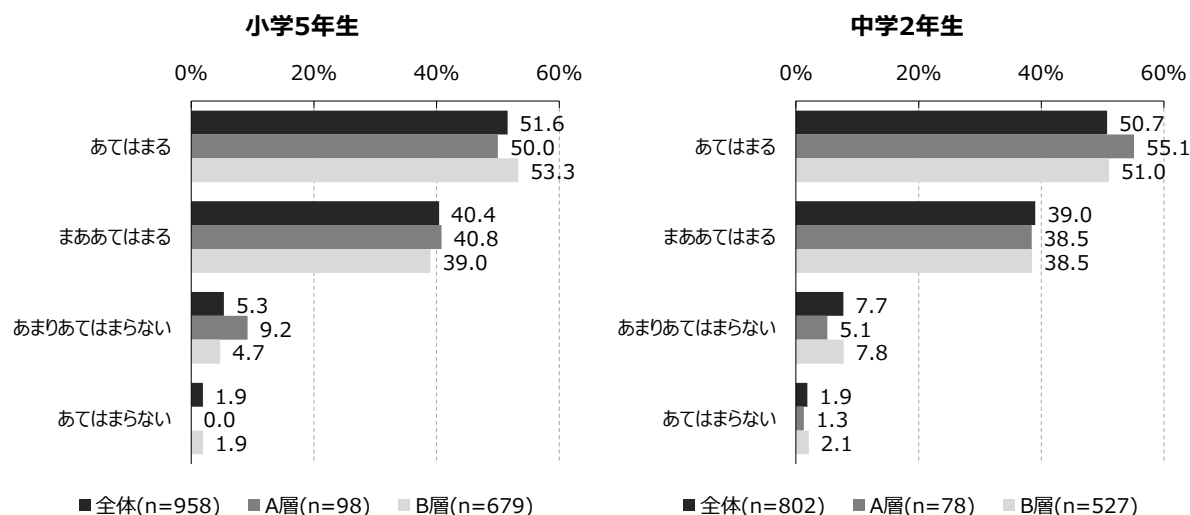
Q21 j) 新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。

小学 5 年生では、「まああてはまる」が 33.2%と最も多く、「あまりあてはまらない」が 27.3%、「あてはまる」が 23.4%となっています。中学 2 年生では、「まああてはまる」が 37.0%と最も多く、「あてはまる」が 27.8%、「あまりあてはまらない」が 23.3%となっています。
「あてはまる」をみると、小学 5 年生では A 層が全体より 11.3 ポイント多くなっています。



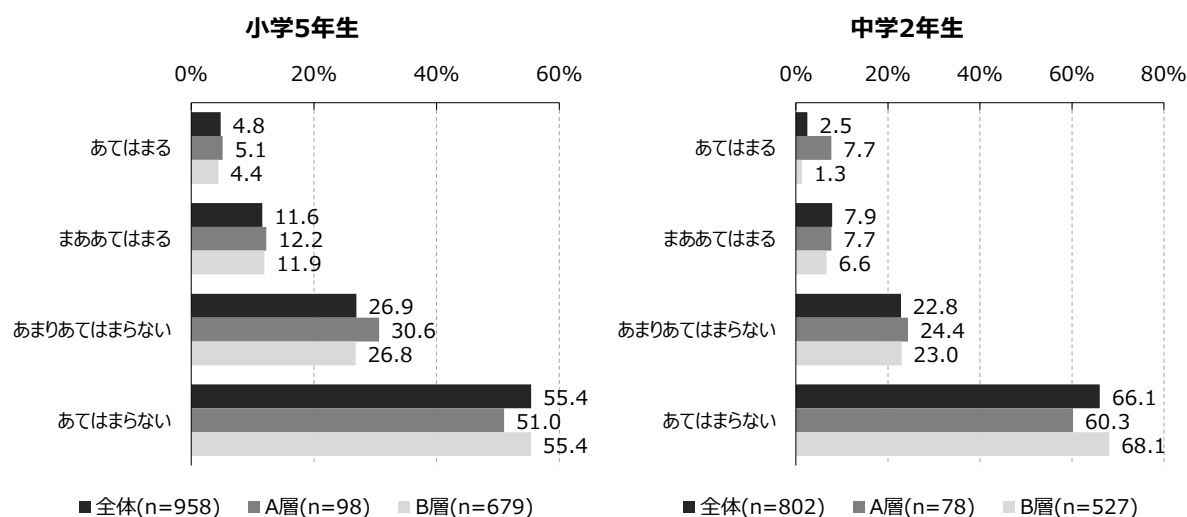
Q2 k) 年下の子どもたちにたいして、やさしくしている。

小学5年生では、「あてはまる」が51.6%と最も多く、「まああてはまる」が40.4%、「あまりあてはまらない」が5.3%となっています。中学2年生では、「あてはまる」が50.7%と最も多く、「まああてはまる」が39.0%、「あまりあてはまらない」が7.7%となっています。



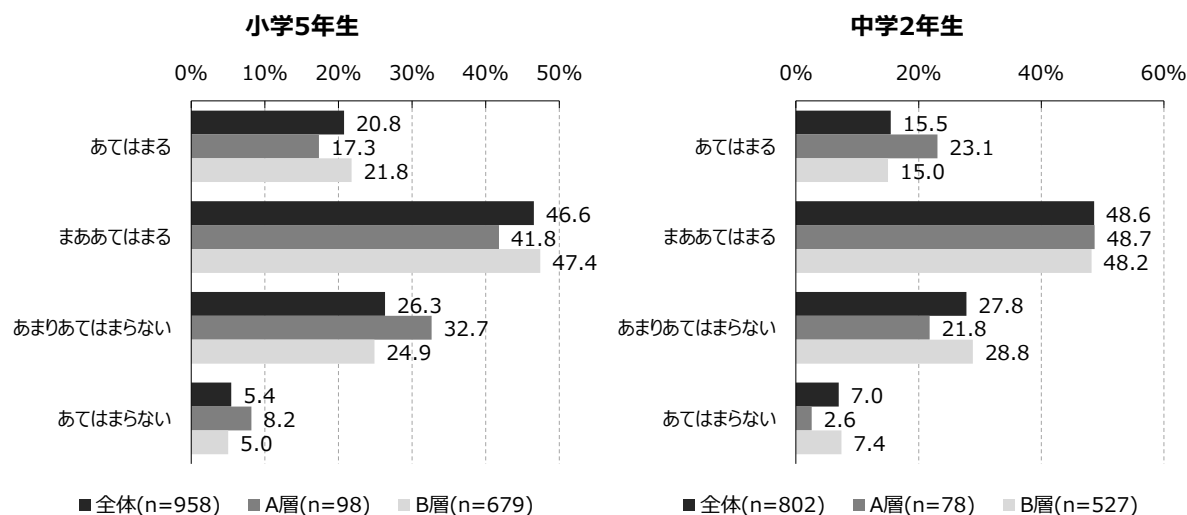
Q21 l) 他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。

小学5年生では、「あてはまらない」が55.4%と最も多く、「あまりあてはまらない」が26.9%、「まああてはまる」が11.6%となっています。中学2年生では、「あてはまらない」が66.1%と最も多く、「あまりあてはまらない」が22.8%、「まああてはまる」が7.9%となっています。



Q21 m) 自分からすすんでよくお手伝いをする。(親・先生・他の子どもたちなど)

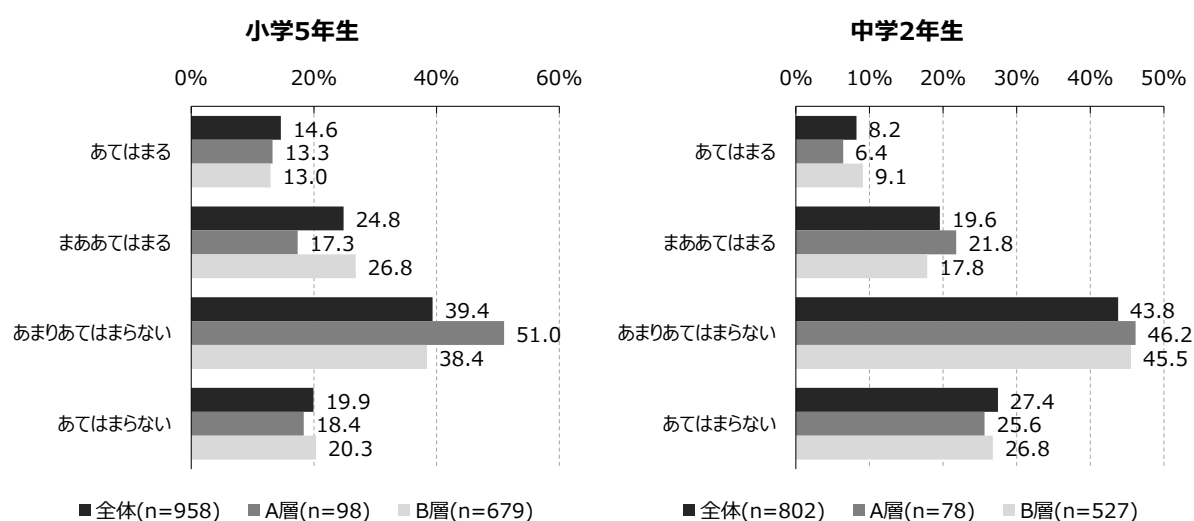
小学 5 年生では、「まああてはまる」が 46.6%と最も多く、「あまりあてはまらない」が 26.3%、「あてはまる」が 20.8%となっています。中学 2 年生では、「まああてはまる」が 48.6%と最も多く、「あまりあてはまらない」が 27.8%、「あてはまる」が 15.5%となっています。



Q21 n) 他の子どもたちより、大人という方が落ち着く。

小学 5 年生では、「あまりあてはまらない」が 39.4%と最も多く、「まああてはまる」が 24.8%、「あてはまらない」が 19.9%となっています。中学 2 年生では、「あまりあてはまらない」が 43.8%と最も多く、「あてはまらない」が 27.4%、「まああてはまる」が 19.6%となっています。

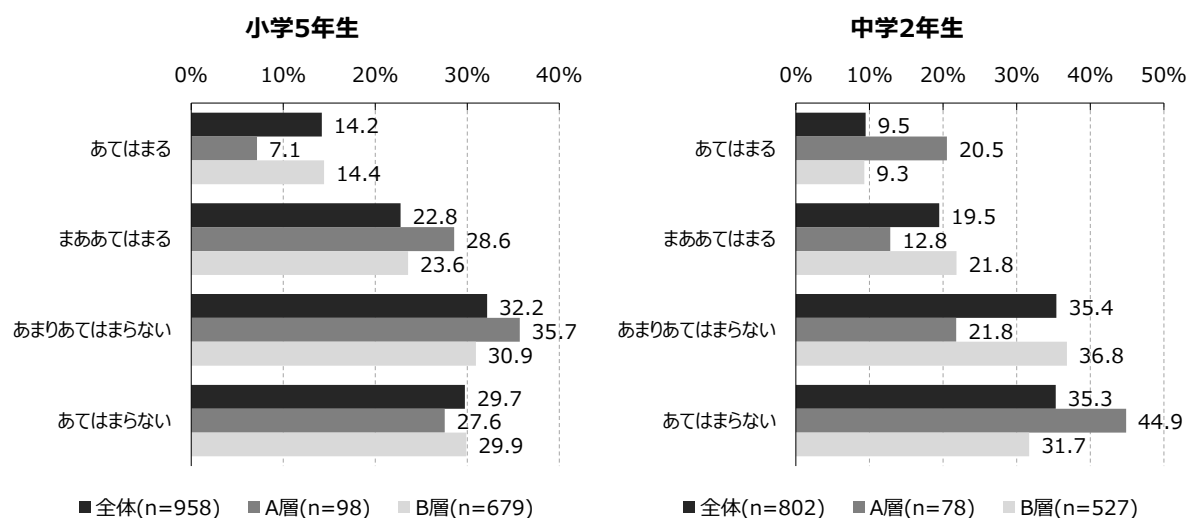
「あまりあてはまらない」をみると、小学 5 年生では A 層が全体より 11.6 ポイント多くなっています。



Q21 o) こわがりで、すぐにおびえたりする。

小学 5 年生では、「あまりあてはまらない」が 32.2%と最も多く、「あてはまらない」が 29.7%、「まああてはまる」が 22.8%となっています。中学 2 年生では、「あまりあてはまらない」が 35.4%と最も多く、「あてはまらない」が 35.3%、「まああてはまる」が 19.5%となっています。

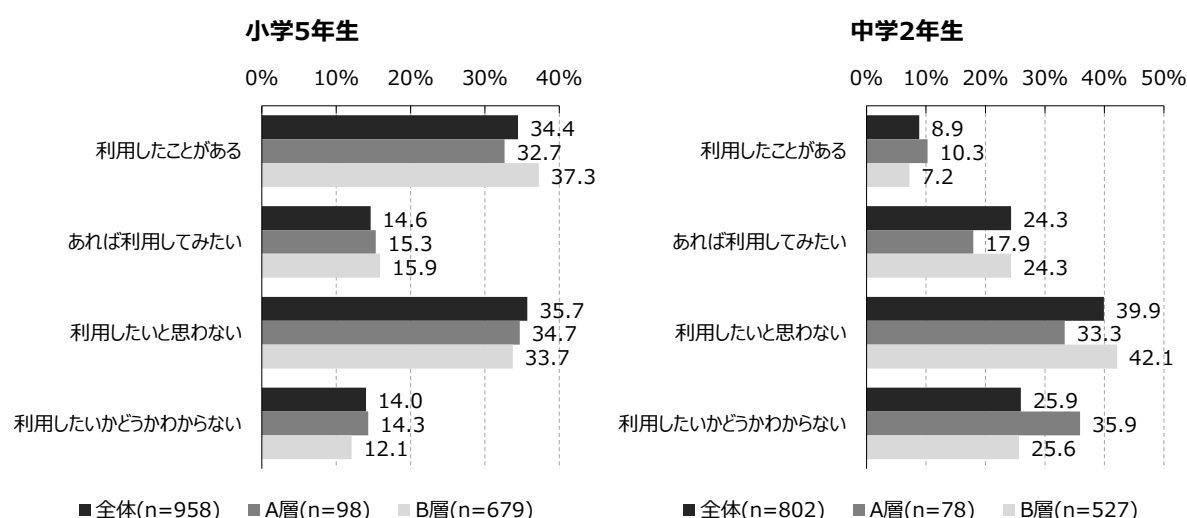
「あまりあてはまらない」をみると、中学 2 生では A 層が全体より 13.6 ポイント少なくなっています。



Q22 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。※自分や友人の家、学校はふくみません【単数回答】

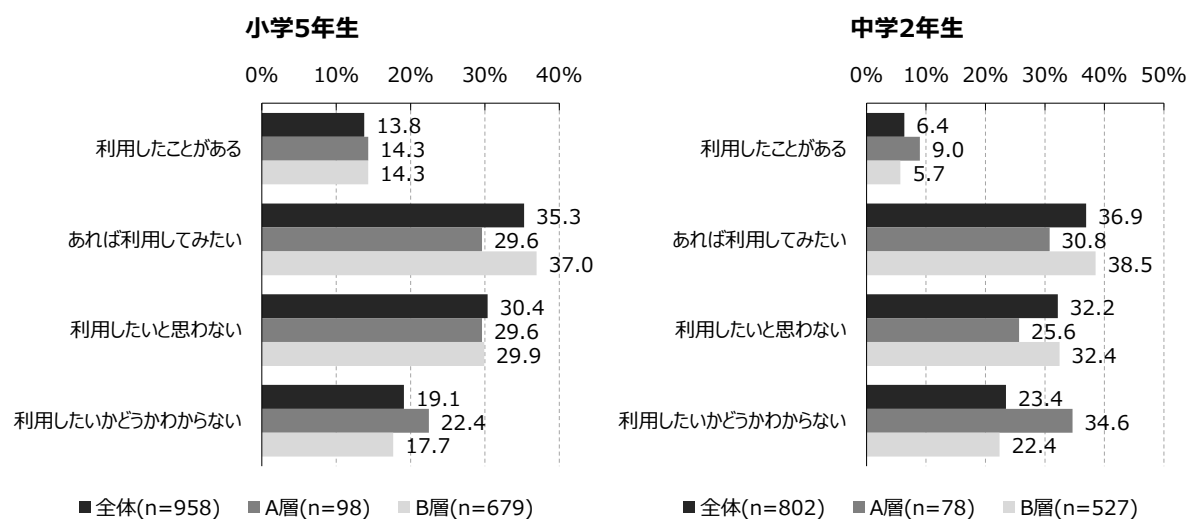
Q22 a) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所(放課後児童クラブや児童館・児童センター、地域にあるこどもの居場所など)

小学5年生では、「利用したいと思わない」が35.7%と最も多く、「利用したことがある」が34.4%、「あれば利用してみたい」が14.6%となっています。中学2年生では、「利用したいと思わない」が39.9%と最も多く、「利用したいかどうか分からない」が25.9%、「あれば利用してみたい」が24.3%となっています。



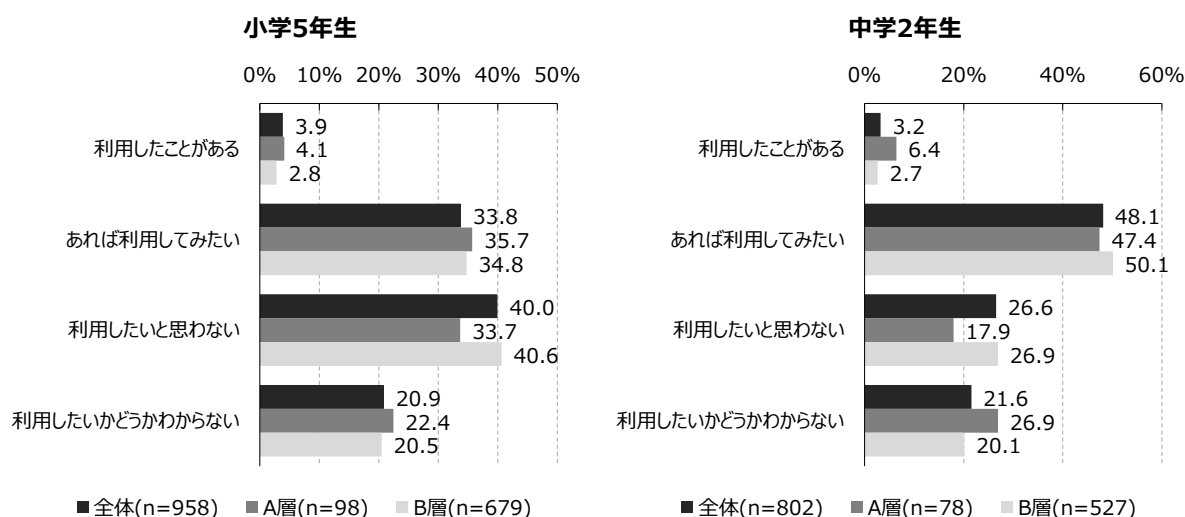
Q22 b) タゴはんを無料か安く食べることができる場所(こども食堂など)

小学5年生では、「あれば利用してみたい」が35.3%と最も多く、「利用したいと思わない」が30.4%、「利用したいかどうか分からない」が19.1%となっています。中学2年生では、「あれば利用してみたい」が36.9%と最も多く、「利用したいと思わない」が32.2%、「利用したいかどうか分からない」が23.4%となっています。



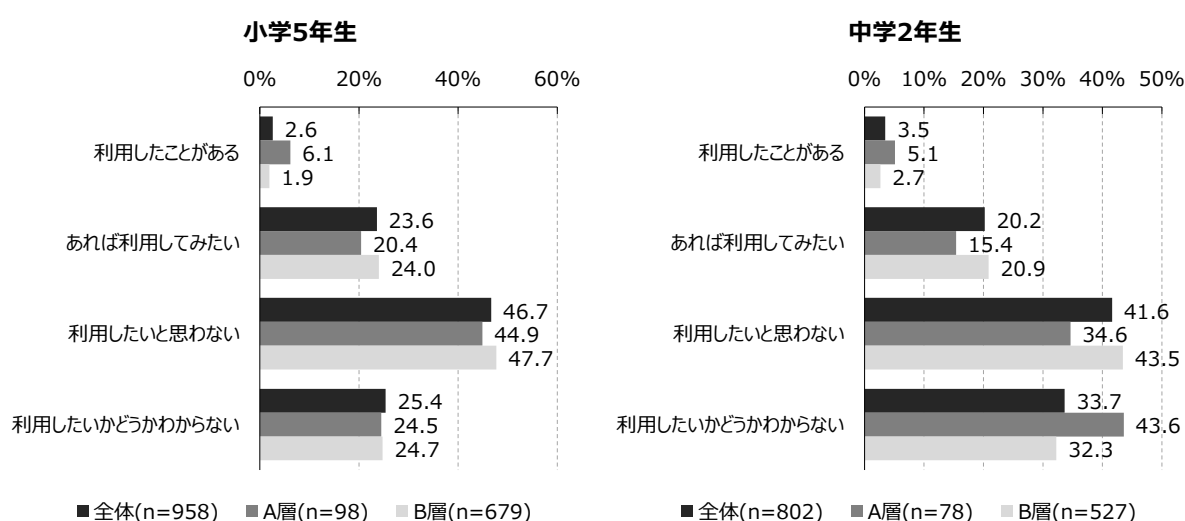
Q22 c) 勉強を無料でみてる場所

小学5年生では、「利用したいと思わない」が40.0%と最も多く、「あれば利用してみたい」が33.8%、「利用したいかどうか分からない」が20.9%となっています。中学2年生では、「あれば利用してみたい」が48.1%と最も多く、「利用したいと思わない」が26.6%、「利用したいかどうか分からない」が21.6%となっています。



Q22 d) 何でも相談できる場所(電話やネット相談をふくむ)

小学5年生では、「利用したいと思わない」が46.7%と最も多く、「利用したいかどうか分からない」が25.4%、「あれば利用してみたい」が23.6%となっています。中学2年生では、「利用したいと思わない」が41.6%と最も多く、「利用したいかどうか分からない」が33.7%、「あれば利用してみたい」が20.2%となっています。



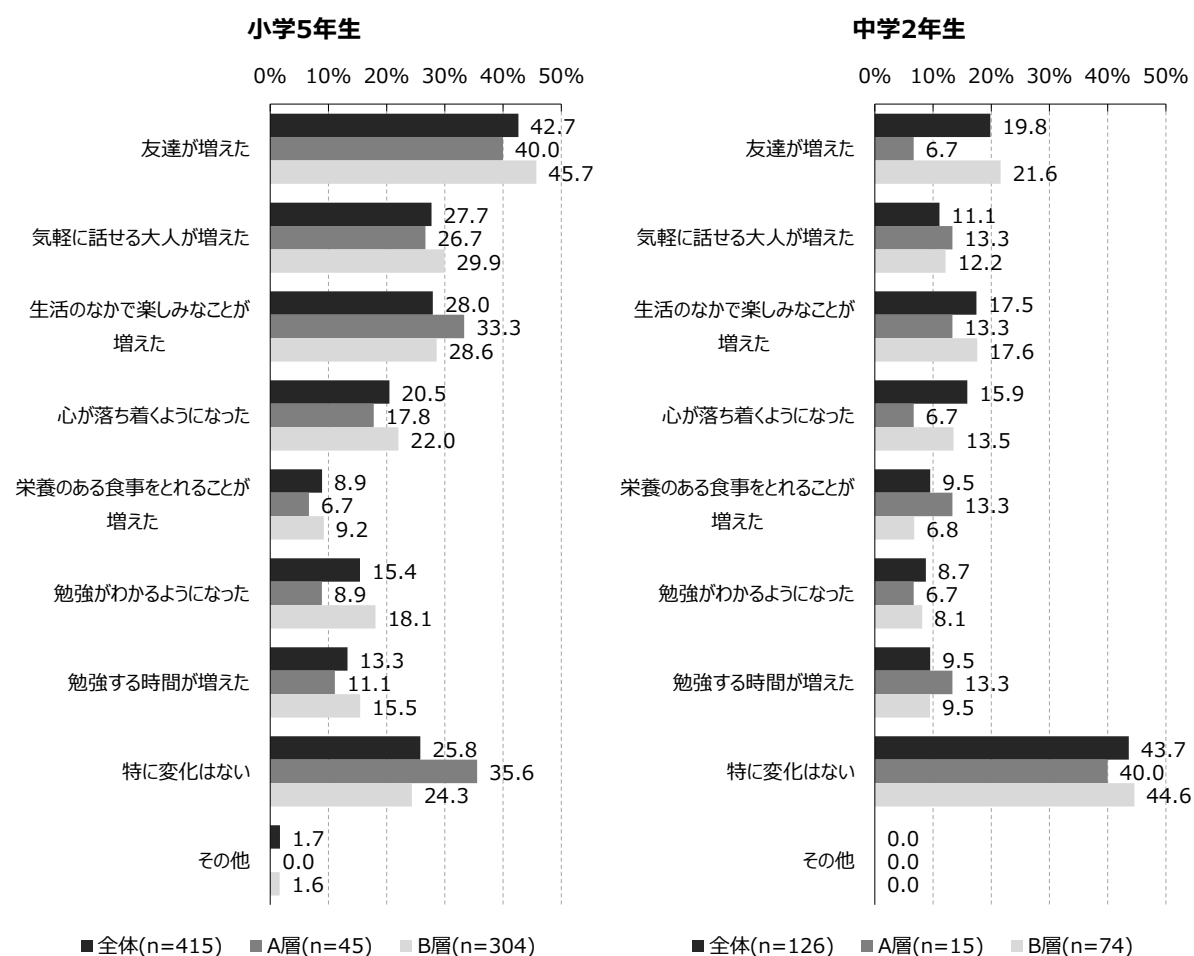
前の質問で1つでも「利用したことがある」と答えた人

Q23 利用してみて、どのような変化がありましたか。【複数回答】

小学5年生では、「友達が増えた」が42.7%と最も多く、「生活のなかで楽しみなことが増えた」が28.0%、「気軽に話せる大人が増えた」が27.7%となっています。

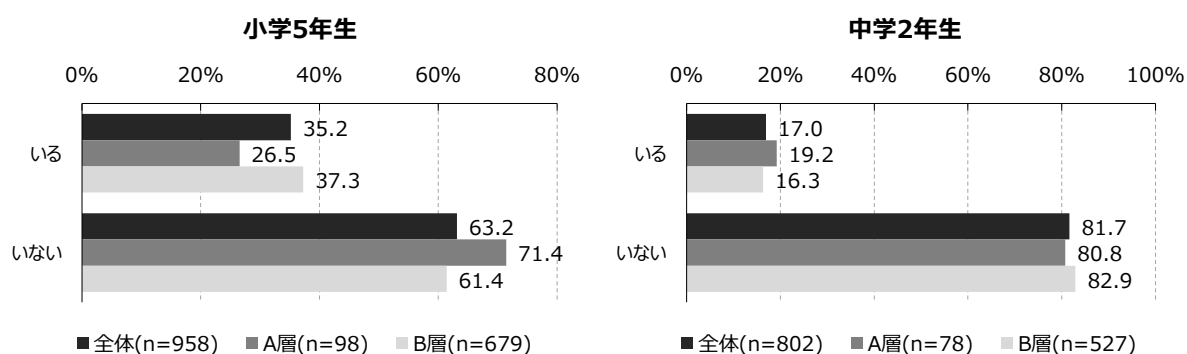
中学2年生では、「特に変化はない」が43.7%と最も多く、「友達が増えた」が19.8%、「生活のなかで楽しみなことが増えた」が17.5%となっています。

「友達が増えた」をみると、中学2年生ではA層が全体より13.1ポイント少なくなっています。



Q24 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。【単数回答】

小学5年生では、「いる」が35.2%、「いない」が63.2%となっています。中学2年生では、「いる」が17.0%、「いない」が81.7%となっています。

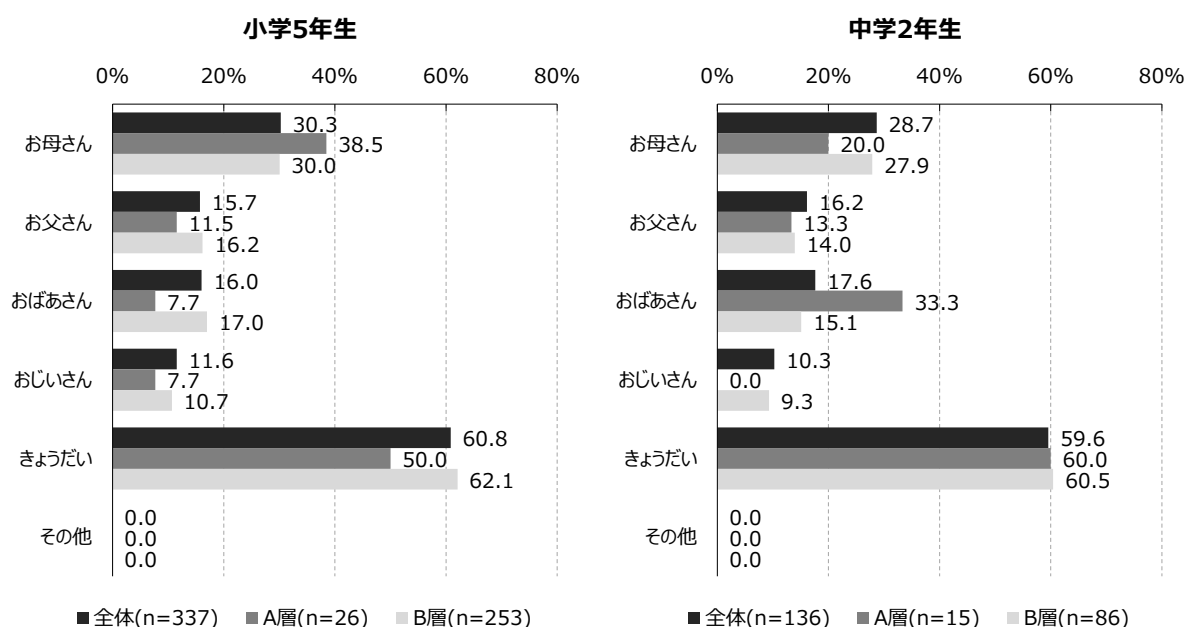


Q25～31は前の質問で「いる」と答えた人

Q25 あなたは、だれのお世話をしていますか。【複数回答】

小学5年生では、「きょうだい」が60.8%と最も多く、「お母さん」が30.3%、「おばあさん」が16.0%となっています。中学2年生では、「きょうだい」が59.6%と最も多く、「お母さん」が28.7%、「おばあさん」が17.6%となっています。

「きょうだい」をみると、小学5年生ではA層が全体より10.8ポイント少なくなっています。また、「おばあさん」をみると、中学2年生ではA層が全体より15.7ポイント多くなっています。

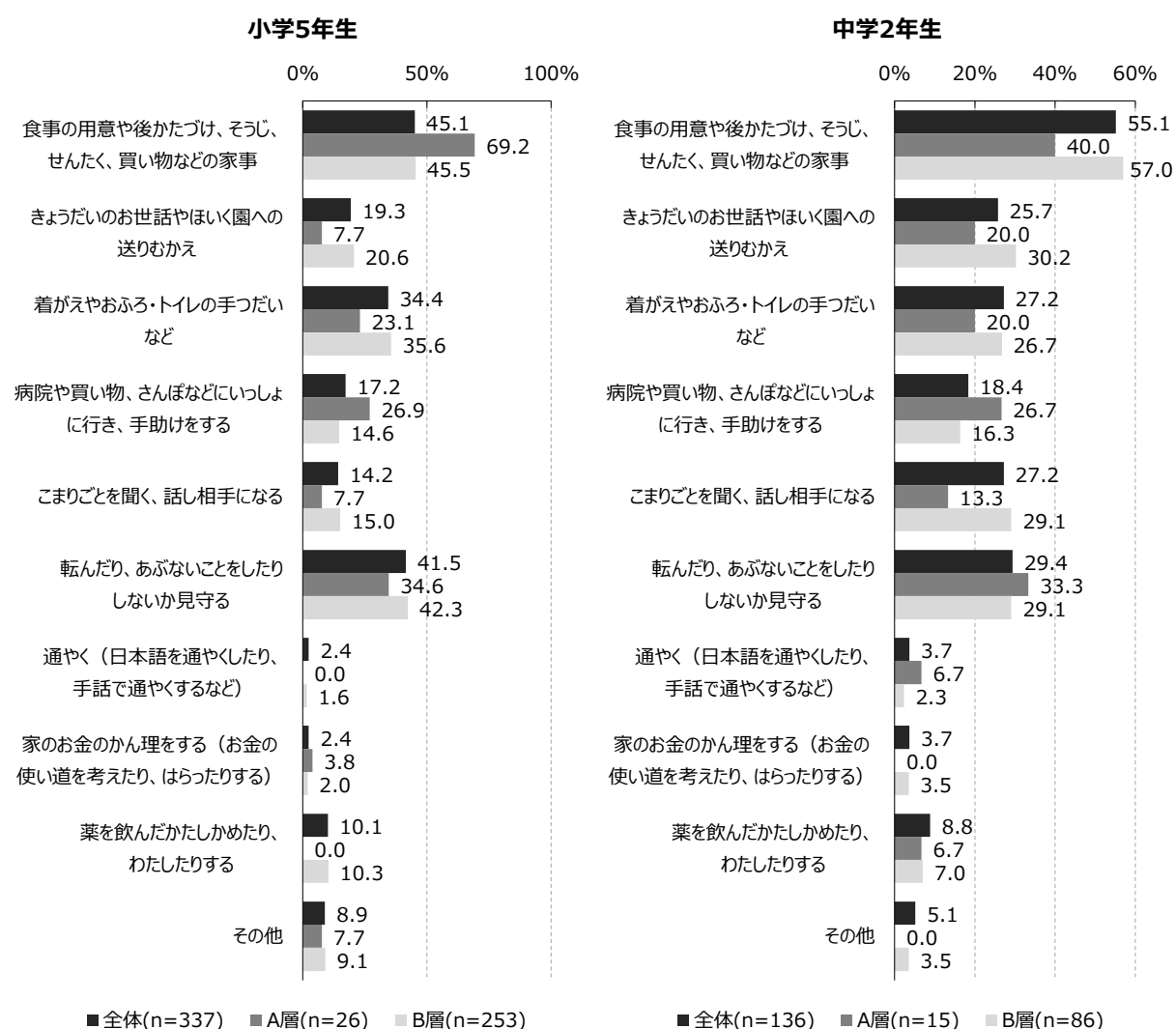


Q26 あなたは、どのようなお世話をしていますか。【複数回答】

小学 5 年生では、「食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物などの家事」が 45.1%と最も多く、「転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る」が 41.5%、「着がえやおふろ・トイレの手つだいなど」が 34.4%となっています。

中学 2 年生では、「食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物などの家事」が 55.1%と最も多く、「転んだり、あぶないことをしたりしないか見守る」が 29.4%、「着がえやおふろ・トイレの手つだいなど」「こまりごとを聞く、話し相手になる」が 27.2%となっています。

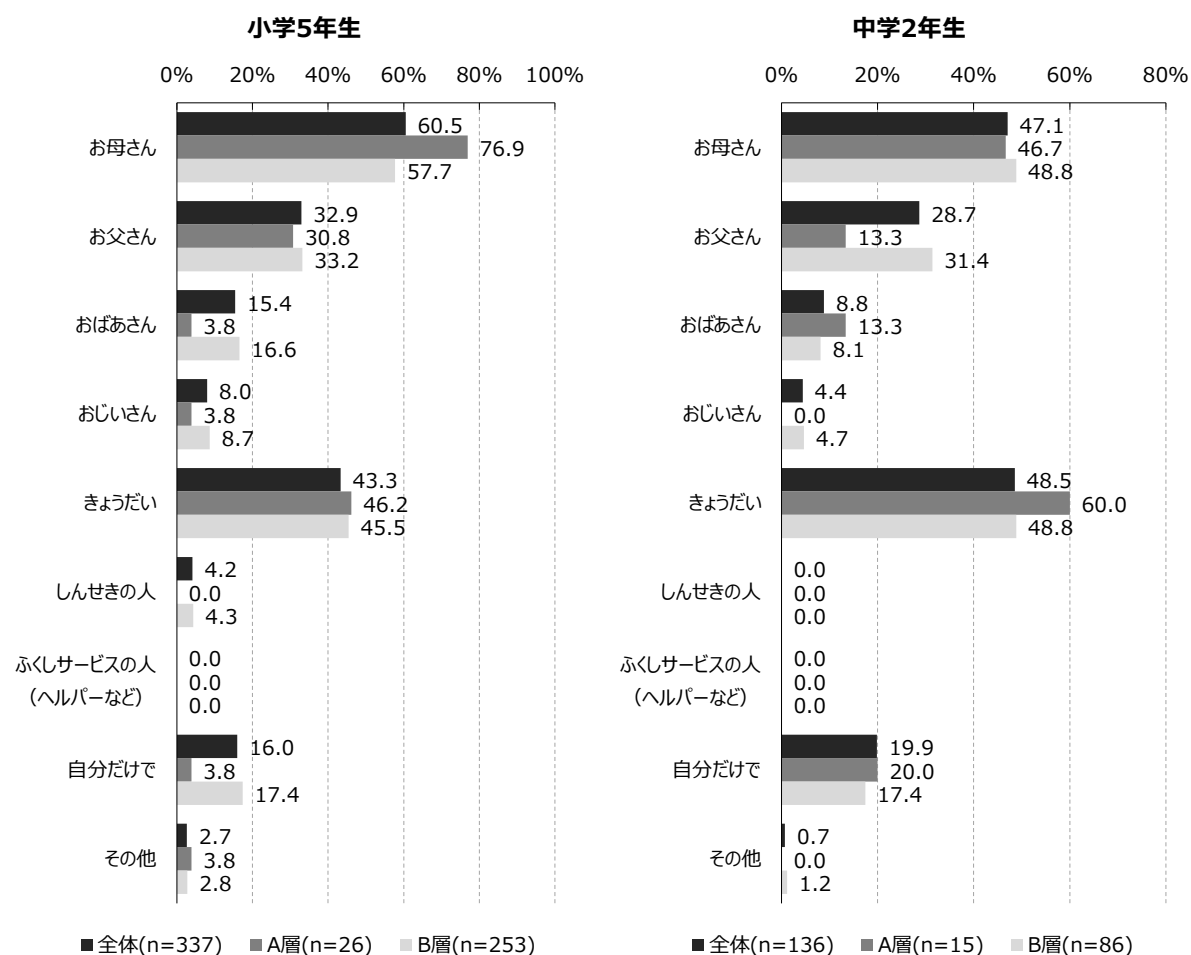
「食事の用意や後かたづけ、そうじ、せんたく、買い物などの家事」をみると、小学 5 年生では A 層が全体より 24.1 ポイント多くなっていますが、中学 2 年生では A 層が全体より 15.1 ポイント少なくなっています。



Q27 あなたは、お世話をだれといっしょにしていますか。【複数回答】

小学5年生では、「お母さん」が60.5%と最も多く、「きょうだい」が43.3%、「お父さん」が32.9%となっています。中学2年生では、「きょうだい」が48.5%と最も多く、「お母さん」が47.1%、「お父さん」が28.7%となっています。

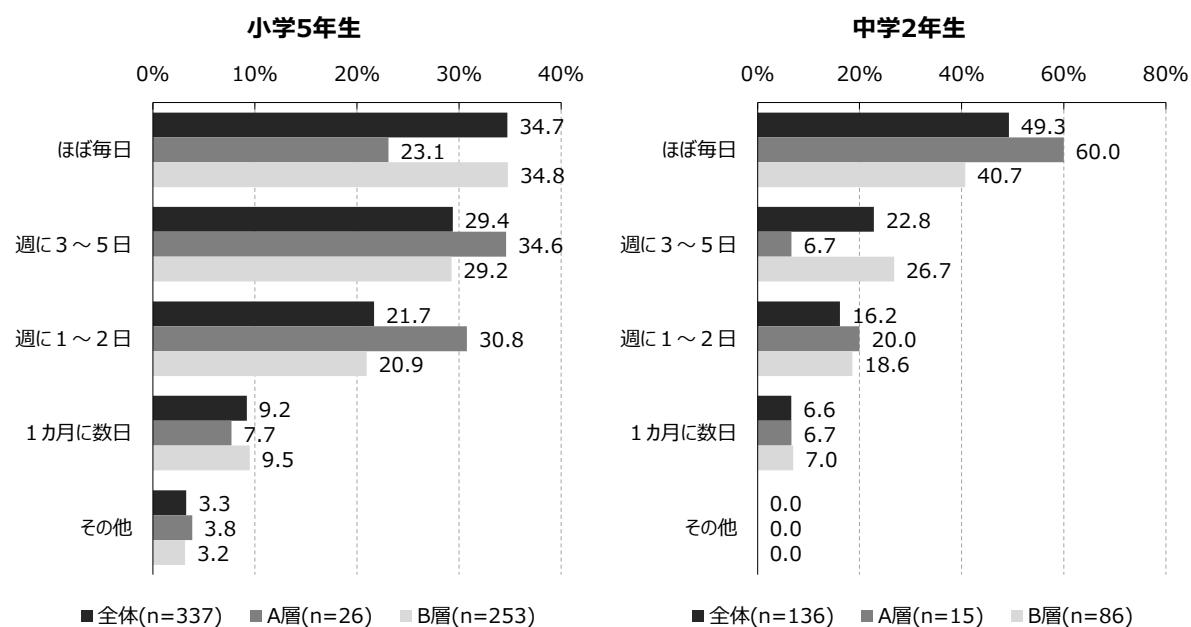
「お母さん」をみると、小学5年生ではA層が全体より16.4ポイント多くなっています。また、「きょうだい」をみると、中学2年生ではA層が全体より11.5ポイント多くなっています。



Q28 あなたは、どのくらいお世話をしていますか。【単数回答】

小学5年生では、「ほぼ毎日」が34.7%と最も多く、「週に3～5日」が29.4%、「週に1～2日」が21.7%となっています。中学2年生では、「ほぼ毎日」が49.3%と最も多く、「週に3～5日」が22.8%、「週に1～2日」が16.2%となっています。

「ほぼ毎日」をみると、小学5年生ではA層が全体より11.6ポイント少なくなっていますが、中学2年生ではA層が全体より10.7ポイント多くなっています。



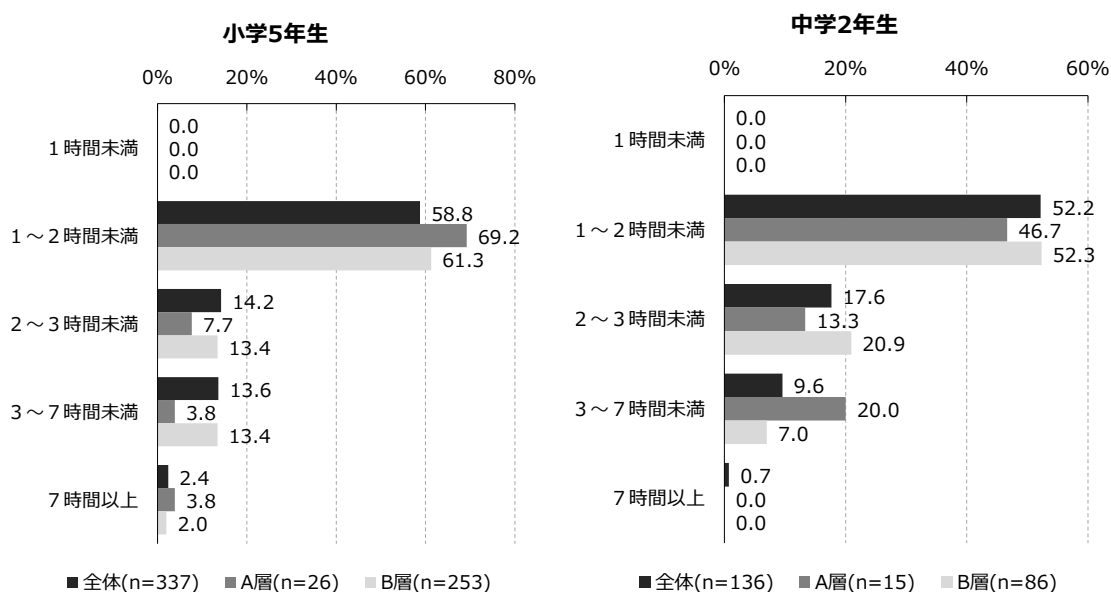
Q29 あなたは、学校のある日や休みの日に、一日のうち何時間くらいお世話をしていますか。

【数値記入】

Q29 a) 学校のある日

小学5年生では、「1～2時間未満」が58.8%と最も多く、「2～3時間未満」が14.2%、「3～7時間未満」が13.6%となっています。中学2年生では、「1～2時間未満」が52.2%と最も多く、「2～3時間未満」が17.6%、「3～7時間未満」が9.6%となっています。

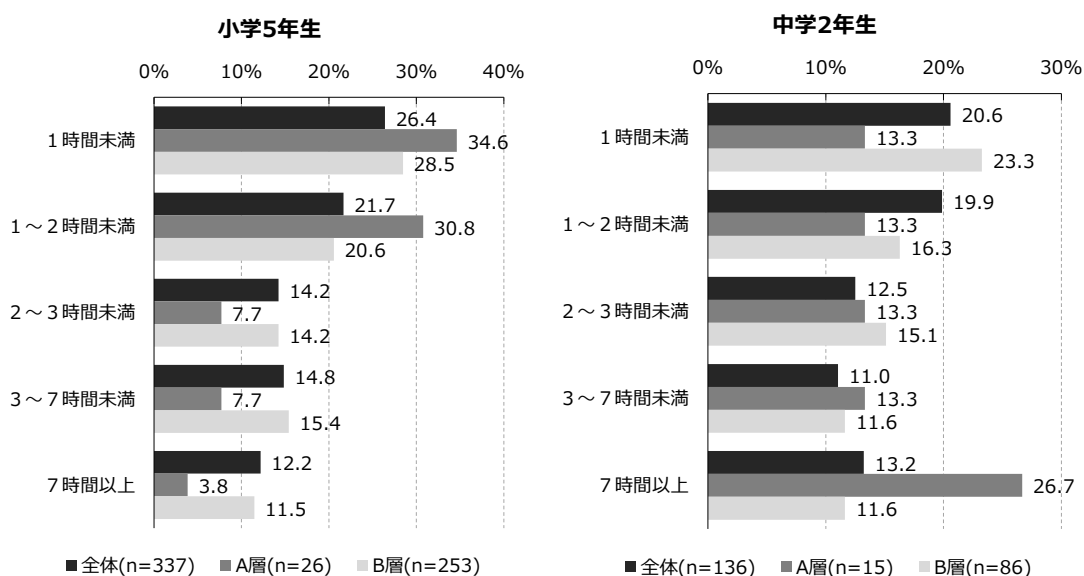
小学5年生では「1～2時間未満」で、A層が全体より10.4ポイント多くなっています。



Q29 b) 休みの日

小学5年生では、「1時間未満」が26.4%と最も多く、「1～2時間未満」が21.7%、「3～7時間未満」が14.8%となっています。中学2年生では、「1時間未満」が20.6%と最も多く、「1～2時間未満」が19.9%、「7時間以上」が13.2%となっています。

中学2年生では「7時間以上」で、A層が全体より13.5ポイント多くなっています。

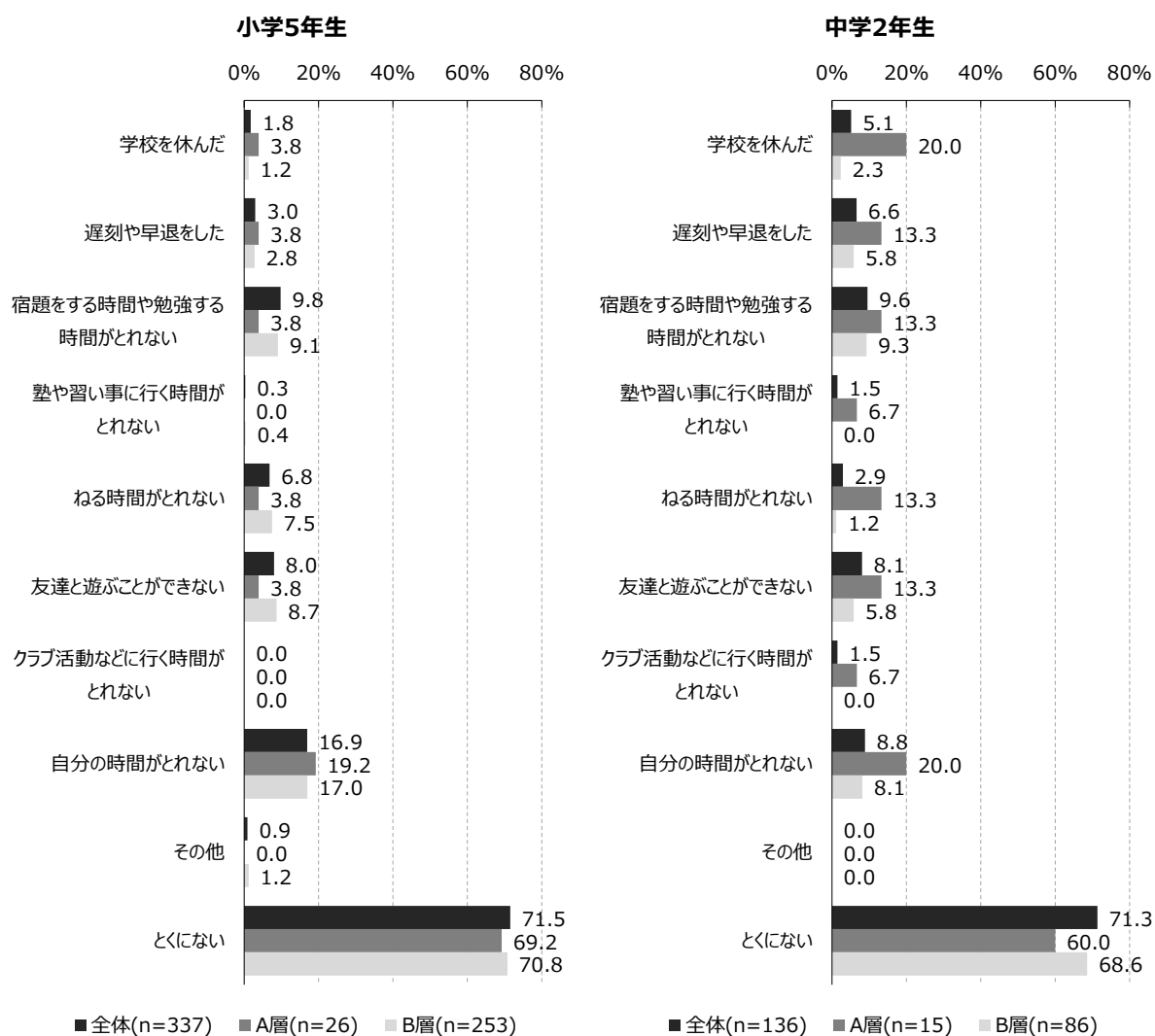


Q30 あなたは、お世話をしていることで、次のようなことがありますか。【複数回答】

小学5年生では、「とくにない」が71.5%と最も多く、「自分の時間がとれない」が16.9%、「宿題をする時間や勉強する時間がとれない」が9.8%となっています。

中学2年生では、「とくにない」が71.3%と最も多く、「宿題をする時間や勉強する時間がとれない」が9.6%、「自分の時間がとれない」が8.8%となっています。

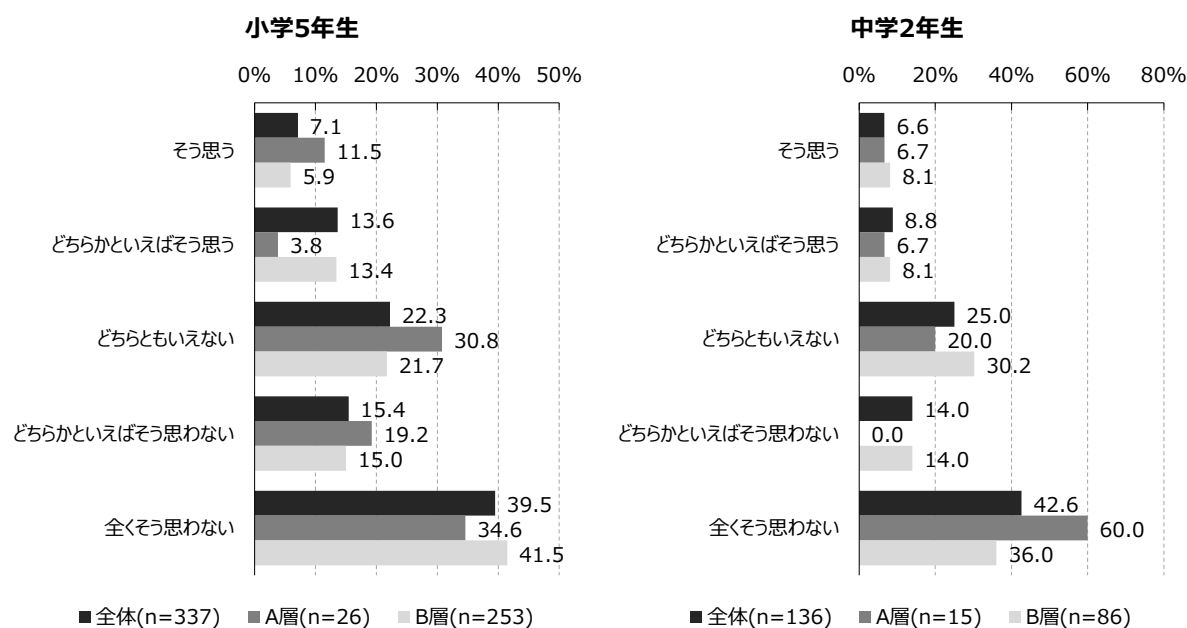
「学校を休んだ」をみると、中学2年生ではA層が全体より14.9ポイント多くなっています。また、「ねる時間がとれない」で10.4ポイント、「自分の時間がとれない」で11.2ポイント、A層が全体より多くなっています。



Q31 あなたは、お世話をするのがきついと思いますか。【単数回答】

小学 5 年生では、「全くそう思わない」が 39.5%と最も多く、「どちらともいえない」が 22.3%、「どちらかといえばそう思わない」が 15.4%となっています。中学 2 年生では、「全くそう思わない」が 42.6%と最も多く、「どちらともいえない」が 25.0%、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0%となっています。

「全くそう思わない」をみると、中学 2 年生では A 層が全体より 17.4 ポイント多くなっています。



Q32 唐津市や大人に言いたいことがあれば、自由に書いてください。【自由記入】

小学 5 年生、中学 2 年生の主な意見は以下のとおりです。

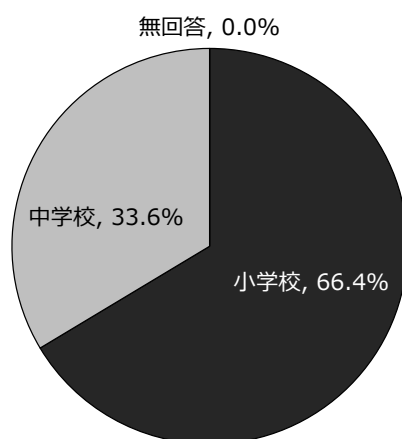
主な意見	件数
遊び場を増やしてほしい	63
ショッピングセンター、ゲームセンターがほしい	40
学校の環境改善（きれいに、私服に、宿題減らす）の要望	38
公園の増設、遊具の充実を希望	27
学校の先生への意見	25
給食のメニュー変更を希望	17
交通安全の改善を希望	15
ごみの減少を希望、ポイ捨てをしないでほしい	11
部活動の資金援助、地域の人が教えてほしい	5

子どもの生活（ヤングケアラー）についてのアンケート

VI 小 5・中 2 担任・副担任教諭 及び養護教諭 結果

Q1. あなたの勤務先を教えてください【単数回答】

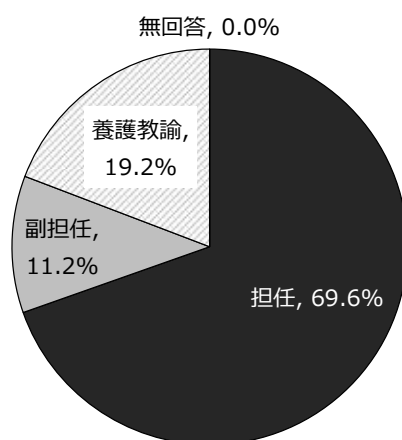
「小学校」が66.4%、「中学校」が33.6%となっています。



n=125

Q2. あなたの職名を教えてください【単数回答】

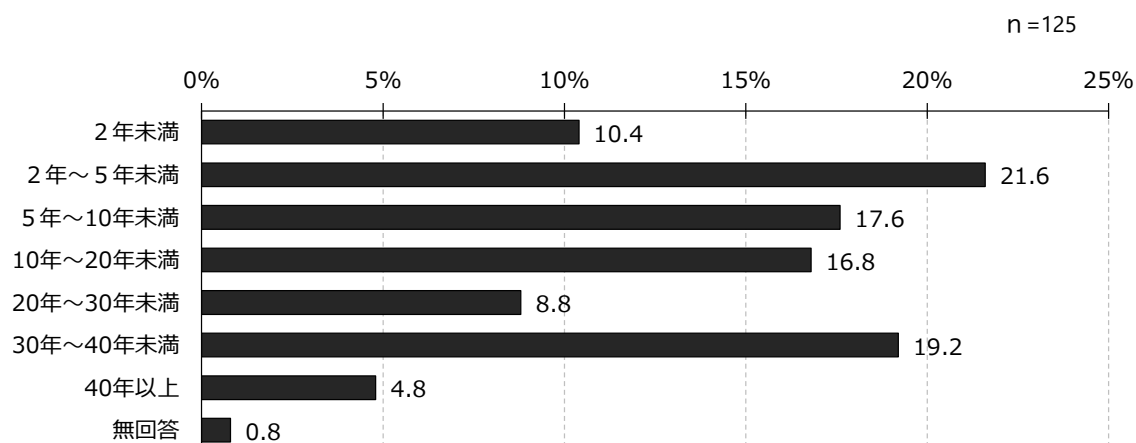
「担任」が69.6%と最も多く、「養護教諭」が19.2%、「副担任」が11.2%となっています。



n=125

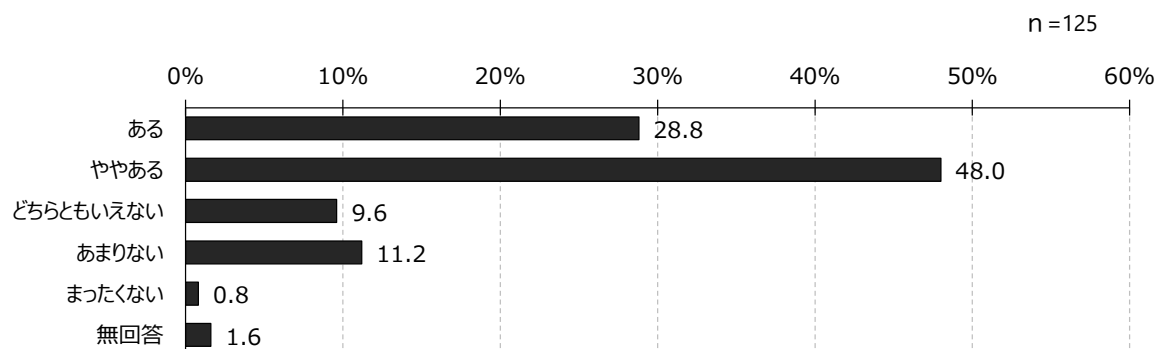
Q3. あなたの学校教職員としての経験年数を教えてください。【数値記入】

「2年～5年未満」が21.6%と最も多く、「30年～40年未満」が19.2%、「5年～10年未満」が17.6%、「10年～20年未満」が16.8%、「2年未満」が10.4%となっています。



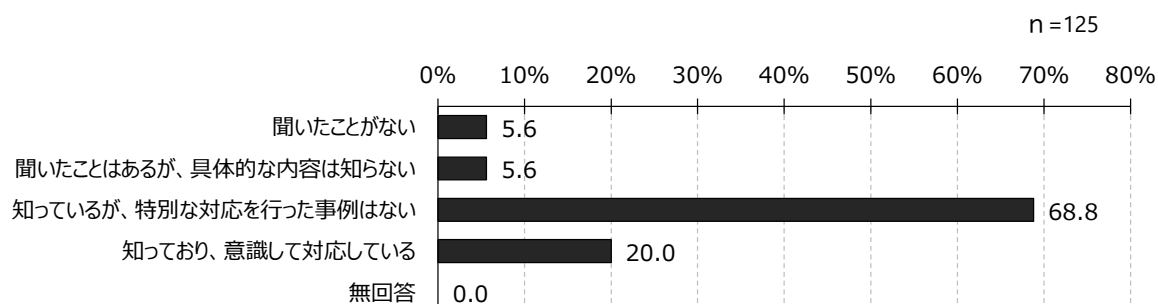
Q4. あなたは児童・生徒の話をよく聞いたり、雑談したりするゆとりがありますか。【単数回答】

「ややある」が48.0%と最も多く、「ある」が28.8%、「あまりない」が11.2%、「どちらともいえない」が9.6%、「まったくない」が0.8%となっています。



Q5. あなたは「ヤングケアラー」について聞いたことがありますか。【単数回答】

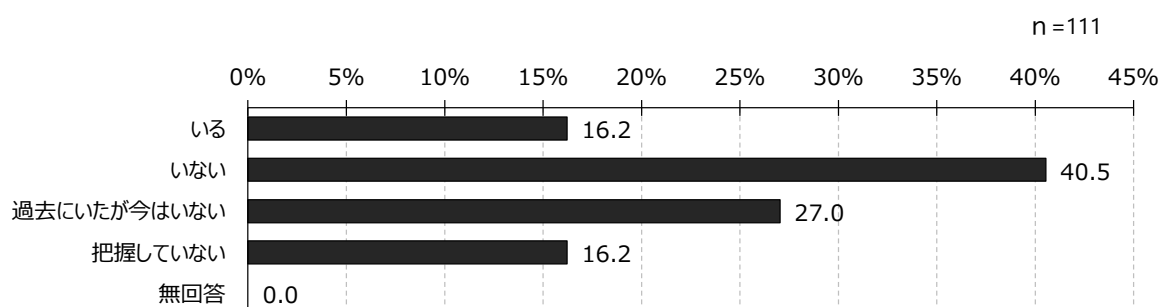
「知っているが、特別な対応を行った事例はない」が68.8%と最も多く、「知っており、意識して対応している」が20.0%、「聞いたことがない」が5.6%、「聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」が5.6%となっています。



Q5で(対応の有無を問わず)「知っている」を選択した人

Q6. あなたの学校にヤングケアラーではないかと感じる(可能性も含めて)児童・生徒はいますか。【単数回答】

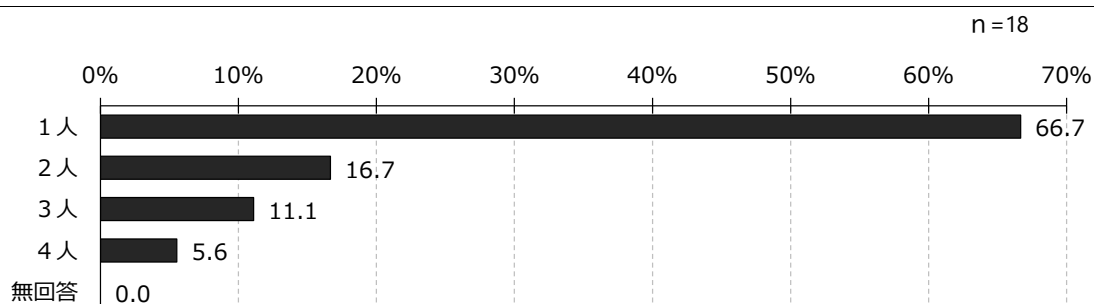
「いない」が40.5%と最も多く、「過去にいたが今はいない」が27.0%、「いる」が16.2%、「把握していない」が16.2%となっています。



Q6で「いる」を選択した人

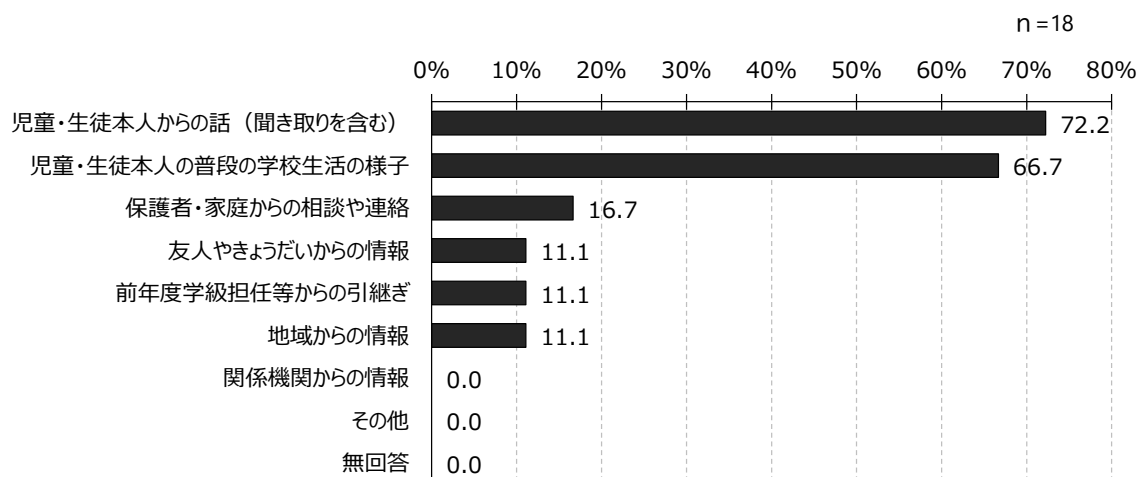
Q7. あなたがヤングケアラーではないかと感じる児童・生徒の人数を教えてください。【数値記入】

「1人」が66.7%と最も多く、「2人」が16.7%、「3人」が11.1%、「4人」が5.6%となっています。



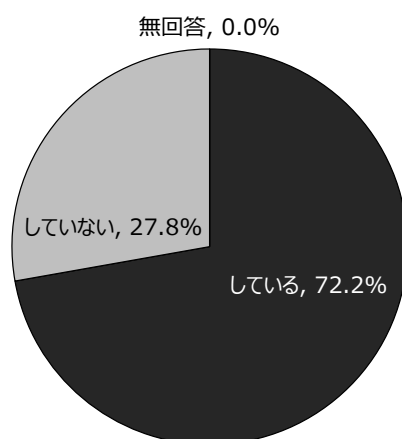
Q8. その児童・生徒がヤングケアラーではないかと感じたきっかけを教えてください。【複数回答】

「児童・生徒本人からの話（聞き取りを含む）」が 72.2%と最も多く、「児童・生徒本人の普段の学校生活の様子」が 66.7%、「保護者・家庭からの相談や連絡」が 16.7%、「友人やきょうだいからの情報」が 11.1%、「前年度学級担任等からの引継ぎ」が 11.1%となっています。



Q9. その児童・生徒がしているケアの実態を把握していますか。【単数回答】

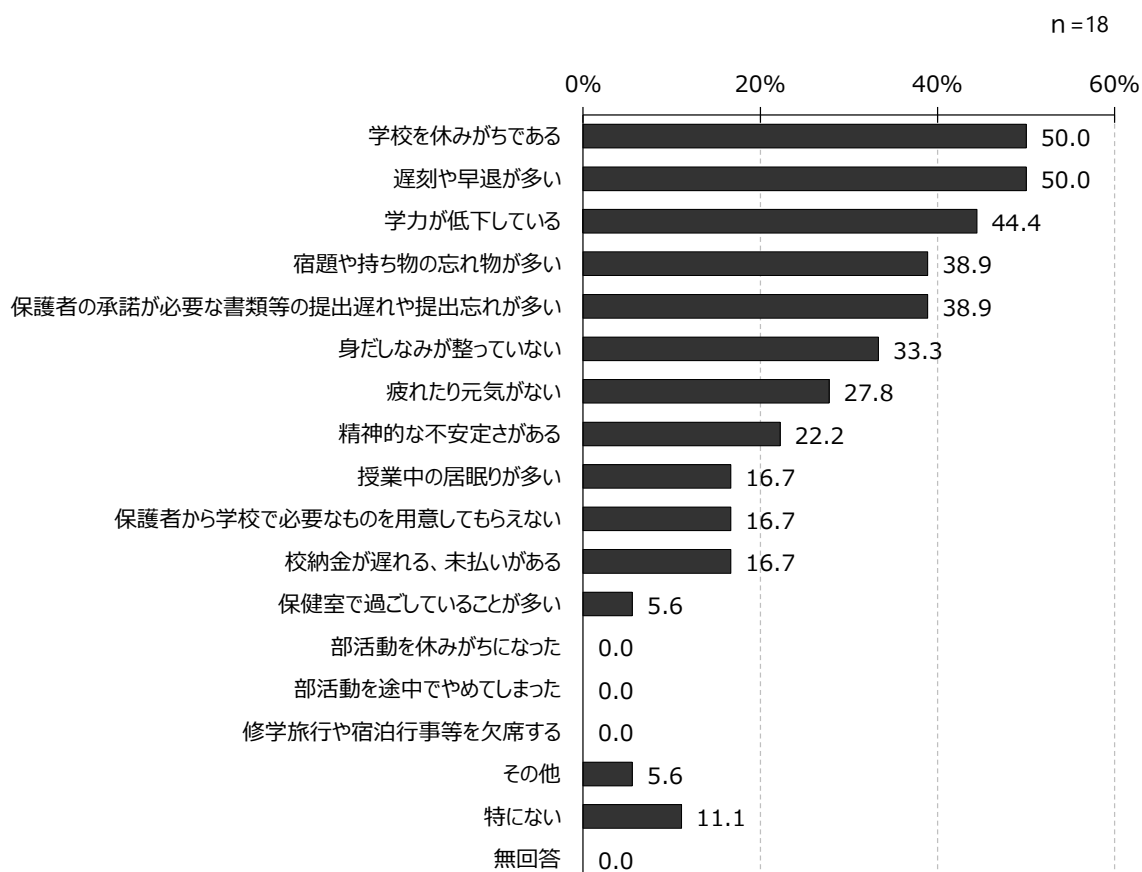
「している」が 72.2%、「していない」が 27.8%となっています。



n=18

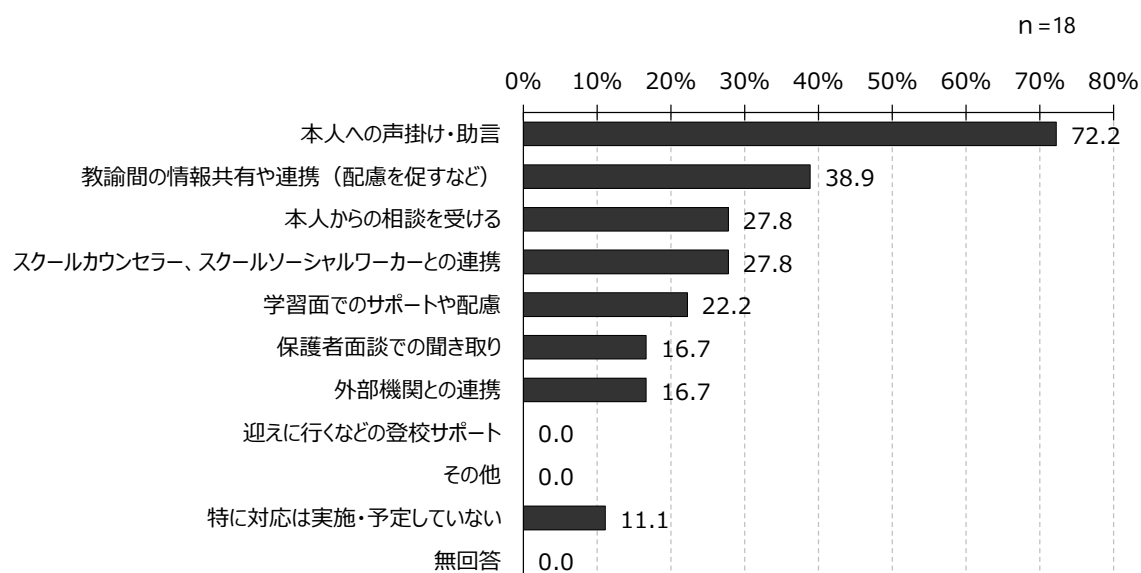
Q10. その児童・生徒は学校生活に以下のような影響は出ていますか。【複数回答】

「学校を休みがちである」が50.0%と最も多く、「遅刻や早退が多い」が50.0%、「学力が低下している」が44.4%、「宿題や持ち物の忘れ物が多い」が38.9%、「保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い」が38.9%となっています。



Q11. その児童・生徒に対してどのような対応を実施・予定していますか。【複数回答】

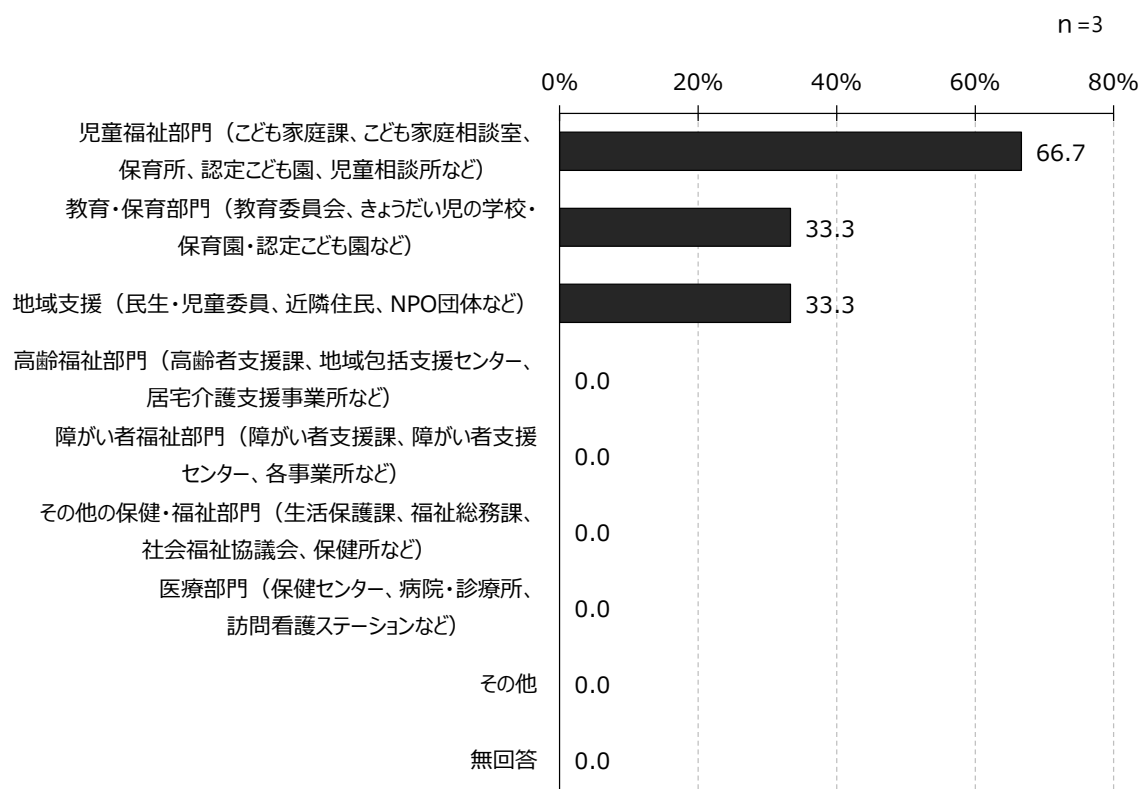
「本人への声掛け・助言」が72.2%と最も多く、「教諭間の情報共有や連携（配慮を促すなど）」が38.9%、「本人からの相談を受ける」が27.8%、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携」が27.8%、「学習面でのサポートや配慮」が22.2%となっています。



Q11で「外部機関との連携」を選んだ人

Q12. にお聞きます。どのような機関と連携がありましたか(予定していますか)。【複数回答】

「児童福祉部門（こども家庭課、こども家庭相談室、保育所、認定こども園、児童相談所など）」が 66.7%と最も多く、「教育・保育部門（教育委員会、きょうだい児の学校・保育園・認定こども園など）」が 33.3%、「地域支援（民生・児童委員、近隣住民、NPO 団体など）」が 33.3%、そのほかの機関は 0.0%となっています。



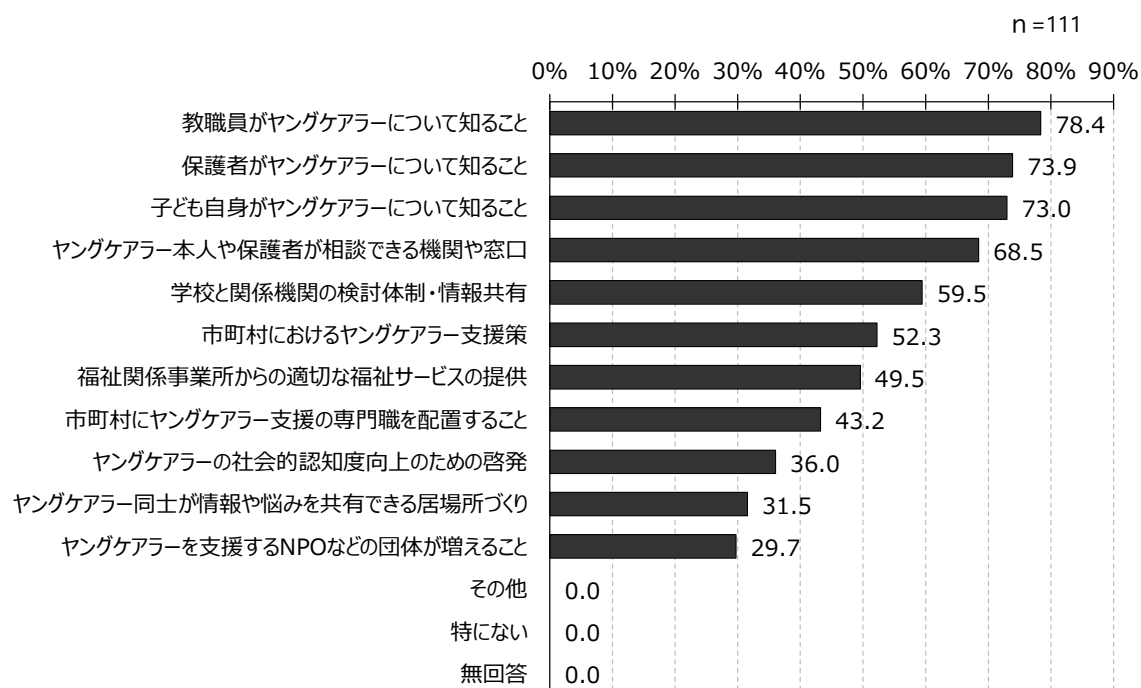
Q13. その児童・生徒と関わる上で困ったこと、苦労したことがあれば教えてください。【自由記入】

主な意見は以下のとおりです。

- 本人は弟の面倒をみるのは当たり前だと思っている。
- 保護者の方と連絡が取れない。引越しがあると言われるが、延期し続けており、対応が難しい。
- コミュニケーションがとりにくい。話せる能力は持っているが発話が少ない。
- 生徒自身がヤングケアラーだと認識していない。
- 家庭の事情に深く介入できない。助言などしているが、家庭の事情で無理みたいだ。
- 学校に来る時間帯が遅く、授業を受けていない為、学力が身につかない。
- 本人に進学の意志がなく、就職を希望しているが当てがないため、進路が心配される。
- 家庭で妹の世話を母親の代わりにしていたり、家事を担っていたりしている。そのため、寝不足で学校にくることや、母親に対する甘えたい気持ちを女性の先生に求めるところがあった。

Q14. ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことはどのようなことですか。【複数回答】

「教職員がヤングケアラーについて知ること」が78.4%と最も多く、「保護者がヤングケアラーについて知ること」が73.9%、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」が73.0%、「ヤングケアラー本人や保護者が相談できる機関や窓口」が68.5%、「学校と関係機関の検討体制・情報共有」が59.5%となっています。



Q15. 小学生・中学生が家族のケアをするために、自分の学業や友達付き合い、部活などに大きな影響が出ていることを知った場合、あなたは教職員としてどのようなサポートができると思いますか。また、どのような支援が役立つと思いますか。あなたのお考えを自由にお書きください。【自由記入】

主な意見は以下のとおりです。

- まずは、本人にどのような生活の状態なのかを尋ね、話をじっくりと聞く。そして、その子にあった学習の仕方を一緒に考える。
- 管理職に相談・本人の状況把握・学校での様子を観察・ヤングケアラーについての啓発を行い、保護者の認知度を高める。
- 生徒本人または周囲の生徒、本人以外の家族（兄弟姉妹、親族等）や地域住民（同級生の保護者も含む）からの情報提供が考えられる。いずれの場合にも、第一に管理職と養護教諭、教育相談担当教諭に概要を伝え、具体的な対応策を考え、できることから早急に対応していく。生徒本人からの訴えの場合は、話してくれたことへの感謝と負担へのねぎらいを伝え、一日または一週間の生活の様子を確認する。その後、関係職員とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとケース会議を開き、校内支援、関係機関との連携、家庭・保護者の対応を話し合い、確認する。周囲の生徒からの訴えについては、詳しい聞き取りを行う。同時に当該生徒の様子を確認し、教育相談という形で訴えの内容を確認する。当該生徒が否定をした場合は、ヤングケアラーへの知識不足や支援先の情報不足などが考えられるため、授業や全校集会などで情報提供を行う。本人以外の家族（兄弟姉妹、親族等）からの訴えについては、周囲の生徒からの訴えと同様に、詳しい聞き取りを行う。兄弟等の未成年の場合は、合同ケース会議など関係する学校等と連携を行う。親族等の大人からの訴えの場合は、相談機関を伝え、定期的に状況の連絡をもらう。地域住民（同級生の保護者も含む）からの訴えについては、詳しい聞き取りを行い、個人情報に配慮しながら民生委員や区長、駐在員への情報提供と見守りを依頼し、学校と地域、支援機関で連携して対応できるようにする。いずれにしても、当該生徒へのケアについて職員間で同じ対応をし、変化を見逃さないことを意識して、対応していく。
- ヤングケアラーの児童の負担が少しでも軽減できるように工夫する必要がある。具体的には、家庭連絡や日々のコミュニケーションを密に行っていくことが考えられる。
- まずは、話をよく聞いてあげたいと思います。本人がどう思っているのか、なにかしてほしいことがあるのかなど。話をした後で、学校で情報共有をし、学校だけでなく他の機関の情報を集め、その子が勉強や部活に心置きなく集中できる環境を少しでも整えてあげられるような支援をしたいと思います。
- まず、子どもの話を親身になって聞くこと。それから、一人で抱え込むことではないもので、教員、近所の人、信頼できる人など周りの大人に相談すれば、力になれることを教える。それから、スクールソーシャルワーカーや学校、市の関係機関などと連携し、対応を検討していく。支援としては、子どもの様子を気かけ、気になることがあればスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーにつなぐ。
- 優先順位は何かを考えること、無理をしないこと、誰でもいいから、相談できる相手を見つけることをまず、伝える。教師や学校でできることはないか、こまめに声掛けをする、現状を聞き、把握する。管理職、行政と対応にあたる。
- 周囲の生徒との関係が切れないように、声をかけたり配慮したりすること。
- 担任等と連携を図りながら、生徒や保護者への状況・様子について話を聞く。それから他機関との連携が必要な場合には、必要な情報を提供する。ヤングケアラー本人の負担が少なくなり学業や部活動などの中学校生活に励んでほしいと思いますが、そのためには多くのケースで家庭支援が必要になってくると思います。ただサービス提供の基準や支援の種類などにわかりにくさを感じる面もあるので、わかりやすく、また社会に広く認知されるとよいと思います。
- 該当の児童生徒の他に、ケアが必要な家族へ関わってくれる人を見つけるための手立て。ケ

アをしてくれるような人材を派遣してくれる事業所への照会。該当の児童生徒、ケアが必要な家族、それぞれへ話を聞く機会や相談。

- 先ずは、本人としっかり話をする。話せる信頼関係づくりに努める。状況を把握した上で、支援策を考え、必要なところとつないでいく。本人の心身のケアに努める。子どもが安心して話せる、学校に来れる環境づくりに努める。情報を学校全体で共有する。
- まず話を聞きます。一生懸命に頑張っていることを認め、味方であることを伝える。児童の不安や不満など聞き取ったことを全職員で共有し、全職員で対応するようにする。また、スクールソーシャルワーカーやカウンセラー、教育委員会とも情報を共有し、児童だけでなく、保護者にもアプローチする。児童がほっと落ち着く場所を早急につくってあげることが大切だと思う。
- 適切な機関との連携をとる。子ども食堂など、地域の利用施設を確認して伝える。しかし、個人的にどこまで踏み込んでよいか判断が難しい。
- 教職員としてはまず、児童生徒との会話を通して実態を把握することや管理職への相談、他の教職員との情報共有がサポートにつながると考える。また、ヤングケアラーを支援する福祉団体について自分は知らないため、知ることから始めなければならないと感じた。
- 話を聞く、生徒に寄り添う、専門機関に相談しその子にとって何が必要で何をすればいいのか職員みんなで研修する。
- 学校では、生徒の実態把握、校内での支援配慮はできると思うが 家庭内に踏み込んでの支援は難しいと思う。福祉に繋げることがサポートになると思う。学校にも、福祉の支援体制等の情報をいただき、共有出来る事は共有できればと思う。
- まずは家庭の状態をしっかり確認したうえで、SC や S S Wの方に相談し関連機関とつないでもらう。友達同士での人付き合いがうまくいっていないときにはこちらからそのこが遊びたくないのではなく遊ぶことができない状況であることをしっかり伝えておく。(もちろんその子の家庭状況は個人情報のためいえる範囲のみで説明)
- 精神面でのサポートがもっとも現実的であると考えます。ヤングケアラーは、自分がいなければ家庭が崩れるという責任感を強く持っていると思われるため、そのような強迫観念を弱めることが教職員としてできることだと考えます。具体的な支援については、行政が速やかに家庭とつながり、児童生徒が学業や付き合い、部活の時間を取れるような支援をすることがもっとも役に立つと思います。教職員という立場からは、家庭の事情に深く干渉することができず、また連携機関に連絡を取ったとしても、具体的な行動が起きないまま1年が過ぎることが多くあるように感じます。
- 学校とその子のつながりを絶たないこと。そのために連絡ツールを確保しておく。できるだけ、普通の教育環境を保障するように努めること。厳しい場合、現担任が時間外で具体的な場を持つということはかなり厳しいと思われる。そのため、その家庭への行政ルートサポートや医療・福祉関係やNPO とのかかわりをもたせるなど、社会的に対応して行う必要があると思われる。教育の現場とそういう機関との意味あるつながりを作っていくことも重要。その子が誰にも相談できずに自分を追い込んだり、自暴自棄になるなどの事態は絶対に防がなくてはならないと思う。
- 本人と面談を行い、困り感について丁寧に聞き取った上で、いつでも味方であることや、相談があればいつでも頼ってほしいということを伝える。また、教育相談部会等で本人の状況について情報を共有し、S S Wや行政などの関係機関と連携しながら、チームで支援を検討する。
- まずは、状況を正しく把握する。校内で共有し、できる関係機関とつながる。何よりも、児童に「一人で無理をする必要がない」ことを伝える。毎日状況を聞く。(負担にならない程度で)
- 「自分がどう感じているのか、何をしたいのか」という気持ちを大切にしよう声を掛け、支援する。

唐津市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

発 行 年 月：令和 6 (2024) 年 6 月

発 行：唐津市保健福祉部 こども家庭課

電 話：0955-72-9151